

令和 4 年 5 月 30 日現在

機関番号：12601

研究種目：新学術領域研究（研究領域提案型）

研究期間：2016～2020

課題番号：16H06429

研究課題名（和文）ネオウイルス学：生命の源流から超個体、そしてエコ・スフィアへ

研究課題名（英文）Neo-virology: the raison d'etre of viruses

研究代表者

河岡 義裕（Kawoaka, Yoshihiro）

東京大学・医科学研究所・特任教授

研究者番号：70135838

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 59,400,000円

研究成果の概要（和文）：本研究領域は、ウイルスが生物の生命活動や生態系に及ぼす影響やその機能メカニズムを解明することによって、これまでの病原性解析に偏重していたウイルス学を「ウイルス生態システム制御学＝ネオウイルス学」という新たな学問領域として発展させることを目指した。総括班は、領域運営、研究活動支援、人材育成、集会の企画運営、広報活動を通じて、研究支援体制を充実させ、計画研究・公募研究間の密接な連携、および領域外との共同研究を促進して、領域全体の研究を加速度的に発展させた。その成果は、多数の注目すべき論文発表に表れ、また国際的な若手人材が多く育成されたことにより、今後のネオウイルス学の継続的な発展にも結びついた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究領域では、生物や生態系におけるウイルスの役割を解析することによって、ウイルスというキープレイヤーを加えた地球生態系の機能を解明するという新たな学問分野の創出を目指した。今後さらに「ネオウイルス学」を発展させることは、我が国の学術水準の格段の向上・強化に大いに貢献することが期待されるとともに、生態系を制御するウイルスの新しい利用法の発見にもつながる。今後、地球生態系とウイルスとの相互作用を研究する学術分野は非常に重要となっていくことが期待される。

研究成果の概要（英文）：We have established a new academic field, designated as 'Neo-virology', in which we define a virus as a component of the global ecosystem and aim to elucidate its key roles in host organisms and the global ecosystem. We have constructed a system to support research activities, facilitate collaborations among research groups, develop human resources, plan and manage scientific meetings, and support public relations activities, all of which have resulted in accelerating this new field of research. Our efforts have produced numerous noteworthy publications and have helped develop many young investigators, who will continue the growth of Neo-Virology into the future.

研究分野：ウイルス学

キーワード：ウイルス 生態系 共進化 共生 多様性

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

## 1. 研究開始当初の背景

地球上には膨大な数のウイルスが存在しており、多くのウイルスが宿主において病気を起こすことなく共存している。これまで宿主にとって「害」であると見なされてきたウイルスの感染が、宿主のゲノム進化や生体機能に有利に働くことを示唆する最近の研究結果は、ウイルス学の既成概念を大きく覆そうとしている。本新学術領域研究では、ウイルスを地球生態系の構成要素として捉え、ウイルスが生物の生命活動や生態系に及ぼす影響やその機能メカニズムを解明することによって、地球生態系の恒常性維持機構の理解につなげ、「ウイルス生態システム制御学 = ネオウイルス学」という全く新しい概念に基づく学術領域を創出することを目指す。

## 2. 研究の目的

総括班は、本領域の目標を達成するために、各研究班が研究を滞りなく遂行するのをサポートするとともに、研究者間の密接な連携を促進して、領域全体の研究を加速度的に発展させることを目的とする。

## 3. 研究の方法

本領域の研究戦略として、A01「共進化」、A02「共生」、A03「多様性」の3つの研究ユニットを設置し、計画研究、公募研究を配置する。総括班は、本領域の目標を達成するために、各班の研究を滞りなく遂行するとともに、研究者間の密接な連携を促進して、領域全体の研究を加速度的に発展させる役割を果たす。領域運営、研究活動支援、人材育成、集会の企画運営、広報・アウトリーチ活動を通じて、研究支援体制を充実させ、計画班員・公募班員間の連携体制を確立し、「ネオウイルス学」の創成にむけた研究を推進する。本領域における研究対象は極めて広域であり、領域内での有機的な連携が不可欠である。そこで、総括班は計画研究の一端を担うのではなく、計画研究班および公募研究班の横断的かつ多面的な研究活動支援と広報に集中することで、領域の推進に努める。

## 4. 研究成果

総括班は、強力なリーダーシップを持って領域研究全体を統括し、研究推進を図った。以下に、総括班の活動状況について述べる。

総括班は、次世代型スーパーコンピュータシステム・SHIROKANE (演算性能 550 TFLOPS、ストレージ容量 30PB) を利用したビックデータの高速処理体制を整備し、高度情報処理支援を行なった。総括班のサポートのもと、41名の領域班員が SHIROKANE を利用した。また利用者同士が Slackなどで情報共有を行なったことにより、滞りなく SHIROKANE を活用することができた。スパコンを利用した解析研究は、領域内のドライ研究者-ウェット研究者間の連携を促進しており、論文・学会発表といった成果に表れている。

本領域では、内在性ウイルス様遺伝子配列の探索、パイローム解析による新規ウイルスの探索、ウイルスの共生による宿主の微生物叢解析など、次世代シーケンサーを用いた解析を行なった。総括班では、ゲノム解読支援を行なった。総括班は、澤班および

高橋班の有する次世代シーケンサーを用いて、ゲノム情報の高速解読を提供する枠組みを支援した。これらの仕組みを利用して、川口（共生：計画）は、新規 HSV 遺伝子を同定し、さらにこの遺伝子産物が、宿主との共生維持機構に関与することを明らかにした。新規 HSV 遺伝子が発見されたのは、実に 13 年ぶりのことであり、非常にインパクトのある研究成果と言える。

本領域では、ウイルスの多様性を解明するために、様々なウイルスの形態学的解析を行なった。総括班が電子顕微鏡を用いた解析研究を支援した。村田（多様性：公募）及び野田（多様性：公募）は、クライオ電顕および走査電子誘導率顕微鏡を用いた特殊な解析技術を有しており、領域内において広く共同研究を行い、様々なウイルスの構造解析を行い、領域研究の推進を図った。

領域研究を円滑かつ効率的に発展させるために、総括班は、研究活動支援、領域会議や学会等の開催、若手研究者の支援、広報活動による国民への情報発信などの活動に、総括班経費を充当した。

研究活動支援：次世代型スパコン・SHIROKANE を利用したビックデータの高速処理体制を整備した。また各計画研究班においてトレーニングコースを設置し、特殊な実験方法などの技術講習会を行った。領域内研究の連携や推進に大きく貢献したと評価できる。

領域会議や学会等の開催：本研究期間中に、領域会議 8 回、及び総括班会議を 11 回実施した。令和 3 年 1 月の総括班会議及び領域班会議では、新型コロナのため、Zoom Webinar を用いたりリモート会議を開催した。また Webex 会議システムを利用して、月に一度の定例会を開催した。これらの会議では、活発な議論が展開され、共同研究や技術提供が活性化されるとともに、領域内の研究者間の有機的な連携が強化された。外部評価委員ならびに学術審査官にもご意見を伺いつつ、本領域の方向性等を頻繁に検討し反映させることによって、本領域の推進を図ることができた。

また本領域は、多くの研究集会を主催・共催しており、平成 28 年 9 月にネオウイルス学領域キックオフシンポジウム（一般公開：東京）、平成 29 年 9 月に第 16 回あわじしま感染症・免疫フォーラムを主催した。また第 8 回グローバルウイルスネットワーク会議（H28 年 10 月）、The 6<sup>th</sup> China-Japan Bilateral Symposium on All Influenza Viruses（H29 年 3 月）を共催し、国際的な研究者コミュニティに「ネオウイルス学」を認知させた。平成 29 年 10 月の第 65 回日本ウイルス学会学術集会（大阪）、平成 30 年には、第 17 回あわじしま感染症・免疫フォーラム、および第 66 回日本ウイルス学会学術集会、令和元年には、第 18 回あわじしま感染症・免疫フォーラム、第 67 回日本ウイルス学会学術集会、The 15th International Congress on Thermophiles、Asian Mycological Congress 2019 を共催することにより、新たな共同研究を促し、より広い地域における研究拠点の展開を進めた。海外から卓越した研究者を講師として招聘することによって、情報交換を促進し、また新たな共同研究を開始した班もあった。

若手研究者の支援：最先端研究を行う先進諸国への若手研究者の中長期的派遣の支援として、米国での Nanopore Community Meeting 2016 での最先端技術研修（1 名）、第 36 回アメリカウイルス学会年会(ASV2017)への参加と研究打ち合わせ（2 名）、オランダ王国・ワーゲニンゲン大学における共同研究実施（1 名）において、総計 4 名の若手研究者を海外に派遣して、国際的な交流を促し、また専門的な知識を深めさせた。平成 30 年

度には、アフリカのシエラレオネに、サンプル収集のため、計画研究班の若手研究者を2名派遣した。令和元年度には、南米のボリビア共和国に生息する節足動物の採集とウイルス調査を目的として、計画研究班の若手研究者を2名派遣して、サンプルの収集を実施させた。本活動には、計画研究班からさらに2名の研究者も参加して、蚊、ダニを採集した。また、本活動によるガブリエル・レネ・モレノ国立自治大学の Juan Antonio Pereira 博士との共同研究に基づいて、計画研究班の若手研究者の研究室に所属する大学院生が、文部科学省の官民協働海外留学創出プロジェクト「トビタテ！留学 JAPAN」を活用し、ガブリエル・レネ・モレノ国立自治大学に短期留学を実施し、現地での共同研究を推進した。

広報活動：平成 28 年 9 月に領域ホームページを開設した (<http://neo-virology.org>)。本領域の研究活動を国民に広く発信するため、ホームページ/フェイスブックページ/ツイッターにおいて、領域活動に関する記事を公開した。フェイスブックページとツイッターフォロワー数は数百名に上る。また、領域の研究内容の概説を掲載したニュースレターを6回発行した。さらに一般向けに集英社より「ネオウイルス学」を刊行した。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計578件（うち査読付論文 553件 / うち国際共著 262件 / うちオープンアクセス 325件）

1. 著者名 Sun, L., Suzuki, N., Jiang, D., Turina, M., and Xie, J.	4. 巻 9
2. 論文標題 Frontiers in fungal virus research	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Frontiers in Cellular and Infection Microbiology	6. 最初と最後の頁 456
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fcimb.2019.00456.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 A. Hara, S. Iwanami, Y. Ito, T. Miura, S. Nakaoka and S. Iwami	4. 巻 479
2. 論文標題 Revealing uninfected and infected target cell dynamics from peripheral blood data in highly and less pathogenic simian/human immunodeficiency virus infected Rhesus macaque	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Theoretical Biology	6. 最初と最後の頁 29-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2019.07.005.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Adenyo C, Ohya K, Qiu Y, Takashima Y, Ogawa H, Matsumoto T, Thu MJ, Sato K, Kawabata H, Katayama Y, Omatsu T, Mizutani T, Fukushi H, Nonaka N, Katakura K, Inoue-Murayama M, Kayang B, Nakao R	4. 巻 205
2. 論文標題 Bacterial and protozoan pathogens/symbionts in ticks infecting wild grasscutters ( <i>Thryonomys swinderianus</i> ) in Ghana	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Acta Trop	6. 最初と最後の頁 105388
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.actatropica.2020.105388	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Aker S, Nakao R, Imasato Y, Alam MZ, Katakura K	4. 巻 111(4)
2. 論文標題 Potential of cell-free DNA as a screening marker for parasite infections in dog.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Genomics	6. 最初と最後の頁 906-912
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ygeno.2018.05.020	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Albarracin L, Garcia-Castillo V, Masumizu Y, Indo Y, Islam MA, Suda Y, Garcia-Cancino A, Aso H, Takahashi H, Kitazawa H, Villena J	4. 巻 11
2. 論文標題 Efficient selection of new immunobiotic strains with antiviral effects in local and distal mucosal sites by using porcine intestinal epitheliocytes.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Frontiers in Immunology	6. 最初と最後の頁 Article 543
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2020.00543	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Anindita PD, Sasaki M, Gonzalez G, Phongphaew W, Carr M, Hangombe BM, Mweene AS, Ito K, Orba Y, Sawa H	4. 巻 9(1)
2. 論文標題 Discovery and genetic characterization of diverse smacoviruses in Zambian non-human primates	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 5045
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-41358-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Aoki K, Hagiwara R, Akashi M, Murata K, Ogata H, Takemura M	4. 巻 10
2. 論文標題 Fifteen Marseilleviruses Newly Isolated from Three Water Samples in Japan Reveal a Local Diversity of Marseilleviridae.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Front Microbiol	6. 最初と最後の頁 1152
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2019.01152	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Arai Y, Kawashita N, Ibrahim MS, Elgendy EM, Daidoji T, Ono T, Takagi T, Kakaya T, Matsumoto K, Watanabe Y	4. 巻 15
2. 論文標題 PB2 mutations arising during H9N2 influenza virus evolution in the Middle East confer enhanced replication and growth in mammals	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 PLoS Pathogens	6. 最初と最後の頁 e1007919
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.ppat.1007919	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Aramaki T, Blanc-Mathieu R, Endo H, Ohkubo K, Kanehisa M, Goto S, Ogata H.	4. 巻 36
2. 論文標題 KofamKOALA: KEGG Ortholog assignment based on profile HMM and adaptive score threshold	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Bioinformatics	6. 最初と最後の頁 2251-2252
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/bioinformatics/btz859	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Arii J, Takeshima K, Maruzuru Y, Koyanagi N, Kato A, Kawaguchi Y	4. 巻 93
2. 論文標題 Roles of the Interhexamer Contact Site for Hexagonal Lattice Formation of the Herpes Simplex Virus 1 Nuclear Egress Complex in Viral Primary Envelopment and Replication.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Virol.	6. 最初と最後の頁 e00498-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.00498-19	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Aulia, A., Eusebio-Cope, A., I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.	4. 巻 533
2. 論文標題 A symptomless hypovirus, CHV4, facilitates stable infection of the chestnut blight fungus by a coinfecting reovirus likely through suppression of antiviral RNA silencing	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Virology	6. 最初と最後の頁 99-107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virol.2019.05.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Bando H, Pradipta A, Iwanaga S, Okamoto T, Okuzaki D, Tanaka S, Vega-Rodriguez J, Lee Y, Ma JS, Sakaguchi N, Soga A, Fukumoto S, Sasai M, Matsuura Y, Yuda M, Jacobs-Lorena M, Yamamoto M.	4. 巻 216
2. 論文標題 CXCR4 regulates Plasmodium development in mouse and human hepatocytes.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Experimental Medicine	6. 最初と最後の頁 1733-1748
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1084/jem.20182227	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Bian, R., Andika, I.B., Pang, T., Lian, Z., Wei, S., Niu, E., Wu, Y., Kondo, H., Liu, X. and Sun, L.	4. 巻 117
2. 論文標題 Facilitative and synergistic interactions between fungal and plant viruses.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Proc Natl Acad Sci U S A.	6. 最初と最後の頁 3779-3788
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1915996117.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Bochimoto H, Kondoh D, Ishihara Y, Kabir MHB, Kato K (corresponding author).	4. 巻 73
2. 論文標題 Three-dimensional fine structure of feeder organelle in <i>Cryptosporidium parvum</i> .	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Parasitol Int.	6. 最初と最後の頁 10195
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2019.101958	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Carr M, Gonzalez G, Martinelli A, Wastika CE, Ito K, Orba Y, Sasaki M, Hall WW, Sawa H	4. 巻 55(5)
2. 論文標題 Upregulated expression of the antioxidant sestrin 2 identified by transcriptomic analysis of Japanese encephalitis virus-infected SH-SY5Y neuroblastoma cells.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Virus Genes	6. 最初と最後の頁 630-642
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11262-019-01683-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Castillo YM, Mangot JF, Benites LF, Logares R, Kuronishi M, Ogata H, Jaillon O, Massana R, Sebastian M, Vaque D.	4. 巻 28
2. 論文標題 Assessing the viral content of uncultured picoeukaryotes in the global-ocean by single cell genomics.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Mol Ecol.	6. 最初と最後の頁 4272-4289
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/mec.15210	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Daichi Yamasoba, Kei Sato, Takuya Ichinose, Tomoko Imamura, Lennart Koepke, Simone Joas, Elisabeth Reith, Dominik Hotter, Naoko Misawa, Kotaro Akaki, Takuya Uehata, Takashi Mino, Sho Miyamoto, Takeshi Noda, Akio Yamashita, Daron M. Standley, Frank Kirchoff, Daniel Sauter, Yoshio Koyanagi, Osamu Takeuchi	4. 巻 4
2. 論文標題 N4BP1 restricts HIV-1 and its inactivation by MALT1 promotes viral reactivation.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nature Microbiology	6. 最初と最後の頁 1532-1544
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41564-019-0460-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Daidoji, T., Kajikawa, J., Arai, Y., Watanabe, Y., Hirose, R., Nakaya, T.	4. 巻 12
2. 論文標題 Infection of human tracheal epithelial cells by H5 avian influenza virus is regulated by the acid stability of hemagglutinin and the pH of target cell endosomes.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Viruses	6. 最初と最後の頁 82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v12010082	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 De Corte D, Martinez JM, Cretoiu MS, Sintes E, Takaki Y, Nunoura T, Herndl GJ, Yokokawa T	4. 巻 10
2. 論文標題 Viral communities in the global deep ocean conveyor belt assessed by targeted viromics	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Frontiers in Microbiology	6. 最初と最後の頁 1801
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2019.01801	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Deng L, Gan X, Ito M, Chen M, Aly HH, Matsui C, Abe T, Watashi K, Wakita T, Suzuki T, Okamoto T, Matsuura Y, Mizokami M, Shoji I, Hotta H.	4. 巻 93
2. 論文標題 Peroxisome protein 1, a Novel HBx-Interacting Protein, Interacts with Exosome Component 5 and Negatively Regulates Hepatitis B Virus (HBV) Propagation through Degradation of HBV RNA.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Virology	6. 最初と最後の頁 e02203-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02203-18.	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Eisfeld AJ, Gasper DJ, Suresh M, Kawaoka Y.	4. 巻 9
2. 論文標題 C57BL/6J and C57BL/6NJ Mice Are Differentially Susceptible to Inflammation-Associated Disease Caused by Influenza A Virus	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Front Microbiol	6. 最初と最後の頁 3307
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2018.03307	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Feldmann F, Kobasa D, Embury-Hyatt C, Grolla A, Taylor T, Kiso M, Kakugawa S, Gren J, Jones SM, Kawaoka Y, Feldmann H.	4. 巻 10
2. 論文標題 Oseltamivir is effective against 1918 influenza virus infection of macaques but vulnerable to escape.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 mBio	6. 最初と最後の頁 pii: e02059-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02059-19	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Feng H, Nakajima N, Wu L, Yamashita M, Lopes TJS, Tsuji M, Hasegawa H, Watanabe T, Kawaoka Y.	4. 巻 10
2. 論文標題 A Glycolipid adjuvant, 7DW8-5, enhances the protective immune response to the current split influenza vaccine in mice.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Front Microbio	6. 最初と最後の頁 2157
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2019.02157	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Feng H, Yamashita M, da Silva Lopes TJ, Watanabe T, Kawaoka Y	4. 巻 10
2. 論文標題 Injectable Excipients as Novel Influenza Vaccine Adjuvants.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Front Microbiol	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2019.00019.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Feng H, Yamashita M, Wu L, Jose da Silva Lopes T, Watanabe T, Kawaoka Y.	4. 巻 7
2. 論文標題 Food additives as novel Influenza vaccine adjuvants.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Vaccines	6. 最初と最後の頁 E127
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/vaccines7040127	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Fukasawa F, Hirai M, Takaki Y, Shimane Y, Thomas CE, Urayama S, Nunoura T, Koyama S	4. 巻 165
2. 論文標題 A new polycipivirus identified in Colobopsis shohki.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Archives of Virology	6. 最初と最後の頁 761-763
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00705-019-04510-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Fukuhara H, Ito Y, Sako M, Kajikawa M, Yoshida K, Seki F, Mwaba MH, Hashiguchi T, Higashibata MA, Ose T, Kuroki K, Takeda M, Maenaka K.	4. 巻 11
2. 論文標題 Specificity of Morbillivirus Hemagglutinins to Recognize SLAM of Different Species.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Viruses	6. 最初と最後の頁 E761
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v11080761	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fukuhara T	4. 巻 55
2. 論文標題 Endornaviruses: persistent dsRNA viruses with symbiotic properties in diverse eukaryotes.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Virus Genes	6. 最初と最後の頁 165-173
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11262-019-01635-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fukuhara T, Matsuura Y.	4. 巻 63
2. 論文標題 Roles of secretory glycoproteins in particle formation of Flaviviridae viruses.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Microbiology and Immunology	6. 最初と最後の頁 401-406
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1348-0421.12733	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fukuhara T, Tabara M, Koiwa H, Takahashi H	4. 巻 165
2. 論文標題 Effect on tomato plants of asymptomatic infection with southern tomato virus.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Archives of Virology	6. 最初と最後の頁 11-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00705-019-04436-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fukushima K, Satoh T, Sugihara F, Sato Y, Okamoto T, Mitsui Y, Yoshio S, Li S, Nojima S, Motoooka D, Nakamura S, Kida H, Standley DM, Morii E, Kanto T, Yanagita M, Matsuura Y, Nagasawa T, Kumanooh A, Akira S	4. 巻 52
2. 論文標題 Dysregulated Expression of the Nuclear Exosome Targeting Complex Component Rbm7 in Nonhematopoietic Cells Licenses the Development of Fibrosis.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Immunity	6. 最初と最後の頁 542-556
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.immuni.2020.02.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fumoto K, Takigawa-Imamura H, Sumiyama K, Yoshimura SH, Maehara N, Kikuchi A	4. 巻 132
2. 論文標題 Mark1 regulates distal airspace expansion through pneumocyte flattening in lung development	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Cell Sci.	6. 最初と最後の頁 jcs235556
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1242/jcs.235556	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Furusawa Y, Yamada S, da Silva Lopes TJ, Dutta J, Khan Z, Kriti D, van Bakel H, Kawaoka Y.	4. 巻 10
2. 論文標題 Influenza virus polymerase mutation stabilizes a foreign gene inserted into the virus genome by enhancing the transcription/replication efficiency of the modified segment.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 mBio	6. 最初と最後の頁 pii:e01794-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.01794-19	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Furuse Y, Chaimongkol N, Okamoto M, Oshitani H	4. 巻 11
2. 論文標題 Evolutionary and Functional Diversity of the 5' Untranslated Region of Enterovirus D68: Increased Activity of the Internal Ribosome Entry Site of Viral Strains During the 2010s	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Viruses	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v11070626	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Garcia-Castillo V, Komatsu R, Clua P, Indo Y, Takagi M, Salva S, Islam MA, Alvarez S, Takahashi H, Garcia-Cancino A, Kitazawa H, Villena .	4. 巻 10
2. 論文標題 Evaluation of the immunomodulatory activities of the probiotic strain Lactobacillus fermentum UCO-979C.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Frontiers in Immunology	6. 最初と最後の頁 Article 1376
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2019.01376	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Gee, P., Lung, M. S. Y., Okuzaki, Y., Sasakawa, N., Iguchi, T., Makita, Y., Hozumi, H., Miura, Y., Yang, L. F., Iwasaki, M., Wang, X. H., Waller, M. A., Shirai, N., Abe, Y. O., Fujita, Y., Watanabe, K., Kagita, A., Iwabuchi, K. A., Yasuda, M., Xu, H., Noda, T., Komano, J., Sakurai, H., Inukai, N., Hotta, A.	4. 巻 11
2. 論文標題 Extracellular nanovesicles for packaging of CRISPR-Cas9 protein and sgRNA to induce therapeutic exon skipping	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nat. Commun.	6. 最初と最後の頁 1334
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-020-14957-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Halfmann PJ, Eisfeld AJ, Watanabe T, Maemura T, Yamashita M, Fukuyama S, Armbrust T, Rozich I, N'jai A, Neumann G, Kawaoka Y, Sahr F.	4. 巻 13
2. 論文標題 Serological analysis of Ebola virus survivors and close contacts in Sierra Leone: A cross-sectional study.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 PLoS Negl Trop Dis	6. 最初と最後の頁 e0007654
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pntd.0007654.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Harima H, Kajihara M, Simulundu E, Bwalya E, Qiu Y, Isono M, Okuya K, Gonzalez G, Yamagishi J, Hang'ombe BM, Sawa H, Mweene AS, Takada A	4. 巻 12(2)
2. 論文標題 Genetic and Biological Diversity of Porcine Sapeloviruses Prevailing in Zambia.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Viruses	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v12020180.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Harima H, Sasaki M, Kajihara M, Mori-Kajihara A, Hang'ombe BM, Changula K, Orba Y, Ogawa H, Simuunza M, Yoshida R, Mweene A, Takada A, Sawa H	4. 巻 82(2)
2. 論文標題 Detection of novel orthoreovirus genomes in shrew ( <i>Crocidura hirta</i> ) and fruit bat ( <i>Rousettus aegyptiacus</i> ).	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Vet Med Sci	6. 最初と最後の頁 162-167
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1292/jvms.19-0424.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hashimoto-Gotoh, A., Yoshikawa, R., Nakagawa, S., Okamoto, M., and Miyazawa, T.	4. 巻 734
2. 論文標題 Phylogenetic analyses of simian foamy virus from Yakushima macaques ( <i>Macaca fuscata yakui</i> ) reveal ancient sub-speciation event took place in Japanese macaques	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Gene	6. 最初と最後の頁 144382
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.gene.2020.144382	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hayashida K, Orba Y, Sequeira PC, Sugimoto C, Hall WW, Eshita Y, Suzuki Y, Runtuwene L, Brasil P, Calvet G, Rodrigues CDS, dos Santos CC, Mares-Guia MAM, Yamagshi J, de Filippis AMB, Sawa H	4. 巻 13(6)
2. 論文標題 Field diagnosis and genotyping of chikungunya 1 virus using a dried reverse transcription loop-mediated isothermal amplification (LAMP) assay and MinION sequencing.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 PLoS Neg Trop Dis	6. 最初と最後の頁 e0007480
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pntd.0007480	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Hirai Y, Domae E, Yoshikawa Y, Okamura H, Makino A, Tomonaga K.	4. 巻 263
2. 論文標題 Intracellular dynamics of actin affects Borna disease virus replication in the nucleus.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Virus Res	6. 最初と最後の頁 179-183
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2019.02.004.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Hirai Y, Domae E, Yoshikawa Y, Okamura H, Makino A, Tomonaga K.	4. 巻 263
2. 論文標題 Intracellular dynamics of actin affects Borna disease virus replication in the nucleus.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Virus Res	6. 最初と最後の頁 179-183
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jb/mvaa023.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Hirofumi Aso, Jumpei Ito, Yoshio Koyanagi, Kei Sato	4. 巻 10
2. 論文標題 Comparative description of the expression profile of interferon-stimulated genes in multiple cell lineages targeted by HIV-1 infection.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Frontiers in Microbiology	6. 最初と最後の頁 429
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2019.00429	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Horie M	4. 巻 94
2. 論文標題 Interactions among eukaryotes, retrotransposons and riboviruses: endogenous riboviral elements in eukaryotic genomes.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Genes Genet Syst.	6. 最初と最後の頁 253-567
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1266/ggs.18-00049	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Huan, L., Bian, R., Liu, Q., Yang, L., Pang, T., Salaipeh, L., Andika, I.B., Kondo, H., and Sun, L.	4. 巻 10
2. 論文標題 Identification of a novel hypovirulence-inducing hypovirus from <i>Alternaria alternata</i> .	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Frontiers in Microbiology	6. 最初と最後の頁 1076
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2019.01076	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hyodo K, Suzuki N, Okuno T.	4. 巻 221
2. 論文標題 Hijacking a host scaffold protein, RACK1, for replication of a plant RNA virus.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 New Phytol.	6. 最初と最後の頁 935-945
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/nph.15412	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ichikawa-Seki M, Motooka D, Kinami A, Murakoshi F, Takahashi Y, Aita J, Hayashi K, Tashibu A, Nakamura S, Iida T, Horii T, Nishikawa Y.	4. 巻 29
2. 論文標題 Specific increase of <i>Fusobacterium</i> in the faecal microbiota of neonatal calves infected with <i>Cryptosporidium parvum</i>	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 12517
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-48969-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Igata M, Islam MA, Tada A, Takagi M, Kober H, Albarracin L, Aso H, Ikeda-Ohtsubo W, Miyazawa K, Yoda K, He F, Takahashi H, Villena J, Kitazawa H	4. 巻 10
2. 論文標題 Transcriptome modifications in porcine adipocytes via Toll-like receptors activation.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Frontiers in Immunology	6. 最初と最後の頁 Article 1180
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2019.01180	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Imai M, Yamashita M, Sakai-Tagawa Y, Iwatsuki-Horimoto K, Kiso M, Murakami J, Yasuhara A, Takada K, Ito M, Nakajima N, Takahashi K, Lopes TJS, Dutta J, Khan Z, Kriti D, van Bakel H, Tokita A, Hagiwara H, Izumida N, Kuroki H, Nishino T, Wada N, Koga M, Adachi E, Jubishi D, Hasegawa H, Kawaoka Y.	4. 巻 5
2. 論文標題 Influenza A variants with reduced susceptibility to baloxavir isolated from Japanese patients are fit and transmit through respiratory droplets.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nat Microbiol	6. 最初と最後の頁 27-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41564-019-0609-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Irie T, Sakai K, Sakaguchi T	4. 巻 2019
2. 論文標題 Development of new concept viral vectors exerting both vaccine and adjuvant activities	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Impact	6. 最初と最後の頁 9-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21820/23987073.2019.7.9	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Itakura Y, Matsuno K, Ito A, Gerber M, Liniger M, Fujimoto Y, Tamura T, Kameyama KI, Okamoto M, Ruggli N, Kida H, Sakoda Y	4. 巻 15;276
2. 論文標題 A cloned classical swine fever virus derived from the vaccine strain GPE- causes cytopathic effect in CPK-NS cells via type-I interferon-dependent necroptosis.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Virus Res	6. 最初と最後の頁 197809
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2019.197809.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ito M, Yamayoshi S, Murakami K, Saito K, Motojima A, Nakaishi K, Kawaoka Y.	4. 巻 11
2. 論文標題 Characterization of Mouse Monoclonal Antibodies Against the HA of A(H7N9) Influenza Virus	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Viruses	6. 最初と最後の頁 E149
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v11020149	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Iwamoto M, Saso W, Nishioka K, Ohashi H, Sugiyama R, Ryo A, Ohki M, Yun JH, Park SY, Ohshima T, Suzuki R, Aizaki H, Muramatsu M, Matano T, Iwami S, Sureau C, Wakita T, Watashi K	4. 巻 295
2. 論文標題 The machinery for endocytosis of epidermal growth factor receptor coordinates the transport of incoming hepatitis B virus to the endosomal network	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Biological Chemistry	6. 最初と最後の頁 800-807
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.AC119.010366.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Izumi T, Sakata K, Okuzaki D, Inokuchi S, Tamura T, Motooka D, Nakamura S, Ono C, Shimokawa M, Matsuura Y, Mori M, Fukuhara T, Yoshizumi T.	4. 巻 91
2. 論文標題 Characterization of human pegivirus infection in liver transplantation recipients.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Medical Virology	6. 最初と最後の頁 2093-2100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jmv.25555	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Jamal, A., Sato, Y., Shahi, S. Shamsi, W., Kondo, H., and Suzuki, N.	4. 巻 11
2. 論文標題 Novel Victorivirus from a Pakistani isolate of Alternaria alternata lacking a typical translational stop/restart sequence signature	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Viruses-Basel	6. 最初と最後の頁 E577
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v11060577	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Joo S, Suwanto A, Sato A, Nakahashi-Ouchida R, Mori H, Uchida Y, Sato S, Kurashima Y, Yuki Y, Fujihashi K, Kawaguchi Y & Kiyono H	4. 巻 12
2. 論文標題 A role for the CCR5-CCL5 interaction in the preferential migration of HSV-2-specific effector cells to the vaginal mucosa upon nasal immunization.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Mucosal Immunol.	6. 最初と最後の頁 1391-1403
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41385-019-0203-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato	4. 巻 117
2. 論文標題 Retroviruses drive the rapid evolution of mammalian APOBEC3 genes.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America	6. 最初と最後の頁 610-618
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1914183116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kabir MHB, Han Y, Lee S-H, Nugrahaa AB, Recuenco FC, Murakoshi F, Xuan X, Kato K (corresponding author).	4. 巻 9
2. 論文標題 Prevalence and molecular characterization of Cryptosporidium species in poultry in Bangladesh.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 One Health.	6. 最初と最後の頁 100122
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.onehlt.2020.100122	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kadoya S, Urayama S, Nunoura T, Hirai M, Takaki Y, Kitajima M, Nakagomi T, Nakagomi O, Okabe S, Nishi-mura O, Sano D	4. 巻 -
2. 論文標題 Bottleneck Size-Dependent Changes in the Genetic Diversity and Specific Growth Rate of a Rotavirus A Strain	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Virology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02083-19	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kakiyama S, Tabara M, Nishibori Y, Moriyama H, Fukuhara T	4. 巻 9
2. 論文標題 Long DCL4-substrate dsRNAs efficiently induce RNA interference in plant cells	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 6920
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-43443-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kanai Y, Kawagishi T, Matsuura Y, Kobayashi T	4. 巻 93
2. 論文標題 In vivo live imaging of oncolytic mammalian orthoreovirus expressing NanoLuc luciferase in tumor xenograft mice.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Virol	6. 最初と最後の頁 e00401-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.00401-19	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kanai Y, Kawagishi T, Nouda R, Onishi M, Pannacha P, Nurdin JA, Nomura K, Matsuura Y, Kobayashi T.	4. 巻 93
2. 論文標題 Development of Stable Rotavirus Reporter Expression Systems.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Virology	6. 最初と最後の頁 e01774-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01774-18.	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kanai Y, Kawagishi T, Sakai Y, Nouda R, Shimojima M, Saijo M, Matsuura Y, Kobayashi T.	4. 巻 15
2. 論文標題 Cell-cell fusion induced by reovirus FAST proteins enhances replication and pathogenicity of non-enveloped dsRNA viruses.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 PLoS Pathogens	6. 最初と最後の頁 e1007675
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.ppat.1007675	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kashiwagi Sayaka, Fujioka Yoichiro, Kondo Takeshi, Satoh Aya O., Yoshida Aiko, Fujioka Mari, Sasajima Hitoshi, Amano Maho, Teshima Takanori, Ohba Yusuke	4. 巻 44
2. 論文標題 Localization of BCR-ABL to Stress Granules Contributes to Its Oncogenic Function	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cell Structure and Function	6. 最初と最後の頁 195-204
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1247/csf.19033	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kashiwagi Sayaka, Fujioka Yoichiro, Satoh Aya O., Yoshida Aiko, Fujioka Mari, Nepal Prabha, Tsuzuki Atsushi, Aoki Ozora, Paudel Sarad, Sasajima Hitoshi, Ohba Yusuke	4. 巻 44
2. 論文標題 Folding Latency of Fluorescent Proteins Affects the Mitochondrial Localization of Fusion Proteins	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cell Structure and Function	6. 最初と最後の頁 183-194
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1247/csf.19028	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawagishi T, Nurdin J, Onishi M, Nouda R, Kanai Y, Tajima T, Ushijima H, Kobayashi T	4. 巻 94
2. 論文標題 Reverse Genetics System for a Human Group A Rotavirus.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Virol	6. 最初と最後の頁 e00963-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.00963-19	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kawakami C, Yamayoshi S, Akimoto M, Nakamura K, Miura H, Fujisaki S, Pattinson DJ, Shimizu K, Ozawa H, Momoki T, Saikusa M, Yasuhara A, Usuku S, Okubo I, Toyozawa T, Sugita S, Smith DJ, Watanabe S, Kawaoka Y.	4. 巻 24
2. 論文標題 Genetic and antigenic characterisation of influenza A(H3N2) viruses isolated in Yokohama during the 2016/17 and 2017/18 influenza seasons	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Euro Surveill	6. 最初と最後の頁 1800467
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2807/1560-7917.ES.2019.24.6.1800467.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kiso M, Yamayoshi S, Furusawa Y, Imai M, Kawaoka Y.	4. 巻 11
2. 論文標題 Treatment of highly pathogenic H7N9 virus-infected mice with baloxavir marboxil.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Viruses	6. 最初と最後の頁 pii: E1066
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v11111066	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kiso M, Yamayoshi S, Murakami J, Kawaoka Y.	4. 巻 -
2. 論文標題 Baloxavir marboxil treatment of nude mice infected with influenza A virus.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Infect Dis	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/infdis/jiz665	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kobayashi S, Yoshii K, Phongphaew W, Muto M, Hirano M, Orba Y, Sawa H, Kariwa H	4. 巻 Jan 23;16(1)
2. 論文標題 West Nile virus capsid protein inhibits autophagy by AMP-activated protein kinase degradation in neurological disease development.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 PLoS Pathog	6. 最初と最後の頁 e1008238
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.ppat.1008238.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yahara Koji, Lehours Philippe, Vale Filipa F.	4. 巻 5
2. 論文標題 Analysis of genetic recombination and the pan-genome of a highly recombinogenic bacteriophage species	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Microbial Genomics	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/mgen.0.000282	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Komatsu Y, Takeuchi D, Tokunaga T, Sakurai H, Makino A, Honda T, Ikeda Y, Tomonaga K.	4. 巻 14
2. 論文標題 RNA virus-based episomal vector with a fail-safe switch facilitating efficient genetic modification and induced differentiation of iPSCs.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Mol Ther Methods Clin Dev	6. 最初と最後の頁 47-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.omtm.2019.05.010.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Komorizono R, Tomonaga K, Makino A.	4. 巻 275
2. 論文標題 Development of a reverse transcription-loop-mediated isothermal amplification assay for the detection of parrot bornavirus 4.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Virol Methods	6. 最初と最後の頁 113749
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jviromet.2019.113749.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Konishi HA, Yoshimura SH	4. 巻 34
2. 論文標題 Interactions between non-structured domains of FG- and non FG-nucleoporins coordinate the ordered assembly of the nuclear pore complex in mitosis.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 FASEB J.	6. 最初と最後の頁 1532-1545
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1096/fj.201901669R	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kotta-Loizou, I., Caston J. R., Coutts, R. H. A., Hillman, B. I., Jiang, D., Kim, D.-H., Moriyama, H., Suzuki, N., and ICTV Report Consortium	4. 巻 101
2. 論文標題 ICTV Virus Taxonomy Profile: Chrysoviridae	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of General Virology	6. 最初と最後の頁 143-144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.001383	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kuriyama K, Tabara M, Moriyama H, Kanazawa A, Koiwa H, Takahashi H, Fukuhara T	4. 巻 101
2. 論文標題 Disturbance of floral color pattern by activation of an endogenous pararetrovirus, petunia vein clearing virus in aged petunia plants.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Plant Journal	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/tbj.14728	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kuwahara, T., Yamayoshi, S., Noda, T., Kawaoka, Y.	4. 巻 10
2. 論文標題 G Protein Pathway Suppressor 1 Promotes Influenza Virus Polymerase Activity by Activating the NF-κB Signaling Pathway.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 mBio	6. 最初と最後の頁 e02867-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02867-19	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kyle JE, Burnum-Johnson KE, Wendler JP, Eisfeldt AJ, Halfmann PJ, Watanabe T, Sahr F, Smith RD, Kawaoka Y, Waters KM, Metz TO	4. 巻 116
2. 論文標題 Plasma lipidome reveals critical illness and recovery from human Ebola virus disease.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proc Natl Acad Sci U S A	6. 最初と最後の頁 3919-3928
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1815356116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Li Yanze, Endo Hisashi, Gotoh Yasuhiro, Watai Hiroyasu, Ogawa Nana, Blanc-Mathieu Romain, Yoshida Takashi, Ogata Hiroyuki	4. 巻 34
2. 論文標題 The Earth Is Small for "Leviathans": Long Distance Dispersal of Giant Viruses across Aquatic Environments	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Microbes and Environments	6. 最初と最後の頁 334-339
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1264/jsme2.ME19037	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Lin YH, Fujita M, Chiba S, Hyodo K, Andika IB, Suzuki N, Kondo H.	4. 巻 533
2. 論文標題 Two novel fungal negative-strand RNA viruses related to myonnaviruses and phenuiviruses in the shiitake mushroom ( <i>Lentinula edodes</i> ).	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Virology	6. 最初と最後の頁 125-136
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virol.2019.05.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mano Y, Yoshio S, Shoji H, Tomonari S, Aoki Y, Aoyanagi N, Okamoto T, Matsuura Y, Osawa Y, Kimura K, Yugawa K, Wang H, Oda Y, Yoshizumi T, Maehara Y, Kanto T.	4. 巻 54
2. 論文標題 Bone morphogenetic protein 4 provides cancer-supportive phenotypes to liver fibroblasts in patients with hepatocellular carcinoma.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Gastroenterology	6. 最初と最後の頁 1007-1018
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00535-019-01579-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masud HMAA, Watanabe T, Sato Y, Goshima F, Kimura H, Murata T	4. 巻 531
2. 論文標題 The BOLF1 gene is necessary for effective Epstein-Barr viral infectivity	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Virology	6. 最初と最後の頁 114-125
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virol.2019.02.015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masud HMAA, Yanagi Y, Watanabe T, Sato Y, Kimura H, Murata T	4. 巻 7
2. 論文標題 Epstein-Barr Virus BBRF2 Is Required for Maximum Infectivity	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Microorganisms	6. 最初と最後の頁 E705
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/microorganisms7120705	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsuzawa Y, Iwatsuki-Horimoto K, Nishimoto Y, Abe Y, Fukuyama S, Hamabata T, Okuda M, Go Y, Watanabe T, Imai M, Arai Y, Fouchier RAM, Yamayoshi S, Kawaoka Y.	4. 巻 11
2. 論文標題 Antigenic change in human influenza A(H2N2) viruses detected by using human plasma from aged and younger adult individuals.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Viruses	6. 最初と最後の頁 pii: E978
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Michelle Jane Genoveso, Miharu Hisaoka, Tetsuro Komatsu, Harald Wodrich, Kyosuke Nagata, Mitsuru Okuwaki	4. 巻 287
2. 論文標題 Formation of adenovirus DNA replication compartments and viral DNA accumulation sites by host chromatin regulatory proteins including NPM1.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 FEBS J	6. 最初と最後の頁 205-217
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/febs.15027	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Mitake H, Yasuhara A, Lopes TJS, Tagawa-Sakai Y, Shimizu K, Ozawa H, Kawakami C, Morikawa S, Sugaya N, Watanabe T, Kawaoka Y.	4. 巻 12
2. 論文標題 Comparison of the Pathogenicity in Mice of A(H1N1)pdm09 Viruses Isolated between 2009 and 2015 in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Viruses	6. 最初と最後の頁 pii: E155
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v12020155	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Miyamoto, S., Noda, T.	4. 巻 64
2. 論文標題 In vitro vRNA-vRNA interactions in the H1N1 influenza A virus genome.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Microbiol. and Immunol.	6. 最初と最後の頁 202-209
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1348-0421.12766	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mukai Y, Tomita Y, Kryukov K, Nakagawa S, Ozawa M, Matsui T, Tomonaga K, Imanishi T, Kawaoka Y, Watanabe T, Horie M	4. 巻 55
2. 論文標題 Identification of a distinct lineage of aviadenovirus from crane feces.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Virus Genes	6. 最初と最後の頁 815-824
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11262-019-01703-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mukai, Y., Tomita, Y., Kryukov, K., Nakagawa, S., Ozawa, M., Matsui, T., Tomonaga, K., Imanishi, T., Kawaoka, Y., Watanabe, T., Horie, M.	4. 巻 55
2. 論文標題 Identification of a distinct lineage of aviadenovirus from crane feces.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Virus Genes	6. 最初と最後の頁 815-824
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11262-019-01703-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Muleya W, Chambaro HM, Sasaki M, Gwenhure LF, Mwenechanya R, Kajihara M, Saasa N, Mupila Z, Mori-Kajihara A, Qiu Y, Kangwa E, Mweene A, Namangala B, Takada A, Sawa H	4. 巻 55(5)
2. 論文標題 Genetic diversity of rabies virus in different host species and geographic regions of Zambia and Zimbabwe.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Virus Genes	6. 最初と最後の頁 713-719
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11262-019-01682-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Murata T, Okuno Y, Sato Y, Watanabe T, Kimura H	4. 巻 -
2. 論文標題 Oncogenesis of CAEBV revealed: Intragenic deletions in the viral genome and leaky expression of lytic genes	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Reviews in Medical Virology	6. 最初と最後の頁 e2095
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/rmv.2095	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishimura K, Johmura Y, Deguchi K, Jiang Z, Uchida KSK, Suzuki N, Shimada M, Chiba Y, Hirota T, Yoshimura SH, Kono K, Nakanishi M	4. 巻 10
2. 論文標題 Cdk1-mediated DIAPH1 phosphorylation maintains cortical tension during metaphase, which regulates inactivation of the spindle assembly checkpoint at anaphase onset	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nat. Commun.	6. 最初と最後の頁 981
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-019-08957-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nomura T, Fukushi M, Oda K, Higashiura A, Irie T, Sakaguchi T	4. 巻 2019
2. 論文標題 Effects of Traditional Kampo Drugs and Their Constituent Crude Drugs on Influenza Virus Replication In Vitro: Suppression of Viral Protein Synthesis by Glycyrrhizae Radix.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Evid Based Complement Alternat Med	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1155/2019/3230906	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ohishi K, Maruyama T, Seki F, Takeda M.	4. 巻 11
2. 論文標題 Marine Morbilliviruses: Diversity and Interaction with Signaling Lymphocyte Activation Molecules.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Viruses	6. 最初と最後の頁 E606
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v11070606	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F	4. 巻 3
2. 論文標題 Molecular basis for HOIPiNs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Commun Biol	6. 最初と最後の頁 Article No. 163
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-0882-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Oishi K, Yamayoshi S, Kawaoka Y.	4. 巻 10
2. 論文標題 Identification of Amino Acid Residues in Influenza A Virus PA-X That Contribute to Enhanced Shutoff Activity	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Front Microbiol	6. 最初と最後の頁 432
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2019.00432	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Okazaki Yusuke, Nishimura Yosuke, Yoshida Takashi, Ogata Hiroyuki, Nakano Shin ichi	4. 巻 21
2. 論文標題 Genome resolved viral and cellular metagenomes revealed potential key virus host interactions in a deep freshwater lake	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Environmental Microbiology	6. 最初と最後の頁 4740-4754
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okuda M, Yamayoshi S, Uraki R, Ito M, Hamabata T, Kawaoka Y.	4. 巻 11
2. 論文標題 Subclade 2.2.1-Specific Human Monoclonal Antibodies That Recognize an Epitope in Antigenic Site A of Influenza	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Viruses	6. 最初と最後の頁 E321
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v11040321	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Raya F, Arce L, Salva S, Alvarez S, Takahashi H, Kitazawa H, Villena J, Vizoso-Pinto, MG	4. 巻 11
2. 論文標題 Immunomodulatory properties of bacterium-like particles obtained from immunobiotic lactobacilli: prospects for their use as mucosal adjuvants.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Frontiers in Immunology	6. 最初と最後の頁 Article 15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2020.00015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Raya F, Islam MA, Vizoso-Pinto MG, Takahashi H, Kitazawa H, Villena J	4. 巻 78
2. 論文標題 Nasal priming with immunobiotic lactobacilli improves the adaptive immune response against influenza virus.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Immunopharmacology	6. 最初と最後の頁 Article 106115
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.intimp.2019.106115	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sakaguchi, S., Nakagawa, S., Mitsuhashi, S., Ogawa, M., Sugiyama, K., Tamukai, K., Koide, R., Katayama, Y., Nakano, T., Makino, S., Imanishi, T., Miyazawa, T., and Mizutani, T.	4. 巻 165
2. 論文標題 Molecular characterization of feline paramyxovirus in Japanese cat populations.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Archives of Virology	6. 最初と最後の頁 413-418
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00705-019-04480-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakai-Tagawa Y, Yamayoshi S, Kawaoka Y.	4. 巻 10
2. 論文標題 Sensitivity of commercially available influenza rapid diagnostic tests in the 2018-2019 influenza season.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Front Microbiol	6. 最初と最後の頁 2342
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2019.02342	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Salim B, Alanazi AD, Omori R, Alyousif MS, Alanazi IO, Katakura K, Nakao R	4. 巻 193
2. 論文標題 Potential role of dogs as sentinels and reservoirs for piroplasms infecting equine and cattle in Riyadh City, Saudi Arabia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Acta Trop	6. 最初と最後の頁 78-83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.actatropica.2019.02.029	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sanaki T, Wakabayashi M, Yoshioka T, Yoshida R, Shishido T, Hall WW, Sawa H, Sato A	4. 巻 33(12)
2. 論文標題 Inhibition of dengue virus infection by 1-stearoyl-2-arachidonoyl-phosphatidylinositol in vitro.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 FASEB J	6. 最初と最後の頁 13866-13881
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1096/fj.201901095RR.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sato A, Ono C, Tamura T, Mori H, Izumi T, Torii S, Fauzyah Y, Yamamoto T, Morioka Y, Okuzaki D, Fukuhara T, Matsuura Y.	4. 巻 -
2. 論文標題 Rimonabant suppresses RNA transcription of hepatitis B virus by inhibiting hepatocyte nuclear factor 4a.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Microbiology and Immunology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1348-0421.12777	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sato, Y., Miyazaki, N., Kanematsu, S., Ghabrial, S. A., Hillman, B. I., Suzuki, N., and ICTV Report Consortium	4. 巻 100
2. 論文標題 ICTV Virus Taxonomy Profile: Megabirnavirus	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of General Virology	6. 最初と最後の頁 1269-1270
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.001297	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Seki F, Ohishi K, Maruyama T, Takeda M.	4. 巻 -
2. 論文標題 Phocine distemper virus uses phocine and other animal SLAMs as a receptor but not human SLAM.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Microbiol Immunol.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1348-0421.12788	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shimamura, K., Ueki, M., Kawano, S., Konishi, S.	4. 巻 48
2. 論文標題 Bayesian generalized fused lasso modeling via NEG distribution.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Communications in Statistics - Theory and Methods	6. 最初と最後の頁 4132-4153
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/03610926.2018.1489056	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Simulundu E, Ndashe K, Chambaro HM, Squarre D, Reilly PM, Chitanga S, Changula K, Mukubesa AN, Ndebe J, Tembo J, Kapata N, Bates M, Sinkala Y, Hangombe BM, Nalubamba KS, Kajihara M, Sasaki M, Orba Y, Takada A, Sawa H.	4. 巻 6(4):
2. 論文標題 West Nile Virus in Farmed Crocodiles, Zambia, 2019	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Emerg Infect Dis.	6. 最初と最後の頁 811-814,
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3201/eid2604.190954.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tada A, Islam MA, Kober HA, Fukuyama K, Takagi M, Igata M, Albarracin L, Ikeda-Ohtsubo W, Miyazawa K, Yoda K, He F, Takahashi H, Villena J, Aso H, Kitazawa H	4. 巻 21
2. 論文標題 Transcriptome modifications in the porcine intramuscular adipocytes during differentiation and exogenous stimulation with TNF- $\alpha$ and serotonin.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Molecular Sciences	6. 最初と最後の頁 Article 638
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms21020638	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Takada K, Kawakami C, Fan S, Chiba S, Zhong G, Gu C, Shimizu K, Takasaki S, Sakai-Tagawa Y, Lopes TJS, Dutta J, Khan Z, Kriti D, van Bakel H, Yamada S, Watanabe T, Imai M, Kawaoka Y.	4. 巻 4
2. 論文標題 A humanized MDCK cell line for the efficient isolation and propagation of human influenza viruses	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nat Microbiol	6. 最初と最後の頁 1268-1273
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41564-019-0433-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Takahashi H, Fukuhara T, Kitazawa H, Kormelink R	4. 巻 10
2. 論文標題 Virus latency and the impact on plants.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Frontiers in Microbiology	6. 最初と最後の頁 Article 2764
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2019.02764	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Takamatsu Y, Dolnik O, Noda T, Becker S.	4. 巻 16
2. 論文標題 A live-cell imaging system for visualizing the transport of Marburg virus nucleocapsid-like structures.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Virology J.	6. 最初と最後の頁 159
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12985-019-1267-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Takamatsu, Y., Kajikawa, J., Muramoto, Y., Nakano, M., Noda, T.	4. 巻 68
2. 論文標題 Microtubule-dependent transport of arenavirus matrix protein demonstrated using live-cell imaging microscopy.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Microscopy (Oxf)	6. 最初と最後の頁 450-456
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jmicro/dfz034	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Takamatsu, Y., Kraehling, V., Kolesnikova, L., Halwe, H., Lier, C., Baumeister, S., Noda, T., Biedenkopf, N., Becker, S.	4. 巻 11
2. 論文標題 Serine-arginine protein kinase 1 regulates Ebola virus transcription.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 mBio	6. 最初と最後の頁 e02565-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02565-19	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Takeda M, Seki F, Yamamoto Y, Nao N, Tokiwa H	4. 巻 -
2. 論文標題 Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Curr Opin Virol	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takeshima K, Arii J, Maruzuru Y, Koyanagi N, Kato A, Kawaguchi Y	4. 巻 93
2. 論文標題 Identification of the Capsid Binding Site in the Herpes Simplex Virus 1 Nuclear Egress Complex and Its Role in Viral Primary Envelopment and Replication.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Virol.	6. 最初と最後の頁 e01290-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01290-19	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tamura T, Igarashi M, Enkhbold B, Suzuki T, Okamatsu M, Ono C, Mori H, Izumi T, Sato A, Fauzyah Y, Okamoto T, Sakoda Y, Fukuhara T, Matsuura Y.	4. 巻 93
2. 論文標題 In Vivo Dynamics of Reporter Flaviviridae Viruses.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Virology	6. 最初と最後の頁 e01191-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01191-19	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W.	4. 巻 93
2. 論文標題 Establishment of a Virulent Full-Length cDNA Clone for Type I Feline Coronavirus Strain C3663.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Virology	6. 最初と最後の頁 e01208-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01208-19	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tetsuo M, Matsuno K, Tamura T, Fukuhara T, Kim T, Okamatsu M, Tautz N, Matsuura Y, Sakoda Y.	4. 巻 9
2. 論文標題 Development of a High-Throughput Serum Neutralization Test Using Recombinant Pestiviruses Possessing a Small Reporter Tag.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Pathogens	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/pathogens9030188	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Thu MJ, Qiu Y, Kataoka-Nakamura C, Sugimoto C, Katakura K, Isoda N, Nakao R	4. 巻 19(7)
2. 論文標題 Isolation of Rickettsia, Rickettsiella, and Spiroplasma from questing ticks in Japan using arthropod cells.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Vector Borne Zoonotic Dis	6. 最初と最後の頁 474-485
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/vbz.2018.2373.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Thu MJ, Qiu Y, Yamagishi J, Kusakisako K, Ogata S, Moustafa MAM, Isoda N, Sugimoto C, Katakura K, Nonaka N, Nakao R	4. 巻 8(37)
2. 論文標題 Complete Genome Sequence of Rickettsia asiatica Strain Maytar01284, a Member of Spotted Fever Group Rickettsiae Isolated from an Ixodes ovatus Tick in Japan.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Microbiol Resour Announc	6. 最初と最後の頁 e00886-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/MRA.00886-19	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tian A, Miyashita S, Ando S, Takahashi H	4. 巻 12
2. 論文標題 Single amino acid substitutions in the cucumber mosaic virus 1a protein induce necrotic cell death in virus-inoculated leaves without affecting virus multiplication.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Viruses	6. 最初と最後の頁 91
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v12010091	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tokunaga Makoto, Miyamoto Yoichi, Suzuki Tatsuya, Otani Mayumi, Inuki Shinsuke, Esaki Tsuyoshi, Nagao Chioko, Mizuguchi Kenji, Ohno Hiroaki, Yoneda Yoshihiro, Okamoto Toru, Oka Masahiro, Matsuura Yoshiharu	4. 巻 541
2. 論文標題 Novel anti-flavivirus drugs targeting the nucleolar distribution of core protein	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Virology	6. 最初と最後の頁 41-51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virol.2019.11.015	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomaru Y, Matsubara T, Mine T, Shikata T, Nagasaki K, Kimura K, Yamaguchi H	4. 巻 53
2. 論文標題 Preliminary Analysis of Diatom-infecting Viruses in Ariake Sound, Japan.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Japan Agricultural Research Quarterly	6. 最初と最後の頁 223-228
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.6090/jarq.53.223	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Toyoda K, Kimura K, Osada K, Williams DM, Adachi T, Yamada K, Tomaru Y	4. 巻 152
2. 論文標題 Novel marine diatom ssRNA virus NitRevRNAV infecting Nitzschia reversa.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Plant Ecology and Evolution	6. 最初と最後の頁 178-187
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5091/plecevo.2019.1615	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ueki H, Wang IH, Zhao D, Gunzer M, Kawaoka Y	4. 巻 -
2. 論文標題 Multicolor two-photon imaging of in vivo cellular pathophysiology upon influenza virus infection using the two-photon	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nat Protoc	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41596-019-0275-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ujie M, Takada K, Kiso M, Sakai-Tagawa Y, Ito M, Nakamura K, Watanabe S, Imai M, Kawaoka Y.	4. 巻 100
2. 論文標題 Long-term culture of human lung adenocarcinoma A549 cells enhances the replication of human influenza A viruses.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Gen Virol	6. 最初と最後の頁 1345-1349
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.001314	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Urayama S, Takaki Y, Hagiwara D, Nunoura T	4. 巻 35
2. 論文標題 dsRNA-seq revealed novel RNA virus and virus-like complete genome sequences from Hymeniacidon sp. Sponge.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Microbes and Environments	6. 最初と最後の頁 ME19132
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1264/jsme2.ME19132	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Wastika CE, Sasaki M, Yoshii K, Anindita PD, Hang'ombe BM, Mweene AS, Kobayashi S, Kariwa H, Carr MJ, Hall WW, Eshita Y, Orba Y, Sawa H	4. 巻 164(8)
2. 論文標題 Serological evidence of Zika virus infection in non-human primates in Zambia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Arch Virol	6. 最初と最後の頁 2165-2170
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00705-019-04302-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Watanabe T, Kawaoka Y	4. 巻 9
2. 論文標題 Villains or heroes? The raison detre of viruses.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Clin Transl Immunology	6. 最初と最後の頁 e01114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cti2.1114	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Watanabe T, Sato Y, Masud HMAA, Takayama M, Matsuda H, Hara Y, Yanagi Y, Yoshida M, Goshima F, Murata T, Kimura H	4. 巻 111
2. 論文標題 Antitumor activity of cyclin-dependent kinase inhibitor alsterpaullone in Epstein-Barr virus-associated lymphoproliferative disorders	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 279-287
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.14241	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe T, Suzuki N, Tomonaga K, Sawa H, Matsuura Y, Kawaguchi Y, Takahashi H, Nagasaki K, Kawaoka Y.	4. 巻 274
2. 論文標題 Neo-virology: The raison d'etre of viruses.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Virus Res	6. 最初と最後の頁 197751
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2019.197751.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Wei, S., Bian, R., Andika, I.B., Niu, E., Liu, Q., Kondo, H., Yang, L., Zhou, H., Pang, T., Lian, Q., Wu, Y., Liu, X. and Sun, L.	4. 巻 116
2. 論文標題 Symptomatic plant viroid infections in phytopathogenic fungi.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proc Natl Acad Sci U S A.	6. 最初と最後の頁 13042-13050
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1900762116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Wu L, Mitake H, Kiso M, Ito M, Iwatsuki-Hirimoto K, Yamayoshi S, Lopes TJS, Feng H, Sumiyoshi R, Shibata A, Osaka H, Imai M, Watanabe T, Kawaoka Y.	4. 巻 67
2. 論文標題 Characterization of H7N9 avian influenza viruses isolated from duck meat products.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Transbound Emerg Dis	6. 最初と最後の頁 1-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/tbed.13398	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Yamada S, Yasuhara A, Kawaoka Y.	4. 巻 10
2. 論文標題 Soluble recombinant hemagglutinin protein of H1N1pdm09 influenza viruse elicits cross-protection against a lethal H5N1 challenge in mice	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Front Microbiol	6. 最初と最後の頁 2031
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2019.02031	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Yamagata, Y., Muramoto, Y., Miyamoto, S., Shindo, K., Nakano, M., Noda, T.	4. 巻 63
2. 論文標題 Generation of a purely clonal defective interfering influenza virus	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Microbiol. and Immunol.	6. 最初と最後の頁 164-171
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1348-0421.12681	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto Y, Tomonaga K, Honda T.	4. 巻 10
2. 論文標題 Development of an RNA Virus-Based Episomal Vector Capable of Switching Transgene Expression.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Front Microbiol	6. 最初と最後の頁 2485
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2019.02485.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamasoba, D., Sato, K., Ichinose, T., Imamura, T., Koepke, L., Joas, S., Reith, E., Hotter, D., Misawa, N., Akaki, K., Uehata, T., Mino, T., Miyamoto, S., Noda, T., Yamashita, A., Standley, D.M., Kirchhoff, F., Sauter, D., Koyanagi, Y., Takeuchi, O.	4. 巻 4
2. 論文標題 N4BP1 restricts HIV-1 and its inactivation by MALT1 promotes viral reactivation.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nat. Microbiol.	6. 最初と最後の頁 1532-1544
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41564-019-0460-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yamazaki H, Kosako H, Yoshimura SH	4. 巻 1868
2. 論文標題 Quantitative proteomics indicate a strong correlation of mitotic phospho-/dephosphorylation with non-structured regions of substrates	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Biochim. Biophys. Acta. Proteins Proteom.	6. 最初と最後の頁 140295
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbapap.2019.140295	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yanai M, Kojima S, Sakai M, Komorizono R, Tomonaga K, Makino A.	4. 巻 94
2. 論文標題 ADAR2 Is Involved in Self and Nonself Recognition of Borna Disease Virus Genomic RNA in the Nucleus.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Virol.	6. 最初と最後の頁 e01513-19.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01513-19.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yariyama S, Ando S, Seo S, Nakaho K, Miyashita S, Kanayama Y, Takahashi H	4. 巻 68
2. 論文標題 Exogenous application of L-histidine suppresses bacterial diseases and enhances ethylene production in rice seedlings.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Plant Pathology	6. 最初と最後の頁 1072-1078
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ppa.13037	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yasuhara A, Yamayoshi S, Kiso M, Sakai-Tagawa Y, Koga M, Adachi E, Kikuchi T, Wang IH, Yamada S, Kawaoka Y.	4. 巻 4
2. 論文標題 Antigenic drift originating from changes to the lateral surface of the neuraminidase head of influenza A virus	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nat Microbiol	6. 最初と最後の頁 1024-1034
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41564-019-0401-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Yoshikawa Genki, Blanc-Mathieu Romain, Song Chihong, Kayama Yoko, Mochizuki Tomohiro, Murata Kazuyoshi, Ogata Hiroyuki, Takemura Masaharu	4. 巻 93
2. 論文標題 Medusavirus, a Novel Large DNA Virus Discovered from Hot Spring Water	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Virology	6. 最初と最後の頁 e02130-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02130-18	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Zheng Y, Shimamoto S, Maruno T, Kobayashi Y, Matsuura Y, Kawahara K, Yoshida T, Ohkubo T	4. 巻 509
2. 論文標題 N-terminal HCV core protein fragment decreases 20S proteasome activity in the presence of PA28-gamma.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Biochem Biophys Res Commun	6. 最初と最後の頁 590-595
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2018.12.167.	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Zhong G, Fan S, Hatta M, Nakatsu S, Walters KB, Lopes TJS, Wang JI, Ozawa M, Karasin A, Li Y, Tong S, Donis RO, Neumann G, Kawaoka Y.	4. 巻 -
2. 論文標題 Mutations in the NA-like protein of bat influenza H18N11 virus enhance virus replication in mammalian cells, mice, and ferrets	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Virol	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01416-19	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Zhong G, Fan S, Lopes TJS, Le MQ, van Bavel H, Dutta J, Smith GJD, Jayakumar J, Nguyen HLK, Hoang PVM, Halfmann P, Hatta M, Su YCF, Neumann G, Kawaoka Y.	4. 巻 10
2. 論文標題 Isolation of Highly Pathogenic H5N1 Influenza Viruses in 2009-2013 in Vietnam	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Front Microbiol	6. 最初と最後の頁 1411
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2019.01411	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 今井正樹、河岡義裕	4. 巻 -
2. 論文標題 新規抗インフルエンザ薬ゾフルーザ感受性低下ウイルスの性状について	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東京小児科医学会報	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤好隆, 渡辺崇広, 木村宏	4. 巻 47
2. 論文標題 ウイルス遺伝子発現制御機構に基づいた抗Epstein-Barrウイルス薬の探索	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 臨床とウイルス	6. 最初と最後の頁 326-332
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 入江崇, 酒井宏治, 坂口剛正	4. 巻 35
2. 論文標題 特異なセンダイウイルススクローンの単離とワクチンアジュバントとしての利用	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BIO Clinica	6. 最初と最後の頁 78-81
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坂井(田川)優子、河岡義裕	4. 巻 20
2. 論文標題 インフルエンザ迅速診断キットの性能比較	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 インフルエンザ その他の呼吸器感染症	6. 最初と最後の頁 15-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 外丸裕司	4. 巻 41
2. 論文標題 珪藻ウイルス研究のこれまでとこれから (特集 プラנקトン群集における共生・寄生)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 海洋と生物	6. 最初と最後の頁 301-305
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺登喜子	4. 巻 9
2. 論文標題 A型インフルエンザの流行の特徴	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 チャイルドヘルス	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺登喜子	4. 巻 20
2. 論文標題 季節性インフルエンザの流行について	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 インフルエンザ その他の呼吸器感染症	6. 最初と最後の頁 39-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺登喜子	4. 巻 21
2. 論文標題 鳥インフルエンザA(H5N1)について	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 インフルエンザ その他の呼吸器感染症	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺登喜子、河岡義裕	4. 巻 -
2. 論文標題 エボラウイルス制圧にむけて～エボラワクチン開発研究とシエラレオネでの研究活動～	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 LABIO21	6. 最初と最後の頁 25-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ackerman EE, Kawakami E, Katoh M, Watanabe T, Watanabe S, Tomita Y, Lopes TJ, Matsuoka Y, Kitano H, Shoemaker JE, Kawaoka Y	4. 巻 9
2. 論文標題 Network-Guided Discovery of Influenza Virus Replication Host Factors.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 MBio	6. 最初と最後の頁 e02002-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02002-18	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Feng H, Yamashita M, da Silva Lopes TJ, Watanabe T, Kawaoka Y.	4. 巻 10
2. 論文標題 Injectable Excipients as Novel	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Front. Microbiol.	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2019.00019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kyle JE, Burnum-Johnson KE, Wendler JP, Einfeld AJ, Halfmann PJ, Watanabe T, Sahr F, Smith RD, Kawaoka Y, Waters KM, Metz TO.	4. 巻 116
2. 論文標題 Plasma lipidome reveals critical illness and recovery from human Ebola virus disease.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Proc Natl Acad Sci U S A	6. 最初と最後の頁 3919-3928
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.chom.2017.10.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hatta M, Zhong G, Gao Y, Nakajima N, Fan S, Chiba S, Deering KM, Ito M, Imai M, Kiso M, Nakatsu S, Lopes TJ, Thompson AJ, McBride R, Suarez DL, Macken CA, Sugita S, Neumann G, Hasegawa H, Paulson JC, Toohey-Kurth KL, Kawaoka Y.	4. 巻 24
2. 論文標題 Characterization of a Feline Influenza A(H7N2) Virus.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Emerg Infect Dis	6. 最初と最後の頁 75-86
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3201/eid2401.171240	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kiso M, Lopes TJS, Yamayoshi S, Ito M, Yamashita M, Nakajima N, Hasegawa H, Neumann G, Kawaoka Y	4. 巻 217
2. 論文標題 Combination Therapy with Neuraminidase and Polymerase Inhibitors in Nude Mice Infected with Influenza Virus	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Infect Dis	6. 最初と最後の頁 887-896
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/infdis/jix606	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Iwatsuki-Horimoto K, Nakajima N, Ichiko Y, Sakai-Tagawa Y, Noda T, Hasegawa H, Kawaoka Y	4. 巻 92
2. 論文標題 Syrian hamster as an animal model for the study of human influenza virus infection.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Virol	6. 最初と最後の頁 e01693-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01693-17	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Oishi K, Yamayoshi S, Kawaoka Y.	4. 巻 516
2. 論文標題 Identification of novel amino acid residues of influenza virus PA-X that are important for PA-X shutoff activity by using yeast.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Virology	6. 最初と最後の頁 71-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virol.2018.01.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakatsu S, Murakami S, Shindo K, Horimoto T, Sagara H, Noda T, Kawaoka Y.	4. 巻 92
2. 論文標題 Influenza C and D viruses package eight organized ribonucleoprotein complexes.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Virol	6. 最初と最後の頁 e02084-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02084-17	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Noda T, Murakami S, Nakatsu S, Imai H, Muramoto Y, Shindo K, Sagara H, Kawaoka Y.	4. 巻 9
2. 論文標題 Importance of the 1+7 configuration of ribonucleoprotein complexes for influenza A virus genome packaging.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nat Commun	6. 最初と最後の頁 54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-017-02517-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamayoshi S, Ito M, Uraki R, Sasaki T, Ikuta K, Kawaoka Y.	4. 巻 76
2. 論文標題 Human protective monoclonal antibodies against the HA stem of group 2 HAs derived from H3N2 virus-infected humans.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Infect	6. 最初と最後の頁 177-185
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jinf.2017.12.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nanbo A, Maruyama J, Imai M, Ujie M, Fujioka Y, Nishide S, Takada A, Ohba Y, Kawaoka Y.	4. 巻 14
2. 論文標題 Ebola virus requires a host scramblase for externalization of phosphatidylserine on the surface of viral particles	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 PLoS Pathog	6. 最初と最後の頁 e1006848
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.ppat.1006848	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Maemura T, Fukuyama S, Sugita Y, Lopes TJS, Nakao T, Noda T, Kawaoka Y.	4. 巻 217
2. 論文標題 Lung-derived exosomal miR-483-3p regulates the innate immune response to influenza virus infection.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Infect Dis	6. 最初と最後の頁 1372-1382
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/infdis/jiy035	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamayoshi S, Kiso M, Yasuhara A, Ito M, Shu Y, Kawaoka Y.	4. 巻 24
2. 論文標題 Enhanced Replication of Highly Pathogenic Influenza A(H7N9) Virus in Humans.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Emerg Infect Dis	6. 最初と最後の頁 746-750
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3201/eid2404.171509	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsui K, Ozawa M, Kiso M, Yamashita M, Maekawa T, Kubota M, Sugano S, Kawaoka Y.	4. 巻 8
2. 論文標題 Stimulation of alpha2-adrenergic receptors impairs influenza virus infection.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 4631
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-22927-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Soni P, Yasuhara A, Takenaga T, Iwatsuki-Horimoto K, Uraki R, Ito M, Sasaki T, Ikuta K, Yamayoshi S, Kawaoka Y.	4. 巻 80
2. 論文標題 Evaluation of the fusion partner cell line SPYMEG for obtaining human monoclonal antibodies against influenza B virus.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Vet Med Sci	6. 最初と最後の頁 1020-1024
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1292/jvms.18-0146	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iwatsuki-Horimoto K, Nakajima N, Kiso M, Takahashi K, Ito M, Inoue T, Horiuchi M, Okahara N, Sasaki E, Hasegawa H, Kawaoka Y.	4. 巻 9
2. 論文標題 The marmoset as an animal model of influenza: infection with A(H1N1)pdm09 and highly pathogenic A(H5N1) viruses via the conventional or tracheal spray route.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Front Microbiol	6. 最初と最後の頁 844
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2018.00844	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Imai H, Dinis JM, Zhong G, Moncla LH, Lopes TJS, McBride R, Thompson AJ, Peng W, Le MTQ, Hanson A, Lauck M, Sakai-Tagawa Y, Yamada S, Eggenberger J, O'Connor DH, Suzuki Y, Hatta M, Paulson JC, Neumann G, Friedrich TC, Kawaoka Y.	4. 巻 24
2. 論文標題 Diversity of influenza A(H5N1) Viruses in infected humans, Northern Vietnam, 2004-2010.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Emerg Infect Dis	6. 最初と最後の頁 1128-1238
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3201/eid2407.171441	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ueki H, Wang IH, Fukuyama S, Katsura H, da Silva Lopes TJ, Neumann G, Kawaoka Y.	4. 巻 115
2. 論文標題 In vivo imaging of the pathophysiological changes and neutrophil dynamics in influenza virus-infected mouse lungs.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Proc Natl Acad Sci U S A	6. 最初と最後の頁 E6622-E6629
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Iwatsuki-Horimoto K, Shi J, Wang X, Sakai-Tagawa Y, Ito M, Murakami K, da Silva Lopes TJ, Nakaishi K, Yamayoshi S, Watanabe S, Chen H, Kawaoka Y.	4. 巻 9
2. 論文標題 Development of an influenza rapid diagnostic kit specific for the H7 subtype.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Front Microbiol	6. 最初と最後の頁 1346
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2018.01346	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sammaibashi S, Yamayoshi S, Kawaoka Y.	4. 巻 9
2. 論文標題 Strain-specific contribution of eukaryotic elongation factor 1 gamma to the translation of influenza A virus proteins.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Front Microbiol	6. 最初と最後の頁 1446
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2018.01446	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Oishi K, Yamayoshi S, Kozuka-Hata H, Oyama M, Kawaoka Y.	4. 巻 24
2. 論文標題 N-terminal acetylation by NatB is required for the shutoff activity of influenza A virus PA-X.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cell Rep	6. 最初と最後の頁 851-860
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2018.06.078	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Furusawa Y, Yamada S, Kawaoka Y.	4. 巻 9
2. 論文標題 Host Factor Nucleoporin 93 Is Involved in the Nuclear Export of Influenza Virus RNA.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Front Microbiol	6. 最初と最後の頁 1675
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2018.01675	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamayoshi S, Yasuhara A, Ito M, Uraki R, Kawaoka Y.	4. 巻 108
2. 論文標題 Differences in the ease with which mutant viruses escape from human monoclonal antibodies against the HA stem of influenza A virus.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Clin Virol	6. 最初と最後の頁 105-111
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jcv.2018.09.016	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sugita Y, Matsunami H, Kawaoka Y, Noda T, Wolf M.	4. 巻 563
2. 論文標題 Cryo-EM structure of the Ebola virus nucleoprotein-RNA complex at 3.6 Å resolution.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature	6. 最初と最後の頁 137-140
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41586-018-0630-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yasuhara A, Yamayoshi S, Ito M, Kiso M, Yamada S, Kawaoka Y.	4. 巻 9
2. 論文標題 Isolation and Characterization of Human Monoclonal Antibodies That Recognize the Influenza A(H1N1)pdm09 Virus Hemagglutinin Receptor-Binding Site and Rarely Yield Escape Mutant Viruses.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Front Microbiol	6. 最初と最後の頁 2660
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2018.02660	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ito M, Yamayoshi S, Murakami K, Saito K, Motojima A, Nakaishi K, Kawaoka Y.	4. 巻 11
2. 論文標題 Characterization of Mouse Monoclonal Antibodies Against the HA of A(H7N9) Influenza Virus.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Viruses	6. 最初と最後の頁 pii: E149
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v11020149	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 今井正樹、河岡義裕	4. 巻 95
2. 論文標題 高病原性H7N9鳥インフルエンザウイルスはヒトの間で大流行を起こすのか	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 臨床と研究	6. 最初と最後の頁 1245-1248
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺登喜子	4. 巻 19
2. 論文標題 スペインかぜ その1 100年前に起こった疫学史上最悪の出来事	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 インフルエンザ その他の呼吸器感染症	6. 最初と最後の頁 49-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺登喜子、河岡義裕	4. 巻 32
2. 論文標題 新興再興感染症に対するワクチン開発～エボラワクチン開発における最近の進展～.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 BIO Clinica	6. 最初と最後の頁 25-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺登喜子	4. 巻 20
2. 論文標題 スペイン・インフルエンザ その2 スペイン・インフルエンザの病原性の謎	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 インフルエンザ その他の呼吸器感染症	6. 最初と最後の頁 37-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺登喜子、河岡義裕	4. 巻 49
2. 論文標題 エボラ出血熱の重症かメカニズムならびに予後予測するためのバイオマーカーの同定	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 感染・炎症・免疫	6. 最初と最後の頁 65-67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺登喜子、河岡義裕	4. 巻 74
2. 論文標題 エボラ出血熱について - エボラウイルス感染者の宿主応答解析から得られた知見 -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 最新医学	6. 最初と最後の頁 51-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Konno Y, Nagaoka S, Kimura I, Ueda MT, Kumata R, Ito J, Nakagawa S, Kobayashi T, Koyanagi Y, Sato K.	4. 巻 99(5)
2. 論文標題 A naturally occurring feline APOBEC3 variant that loses anti-lentiviral activity by lacking two amino acid residues.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of General Virology	6. 最初と最後の頁 704-709
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.001046	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kryukov K, Ueda MT, Imanishi T, Nakagawa S.	4. 巻 262
2. 論文標題 Systematic survey of non-retroviral virus-like elements in eukaryotic genomes.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Virus Research	6. 最初と最後の頁 30-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2018.02.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoriyuki Konno, Shumpei Nagaoka, Izumi Kimura, Keisuke Yamamoto, Yumiko Kagawa, Ryuichi Kumata, Hirofumi Aso, Mahoko Takahashi Ueda, So Nakagawa, Tomoko Kobayashi, Yoshio Koyanagi & Kei Sato	4. 巻 15
2. 論文標題 New World feline APOBEC3 potently controls inter-genus lentiviral transmission	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Retrovirology	6. 最初と最後の頁 31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12977-018-0414-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hirofumi Aso, Jumpei Ito, Yoshio Koyanagi & Kei Sato	4. 巻 10
2. 論文標題 Comparative description of the expression profile of interferon-stimulated genes in multiple cell lineages targeted by HIV-1 infection	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Front Microbiol	6. 最初と最後の頁 429
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2019.00429	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hyodo K, Suzuki N, Okuno T.	4. 巻 221
2. 論文標題 Hijacking a host scaffold protein, RACK1, for replication of a plant RNA virus.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 New Phytol.	6. 最初と最後の頁 935-945
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/nph.15412	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shinya T, Yasuda S, Hyodo K, Tani R, Hojo Y, Fujiwara Y, Hiruma K, Ishizaki T, Fujita Y, Saijo Y, Galis I.	4. 巻 94
2. 論文標題 Integration of danger peptide signals with herbivore-associated molecular pattern signaling amplifies anti-herbivore defense responses in rice.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Plant J.	6. 最初と最後の頁 626-637
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/tpj.13883	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakai M, Ueda S, Daito T, Asada-Utsugi M, Komatsu Y, Kinoshita A, Maki T, Kuzuya A, Takahashi R, Makino A, Tomonaga K.	4. 巻 62
2. 論文標題 Degradation of amyloid beta-peptide by neprilysin expressed from Borna disease virus vector.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Microbiol Immunol.	6. 最初と最後の頁 467-472
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1348-0421.12602.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mukai Y, Horie M, Tomonaga K.	4. 巻 80
2. 論文標題 Systematic estimation of insertion dates of endogenous bornavirus-like elements in vesper bats.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Vet Med Sci.	6. 最初と最後の頁 1356-1363.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1292/jvms.18-0211.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kojima S, Sato R, Yanai M, Komatsu Y, Horie M, Igarashi M, Tomonaga K.	4. 巻 93
2. 論文標題 Splicing-Dependent Subcellular Targeting of Borna Disease Virus Nucleoprotein Isoforms.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Virol	6. 最初と最後の頁 e01621-18.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01621-18.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomonaga K, Suzuki N, Berkhout B.	4. 巻 262
2. 論文標題 "Integration of viral sequences into eukaryotic host genomes: legacy of ancient infections".	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Virus Res.	6. 最初と最後の頁 1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2018.12.012.	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Horie M, Tomonaga K.	4. 巻 262
2. 論文標題 Paleovirology of bornaviruses: What can be learned from molecular fossils of bornaviruses.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Virus Res.	6. 最初と最後の頁 002-009
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2018.04.006.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Horie M	4. 巻 In press
2. 論文標題 Interactions among eukaryotes, retrotransposons, and riboviruses: Endogenous riboviral elements in eukaryotic genomes	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Genes Genet Syst	6. 最初と最後の頁 In press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Daniel P. Depledge, Tomohiko Sadaoka, Werner J. D. Ouwendijk	4. 巻 10
2. 論文標題 Molecular Aspects of Varicella-Zoster Virus Latency.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Viruses	6. 最初と最後の頁 349-360
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10070349	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Daniel P. Depledge, Kalanghad Puthankalam Srinivas, Tomohiko Sadaoka, Devin Bready, Yasuko Mori, Dimitris G. Placantonakis, Ian Mohr, Angus C. Wilson	4. 巻 10
2. 論文標題 Direct RNA sequencing on nanopore arrays redefines the transcriptional complexity of a viral pathogen.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 754-767
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-019-08734-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Okada T, Ogura T	4. 巻 13
2. 論文標題 Nanoscale imaging of the adhesion core including integrin beta-1 on intact living cells using scanning electron-assisted dielectric-impedance microscopy	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 PLoS ONE	6. 最初と最後の頁 e0204133
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0204133	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Senga Y, Imamura H, Ogura T, Honda S	4. 巻 91
2. 論文標題 In-Solution Microscopic Imaging of Fractal Aggregates of a Stressed Therapeutic Antibody	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Analytical Chemistry	6. 最初と最後の頁 4640-4648
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.analchem.8b05979	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 R. Sato, A. Kato, T. Chimura, S.-I. Saitoh, T. Shibata, Y. Murakami, R. Fukui, K. Liu, Y. Zhang, J. Arii, G.-H. Sun-Wada, Y. Wada, T. Ikenoue, G. N. Barber, T. Manabe, Y. Kawaguchi, and K. Miyake.	4. 巻 19
2. 論文標題 Combating herpesvirus encephalitis by potentiating a TLR3-mTORC2 axis.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Immunology	6. 最初と最後の頁 1071-1082
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41590-018-0203-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 A. Kato, S. Oda, M. Watanabe, M. Oyama, H. Kozuka-Hata, N. Koyanagi, Y. Maruzuru, J. Arii, and Y. Kawaguchi	4. 巻 92
2. 論文標題 Roles of the Phosphorylation of Herpes Simplex Virus 1 UL51 at a Specific Site in Viral Replication and Pathogenicity	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Virology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01035-18	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 N. Koyanagi, A. Kato, K. Takeshima, Y. Maruzuru, H. Kozuka-Hata, M. Oyama, J. Arii, and Y. Kawaguchi	4. 巻 92
2. 論文標題 Regulation of Herpes Simplex Virus 2 Protein Kinase UL13 by Phosphorylation and Its Role in Viral Pathogenesis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Virology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.00807-18	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 J. Arii, M. Watanabe, F. Maeda, N. Tokai-Nishizumi, T. Chihara, M. Miura, Y. Maruzuru, N. Koyanagi, A. Kato and Y. Kawaguchi	4. 巻 9
2. 論文標題 ESCRT-III mediates budding across the inner nuclear membrane and regulates its integrity	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-05889-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M	4. 巻 93
2. 論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Virol	6. 最初と最後の頁 e02130-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02130-18	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okamoto K, Miyazaki N, Reddy HKN., Hantke MF, Maia FRNC., Larsson DSD, Abergel C, Claverie JM, Hajdu J, Murata K, Svenda M	4. 巻 516
2. 論文標題 Cryo-EM structure of a Marseilleviridae virus particle reveals a large internal microassembly	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Virology	6. 最初と最後の頁 239-245
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virol.2018.01.021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Meier-Kolthoff Jan P., Uchiyama Jumpei, Yahara Hiroko, Paez-Espino David, Yahara Koji	4. 巻 8
2. 論文標題 Investigation of recombination-intense viral groups and their genes in the Earth's virome	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-29272-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fukuda T, Eitsuka T, Donai K, Kurita M, Saito T, Okamoto H, Kinoshita K, Katayama M, Nitto H, Uchida T, Onuma M, Sone H, Inoue-Murayama M, Kiyono T	4. 巻 8
2. 論文標題 Expression of human mutant cyclin dependent kinase 4, Cyclin D and telomerase extends the life span but does not immortalize fibroblasts derived from loggerhead sea turtle (Caretta caretta).	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 9229
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-27271-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshida A, Kawabata R, Honda T, Sakai K, Ami Y, Sakaguchi T, Irie T.	4. 巻 92
2. 論文標題 A Single Amino Acid Substitution within the Paramyxovirus Sendai Virus Nucleoprotein Is a Critical Determinant for Production of Interferon-Beta-Inducing Copyback-Type Defective Interfering Genomes.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Virol	6. 最初と最後の頁 e02094-17.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02094-17.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tabara M, Ohtani M, Kanekatsu M, Moriyama H, Fukuhara T	4. 巻 59
2. 論文標題 Size distribution of small interfering RNAs in various organs at different developmental stages is primarily determined by the dicing activity of Dicer-like proteins in plants	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Plant Cell Physiol	6. 最初と最後の頁 2228-2238
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/pcp/pcy144	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fukuhara T	4. 巻 55
2. 論文標題 Endornaviruses: persistent dsRNA viruses with symbiotic properties in diverse eukaryotes.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 VIRUS GENES	6. 最初と最後の頁 165-173
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11262-019-01635-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kakiyama S, Tabara M, Nishibori Y, Moriyama H, Fukuhara T.	4. 巻 in press
2. 論文標題 Long DCL4-substrate dsRNAs efficiently induce RNA interference in plant cells.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-43443-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Endo A, Nishiura H.	4. 巻 2018
2. 論文標題 The role of migration in maintaining the transmission of avian influenza in waterfowl: a multi-site multi-species transmission model along East Asian-Australian Flyway.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Canadian Journal of Infectious Diseases and Medical Microbiology	6. 最初と最後の頁 3420535(1-8).
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1155/2018/3420535	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Lee H, Kayano T, Nishiura H.	4. 巻 82
2. 論文標題 Predicting congenital rubella syndrome in Japan, 2018-2019.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Infectious Diseases	6. 最初と最後の頁 1-5.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijid.2019.02.021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shimizu K, Kinoshita R, Yoshii K, Akhmetzhanov AR, Jung SM, Lee H, Nishiura H.	4. 巻 9
2. 論文標題 An investigation of a measles outbreak in Japan and Taiwan, China, March-May 2018.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Western Pacific Surveillance and Response Journal	6. 最初と最後の頁 1-8.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5365/wpsar.2018.9.2.00	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Lee H, Nishiura H.	4. 巻 471
2. 論文標題 Sexual transmission and the probability of an end of the Ebola virus disease epidemic.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Theoretical Biology	6. 最初と最後の頁 1-12.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2019.03.022.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Munasinghe L, Asai Y, Nishiura H.	4. 巻 16
2. 論文標題 Quantifying heterogeneous contact patterns in Japan: A social contact survey.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Theoretical Biology and Medical Modelling	6. 最初と最後の頁 6-14.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12976-019-0102-8.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kayano T, Lee KD, Nishiura H.	4. 巻 2019
2. 論文標題 Estimating the force of infection with Helicobacter pylori in Japan.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Canadian Journal of Infectious Diseases and Medical Microbiology	6. 最初と最後の頁 1451490 (1-7).
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1155/2019/1451490	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kobayashi Y, Shimazu T, Murata K, Ito T, Suzuki Y.	4. 巻 262
2. 論文標題 An endogenous adeno-associated virus element in elephants	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Virus Res	6. 最初と最後の頁 10-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2018.04.015.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N.	4. 巻 20
2. 論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, <i>Rosellinia necatrix</i> : insights into evolutionary biology of fungal viruses.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Environ Microbiol	6. 最初と最後の頁 1464-1483
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1462-2920.14065	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S.	4. 巻 10
2. 論文標題 Novel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the <i>Fusarium Head Blight</i> fungus, <i>Fusarium boothii</i>	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Viruses	6. 最初と最後の頁 E584
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10110584	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shahi, S., Eusebio-Cope, A., Kondo, H., Hillman, B. I., and Suzuki, N	4. 巻 93
2. 論文標題 Investigation of host range of and host defense against a mitochondrially replicating mitovirus.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Virol	6. 最初と最後の頁 e01503-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01503-18.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Andika, I. B., Kondo, H., and Suzuki, N.	4. 巻 116
2. 論文標題 Dicer functions transcriptionally and post-transcriptionally in a multilayer antiviral defense.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 PNAS	6. 最初と最後の頁 2274-2281
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1812407116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kondo, H., Hirota, K., Maruyama, K., Andika, I. B., and Suzuki, N.	4. 巻 262
2. 論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Virus Research	6. 最初と最後の頁 37-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2017.11.020	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.	4. 巻 10
2. 論文標題 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Viruses	6. 最初と最後の頁 E481
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10090481	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sato, Y., Caston, J., and Suzuki, N.	4. 巻 33
2. 論文標題 The biological attributes, genome architecture and packaging of diverse multi-component fungal viruses.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Current Opinion in Virology	6. 最初と最後の頁 55-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.coviro.2018.07.009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Dietzgen, R., Freitas-Astua, J., Chabi-Jesus, C., Ramos-Gonzalez, P.L., Goodin, M., Kondo, H., Tassi, A.D., Kitajima, E.W.	4. 巻 102
2. 論文標題 Dichorhviruses in their host plants and mite vectors.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Advances in Virus Research	6. 最初と最後の頁 119-148
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/bs.aivir.2018.06.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kanai Y, Kawagishi T, Nouda R, Onishi M, Pannacha P, Nurdin J, Nomura K, Matsuura Y, Kobayashi T.	4. 巻 93
2. 論文標題 Development of stable rotavirus reporter expression	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Virol	6. 最初と最後の頁 e01774-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01774-18	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kanai Y, Kawagishi T, Sakai Y, Nouda R, Shimojima M, Saijo M, Matsuura Y, Kobayashi T.	4. 巻 in press
2. 論文標題 Cell-cell fusion induced by reovirus FAST proteins enhances replication and pathogenicity of non-enveloped dsRNA viruses	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Plos Pathogens	6. 最初と最後の頁 e1007675
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.ppat.1007675	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kusakabe S, Suzuki T, Sugiyama Y, Haga S, Horike K, Tokunaga M, Hirano J, He Z, Chen D, Ishiga H, Komoda Y, Ono C, Fukuhara T, Yamamoto M, Ikawa M, Satoh T, Akira S, Tanaka T, Moriishi K, Fukai M, Taketomi A, Yoshio S, Kanto T, Suzuki T, Okamoto T and Matsuura Y	4. 巻 93
2. 論文標題 USP15 participates in HCV propagation through the regulation of viral RNA translation and lipid droplet formation.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Virol	6. 最初と最後の頁 e01708-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01708-18	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Mori H, Fukuhara T, Ono C, Tamura T, Sato A, Fauzyah Y, Wada M, Okamoto T, Noda T, Yoshimori T, Matsuura Y	4. 巻 99
2. 論文標題 Induction of selective autophagy in cells replicating hepatitis C virus genome.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Gen Virol	6. 最初と最後の頁 1643-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.001161	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki T, Okamoto T, Kato H, Sugiyama Y, Kusakabe S, Tokunaga M, Hirano J, Miyata Y, Fukuhara T, Ikawa M, Satoh T, Yoshio S, Suzuki R, Saijo M, Huang DCS, Kanto T, Akira S Matsuura Y	4. 巻 14
2. 論文標題 Infection with flaviviruses requires BCLXL for cell survival.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 PLoS Pathog	6. 最初と最後の頁 e1007299
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.ppat.1007299	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tamura T, Fukuhara T, Uchida T, Ono C, Mori H, Sato A, Fauzyah Y, Okamoto T, Kurosu T, Setoh YX, Imamura M, Tautz N, Sakoda Y, Khromykh AA, Chayama K Matsuura Y	4. 巻 92
2. 論文標題 Characterization of recombinant Flaviviridae viruses possessing a small reporter tag.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Virol	6. 最初と最後の頁 e01582-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01582-17	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Torii S, Orba Y, Hang'ombe BM, Mweene AS, Wada Y, Anindita PD, Phongphaew W, Qiu Y, Kajihara M, Mori-Kajihara A, Eto Y, Harima H, Sasaki M, Carr M, Hall WW, Eshita Y, Abe T, Sawa H.	4. 巻 250
2. 論文標題 Discovery of Mwinilunga alphavirus: A novel alphavirus in Culex mosquitoes in Zambia.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Virus Res	6. 最初と最後の頁 31-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2018.04.005.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Qiu Y, Kaneko C, Kajihara M, Ngonda S, Simulundu E, Muleya W, Thu MJ, Hang'ombe MB, Katakura K, Takada A, Sawa H, Simuunza M, Nakao R	4. 巻 9(4)
2. 論文標題 Tick-borne haemoparasites and Anaplasmatidae in domestic dogs in Zambia.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Ticks and Tick-borne Diseases	6. 最初と最後の頁 988-995
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ttbdis.2018.03.025	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Anindita PD, Sasaki M, Okada K, Ito N, Sugiyama M, Saito-Tarashima N, Minakawa N, Shuto S, Otsuguro S, Ichikawa S, Matsuda A, Maenaka K, Orba Y, Sawa H	4. 巻 154
2. 論文標題 Ribavirin-related compounds exert in vitro inhibitory effects toward rabies virus.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Antiviral Research	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.antiviral.2018.03.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Matsuno K, Kajihara M, Nakao R, Nao N, Mori-Kajihara A, Muramatsu M, Qiu Y, Torii S, Igarashi M, Kasajima N, Mizuma K, Yoshii K, Sawa H, Sugimoto C, Takada A, Ebihara H	4. 巻 3(3)
2. 論文標題 The unique phylogenetic 1 position of a novel tick-borne phlebovirus ensures an ixodid origin of the genus Phlebovirus.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 mSphere	6. 最初と最後の頁 pii: e00239-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mSphere.00239-18	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Orba Y, Hangombe BM, Mweene AS, Wada Y, Anindita PD, Phongphaew W, Qiu Y, Kajihara M, Mori-Kajihara A, Eto Y, Sasaki M, Hall WW, Eshita Y, Sawa H.	4. 巻 65(4)
2. 論文標題 First isolation of West Nile virus in Zambia from mosquitoes.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Transboundry Emerging Disease	6. 最初と最後の頁 933-938
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/tbed.12888	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sasaki M, Kajihara M, Changula K, Mori-Kajihara A, Ogawa H, Hang'ombe BM, Mweene AS, Simuunza M, Yoshida R, Carr M, Orba Y, Takada A, Sawa H.	4. 巻 63
2. 論文標題 Identification of group A rotaviruses from Zambian fruit bats provides evidence for long-distance dispersal events in Africa.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Infect Genet Evol	6. 最初と最後の頁 104-109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.meegid.2018.05.016.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Matsuno K, Nonoue N, Noda A, Kasajima N, Noguchi K, Takano A, Shimoda H, Orba Y, Muramatsu M, Sakoda Y, Takada A, Minami S, Une Y, Morikawa S, Maeda K.	4. 巻 24(9)
2. 論文標題 Fatal tickborne phlebovirus infection in captive cheetahs, Japan.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Emerg Infect Dis	6. 最初と最後の頁 1726-1729
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3201/eid2409.171667	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fujiki J, Nobori H, Sato A, Sasaki M, Carr M, Hall WW, Orba Y, Sawa H	4. 巻 71(6)
2. 論文標題 Single amino acid mutation in dengue virus NS4B protein has opposing effects on viral proliferation in mammalian and mosquito cells.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Infectious Diseases	6. 最初と最後の頁 448-454
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7883/yoken.JJID.2018.107	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Torii S, Matsuno K, Qiu Y, Mori-Kajihara A, Kajihara M, Nakao R, Nao N, Okazaki K, Sashika M, Hiono T, Okamatsu M, Sakoda Y, Ebihara H, Takada A, Sawa H	4. 巻 10(2)
2. 論文標題 Infection of newly identified phleboviruses in ticks and wild animals in Hokkaido, Japan indicating tick-borne life cycles.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Ticks and Tick-borne Diseases	6. 最初と最後の頁 328-335
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ttbdis.2018.11.012	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Salim B, Amin M, Igarashi M, Ito K, Jongejan F, Katakura K, Sugimoto C, Nakao R.	4. 巻 683
2. 論文標題 Recombination and purifying and balancing selection determine the evolution of major antigenic protein 1 (map 1) family genes in Ehrlichia ruminantium.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Gene	6. 最初と最後の頁 216-224
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.gene.2018.10.028	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Thu MJ, Qiu Y, Matsuno K, Kajihara M, Mori-Kajihara A, Omori R, Monma N, Chiba K, Seto J, Gokuden M, Andoh M, Oosako H, Katakura K, Takada A, Sugimoto C, Isoda N, Nakao R	4. 巻 9(1)
2. 論文標題 Diversity of spotted fever group rickettsiae and their association with host ticks in Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 1500
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-37836-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 M. Iwamoto, W. Saso, R. Sugiyama, K. Ishii, M. Ohki, S. Nagamori, R. Suzuki, H. Aizaki, A. Ryo, J-H Yun, S-Y Park, N. Ohtani, M. Muramatsu, S. Iwami, Y. Tanaka, C. Sureau, T. Wakita and K. Watashi	4. 巻 XX
2. 論文標題 Epidermal growth factor receptor is a host entry cofactor triggering hepatitis B virus internalization	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proc. Natl. Acad. Sci. USA	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1811064116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 K. Kitagawa, T. Kuniya, S. Nakaoka, Y. Asai, K. Watashi and S. Iwami	4. 巻 XX
2. 論文標題 Mathematical analysis of a transformed ODE from a PDE multiscale model of hepatitis C virus infection	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Bulletin of Mathematical Biology	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11538-018-00564-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 SK. Behera, Y. Morioka, T. Ikeda, T. Doi, JV. Ratnam, M. Nonaka, A. Tsuzuki, C. Imai, Y. Kim, M. Hashizume, S. Iwami, P. Kruger, R. Maharaj, N. Sweijd and N. Minakawa	4. 巻 27
2. 論文標題 Malaria incidences in South Africa linked to a climate mode in southwestern Indian Ocean	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Environmental Development	6. 最初と最後の頁 47-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.envdev.2018.07.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Y. Ito, A. Tuzin, A. Remion, K. Ejima, F. Mammano and S. Iwami	4. 巻 455
2. 論文標題 Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free infection	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Theoretical Biology	6. 最初と最後の頁 39-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2018.06.025	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 S. Iwanami and S. Iwami	4. 巻 2
2. 論文標題 Quantitative immunology by data analysis using mathematical models	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Encyclopedia of Bioinformatics and Computational Biology	6. 最初と最後の頁 984-992
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/B978-0-12-809633-8.20250-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 K. Kitagawa, S. Nakaoka, Y. Asai, K. Watashi, and S. Iwami	4. 巻 448
2. 論文標題 A PDE multiscale model of hepatitis C virus infection can be transformed to a system of ODEs	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Theoretical Biology	6. 最初と最後の頁 80-85
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2018.04.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Urayama S, Takaki Y, Nunoura T, Miyamoto N	4. 巻 33
2. 論文標題 Complete genome sequence of a novel RNA virus identified from a deep-sea animal, Osedax japonicus	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Microbes and Environments	6. 最初と最後の頁 446-449
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1264/jsme2.ME18089	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Urayama S, Takaki Y, Nishi S, Yoshida-Takashima Y, Deguchi S, Takai K, Nunoura T.	4. 巻 18
2. 論文標題 Unveiling the RNA virosphere associated with marine microorganisms	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Molecular Ecology Resources	6. 最初と最後の頁 1444-1455
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1755-0998.12936	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 木村圭, 外丸裕司.	4. 巻 66
2. 論文標題 藻類ウイルスの多様性と珪藻ウイルス研究の現状.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 藻類	6. 最初と最後の頁 118-124
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamada Y, Tomaru Y, Fukuda H, Nagata T.	4. 巻 5
2. 論文標題 Aggregate formation during the viral lysis of a marine diatom.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Front Mar Sci	6. 最初と最後の頁 167-173
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmars.2018.00167	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takano Y, Tomaru Y, Nagasaki K.	4. 巻 10
2. 論文標題 Visualization of a dinoflagellate-infecting virus HcDNAV and its infection process.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Viruses	6. 最初と最後の頁 554-560
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10100554	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshida T, Nishimura Y, Watai H, Haruki N, Morimoto D, Kaneko H, Honda T, Yamamoto K, Hingamp P, Sako Y, Goto S, Ogata H.	4. 巻 12
2. 論文標題 Locality and diel cycling of viral production revealed by a 24 h time course cross-omics analysis in a coastal region of Japan.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ISME J	6. 最初と最後の頁 1287-1295
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41396-018-0052-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.	4. 巻 8
2. 論文標題 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 4486-4495
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-22239-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mihara T, Koyano H, Hingamp P, Grimsley N, Goto S, Ogata H.	4. 巻 33
2. 論文標題 Taxon richness of "Megaviridae" exceeds those of Bacteria and Archaea in the ocean.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Microbes Environ	6. 最初と最後の頁 162-171
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-22239-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ogata H.	4. 巻 33
2. 論文標題 Habitat Alterations by Viruses: Strategies by Tupanviruses and Others.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Microbes Environ	6. 最初と最後の頁 117-119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1264/jsme2.ME3302rh	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Li Y, Hingamp P, Watai H, Endo H, Yoshida T, Ogata H.	4. 巻 10
2. 論文標題 Degenerate PCR primers to reveal the diversity of giant viruses in coastal waters.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Viruses	6. 最初と最後の頁 496-511
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10090496	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Roux S, Adriaenssens EM, Dutilh BE, Koonin EV, Kropinski AM, Krupovic M, Kuhn JH, Lavigne R, Brister JR, Varsani A et al.	4. 巻 37
2. 論文標題 Minimum Information about an Uncultivated Virus Genome (MIUViG)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Biotechnology	6. 最初と最後の頁 29 ~ 37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M.	4. 巻 93
2. 論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Virol	6. 最初と最後の頁 e02130-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02130-18	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Zhao D, Liang L, Wang S, Nakao T, Li Y, Liu L, Guan Y, Fukuyama S, Bu Z, Kawaoka Y, Chen H.	4. 巻 91
2. 論文標題 Glycosylation of the HA protein of H5N1 virus increases its virulence in mice by exacerbating the host immune response.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Virol	6. 最初と最後の頁 e02215-02216
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02215-16	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ui H, Yamayoshi S, Uraki R, Kiso M, Oishi K, Murakami S, Mimori S, Kawaoka Y.	4. 巻 35
2. 論文標題 Evaluation of seasonal influenza vaccines for H1N1pdm09 and type B viruses based on a replication-incompetent PB2-K0 virus.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Vaccine	6. 最初と最後の頁 1892-1897
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.vaccine.2017.02.041	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hatta Y, Boltz D, Sarawar S, Kawaoka Y, Neumann G, Bilsel P.	4. 巻 35
2. 論文標題 M2SR, a novel live influenza vaccine, protects mice and ferrets against highly pathogenic avian influenza.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Vaccine	6. 最初と最後の頁 4177-4183
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.vaccine.2017.06.039	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Imai M, Watanabe T, Kiso M,	4. 巻 22
2. 論文標題 A Highly Pathogenic Avian H7N9 Influenza Virus Isolated from A Human Is Lethal in Some Ferrets Infected via Respiratory Droplets.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cell Host&Microbe	6. 最初と最後の頁 615-626
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.chom.2017.09.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Eisfeld AJ, Halfmann PJ, Wendler JP,	4. 巻 22
2. 論文標題 Multi-Platform 'Omics Analysis of human Ebola virus disease pathogenesis.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cell Host&Microbe	6. 最初と最後の頁 817-829
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.chom.2017.10.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kiso M, Iwatsuki-Horimoto K, Yamayoshi S, Uraki R, Ito M, Nakajima N, Yamada S, Imai M,	4. 巻 216
2. 論文標題 Emergence of Oseltamivir-Resistant H7N9 Influenza Viruses in Immunosuppressed Cynomolgus Macaques	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Infect Dis	6. 最初と最後の頁 582-593
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/infdis/jix296	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sakai-Tagawa Y, Yamayoshi S, Kawakami C, Le MQ, Uchida Y, Saito T, Nidom CA, Humaira I, Toohey-Kurth K, Arafa AS, Liu MT, Shu Y, Kawaoka Y.	4. 巻 7
2. 論文標題 Reactivity and sensitivity of commercially available influenza rapid diagnostic tests in Japan.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 14483
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-14536-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hatta M, Zhong G, Gao Y, Nakajima N, Fan S, Chiba S, Deering KM, Ito M, Imai M, Kiso M,	4. 巻 24
2. 論文標題 Characterization of a Feline Influenza A(H7N2) Virus.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Emerg Infect Dis	6. 最初と最後の頁 75-86
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3201/eid2401.171240	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kiso M, Lopes TJS, Yamayoshi S, Ito M, Yamashita M, Nakajima N, Hasegawa H, Neumann G, Kawaoka Y.	4. 巻 217
2. 論文標題 Combination Therapy with Neuraminidase and Polymerase Inhibitors in Nude Mice Infected with Influenza Virus	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Infect Dis	6. 最初と最後の頁 887-896
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/infdis/jix606.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Iwatsuki-Horimoto K, Nakajima N, Ichiko Y, Sakai-Tagawa Y, Noda T, Hasegawa H, Kawaoka Y.	4. 巻 92
2. 論文標題 Syrian hamster as an animal model for the study of human influenza virus infection.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Virol	6. 最初と最後の頁 e01693-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01693-17	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Zhong G, Le MQ, Lopes TJS, Halfmann P, Hatta M, Fan S, Neumann G, Kawaoka Y.	4. 巻 92
2. 論文標題 Mutations in the PA Protein of Avian H5N1 Influenza Viruses Affect Polymerase Activity and Mouse Virulence.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Virol	6. 最初と最後の頁 e01557-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01557-17	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yasuhara A, Yamayoshi S, Soni P, Takenaga T, Kawakami C, Takashita E, Sakai-Tagawa Y, Uraki R, Ito M, Iwatsuki-Horimoto K, Sasaki T, Ikuta K, Yamada S, Kawaoka Y.	4. 巻 7
2. 論文標題 Diversity of antigenic mutants of influenza A(H1N1)pdm09 virus escaped from human monoclonal antibodies.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 17735
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-17986-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Oishi K, Yamayoshi S, Kawaoka Y.	4. 巻 516
2. 論文標題 Identification of novel amino acid residues of influenza virus PA-X that are important for PA-X shutoff activity by using yeast.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Virology	6. 最初と最後の頁 71-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virol.2018.01.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakatsu S, Murakami S, Shindo K, Horimoto T, Sagara H, Noda T, Kawaoka Y.	4. 巻 92
2. 論文標題 Influenza C and D viruses package eight organized ribonucleoprotein complexes.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Virol	6. 最初と最後の頁 e02084-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02084-17	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Noda T, Murakami S, Nakatsu S, Imai H, Muramoto Y, Shindo K, Sagara H, Kawaoka Y.	4. 巻 9
2. 論文標題 Importance of the 1+7 configuration of ribonucleoprotein complexes for influenza A virus genome packaging.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nat Commun	6. 最初と最後の頁 54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-017-02517-w.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamayoshi S, Ito M, Uraki R, Sasaki T, Ikuta K, Kawaoka Y	4. 巻 76
2. 論文標題 Human protective monoclonal antibodies against the HA stem of group 2 HAs derived from H3N2 virus-infected humans.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Infect	6. 最初と最後の頁 177-185
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jinf.2017.12.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nanbo A, Maruyama J, Imai M, Ujie M, Fujioka Y, Nishide S, Takada A, Ohba Y, Kawaoka Y.	4. 巻 14
2. 論文標題 Ebola virus requires a host scramblase for externalization of phosphatidylserine on the surface of viral particles.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 PLoS Pathog	6. 最初と最後の頁 e1006848
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.ppat.1006848	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Maemura T, Fukuyama S, Sugita Y, Lopes TJS, Nakao T, Noda T, Kawaoka Y.	4. 巻 217
2. 論文標題 Lung-derived exosomal miR-483-3p regulates the innate immune response to influenza virus infection.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Infect Dis	6. 最初と最後の頁 1372-1382
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/infdis/jiy035	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Menachery VD, Sch?er A, Burnum-Johnson KE, Mitchell HD, Eisfeld AJ, Walters KB,	4. 巻 115
2. 論文標題 MERS-CoV and H5N1 influenza virus antagonize antigen presentation by altering the epigenetic landscape.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Proc Natl Acad Sci USA	6. 最初と最後の頁 E1012-E1021
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1706928115	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Watanabe T, Iwatsuki-Horimoto K, Kiso M, Nakajima N, Takahashi K, Jose da Silva Lopes T, Ito M, Fukuyama S, Hasegawa H,?awaoka Y.	4. 巻 8
2. 論文標題 Experimental infection of Cynomolgus Macaques with highly pathogenic H5N1 influenza virus through the aerosol route.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 4801
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-23022-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Watanabe T, Imai M, Kawaoka Y	4. 巻 114
2. 論文標題 NS1 is the fluid for "flu-transmission"	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Proc Natl Acad Sci U S A	6. 最初と最後の頁 11012-11014
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1715239114	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 J. Gohda, K. Suzuki, L. Kai, X. Xie, H. Takeuchi, J. Inoue, Y. Kawaguchi, and T. Ishida	4. 巻 8
2. 論文標題 BI-2536 and BI-6727, dual Polo-like kinase / bromodomain inhibitors, effectively reactivate latent HIV-1.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 3521
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-21942-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Y. Maruzuru, T. Ichinohe, R. Sato, K. Miyake, T. Okano, T. Suzuki, T. Koshiba, N. Koyanagi, S. Tsuda, M. Watanabe, J. Arii, A. Kato, and Y. Kawaguchi.	4. 巻 23
2. 論文標題 Herpes Simplex Virus 1 VP22 Inhibits AIM2-dependent Inflammasome Activation to Enable Efficient Viral Replication.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cell Host & Microbe	6. 最初と最後の頁 254-265
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.chom.2017.12.014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 N. Koyanagi, T. Imai, K. Shindo, A. Sato, W. Fujii, T. Ichinohe, N. Takemura, S. Kakuta, S. Uematsu, H. Kiyono, Y. Maruzuru, J. Arii, A. Kato and Y. Kawaguchi.	4. 巻 127
2. 論文標題 Herpes simplex virus-1 evasion of CD8+ T cell accumulation contributes to viral encephalitis.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 The Journal of Clinical Investigation	6. 最初と最後の頁 3784-3795
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1172/JCI92931	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Y. Inoue, T. Saga, T. Aikawa, M. Kumagai, A. Shimada, Y. Kawaguchi, K. Naruse, S. Morishita, A. Koga and H. Takeda.	4. 巻 8
2. 論文標題 OPEN Complete fusion of a transposon and herpesvirus created the Teratorn mobile element in medaka fish.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 551
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-017-00527-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 R. Kobayashi, A. Kato, H. Sagara, M. Watanabe, Y. Maruzuru, N. Koyanagi, J. Arii and Y. Kawaguchi.	4. 巻 91
2. 論文標題 Herpes Simplex Virus 1 Small Capsomere-Interacting Protein VP26 Regulates Nucleocapsid Maturation.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Virology	6. 最初と最後の頁 e01068-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01068-17	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 F. Maeda, J. Arii, Y. Hirohata, Y. Maruzuru, N. Koyanagi, A. Kato and Y. Kawaguchi.	4. 巻 91
2. 論文標題 Herpes Simplex Virus 1 UL34 Protein Regulates the Global Architecture of the Endoplasmic Reticulum in Infected Cells.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Virology	6. 最初と最後の頁 e00271-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.00271-17	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 R. Akkina, H. Ellerbrok, W. Hall, H. Hasegawa, Y. Kawaguchi, H. Kleanthous, E. McSweeney, N. Mercer, V. Romanowski, H. Sawa, A. Vahine.	4. 巻 142
2. 論文標題 2016 International meeting of the Global Virus Network.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Antiviral Research	6. 最初と最後の頁 21-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.antiviral.2017.03.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kurosaki, Y., Ueda, M.T., Nakano, Y., Yasuda, J., Koyanagi, Y., Sato, K. and Nakagawa, S.	4. 巻 99(2)
2. 論文標題 Different effects of two mutations on the infectivity of Ebola virus glycoprotein in nine mammalian species	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of General Virology	6. 最初と最後の頁 181-186
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.000999	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Konno, Y., Nagaoka, S., Kimura, I., Yamamoto, K., Kagawa, Y., Kumata, R., Aso, H., Ueda, M.T., Nakagawa, S., Kobayashi, T., Koyanagi, Y. and Sato, K.	4. 巻 15
2. 論文標題 New World feline APOBEC3 potently controls inter-genus lentiviral transmission	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Retrovirology	6. 最初と最後の頁 31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12977-018-0414-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Carr M, Gonzalez G, Sasaki M, Ito K, Ishii A, Hangombe BM, Mweene AS, Orba Y, Sawa H	4. 巻 98(4)
2. 論文標題 Discovery of African bat polyomaviruses and infrequent recombination in the large T antigen in the Polyomaviridae.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of General Virology	6. 最初と最後の頁 726-738
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.000737	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Wada Y, Orba Y, Sasaki M, Kobayashi S, Carr MJ, Nobori H, Sato A, Hall WW, Sawa H	4. 巻 505
2. 論文標題 Discovery of a novel antiviral agent targeting the nonstructural protein 4 (nsP4) of chikungunya virus.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Virology	6. 最初と最後の頁 102-112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virol.2017.02.014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Carr M, Gonzalez G, Sasaki M, Dool SE, Ito K, Ishii A, Hang'ombe BM, Mweene AS, Teeling EC, Hall WW, Orba Y, Sawa H	4. 巻 98
2. 論文標題 Identification of the same polyomavirus species in different African horseshoe bat species is indicative of short-range host-switching events	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of General Virology	6. 最初と最後の頁 2771-2785
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.000935	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sasaki M, Anindita PD, Phongphaew W, Carr M, Kobayashi S, Orba Y, Sawa H	4. 巻 23
2. 論文標題 Development of a rapid and quantitative method for the analysis of viral entry and release using a NanoLuc luciferase complementation assay.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Virus Research	6. 最初と最後の頁 69-74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2017.10.015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Wada Y, Sasaki M, Setiyono A, Handharyani E, Rahmadani I, Taha S, Adiani S, Latief M, Kholilullah ZA, Subangkit M, Kobayashi S, Nakamura I, Kimura T, Orba Y, Sawa H	4. 巻 67(3)
2. 論文標題 Detection of novel gammaherpesviruses from fruit bats in Indonesia.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Medical Microbiology	6. 最初と最後の頁 415-422
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jmm.0.000689	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Anindita Paulina D., Sasaki Michihito, Okada Kazuma, Ito Naoto, Sugiyama Makoto, Saito-Tarashima Noriko, Minakawa Noriaki, Shuto Satoshi, Otsuguro Satoko, Ichikawa Satoshi, Matsuda Akira, Maenaka Katsumi, Orba Yasuko, Sawa Hirofumi	4. 巻 154
2. 論文標題 Ribavirin-related compounds exert in vitro inhibitory effects toward rabies virus	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Antiviral Research	6. 最初と最後の頁 1~9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.antiviral.2018.03.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yoshida M, Mochizuki T, Urayama S, Yoshida-Takashima Y, Nishi S, Hirai M, Nomaki H, Takaki Y, Nunoura T, Takai K.	4. 巻 9
2. 論文標題 Quantitative viral community DNA analysis reveals the dominance of single-stranded DNA viruses in offshore upper bathyal sediment from Tohoku, Japan.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Frontiers in Microbiology	6. 最初と最後の頁 75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2018.00075	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 H. Ohashi, Y. Koizumi, K. Fukano, T. Wakita, AS. Perelson, S. Iwami_, and K. Watashi_	4. 巻 114
2. 論文標題 Reply to Padmanabhan and Dixit: Hepatitis C virus entry inhibitors for optimally boosting direct-acting antiviral-based treatments.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America	6. 最初と最後の頁 E4527-E4529
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1705234114	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 M. Mahgoub, J. Yasunaga, S. Iwami, S. Nakaoka, Y. Koizumi, K. Shimura, and M. Matsuoka	4. 巻 115
2. 論文標題 Sporadic on/off switching of HTLV-1 Tax expression is crucial to maintain the whole population of virus-induced leukemic cells	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America	6. 最初と最後の頁 E1269-E1278
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1715724115	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 E. Yamada, S. Nakaoka, L. Klein, E. Reith, S. Langer, K. Hopfensperger, S. Iwami, G. Schreiber, F. Kirchhoff, Y. Koyanagi, D. Sauter and *K. Sato	4. 巻 23
2. 論文標題 Human-specific adaptations in Vpu conferring anti-tetherin activity are critical for efficient early HIV-1 replication in vivo	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cell Host & Microbe	6. 最初と最後の頁 110-120
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.chom.2017.12.009.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Okamoto K, Miyazaki N, Reddy HKN., Hantke MF, Maia FRNC., Larsson DSD, Abergel C, Claverie JM, Hajdu J, *Murata K, Svenda M	4. 巻 516
2. 論文標題 Cryo-EM structure of a Marseilleviridae virus particle reveals a large internal microassembly	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Virology	6. 最初と最後の頁 239
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virol.2018.01.021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Okamoto K, Miyazaki N, Song C, Maia FRNC, Reddy HKN, Abergel C, Claverie J-M, Hajdu J, Svenda M, *Murata K	4. 巻 7
2. 論文標題 Structural variability and complexity of the giant Pithovirus sibericum particle revealed by high-voltage electron cryo-tomography and energy-filtered electron cryo-microscopy	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 13291
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-13390-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hyodo K., Nagai H., Okuno T.	4. 巻 512
2. 論文標題 "Dual function of a cis-acting RNA element that acts as a replication enhancer and a translation repressor in a plant positive-stranded RNA virus.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Virology	6. 最初と最後の頁 74-82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virol.2017.09.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hyodo K., Suzuki N., Mise K., Okuno T.	4. 巻 6
2. 論文標題 Roles of superoxide anion and hydrogen peroxide during replication of two unrelated plant RNA viruses in <i>Nicotiana benthamiana</i> .	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Plant Signaling & Behavior	6. 最初と最後の頁 e1338223
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/15592324.2017.1338223	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Daniel P. Depledge_, Werner J.D. Ouwendijk_, Tomohiko Sadaoka_, Shirley E. Braspenning, Yasuko Mori, Randall J. Cohrs, Georges M. G. M. Verjans, Judith Breuer (.; Joint First Author)	4. 巻 9
2. 論文標題 A spliced latency-associated VZV transcript maps antisense to the viral transactivator gene 61	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 1167
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-03569-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tomohiko Sadaoka, Cindi Schwartz, Labchan Rajbhandari, Arun Venkatesan, Jeffrey I. Cohen	4. 巻 92
2. 論文標題 Human embryonic stem cell derived neurons are highly permissive for varicella-zoster virus lytic infection	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Virology	6. 最初と最後の頁 e01108-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01108-17	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sravya Kurapati, Tomohiko Sadaoka, Labchan Rajbhandari, Balaji Jagdish, Priya Shukla, Yong Jun Kim, Gabsang Lee, Jeffrey I. Cohen, Arun Venkatesan	4. 巻 91
2. 論文標題 Role of JNK pathway in varicella-zoster virus lytic infection and reactivation	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Virology	6. 最初と最後の頁 e00640-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.00640-17	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kobayashi Y, Pybus OG, Itou T, Suzuki Y.	4. 巻 15
2. 論文標題 Conserved secondary structures predicted within the 5_ packaging signal region of influenza A virus PB2 segment	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Meta Gene	6. 最初と最後の頁 75-79
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.mgene.2017.11.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Berliner A, Mochizuki T, Stedman K	4. 巻 18
2. 論文標題 Astrovirology: Viruses at Large in the Universe	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Astrobiology	6. 最初と最後の頁 207-223
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/ast.2017.1649.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tokunaga T, Yamamoto Y, Sakai M, Tomonaga K, Honda T.	4. 巻 143
2. 論文標題 Antiviral activity of favipiravir (T-705) against mammalian and avian bornaviruses.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Antiviral Res	6. 最初と最後の頁 237-245
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.antiviral.2017.04.018	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yanai M, Sakai M, Makino A, Tomonaga K.	4. 巻 14
2. 論文標題 Dual function of the nuclear export signal of the Borna disease virus nucleoprotein in nuclear export activity and binding to viral phosphoprotein.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Virology	6. 最初と最後の頁 126
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12985-017-0793-6.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Honda T, Sofuku K, Kojima S, Yamamoto Y, Ohtaki N, Tomonaga K.	4. 巻 510
2. 論文標題 Linkage between the leader sequence and leader RNA production in Borna disease virus-infected cells.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Virology	6. 最初と最後の頁 104-110
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virology.2017.07.011.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fujino K, Yamamoto Y, Daito T, Makino A, Honda T, Tomonaga K.	4. 巻 61
2. 論文標題 Generation of a non-transmissible Borna disease virus vector lacking both matrix and glycoprotein genes.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Microbiol Immunol	6. 最初と最後の頁 380-386
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1348-0421.12505.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Honda T, Sofuku K, Matsunaga H, Tachibana M, Mohri I, Taniike M, Tomonaga K.	4. 巻 70
2. 論文標題 Detection of Antibodies against Borna Disease Virus Proteins in an Autistic Child and Her Mother.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Jpn J Infect Dis	6. 最初と最後の頁 599
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7883/yoken.JJID.2017.E001.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Parrish NF, Tomonaga K.	4. 巻 172
2. 論文標題 A Viral (Arc)hive for Metazoan Memory.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cell	6. 最初と最後の頁 8-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cell.2017.12.029.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tamura T, Fukuhara T, Uchida T, Ono C, Mori H, Sato A, Fauzyah Y, Okamoto T, Kurosu T, Setoh YX, Imamura M, Tautz N6 Sakoda Y, Khromykh AA, Chayama K, Matsuura Y.	4. 巻 92
2. 論文標題 Characterization of recombinant Flaviviridae viruses possessing a small reporter-tag.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Virol.	6. 最初と最後の頁 259-273
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01582-17	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hirano J, Okamoto T, Sugiyama Y, Suzuki T, Kusakabe S, Tokunaga M, Fukuhara T, Sasai M,	4. 巻 114
2. 論文標題 Characterization of SPP inhibitors suppressing propagation of HCV and protozoa.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Proc Natl Acad Sci U S A.	6. 最初と最後の頁 E10782
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1712484114	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okamoto T, Suzuki T, Kusakabe S, Tokunaga M, Hirano J, Miyata Y, Matsuura Y	4. 巻 9
2. 論文標題 Regulation of Apoptosis during Flavivirus Infection.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Viruses	6. 最初と最後の頁 243
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v9090243	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takasuke Fukuhara, Tomokazu Tamura, Chikako Ono, Mai Shiokawa, Hiroyuki Mori,	4. 巻 13
2. 論文標題 Host-derived apolipoproteins play comparable roles with viral secretory proteins Erns and NS1 in the infectious particle formation of Flaviviridae	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 PLoS Pathogens	6. 最初と最後の頁 e1006475
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.ppat.1006475	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ono C., Fukuhara T., Motooka D., Nakamura S., Okuzaki D., Yamamoto S., Tamura T., Mori H., Sato A., Uemura K., Fauzyah Y., Kurihara T.,	4. 巻 13
2. 論文標題 Characterization of miR-122-independent propagation of HCV	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 PLoS Pathogens	6. 最初と最後の頁 e1006374
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.ppat.1006374	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Alberti A, Poulain J, Engelen S, Labadie K, Romac S, Ferrera I, Albini G, Aury JM,	4. 巻 4
2. 論文標題 Viral to metazoan marine plankton nucleotide sequences from the Tara Oceans expedition.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sci. Data	6. 最初と最後の頁 170093
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/sdata.2017.93	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Matsui T, Yoshikawa G, Mihara T, Chatchawankanphanich O, Kawasaki T, Nakano M, Fujie M, Ogata H, Yamada T.	4. 巻 8
2. 論文標題 Replications of two closely related groups of jumbo phages show different level of dependence on host-encoded RNA polymerase.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Front. Microbiol.	6. 最初と最後の頁 1010
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2017.01010.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishimura Y, Yoshida T, Kuronishi M, Uehara H, Ogata H, Goto S.	4. 巻 33
2. 論文標題 ViPTree: the viral proteomic tree server.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Bioinformatics	6. 最初と最後の頁 2379-2380.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/bioinformatics/btx157	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishimura Y, Watai H, Honda T, Mihara T, Omae K, Roux S, Blanc-Mathieu R, Yamamoto K, Hingamp P, Sako Y, Sullivan MB, Goto S, Ogata H, Yoshida T.	4. 巻 2
2. 論文標題 Environmental viral genomes shed new light on virus-host interactions in the ocean.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 mSphere	6. 最初と最後の頁 e00359-16.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mSphere.00359-16	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kimura K, Tomaru Y.	4. 巻 79
2. 論文標題 Effects of temperature and salinity on diatom cell lysis by DNA and RNA viruses.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Aquatic Microbial Ecology	6. 最初と最後の頁 79-83.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshikawa G, Askora A, Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.	4. 巻 8
2. 論文標題 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Sci. Rep.	6. 最初と最後の頁 4486
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-22239-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Carradec Q, Pelletier E, Da Silva C, Alberti A, Seeleuthner Y, Blanc-Mathieu R, Lima-Mendez G,	4. 巻 9
2. 論文標題 A global ocean atlas of eukaryotic genes.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nat. Commun.	6. 最初と最後の頁 373
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-017-02342-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tomaru Y, Toyoda K, Kimura K.	4. 巻 805
2. 論文標題 Occurrence of the planktonic bloom-forming marine diatom <i>Chaetoceros tenuissimus</i> Meunier and its infectious viruses in western Japan.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Hydrobiologia	6. 最初と最後の頁 221-230.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10750-017-3306-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshida M, Mochizuki T, Urayama S, Yoshida-Takashima Y, Nishi S, Hirai M, Nomaki H, Takaki Y, Nunoura T, Takai K.	4. 巻 9
2. 論文標題 Quantitative viral community DNA analysis reveals the dominance of single-stranded DNA viruses in offshore upper bathyal sediment from Tohoku, Japan.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Front Microbiol.	6. 最初と最後の頁 75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2018.00075	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ogura T, Okada T	4. 巻 491
2. 論文標題 Nanoscale observation of the natural structure of milk-fat globules and casein micelles in the liquid condition using a scanning electron assisted dielectric microscopy	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Biochem. Biophys. Res. Commun.	6. 最初と最後の頁 1021-1025
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Endo A, Nishiura H	4. 巻 2018
2. 論文標題 The role of migration in maintaining the transmission of avian influenza in waterfowl: a multi-site multi-species transmission model along East Asian-Australian Flyway.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Canadian Journal of Infectious Diseases and Medical Microbiology	6. 最初と最後の頁 3420535
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1155/2018/3420535	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Wang, L., He, H., Chen, X., Qiu, D., Kondo, H.* and Guo, L.*	4. 巻 528
2. 論文標題 Evidence for a novel negative-stranded RNA mycovirus in the plant pathogenic fungus Fusarium graminearum.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Virology	6. 最初と最後の頁 232-240
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virol.2018.03.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Chiba, S., Jamal, A., and Suzuki, N.	4. 巻 9
2. 論文標題 First evidence for internal ribosomal entry sites in diverse fungal virus genomes.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 mBio	6. 最初と最後の頁 e02350-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02350-17	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N.	4. 巻 20
2. 論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, <i>Rosellinia necatrix</i> : insights into evolutionary biology of fungal viruses.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Environmental Microbiology	6. 最初と最後の頁 1464-1483
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1462-2920.14065	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nguyen, Q., Aritani, A., Ohkita, S., Vu, B. V., Yokoya, K., Matsubara, A., Ikeda, K., Suzuki, N., and Nakayashiki, H.	4. 巻 46
2. 論文標題 A fungal Argonaute interferes with RNA interference.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nucleic Acid Research	6. 最初と最後の頁 2495-2508.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/nar/gkx1301	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hillman, B. I., Aulia, A., and Suzuki, N.	4. 巻 100
2. 論文標題 Viruses of plant-interacting fungi.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Advances in Virus Research	6. 最初と最後の頁 99-116
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/bs.aivir.2017.10.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Andika IB, Wei S, Cao C, Salaipeth L, Kondo H, Sun L.	4. 巻 114
2. 論文標題 Phytopathogenic fungus hosts a plant virus: A naturally occurring cross-kingdom viral infection.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Science, U S A	6. 最初と最後の頁 12267-12272
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1714916114	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Suzuki, N.	4. 巻 83
2. 論文標題 Frontiers in Fungal Virology	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of General Plant Pathology	6. 最初と最後の頁 419-423.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10327-017-0740-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mata, C. P., Luque, D., Gomez-Blanco, J., Gonzalez-Camacho, F., Rodriguez, J. M., Gonzalez, J. M., Suzuki, N., Ghabrial, S. A., Carrascosa, J. L., and Caston J. R.	4. 巻 13
2. 論文標題 Acquisition of functions on the outer capsid surface during evolution of double-stranded RNA fungal viruses.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 PLoS Pathogens	6. 最初と最後の頁 e1006755.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.ppat.1006755.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kondo, H., Hirota, K., Maruyama, K., Andika, I. B., and Suzuki, N.	4. 巻 508
2. 論文標題 A possible occurrence of genome reassortment among bipartite rhabdoviruses.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Virology	6. 最初と最後の頁 18-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virol.2017.04.027	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Andika, I. B., Jamal, A., Kondo, H., and Suzuki, N.	4. 巻 114
2. 論文標題 SAGA complex mediates the transcriptional up-regulation of antiviral RNA silencing.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Science, U S A	6. 最初と最後の頁 E1282-E1290
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1610212114	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Julio Villena, Hisashi Aso, Victor P. Rutten, Hideki Takahashi, Willem Van Eden and Haruki Kitazawa	4. 巻 9
2. 論文標題 Immunobiotics for the bovine host: their interaction with intestinal epithelial cells and their effect on antiviral immunity.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Frontiers in Immunology	6. 最初と最後の頁 326
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2018.00326	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hideki Takahashi, Yuko Matsushita, Toyoaki Ito, Yutaka Nakai, Masami Nanzyo, Takashi Kobayashi,	4. 巻 166
2. 論文標題 Comparative analysis of microbial diversity and bacterial seedling disease-suppressive activity in organic-farmed and standardized commercial conventional soils for rice nursery cultivation.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Phytopathology	6. 最初と最後の頁 249-264
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yukiyo Sato, Shuhei Miyashita, Sugihiro Ando and Hideki Takahashi	4. 巻 100
2. 論文標題 Increased cytosine methylation at promoter of the NB-LRR class R gene RCY1 correlated with compromised resistance to cucumber mosaic virus in EMS-generated src mutants of Arabidopsis thaliana.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Physiological and Molecular Plant Pathology	6. 最初と最後の頁 151-162
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.pmpp.2017.09.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kanmani, P., Clua, P., Vizoso-Pinto, M.G., Rodriguez, C., Alvarez, S., Melnikov, V., Takahashi, H., Kitazawa, H. and Villena, J.	4. 巻 8
2. 論文標題 Respiratory commensal bacteria <i>Corynebacterium pseudodiphtheriticum</i> improves resistance of infant mice to respiratory syncytial virus and <i>Streptococcus pneumoniae</i> superinfection.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Frontiers in Microbiology	6. 最初と最後の頁 1613
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2017.01613	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Atsushi Seta, Midori Tabara, Yuki Nishibori, Akihiro Hiraguri, Naoko Ohkama-Ohtsu,	4. 巻 58
2. 論文標題 Post-translational regulation of the dicing activities of Arabidopsis DICER-LIKE 3 and 4 by inorganic phosphate and the redox state	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Plant and Cell Physiology	6. 最初と最後の頁 485-495
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hikaru Sawano, Takuma Matsuzaki, Tomoyuki Usui, Midori Tabara,	4. 巻 130
2. 論文標題 Double-stranded RNA-binding protein DRB3 negatively regulates anthocyanin biosynthesis by modulating PAP1 expression in Arabidopsis thaliana	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Plant Research	6. 最初と最後の頁 45-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10265-016-0886-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Akihito Fukudome and Toshiyuki Fukuhara	4. 巻 130
2. 論文標題 Plant Dicer-like proteins: double-stranded RNA-cleaving enzymes for small RNA biogenesis	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Plant Research	6. 最初と最後の頁 33-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10265-016-0877-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yamayoshi S, Uraki R, Ito M, Kiso M, Nakatsu S, Yasuhara A, Oishi K, Sasaki T, Ikuta K, Kawaoka Y.	4. 巻 17
2. 論文標題 A Broadly Reactive Human Anti-hemagglutinin Stem Monoclonal Antibody That Inhibits Influenza A Virus Particle Release.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 EBioMedicine	6. 最初と最後の頁 182-191
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ebiom.2017.03.007.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Iwatsuki-Horimoto K, Nakajima N, Shibata M, Takahashi K, Sato Y, Kiso M, Yamayoshi S, Ito M, Enya S, Otake M, Kangawa A, da Silva Lopes TJ, Ito H, Hasegawa H, Kawaoka Y.	4. 巻 91
2. 論文標題 The Microminipig as an Animal Model for Influenza A Virus Infection	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Virology	6. 最初と最後の頁 pii: e01716-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01716-16	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakatsu S, Sagara H, Sakai-Tagawa Y, Sugaya N, Noda T, Kawaoka Y.	4. 巻 7
2. 論文標題 Complete and Incomplete Genome Packaging of Influenza A and B Viruses	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 mBio	6. 最初と最後の頁 pii: e01248-16.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ninomiya, Y, Kawano, S.	4. 巻 10
2. 論文標題 AIC for the Lasso in generalized linear models	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Electronic Journal of Statistics	6. 最初と最後の頁 2537-2560
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fukuhara T, Yamamoto S, Ono C, Nakamura S, Motooka D, Mori H, Kurihara T, Sato A, Tamura T, Motomura T, Okamoto T, Imamura M, Ikegami T, Yoshizumi T, Soejima Y, Maehara Y, Chayama K, Matsuura Y.	4. 巻 7
2. 論文標題 Quasispecies of Hepatitis C Virus Participate in Cell-Specific Infectivity.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 45228
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep45228.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 F. Maeda, J. Arii, Y. Hirohata, Y. Maruzuru, N. Koyanagi, A. Kato and Y. Kawaguchi.	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 Herpes Simplex Virus 1 UL34 Protein Regulates the Global Architecture of the Endoplasmic Reticulum in Infected Cells.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J. Virol.	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.00271-17.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 J. Arii, K. Shindo, N. Koyanagi, A. Kato and Y. Kawaguchi.	4. 巻 90
2. 論文標題 Multiple Roles of the Cytoplasmic Domain of Herpes Simplex Virus 1 Envelope Glycoprotein D in Infected Cells.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J. Virol.	6. 最初と最後の頁 10170-10181
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01396-16	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Seta A, Tabara M, Nishibori Y, Hiraguri A, Ohkama-Ohtsu N, Yokoyama T, Hara S, Yoshida K, Hisabori T, Fukudome A, Koiwa H, Moriyama H, Takahashi N, Fukuhara T	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 Post-translational regulation of the dicing activities of Arabidopsis DICER-LIKE 3 and 4 by inorganic phosphate and the redox state	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Plant and Cell Physiology	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/pcp/pcw226.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sawano H, Matsuzaki T, Usui T, Tabara M, Fukudome A, Kanaya A, Tanoue D, Hiraguri A, Horiguchi G, Ohtani M, Demura T, Kozaki T, Ishii K, Moriyama H, Fukuhara T	4. 巻 130
2. 論文標題 Double-stranded RNA-binding protein DRB3 negatively regulates anthocyanin biosynthesis by modulating PAP1 expression in Arabidopsis thaliana	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Plant Research	6. 最初と最後の頁 45-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10265-016-0886-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fukudome A. and Fukuhara T.	4. 巻 130
2. 論文標題 Plant Dicer-like proteins: double-stranded RNA-cleaving enzymes for small RNA biogenesis	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Plant Research	6. 最初と最後の頁 33-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10265-016-0877-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsuno K, Orba Y, Maede-White K, Scott D, Feldmann F, Liang M, Ebihara H.	4. 巻 8
2. 論文標題 Animal Models of Emerging Tick-Borne Phleboviruses: Determining Target Cells in a Lethal Model of SFTSV Infection.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Front Microbiol.	6. 最初と最後の頁 104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2017.00104.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Gonzalez G, Sasaki M, Kamiya T, Burkitt-Gray L, Tsuji NM, Sawa H, Ito K.	4. 巻 7
2. 論文標題 An optimistic protein assembly from sequence reads salvaged an uncharacterized segment of mouse picobirnavirus.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 40447
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep40447.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Phongphaew W, Kobayashi S, Sasaki M, Carr M, Hall WW, Orba Y, Sawa H.	4. 巻 228
2. 論文標題 Valosin-containing protein (VCP/p97) plays a role in the replication of West Nile virus.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Virus Res.	6. 最初と最後の頁 114-123
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2016.11.029.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Carr M, Kawaguchi A, Sasaki M, Gonzalez G, Ito K, Thomas Y, Hang'ombe BM, Mweene AS, Zhao G, Wang D, Orba Y, Ishii A, Sawa H.	4. 巻 162
2. 論文標題 Isolation of a simian immunodeficiency virus from a malbrouck ( <i>Chlorocebus cynosuros</i> ).	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Arch Virol.	6. 最初と最後の頁 543-548
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00705-016-3129-8.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nakao R, Matsuno K, Qiu Y, Maruyama J, Eguchi N, Nao N, Kajihara M, Yoshii K, Sawa H, Takada A, Sugimoto C.	4. 巻 8
2. 論文標題 Putative RNA viral sequences detected in an Ixodes scapularis-derived cell line.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Ticks Tick Borne Dis.	6. 最初と最後の頁 103-111
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ttbdis.2016.10.005.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sasaki M, Orba Y, Sasaki S, Gonzalez G, Ishii A, Hang'ombe BM, Mweene AS, Ito K, Sawa H.	4. 巻 97
2. 論文標題 Multi-reassortant G3P[3] group A rotavirus in a horseshoe bat in Zambia.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Gen Virol.	6. 最初と最後の頁 2488-2493
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.000591.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nakao R, Abe T, Funayama S, Sugimoto C.	4. 巻 2016
2. 論文標題 Horizontally transferred genetic elements in the tsetse fly genome: an alignment-free clustering approach using batch learning self-organising map (BLSOM).	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 BioMed Res Int.	6. 最初と最後の頁 3164624
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1155/2016/3164624.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Arafa AS, Yamada S, Imai M, Watanabe T et al	4. 巻 6
2. 論文標題 Risk assessment of recent Egyptian H5N1 influenza viruses	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 38388
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep38388.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ping J, Lopes TJ, Neumann G, Kawaoka Y.	4. 巻 113
2. 論文標題 Development of high-yield influenza B virus vaccine viruses.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Proc Natl Acad Sci U S A.	6. 最初と最後の頁 E8296-E8305
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1616530113.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Zhao D, Liang L, Wang S, Nakao T, Li Y, Liu L, Guan Y, Fukuyama S, Bu Z, Kawaoka Y, Chen H	4. 巻 91
2. 論文標題 Glycosylation of the Hemagglutinin Protein of H5N1 Influenza Virus Increases Its Virulence in Mice by Exacerbating the Host Immune Response.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Virology	6. 最初と最後の頁 pii: e02215-16.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02215-16	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kimura K, Tomaru Y	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 Effects of temperature and salinity on diatom cell lysis by DNA and RNA viruses.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Aquatic Microbial Ecology	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3354/ame01818	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishimura Y., Yoshida T., Kuronishi M., Uehara H., Ogata H., Goto S.	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 ViPTree: the viral proteomic tree server	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Bioinformatics	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/bioinformatics/btx157.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishimura Y., Watai H., Honda T., Mihara T., Omae K., Roux S., Blanc-Mathieu R., Yamamoto K., Hingamp P., Sako Y., Sullivan M.B., Goto S., Ogata H., Yoshida T.	4. 巻 2
2. 論文標題 Environmental viral genomes shed new light on virus-host interactions in the ocean	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 mSphere	6. 最初と最後の頁 e00359-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mSphere.00359-16.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 S. Oda, J. Arii, N. Koyanagi, A. Kato, and Y. Kawaguchi.	4. 巻 90
2. 論文標題 Interaction between Herpes Simplex Virus 1 Tegument Proteins UL51 and UL14 and Its Role in Virion Morphogenesis.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Virology	6. 最初と最後の頁 8754-8767
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01258-16	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hirai Y, Hirano Y, Matsuda A, Hiraoka Y, Honda T, Tomonaga K.	4. 巻 291
2. 論文標題 Borna Disease Virus Assembles Porous Cage-like Viral Factories in the Nucleus	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 The Journal of Biological Chemistry	6. 最初と最後の頁 25789-25798
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.M116.746396	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Harima H, Sasaki M, Kajihara M, Gonzalez G, Simulundu E, Bwalya EC, Qiu Y, Okuya K, Isono M, Orba Y, Takada A, Hang'ombe BM, Mweene AS, Sawa H.	4. 巻 101(10)
2. 論文標題 Characterization of mammalian orthoreoviruses isolated from faeces of pigs in Zambia.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Gen Virol	6. 最初と最後の頁 1027-1036.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.001476.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 K.S. Kim, K. Ejima, S. Iwanami, Y. Fujita, H. Ohashi, Y. Koizumi, Y. Asai, S. Nakaoka, K. Watashi, K. Aihara, R.N. Thompson, R. Ke, A.S. Perelson‡ and S. Iwami.	4. 巻 19
2. 論文標題 A quantitative model used to compare within-host SARS-CoV-2, MERS-CoV and SARS-CoV dynamics provides insights into the pathogenesis and treatment of SARS-CoV-2	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 PLOS Biology	6. 最初と最後の頁 e3001128
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pbio.3001128	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 S. Iwanami, K. Kitagawa, H. Ohashi, Y. Asai, K. Shionoya, W. Saso, K. Nishioka, H. Inaba, S. Nakaoka, T. Wakita, O. Diekmann, S. Iwami, and K. Watashi.	4. 巻 18
2. 論文標題 Should a viral genome stay in the host cell or leave? A quantitative dynamics study of how hepatitis C virus deals with this dilemma	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 PLOS Biology	6. 最初と最後の頁 e3000562
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pbio.3000562	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 A. Kato, S. Adachi, S. Kawano, K. Takeshima, M. Watanabe, S. Kitazume, R. Sato, H. Kusano, N. Koyanagi, Y. Maruzuru, J. Arii, T. Hatta, T. Natsume, and Y. Kawaguchi.	4. 巻 11
2. 論文標題 Identification of a Herpes Simplex Virus 1 Gene Encoding Neurovirulence Factor by Chemical Proteomics.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nat. Commun.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-020-18718-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Albarracin L, Garcia-Castillo V, Masumizu Y, Indo Y, Islam MA, Suda Y, Garcia-Cancino A, Aso H, Takahashi H, Kitazawa H, Villena J	4. 巻 11
2. 論文標題 Efficient selection of new immunobiotic strains with antiviral effects in local and distal mucosal sites by using porcine intestinal epitheliocytes.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Frontiers in Immunology	6. 最初と最後の頁 Article 543
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2020.00543	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Alzhanova D, Corcoran K, Bailey AG, Long K, Taft-Benz S, Graham RL, Broussard GS, Heise M, Neumann G, Halfmann P, Kawaoka Y, Baric RS, Damania B, Dittmer DP	4. 巻 17(1)
2. 論文標題 Novel modulators of p53-signaling encoded by unknown genes of emerging viruses.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 PLoS Pathog	6. 最初と最後の頁 e1009033
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.ppat.1009033.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ando S, Jaskiewicz M, Mochizuki S, Koseki S, Miyashita S, Takahashi H, Conrath U	4. 巻 22
2. 論文標題 Priming for enhanced ARGONAUTE2 activation accompanies induced resistance to cucumber mosaic virus in Arabidopsis thaliana.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Molecular Plant Pathology	6. 最初と最後の頁 19-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/mpp.13005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Andrew Soper, Yoshio Koyanagi, Kei Sato	4. 巻 65
2. 論文標題 HIV-1 tracing method of systemic viremia in vivo using an artificially mutated virus pool	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Microbiology and Immunology	6. 最初と最後の頁 17_27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1348-0421.12862	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Arai Y, Elgendy EM, Daidoji T, Ibrahim MS, Ono T, Sriwilaijaroen N, Suzuki Y, Nakaya T, Matsumoto K, Watanabe Y	4. 巻 94
2. 論文標題 H9N2 influenza virus infections in human cells require a balance between NA sialidase activity and HA receptor affinity	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Virology	6. 最初と最後の頁 e01210-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01210-20	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Arai Y, Kawashita N, Elgendy EM, Ibrahim MS, Daidoji T, Ono T, Takagi T, Nakaya T, Matsumoto K, Watanabe Y	4. 巻 95
2. 論文標題 PA mutations inherited during viral evolution act cooperatively to increase replication of contemporary H5N1 influenza virus with an expanded host range	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Virology	6. 最初と最後の頁 e01582-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01582-20	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Arai Y, Watanabe Y	4. 巻 -
2. 論文標題 Genetic tuning of avian influenza virus host adaptation from birds to humans	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Biosafety and Health	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bsheal.2020.11.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Aramaki T, Blanc-Mathieu R, Endo H, Ohkubo K, Kanehisa M, Goto S, Ogata H	4. 巻 36
2. 論文標題 KofamKOALA: KEGG Ortholog assignment based on profile HMM and adaptive score threshold	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Bioinformatics	6. 最初と最後の頁 2251-2252
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/bioinformatics/btz859	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Arjona-Lpez, J. M., Telengech, P., Suzuki, N., and Lpez-Herrera, C.	4. 巻 125
2. 論文標題 A moderate level of hypovirulence conferred by a hypovirus in the avocado white root rot fungus, <i>Rosellinia necatrix</i> .	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Fungal Biology	6. 最初と最後の頁 69-76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.funbio.2020.10.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Arjona-Lpez, J. M., Telengech, P., Suzuki, N., and Lpez-Herrera, C.	4. 巻 158
2. 論文標題 Coinfection of <i>Rosellinia necatrix</i> by a partitivirus and a virga-like virus is associated with hypovirulence.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 European Journal of Plant Pathology	6. 最初と最後の頁 111-119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10658-020-02058-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Aulia, A., Hyodo, K., Hisano, S., Kondo, H., I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.	4. 巻 10
2. 論文標題 Identification of an RNA silencing suppressor encoded by a symptomless fungal hypovirus, <i>Cryphonectria hypovirus 4</i> .	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Biology (Basel)	6. 最初と最後の頁 100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/biology10020100	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Aulia, A., Tabara, M., Telengech, P., Fukuhara, T., and Suzuki, N.	4. 巻 1
2. 論文標題 Dicer monitoring in a model filamentous fungus host, <i>Cryphonectria parasitica</i> .	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Current Research in Virological Science	6. 最初と最後の頁 100001
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.crviro.2020.100001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Azekawa S, Namkoong H, Mitamura K, Kawaoka Y, Saito F	4. 巻 20
2. 論文標題 Co-infection with SARS-CoV-2 and influenza A virus.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 IDCases	6. 最初と最後の頁 e00775
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.idcr.2020.e00775	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Blanc-Mathieu R, Dahle H, Hofgaard A, Brandt D, Ban H, Kalinowski J, Ogata H, Sandaa RA	4. 巻 3
2. 論文標題 A persistent giant algal virus, with a unique morphology, encodes an unprecedented number of genes involved in energy metabolism.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Virol	6. 最初と最後の頁 02446-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02446-20	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Braun KM, Moreno GK, Halfmann PJ, Hodcroft EB, Baker DA, Boehm EC, Weiler AM, Haj AK, Hatta M, Chiba S, Maemura T, Kawaoka Y, Koelle K, O'Connor DH, Friedrich TC	4. 巻 17(2)
2. 論文標題 Transmission of SARS-CoV-2 in domestic cats imposes a narrow bottleneck.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 PLoS Pathog	6. 最初と最後の頁 e1009373
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.11.16.384917.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Caston, J. R., Suzuki, N., and Ghabrial, S. A.	4. 巻 4
2. 論文標題 Structure of dsRNA Mycoviruses.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Encyclopedia of Virology 4th Edition (Ed. D. Bamford & M. Zuckerman).	6. 最初と最後の頁 504-512
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/B978-0-12-809633-8.21275-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Chambaro HM, Sasaki M, Simulundu E, Silwamba I, Sinkala Y, Gonzalez G, Squarre D, Fandamu P, Lubaba CH, Munyeme M, Maseko A, Chimwewe C, Mataa L, Mooya LE, Mukubesa AN, Harima H, Samui KL, Munang'andu HM, Simuunza M, Nalubamba KS, Qiu Y, Carr MJ, Hall WW, Eshita Y, Sawa H, Orba Y.	4. 巻 12(9)
2. 論文標題 Co-Circulation of Multiple Serotypes of Bluetongue Virus in Zambia.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Viruses	6. 最初と最後の頁 963
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v12090963.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Chambaro HM, Sasaki M, Sinkala Y, Gonzalez G, Squarre D, Fandamu P, Lubaba C, Mataa L, Shawa M, Mwape KE, Gabri_S, Chembensofu M, Carr MJ, Hall WW, Qiu Y, Kajihara M, TakadaA, Orba Y, Simulundu E, Sawa H	4. 巻 67(6)
2. 論文標題 Evidence for exposure of asymptomatic domestic pigs to African Swine fever virus during an inter-epidemic period in Zambia.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Transbound Emerg Dis	6. 最初と最後の頁 2741-2752
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/tbed.13630.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 Chatanga E, Hayashida K, Muleya W, Kusakisako K, Moustafa MAM, Salim B, Katakura K, Sugimoto C, Nonaka N, Nakao R	4. 巻 9
2. 論文標題 Genetic Diversity and Sequence Polymorphism of Two Genes Encoding Theileria parva Antigens Recognized by CD8+ T Cells among Vaccinated and Unvaccinated Cattle in Malawi.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Pathogens	6. 最初と最後の頁 334
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/pathogens9050334	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Chatanga E, Kainga H, Maganga E, Hayashida K, Katakura K, Sugimoto C, Nonaka N, Nakao R	4. 巻 12
2. 論文標題 Molecular identification and genetic characterization of tick-borne pathogens in sheep and goats at two farms in the central and southern regions of Malawi.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Ticks Tick Borne Dis	6. 最初と最後の頁 101629
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ttbdis.2020.101629	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Chatanga E, Kainga H, Razemba T, Ssuna R, Swennen L, Hayashida K, Sugimoto C, Katakura K, Nonaka N, Nakao R	4. 巻 120
2. 論文標題 Molecular detection and characterization of tick-borne hemoparasites and Anaplasmataceae in dogs in major cities of Malawi.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Parasitol Res	6. 最初と最後の頁 267-276
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00436-020-06967-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Chiba S, Halfmann PJ, Hatta M, Maemura T, Fan S, Armbrust T, Swartley OM, Crawford LK, Kawaoka Y	4. 巻 27(2)
2. 論文標題 Protective Immunity and Persistent Lung Sequelae in Domestic Cats after SARS-CoV-2 Infection.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Emerg Infect Dis	6. 最初と最後の頁 660-663
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3201/eid2702.203884.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chiba Y, Oiki S, Yaguchi T, Urayama S, Hagiwara D	4. 巻 7
2. 論文標題 Discovery of divided RdRp sequences and a hitherto unknown genomic complexity in fungal viruses.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Virus evolution	6. 最初と最後の頁 veaa101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ve/veaa101	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chiba Y, Tomaru Y, Shimabukuro H, Kimura K, Hirai M, Takaki Y, Hagiwara D, Nunoura T, Urayama S	4. 巻 35
2. 論文標題 Viral RNA genomes identified from marine macroalgae and a diatom.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Microbes and environments	6. 最初と最後の頁 ME20016
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1264/jsme2.ME20016	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Das, S. and Suzuki, N.	4. 巻 4
2. 論文標題 Yado-kari virus 1 and yado-nushi virus 1 (Unassigned).	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Encyclopedia of Virology 4th Edition (Ed. D. Bamford & M. Zuckerman).	6. 最初と最後の頁 658-663
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/B978-0-12-814515-9.20949-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Duic I, Tadakuma H, Harada Y, Yamaue R, Deguchi K, Suzuki Y, Yoshimura SH, Kato H, Takeyasu K, Fujita T	4. 巻 48
2. 論文標題 Viral RNA recognition by LGP2 and MDA5, and activation of signaling through step-by-step conformational changes.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nuc. Acids Res.	6. 最初と最後の頁 11664-11674
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/nar/gkaa935	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 E Sano, S Deguchi, A Sakamoto, N Mimura, A Hirabayashi, Y Muramoto, T Noda, T Yamamoto, K Takayama	4. 巻 -
2. 論文標題 Modeling SARS-CoV-2 infection and its individual differences with ACE2-expressing human iPS cells	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 iScience	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2021.102428	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Elmour MAB, Moustafa MAM, Khogali R, Azrag RS, Alanazi AD, Kheir A, Nakao R, de Meeus T, Salim B	4. 巻 144
2. 論文標題 Distinct haplotypes and free movement of Aedes aegypti in Port Sudan, Sudan.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Appl Entomol	6. 最初と最後の頁 817_823
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jen.12816	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Endo H, Blanc-Mathieu R, Li Y, Salazar G, Henry N, Labadie K, de Vargas C, Sullivan MB, Bowler C, Wincker P, Karp-Boss L, Sunagawa S, Ogata H	4. 巻 4
2. 論文標題 Biogeography of marine giant viruses reveals their interplay with eukaryotes and ecological functions.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nat Ecol Evol	6. 最初と最後の頁 1639-1649
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41559-020-01288-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Feng H, Nakatsu S, Lopes TJDS, Imai M, Yamayoshi S, Yamashita M, Watanabe T, Kawaoka Y	4. 巻 8
2. 論文標題 Identification of Novel Adjuvants for Ebola Virus-Like Particle Vaccine.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Vaccines (Basel)	6. 最初と最後の頁 E215
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/vaccines8020215	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fukuyama S, Iwatsuki-Horimoto K, Kiso M, Nakajima N, Gregg RW, Katsura H, Tomita Y, Maemura T, da Silva Lopes TJ, Watanabe T, Shoemaker JE, Hasegawa H, Yamayoshi S, Kawaoka Y	4. 巻 222(7)
2. 論文標題 Pathogenesis of Influenza A(H7N9) Virus in Aged Nonhuman Primates.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Infect Dis	6. 最初と最後の頁 1155-1164
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/infdis/jiaa267.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Furuse Y	4. 巻 6
2. 論文標題 Identifying Potentially Beneficial Genetic Mutations Associated with Monophyletic Selective Sweep and a Proof-of-Concept Study with Viral Genetic Data	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 mSystems	6. 最初と最後の頁 e01151-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mSystems.01151-20.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Furuyama W, Reynolds P, Haddock E, Meade-White K, Le MQ, Kawaoka Y, Feldmann H, Marzi A	4. 巻 5
2. 論文標題 A single dose of a vesicular stomatitis virus-based influenza vaccine confers rapid protection against H5 viruses from different clades.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 NPJ Vaccines	6. 最初と最後の頁 4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41541-019-0155-z.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Guthmiller JJ, Stovicek O, Wang J, Changrob S, Li L, Halfmann P, Zheng NY, Utset H, Stamper CT, Dugan HL, Miller WD, Huang M, Dai YN, Nelson CA, Hall PD, Jansen M, Shanmugarajah K, Donington JS, Krammer F, Fremont DH, Joachimiak A, Kawaoka Y, Tesic V, Madariaga ML, Wilson PC	4. 巻 12(1)
2. 論文標題 SARS-CoV-2 Infection Severity Is Linked to Superior Humoral Immunity against the Spike.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 mBio	6. 最初と最後の頁 e02940-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.09.12.294066.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 H Ohashi, K Watashi, W Saso, K Shionoya, S Iwanami, T Hirokawa, T Shirai, S Kanaya, Y Ito, KS Kim, T Nomura, T Suzuki, K Nishioka, S Ando, K Ejima, Y Koizumi, T Tanaka, S Aoki, K Kuramochi, T Suzuki, T Hashiguchi, K Maenaka, T Matano, M Muramatsu, M Saijo, K Aihara, S Iwami, M Takeda, JA McKeating, T Wakita.	4. 巻 42
2. 論文標題 Potential anti-COVID-19 agents, Cepharranthine and Nelfinavir, and their usage for combination treatment	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 iScience	6. 最初と最後の頁 335-337
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2021.102367	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Halfmann PJ, Hatta M, Chiba S, Maemura T, Fan S, Takeda M, Kinoshita N, Hattori SI, Sakai-Tagawa Y, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Kawaoka Y	4. 巻 383(6)
2. 論文標題 Transmission of SARS-CoV-2 in Domestic Cats.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 N Engl J Med	6. 最初と最後の頁 592-594
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.ppat.1009373	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Harima H, Orba Y, Torii S, Qiu Y, Kajihara M, Eto Y, Matsuta N, Hang'ombe BM, Eshita Y, Uemura K, Matsuno K, Sasaki M, Yoshii K, Nakao R, Hall WW, Takada A, Abe T, Wolfinger MT, Simuunza M, Sawa H.	4. 巻 11(1)
2. 論文標題 An African tick flavivirus forming an independent clade exhibits unique exoribonuclease-resistant RNA structures in the genomic 3'-untranslated region	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 4883
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-84365-9.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hirai Y, Domae E, Yoshikawa Y, Tomonaga K.	4. 巻 168
2. 論文標題 Differential roles of two DDX17 isoforms in the formation of membraneless organelles.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Biochem.	6. 最初と最後の頁 33-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jb/mvaa023.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hirofumi Aso, Shumpei Nagaoka, Eiryu Kawakami, Jumpei Ito, Saiful Islam, Benjy Jek Yang Tan, Shinji Nakaoka, Koichi Ashizaki, Katsuyuki Shiroguchi, Yutaka Suzuki, Yorifumi Satou, Yoshio Koyanagi, Kei Sato	4. 巻 32
2. 論文標題 Multiomics investigation revealing the characteristics of HIV-1-infected cells in vivo	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cell Reports	6. 最初と最後の頁 107887
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2020.107887	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hiroko Yahara, Akimitsu Hiraki, Yutaka Maruoka, Aki Hirabayashi, Masato Suzuki, Koji Yahara	4. 巻 15(11)
2. 論文標題 Shotgun metagenome sequencing identification of a set of genes encoded by Actinomyces associated with medication-related osteonecrosis of the jaw	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 PLOS One	6. 最初と最後の頁 e0241676
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0241676	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Honda S, Eusebio-Cope A, Miyashita S, Yokoyama A, Aulia A, Shahi S, Kondo H, Suzuki N	4. 巻 11
2. 論文標題 Establishment of Neurospora crassa as a model organism for fungal virology.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nature communications	6. 最初と最後の頁 5627
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-020-19355-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hou YJ, Chiba S, Halfmann P, Ehre C, Kuroda M, Dinno KH 3rd, Leist SR, Schfer A, Nakajima N, Takahashi K, Lee RE, Mascenik TM, Graham R, Edwards CE, Tse LV, Okuda K, Markmann AJ, Bartelt L, de Silva A, Margolis DM, Boucher RC, Randell SH, Suzuki T, Gralinski LE, Kawaoka Y, Baric RS	4. 巻 370(6523)
2. 論文標題 SARS-CoV-2 D614G variant exhibits efficient replication ex vivo and transmission in vivo.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Science	6. 最初と最後の頁 1464-1468
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/science.abe8499.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Huapeng Feng, Sumiho Nakatsu, Tiago Jose da Silva Lopes, Masaki Imai, Seiya Yamayoshi, Makoto Yamashita, Tokiko Watanabe, Yoshihiro Kawaoka	4. 巻 8
2. 論文標題 Identification of novel adjuvants for ebola virus-like particle vaccine	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Vaccines	6. 最初と最後の頁 215
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/vaccines8020215	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hyodo, K., Okuno, T.	4. 巻 107
2. 論文標題 Hijacking of host cellular components as proviral factors by plant-infecting viruses.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Advances in Virus Research	6. 最初と最後の頁 37-86
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/bs.aivir.2020.04.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hyodo, K., Kaido, M.	4. 巻 4
2. 論文標題 Dianthovirus (Tombusviridae).	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Encyclopedia of Virology 4th Edition (Ed. D. Bamford & M. Zuckerman).	6. 最初と最後の頁 383-387
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/B978-0-12-809633-8.21263-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Imasato Y, Nakao R, Irie T, Kouguchi H, Yagi K, Nariaki N, Katakura K	4. 巻 81
2. 論文標題 Characterization of microRNAs expressed in the cystic legion of the liver of <i>Mus musculus</i> perorally infected with <i>Echinococcus multilocularis</i> Nemuro strain.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Parasitol Int	6. 最初と最後の頁 102247
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102247	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Inagaki T, Sato Y, Ito J, Takaki M, Okuno Y, Yaguchi M, Masud MHA, Watanabe T, Sato K, Iwami S, Murata T, Kimura H	4. 巻 11
2. 論文標題 Direct evidence of abortive lytic infection-mediated establishment of Epstein-Barr virus latency during B-cell infection	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Microbiology	6. 最初と最後の頁 575255
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.575255	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Iwamoto M, Shibata Y, Kawasaki J, Kojima S, Li YT, Iwami S, Muramatsu M, Wu HL, Wada K, Tomonaga K, Watashi K, Horie M.	4. 巻 7
2. 論文標題 Identification of novel avian and mammalian deltaviruses provides new insights into deltavirus evolution.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Virus Evol	6. 最初と最後の頁 veab003.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ve/veab003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 J. Arii, A. Fukui, Y. Shimanaka, N. Kono, H. Arai, Y. Maruzuru, N. Koyanagi, A. Kato, Y. Mori and Y. Kawaguchi.	4. 巻 94
2. 論文標題 Role of phosphatidylethanolamine biosynthesis in herpes simplex virus 1-infected cells on progeny virus morphogenesis in the cytoplasm and on viral pathogenicity in vivo.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J. Virol.	6. 最初と最後の頁 e01572-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01572-20	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 J. Arii, F. Maeda, Y. Maruzuru, N. Koyanagi, A. Kato, Y. Mori and Y. Kawaguchi.	4. 巻 10
2. 論文標題 ESCRT-III controls nuclear envelope deformation induced by progerin.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sci. Rep.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-75852-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Jumpei Ito, Izumi Kimura, Andrew Soper, Alexandre Coudray, Yoshio Koyanagi, Hirofumi Nakaoka, Ituro Inoue, Priscilla Turelli, Didier Trono, Kei Sato	4. 巻 6
2. 論文標題 Endogenous retroviruses drive KRAB zinc-finger protein family expression for tumor suppression	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Science Advances	6. 最初と最後の頁 eabc3020
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/sciadv.abc3020.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato	4. 巻 117
2. 論文標題 Retroviruses drive the rapid evolution of mammalian APOBEC3 genes	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America	6. 最初と最後の頁 610-618
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1914183116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Junna Kawasaki, Shohei Kojima, Yahiro Mukai, Keizo Tomonaga, Masayuki Horie	4. 巻 -
2. 論文標題 One hundred million years history of bornavirus infections hidden in vertebrate genomes	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.12.02.408005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 K. Ejima, Y. Koizumi, N. Yamamoto, M. Rosenberg, C. Ludema, A.I. Bento, D. Yoneoka, S. Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami.	4. 巻 -
2. 論文標題 HIV testing by public health centers and municipalities and new HIV cases during the COVID-19 pandemic in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Acquired Immune Deficiency Syndromes	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.10.16.20213959	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 K.S. Kim, T. Kondoh, Y. Asai, A. Takada, S. Iwami.	4. 巻 16
2. 論文標題 Modeling the efficiency of filovirus entry into cells in vitro: Effects of SNP mutations in the receptor molecule	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 PLOS Computational Biology	6. 最初と最後の頁 e1007612
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pcbi.1007612	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 K.S. Kim†, Y. Yamamoto, S. Nakaoka, K. Tomonaga, S. Iwami,	4. 巻 -
2. 論文標題 T. Honda. Modeling Borna disease virus in vitro spread reveals the mode of antiviral effect conferred by an endogenous bornavirus-like element	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Virology	6. 最初と最後の頁 e01204-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01204-20	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kabir MHB, Ceylan O, Ceylan C, Shehata AA, Bando H, Essa MI, Xuan X, Sevinc F, Kato K	4. 巻 79
2. 論文標題 Molecular detection of genotypes and subtypes of Cryptosporidium infection in diarrheic calves, lambs, and goat kids from Turkey.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Parasitol Int	6. 最初と最後の頁 102163
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102163	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kabir MHB, Itoh M, Shehata AA, Bando H, Fukuda Y, Murakoshi F, Fujikura A, Okawa H, Endo T, Goto A, Kachi M, Nakayama T, Kano Y, Oishi S, Otomaru K, Essa MI, Kazama K, Xuan X, Kato K	4. 巻 78
2. 論文標題 Distribution of Cryptosporidium species isolated from diarrhoeic calves in Japan.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Parasitol Int	6. 最初と最後の頁 102153
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102153	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kadono T, Tomaru Y, Suzuki K, Yamada K, Adachi M	4. 巻 -
2. 論文標題 The possibility of using marine diatom-infecting viral promoters for the engineering of marine diatoms.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Plant Science	6. 最初と最後の頁 110475
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.plantsci.2020.110475	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kadoya S, Urayama S, Nunoura T, Hirai M, Takaki Y, Kitajima M, Nakagomi T, Nakagomi O, Okabe S, Nishi-mura O, Sano D	4. 巻 94
2. 論文標題 Bottleneck size-dependent changes in the genetic diversity and specific growth rate of a Rotavirus A strain.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Virol	6. 最初と最後の頁 e02083-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02083-19	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kanai Y, Onishi M, Kawagishi T, Pimfhun P, Nurdin J, Nouda R, Yamasaki M, Tina L, Pattara K, Okitsu S, Hayakawa S, Ebina H, Ushijima H, Kobayashi T	4. 巻 95
2. 論文標題 Reverse Genetics Approach for Developing Rotavirus Vaccine Candidates Carrying VP4 and VP7 Genes Cloned from Clinical Isolates of Human Rotavirus	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Virology	6. 最初と最後の頁 e01374-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01374-20	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kaneko H, Blanc-Mathieu R, Endo H, Chaffron S, Delmont TO, Gaia M, Henry N, Hernandez-Velazquez R, Nguyen CH, Mamitsuka H, Forterre P, Jaillon O, de Vargas C, Sullivan MB, Suttle CA, Guidi L, Ogata H	4. 巻 24
2. 論文標題 Eukaryotic virus composition can predict the efficiency of carbon export in the global ocean.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 iScience	6. 最初と最後の頁 102002
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2020.102002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kato-Miyashita, S, Sakai-Tagawa Y, Yamashita M, Iwatsuki-Horimoto K, Ito M, Tokita A, Hagiwara H, Izumida N, Nishino T, Wada N, Koga M, Adachi E, Jubishi D, Yotsuyanagi H, Kawaoka Y, Imai M	4. 巻 14
2. 論文標題 Antigenic variants of influenza B viruses isolated in Japan during the 2017 2018 and 2018 2019 influenza seasons.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Influenza Other Respi Viruses	6. 最初と最後の頁 311-319
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/irv.12713	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kim KS, Yamamoto Y, Nakaoka S, Tomonaga K, Iwami S, Honda T.	4. 巻 94
2. 論文標題 Modeling Borna Disease Virus_In Vitro_Spread Reveals the Mode of Antiviral Effect Conferred by an Endogenous Bornavirus-Like Element.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Virol.	6. 最初と最後の頁 e01204-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01703-20	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Keiya Uriu, Yusuke Kosugi, Jumpei Ito, Kei Sato	4. 巻 13
2. 論文標題 The battle between viruses and APOBEC3 genes: its past and present	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Viruses	6. 最初と最後の頁 124
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v13010124	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kelava S, Mans BJ, Shao R, Moustafa MAM, Matsuno K, Takano A, Kawabata H, Sato K, Fujita H, Ze C, Plantard O, Hornok S, Gao S, Barker D, Barker SC, Nakao R	4. 巻 12
2. 論文標題 Phylogenies from mitochondrial genomes of 120 species of ticks: Insights into the evolution of the families of ticks and of the genus Amblyomma.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Ticks Tick Borne Dis	6. 最初と最後の頁 101577
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ttbdis.2020.101577	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kim KS, Yamamoto Y, Nakaoka S, Tomonaga K, Iwami S, Honda T.	4. 巻 94
2. 論文標題 Modeling Borna Disease Virus_In Vitro_Spread Reveals the Mode of Antiviral Effect Conferred by an Endogenous Bornavirus-Like Element.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Virol.	6. 最初と最後の頁 e01204-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01204-20	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kimura I, Konno Y, Uriu K, Hopfensperge K, Sauter D, Nakagawa S, Sato K	4. 巻 34
2. 論文標題 Sarbecovirus ORF6 proteins hamper the induction of interferon signaling	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cell Reports	6. 最初と最後の頁 108916
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2021.108916	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kingstad-Bakke B, Toy R, Lee W, Pradhan P, Vogel G, Marinaik CB, Larsen A, Gates D, Luu T, Pandey B, Kawaoka Y, Roy K, Suresh M	4. 巻 11
2. 論文標題 Polymeric Pathogen-Like Particles-Based Combination Adjuvants Elicit Potent Mucosal T Cell Immunity to Influenza A Virus.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Front Immunol	6. 最初と最後の頁 559382
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2020.559382	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kishimoto M, Hang'ombe BM, Hall WW, Orba Y, Sawa H, Sasaki M.	4. 巻 102(3)
2. 論文標題 Mastomys natalensis is a possible natural rodent reservoir for encephalomyocarditis virus	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Gen Virol	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.001564	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kishimoto M, Uemura K, Sanaki T, Sato A, Hall WW, Kariwa H, Orba Y, Sawa H, Sasaki M.	4. 巻 13(3)
2. 論文標題 TMPRSS11D and TMPRSS13 Activate the SARS-CoV-2 Spike Protein	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Viruses	6. 最初と最後の頁 384
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v13030384.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kiso M, Yamayoshi S, Kawaoka Y	4. 巻 3(1)
2. 論文標題 Triple combination therapy of favipiravir plus two monoclonal antibodies eradicates influenza virus from nude mice.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Commun Biol	6. 最初と最後の頁 219
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-0952-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kiso M, Yamayoshi S, Murakami J, Kawaoka Y	4. 巻 221
2. 論文標題 Baloxavir marboxil treatment of nude mice infected with influenza A virus.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Infect Dis	6. 最初と最後の頁 1699-1702
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/infdis/jiz665.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Koji Yahara, Masato Suzuki, Aki Hirabayashi, Wataru Suda, Masahira Hattori, Yutaka Suzuki, Yusuke Okazaki	4. 巻 12(
2. 論文標題 Long-read metagenomics using PromethION uncovers oral bacteriophages and their interaction with host bacteria	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-020-20199-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kojima S, Yoshikawa K, Ito J, Nakagawa S, Parrish NF, Horie M, Kawano S, Tomonaga K.	4. 巻 118
2. 論文標題 Virus-like insertions with sequence signatures similar to those of endogenous non-retroviral RNA viruses in the human genome.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America	6. 最初と最後の頁 e2010758118
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.2010758118	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kojima S, Yoshikawa K, Ito J, Nakagawa S, Parrish NF, Horie M, Kawano S, Tomonaga K.	4. 巻 118
2. 論文標題 Virus-like insertions with sequence signatures similar to those of endogenous nonretroviral RNA viruses in the human genome.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Proc Natl Acad Sci U S A.	6. 最初と最後の頁 e2010758118
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.2010758118.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Komatsu Y, Kakuya Y, Tomonaga K.	4. 巻 64
2. 論文標題 Production of high-titer transmission-defective RNA virus-based episomal vector using tangential flow filtration	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Microbiol Immunol	6. 最初と最後の頁 602-609
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1348-0421.12831.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Komatsu Y, Tanaka C, Komorizono R, Tomonaga K.	4. 巻 10
2. 論文標題 In vivo biodistribution analysis of transmission competent and defective RNA virus-based episomal vector.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 5890
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-62630-7.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Komatsu Y, Tomonaga K.	4. 巻 44
2. 論文標題 Reverse genetics approaches of Borna disease virus: applications in development of viral vectors and preventive vaccines.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Curr Opin Virol	6. 最初と最後の頁 42-48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.coviro.2020.05.011.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Komorizono R, Sassa Y, Horie M, Makino A, Tomonaga K.	4. 巻 12
2. 論文標題 Evolutionary Selection of the Nuclear Localization Signal in the Viral Nucleoprotein Leads to Host Adaptation of the Genus Orthobornavirus	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Viruses	6. 最初と最後の頁 1291
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v12111291.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kondo, H., Caston, J. R., and Suzuki, N.	4. 巻 4
2. 論文標題 Quadriviruses (Quadriviridae).	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Encyclopedia of Virology 4th Edition (Ed. D. Bamford & M. Zuckerman).	6. 最初と最後の頁 642-647
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/B978-0-12-814515-9.20948-X	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kondo, H., Fujita, M., Hisano, H., Hyodo, K., Andika I. B., and Suzuki, N.	4. 巻 11
2. 論文標題 Virome analysis of aphid populations that infest the barley field: the discovery of two novel groups of nege/kita-like viruses and other novel RNA viruses.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Frontiers in Microbiology	6. 最初と最後の頁 509
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.00509	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kong H, Burke DF, da Silva Lopes TJ, Takada K, Imai M, Zhong G, Hatta M, Fan S, Chiba S, Smith D, Neumann G, Kawaoka Y	4. 巻 12(1)
2. 論文標題 Plasticity of the Influenza Virus H5 HA Protein.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 mBio	6. 最初と最後の頁 e03324-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.03324-20.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Konno Y, Kimura I, Uriu K, Fukushi M, Irie T, Koyanagi Y, Sauter D, Gifford RJ, USFQ-COVID19 Consortium, Nakagawa S, Sato K	4. 巻 32
2. 論文標題 SARS-CoV-2 ORF3b is a potent interferon antagonist whose activity is increased by a naturally occurring elongation variant	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cell Rep	6. 最初と最後の頁 108185
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2020.108185	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kryukov, K., Ueda, M.T., Nakagawa, S. and Imanishi, T.	4. 巻 9
2. 論文標題 Sequence Compression Benchmark (SCB) database - A comprehensive evaluation of reference-free compressors for FASTA-formatted sequences	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 GigaScience	6. 最初と最後の頁 giaa072
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/gigascience/giaa072	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kuriyama K, Tabara M, Moriyama H, Kanazawa A, Koiwa H, Takahashi H, Fukuhara T	4. 巻 103
2. 論文標題 Disturbance of floral colour pattern by activation of an endogenous pararetrovirus, petunia vein clearing virus, in aged petunia plants.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Plant Journal	6. 最初と最後の頁 497-511
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/tbj.14728	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kuroda M, Halfmann P, Kawaoka Y	4. 巻 16
2. 論文標題 HER2-mediated enhancement of Ebola virus entry.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 PLoS Pathog	6. 最初と最後の頁 e1008900
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.ppat.1008900.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kuroda M, Halfmann PJ, Hill-Batorski L, Ozawa M, Lopes TJS, Neumann G, Schoggins JW, Rice CM, Kawaoka Y	4. 巻 11(1)
2. 論文標題 Identification of interferon-stimulated genes that attenuate Ebola virus infection.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nat Commun	6. 最初と最後の頁 2953
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-020-16768-7.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kuwahara T, Yamayoshi S, Noda T, Kawaoka Y	4. 巻 10
2. 論文標題 G Protein Pathway Suppressor 1 Promotes Influenza Virus Polymerase Activity by Activating the NF- B Signaling Pathway.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Mbio	6. 最初と最後の頁 e02867-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02867-19	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 M. Shibazaki, A. Kato, K. Takeshima, J. Ito, M. Suganami, N. Koyanagi, Y. Maruzuru, K. Sato and Y. Kawaguchi.	4. 巻 94
2. 論文標題 Phosphoregulation of a conserved herpesvirus tegument protein by a virally encoded protein kinase in viral pathogenicity and potential linkage between its evolution and viral phylogeny.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J. Virol.	6. 最初と最後の頁 e01055-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01055-20	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mabuchi S, Hijioka F, Watanabe T, Yanagi Y, Okuno Y, Masud MHAA, Sato Y, Murata T, Kimura H	4. 巻 13
2. 論文標題 Role of Epstein_Barr Virus C Promoter Deletion in Diffuse Large B Cell Lymphoma	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cancers	6. 最初と最後の頁 561
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/cancers13030561	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Maemura T, Fukuyama S, Kawaoka Y	4. 巻 11
2. 論文標題 High Levels of miR-483-3p Are Present in Serum Exosomes Upon Infection of Mice With Highly Pathogenic Avian Influenza Virus.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Front Microbiol	6. 最初と最後の頁 144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.00144	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Marinaik CB, Kingstad-Bakke B, Lee W, Hatta M, Sonsalla M, Larsen A, Neldner B, Gasper DJ, Kedl RM, Kawaoka Y, Suresh M	4. 巻 1
2. 論文標題 Programming Multifaceted Pulmonary T Cell Immunity by Combination Adjuvants.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cell Rep Med	6. 最初と最後の頁 100095
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.xcrm.2020.100095.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mart M, Tu n-Molina A, Achmann FL, Muramoto Y, Noda T, Takayama K, Serrano-Aroca.	4. 巻 13
2. 論文標題 Protective Face Mask Filter Capable of Inactivating SARS-CoV-2, and Methicillin-Resistant Staphylococcus aureus and Staphylococcus epidermidis.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Polymers	6. 最初と最後の頁 207
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/polym13020207.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Martinez-Sobrido L, Blanco-Lobo P, Rodriguez L, Fitzgerald T, Zhang H, et al	4. 巻 16
2. 論文標題 Characterizing Emerging Canine H3 Influenza Viruses.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 PLoS Pathog	6. 最初と最後の頁 e1008409
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.ppat.1008409	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Imai M, Iwatsuki-Horimoto K, Hatta M, Loeber S, Halfmann PJ, Nakajima N, Watanabe T, et al	4. 巻 117
2. 論文標題 Syrian hamsters as a small animal model for SARS-CoV-2 infection and countermeasure development	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America	6. 最初と最後の頁 16587-16595
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.2009799117	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Masashi Iwamoto, Yukino Shibata, Junna Kawasaki, Shohei Kojima, Yung-Tsung Li, Shingo Iwami, Masamichi Muramatsu, Hui-Lin Wu, Kazuhiro Wada, Keizo Tomonaga, Koichi Watashi, Masayuki Horie	4. 巻 7
2. 論文標題 Identification of novel avian and mammalian deltaviruses provides new insights into deltavirus evolution	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Virus Evolution	6. 最初と最後の頁 veab003
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ve/veab003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Masayuki Horie, Hiroshi Akashi, Masakado Kawata, Keizo Tomonaga	4. 巻 57
2. 論文標題 Identification of a reptile lyssavirus in Anolis allogus provided novel insights into lyssavirus evolution	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Virus Genes	6. 最初と最後の頁 40-49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11262-020-01803-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mata, C. P., Rodriguez, J. M., Suzuki, N., and Caston, J. R.	4. 巻 108
2. 論文標題 Structure and assembly of double-stranded RNA mycovirus.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Advances in Virus Research	6. 最初と最後の頁 213-247
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/bs.aivir.2020.08.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Matsunaga H, Makino A, Kato Y, Murakami T, Yamaguchi Y, Kumanogoh A, Oba Y, Fujimi S, Honda T, Tomonaga K.	4. 巻 13
2. 論文標題 Radioligand Assay-Based Detection of Antibodies against SARS-CoV-2 in Hospital Workers Treating Patients with Severe COVID-19 in Japan.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Viruses	6. 最初と最後の頁 347
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v13020347	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mitake H, Yasuhara A, Lopes TJS, Tagawa-Sakai Y, Shimizu K, Ozawa H, Kawakami C, Morikawa S, Sugaya N, Watanabe T, Kawaoka Y	4. 巻 12(2)
2. 論文標題 Comparison of the Pathogenicity in Mice of A(H1N1)pdm09 Viruses Isolated between 2009 and 2015 in Japan.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Viruses	6. 最初と最後の頁 pii: E155
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v12020155.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mitsuhashi S, Nakagawa S, Sasaki-Honda M, Sakurai H, Frith MC, Mitsuhashi H	4. 巻 -
2. 論文標題 Nanopore direct RNA sequencing detects DUX4-activated repeats and isoforms in human muscle cells	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Human Molecular Genetics	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/hmg/ddab063	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mizuno H, Arce L, Tomotsune K, Albarracin L, Funabashi R, Vera D, Islam MA, Vizoso-Pinto MG, Takahashi H, Sasaki Y, Kitazawa H, Villena J	4. 巻 11
2. 論文標題 Lipoteichoic acid is involved in the ability of the immunobiotic strain Lactobacillus plantarum CRL1506 to modulate the intestinal antiviral innate immunity triggered by TLR3 activation.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Frontiers in Immunology	6. 最初と最後の頁 Article 571
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2020.00571	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Mizuno H, Tomotsune K, Islam MA, Funabashi R, Albarracin L, Ikeda-Ohtsubo W, Aso H, Takahashi H, Kimura K, Villena J, Sasaki Y, Kitazawa H	4. 巻 11
2. 論文標題 Exopolysaccharides from Streptococcus thermophilus ST538 modulate the antiviral innate immune response in porcine intestinal epitheliocytes.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Frontiers in Microbiology	6. 最初と最後の頁 Article 894
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.00894	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Mohamed WMA, Ali AO, Mahmoud HYAH, Omar MA, Chatanga E, Salim B, Naguib D, Anders JL, Nonaka N, Moustafa MAM, Nakao R	4. 巻 10
2. 論文標題 Exploring Prokaryotic and Eukaryotic Microbiomes Helps in Detecting Tick-Borne Infectious Agents in the Blood of Camels.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Pathogens	6. 最初と最後の頁 351
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/pathogens10030351	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Moreno GK, Braun KM, Riemersma KK, Martin MA, Halfmann PJ, Crooks CM, Prall T, Baker D, Baczenas JJ, Heffron AS, Ramuta M, Khubbar M, Weiler AM, Accola MA, Rehrauer WM, O'Connor SL, Safdar N, Peppereil CS, Dasu T, Bhattacharyya S, Kawaoka Y, Koelle K, O'Connor DH, Friedrich TC	4. 巻 11
2. 論文標題 Revealing fine-scale spatiotemporal differences in SARS-CoV-2 introduction and spread.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nat Commun	6. 最初と最後の頁 5558
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-020-19346-z.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Moustafa MAM, Chel HM, Thu MJ, Bawm S, Htun LL, Win MM, Oo ZM, Ohsawa N, Lahdenper M, Mohamed WMA, Ito K, Nonaka N, Nakao R, Katakura K	4. 巻 11
2. 論文標題 Anthropogenic interferences lead to gut microbiome dysbiosis in Asian elephants and may alter adaptation processes to surrounding environments.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Sci Rep	6. 最初と最後の頁 741
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-80537-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Munke A, Kimura K, Tomaru Y, Okamoto K	4. 巻 94
2. 論文標題 Capsid structure of a marine algal virus of the order Picornvirales.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Virol	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01855-19	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murakoshi F, Bando H, Sugi T, Adeyemi OS, Nonaka M, Nakaya T, Kato K	4. 巻 14
2. 論文標題 Nullscript inhibits Cryptosporidium and Toxoplasma growth.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Int J Parasitol Drugs Drug Resist	6. 最初と最後の頁 159-166
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijpddr.2020.10.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Murakoshi F, Nakaya T, Kato K.	4. 巻 17
2. 論文標題 Detection and Epidemiological Analysis of Symbiotic Viruses from Protozoa.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Integrated Field Sci.	6. 最初と最後の頁 15-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakagawa S, Kawashima M, Miyatake Y, Kudo K, Kotaki R, Ando K, Kotani A.	4. 巻 773
2. 論文標題 Expression of ERV3-1 in leukocytes of acute myelogenous leukemia patients	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Gene	6. 最初と最後の頁 145363
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.gene.2020.145363	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakao R, Shinjo K, Sakiyama T, Ogata S, Kusakisako K, Kinoshita G, Naguib D, Chatanga E, Mohamed WMA, Moustafa MAM, Matsuno K, Ito T, Nonaka N, Sashika M, Tsubota T, Shimozuru M	4. 巻 80
2. 論文標題 Amblyomma testudinarium infestation on a brown bear (Ursus arctos yesoensis) captured in Hokkaido, a northern island of Japan.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Parasitol Int	6. 最初と最後の頁 102209
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102209	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiyama H, Endo H, Blanc-Mathieu R, Ogata H	4. 巻 8
2. 論文標題 Ecological Structuring of Temperate Bacteriophages in the Inflammatory Bowel Disease-Affected Gut.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Microorganisms	6. 最初と最後の頁 1663
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/microorganisms8111663	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Noda T	4. 巻 -
2. 論文標題 Selective Genome Packaging Mechanisms of Influenza A Viruses.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cold Spring Harb Perspect Med	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/cshperspect.a038497.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nojima S, Fujita Y, Kimura KT, Nomura N, Suno R, Morimoto K, Yamamoto M, Noda T, Iwata S, Shigematsu H, Kobayashi T.	4. 巻 29
2. 論文標題 Cryo-EM Structure of the Prostaglandin E Receptor EP4 Coupled to G Protein.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Structure	6. 最初と最後の頁 252-260
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.str.2020.11.007.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ogata S, Mohamed WMA, Kusakisako K, Thu MJ, Qiu Y, Moustafa MAM, Matsuno K, Katakura K, Nonaka N, Nakao R	4. 巻 9
2. 論文標題 Spiroplasma Infection among Ixodid Ticks Exhibits Species Dependence and Suggests a Vertical Pattern of Transmission.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Microorganisms	6. 最初と最後の頁 333
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/microorganisms9020333	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ohta M, Bannai H, Kambayashi Y, Tamura N, Tsujimura K, Yamayoshi S, Kawaoka Y, Nemoto M	4. 巻 -
2. 論文標題 Growth properties and immunogenicity of a virus generated by reverse genetics for an inactivated equine influenza vaccine.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Equine Vet J.(in press)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/evj.13431	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami T, Phuong HT, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Shkamoto S, Tanaka K, Sarki Y, Fukai S, Tokunaga F	4. 巻 3
2. 論文標題 Molecular bases for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Commun Biol	6. 最初と最後の頁 163
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-0882-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ono C, Fukuhara T, Li S, Wang J, Sato A, Izumi T, Fauzyah Y, Yamamoto T, Morioka Y, Dokholyan NV, Standley DM, Matsuura Y.A3:J3	4. 巻 16
2. 論文標題 Various miRNAs compensate the role of miR-122 on HCV replication.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 PLoS Pathog	6. 最初と最後の頁 e1008308
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.ppat.1008308. eCollection 2020 Jun.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Orba Y, Matsuno K, Nakao R, Kryukov K, Saito Y, Kawamori F, Loza Vega A, Watanabe T, Maemura T, Sasaki M, Hall WW, Hall RA, Pereira JA, Nakagawa S, Sawa H.	4. 巻 102(3)
2. 論文標題 Diverse Mosquito Specific Flaviviruses in the Bolivian Amazon basin	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Gen Virol	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.001518	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Orba, Y., Matsuno, K., Nakao, R., Kryukov, K., Saito, Y., Kawamori, F., Vega, A.L., Watanabe, T., Maemura, T., Sasaki, M., Hall, W.W., Hall, R.A., Pereira, J.A., Nakagawa, S., Sawa, H.	4. 巻 -
2. 論文標題 Diverse mosquito specific flaviviruses in the Bolivian Amazon basin.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of General Virology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.001518	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Pimfhun P, Kanai Y, Kawagishi T, Nouda R, Nurdin J, Yamasaki M, Nomura K, Tina L, Kobayashi T	4. 巻 534
2. 論文標題 Generation of recombinant rotaviruses encoding a split NanoLuc peptide tag	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Biochemical and Biophysical Research Communications	6. 最初と最後の頁 740-746
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2020.11.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Prodinger F, Endo H, Gotoh Y, Li Y, Morimoto D, Omae K, Tominaga K, Blanc-Mathieu R, Takano Y, Hayashi T, Nagasaki K, Yoshida T, Ogata H	4. 巻 8
2. 論文標題 An Optimized Metabarcoding Method for Mimiviridae.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Microorganisms	6. 最初と最後の頁 506
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/microorganisms8040506	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Qiu Y, Simuunza M, Kajihara M, Chambaro H, Harima H, Eto Y, Simulundu E, Squarre D, Torii S, Takada A, Hang ' ombe BM, Sawa H, Sugimoto C, Nakada R	4. 巻 12
2. 論文標題 Screening of tick-borne pathogens in argasid ticks in Zambia: Expansion of the geographic distribution of Rickettsia lusitaniae and Rickettsia hoogstraalii and detection of putative novel Anaplasma species.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Ticks Tick Borne Dis	6. 最初と最後の頁 101720
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ttbdis.2021.101720	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ravichandran S, Lee Y, Grubbs G, Coyle EM, Klenow L, Akasaka O, Koga M, Adachi E, Saito M, Nakachi I, Ogura T, Baba R, Ito M, Kiso M, Yasuhara A, Yamada S, Sakai-Tagawa Y, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Yamayoshi S, Yotsuyanagi H, Kawaoka Y, Khurana S	4. 巻 7(10)
2. 論文標題 Longitudinal antibody repertoire in "mild" versus "severe" COVID-19 patients reveals immune markers associated with disease severity and resolution.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Sci Adv	6. 最初と最後の頁 eabf2467
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/sciadv.abf2467.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ryuichi Kumata, Jumpei Ito, Kei Sato	4. 巻 56
2. 論文標題 Inherited chromosomally integrated HHV-6 possibly modulates human gene expression	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Virus Genes	6. 最初と最後の頁 386-389
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11262-020-01745-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ryuichi Kumata, Jumpei Ito, Kenta Takahashi, Tadaki Suzuki, Kei Sato	4. 巻 18
2. 論文標題 A tissue level atlas of the healthy human virome	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMC Biology	6. 最初と最後の頁 55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12915-020-00785-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sadeghi M, Tomaru Y, Ahola T	4. 巻 13
2. 論文標題 RNA Viruses in Aquatic Unicellular Eukaryotes.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Viruses	6. 最初と最後の頁 362
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v13030362	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Saito M, Adachi E, Yamayoshi S, Koga M, Iwatsuki-Horimoto K, Kawaoka Y, Yotsuyanagi H	4. 巻 71
2. 論文標題 Gargle lavage as a safe and sensitive alternative to swab samples to diagnose COVID-19: a case report in Japan.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Clin Infect Dis	6. 最初と最後の頁 893-894
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cid/ciaa377.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakai M, Fujita Y, Komorizono R, Kanda T, Komatsu Y, Noda T, Tomonaga K, Makino A.	4. 巻 95
2. 論文標題 Optimal Expression of the Envelope Glycoprotein of Orthobornaviruses Determines the Production of Mature Virus Particles.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Virol.	6. 最初と最後の頁 e02221-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02221-20	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sasaki M, Itakura Y, Kishimoto M, Tabata K, Uemura K, Ito N, Sugiyama M, Wastika CE, Orba Y, Sawa H.	4. 巻 -
2. 論文標題 Host serine proteases TMPRSS2 and TMPRSS11D mediate proteolytic activation and trypsin-independent infection in group A rotaviruses.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Virol	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.00398-21.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sasaki M, Uemura K, Sato A, Toba S, Sanaki T, Maenaka K, Hall WW, Orba Y, Sawa H.	4. 巻 17(1)
2. 論文標題 SARS-CoV-2 variants with mutations at the S1/S2 cleavage site are generated in vitro during propagation in TMPRSS2-deficient cells	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 PLOS Pathogens	6. 最初と最後の頁 e1009233
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.ppat.1009233	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sasaki R, Miyashita S, Ando S, Ito K, Fukuhara T, Kormelink R, Takahashi H	4. 巻 166
2. 論文標題 Complete genomic sequence of a novel phytopathogenic Burkholderia phage isolated from fallen leaf compost.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Archives of Virology	6. 最初と最後の頁 313-316
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00705-020-04811-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sasaki R, Miyashita S, Ando S, Ito K, Fukuhara T, Takahashi H	4. 巻 13
2. 論文標題 Isolation and characterization of a novel jumbo phage from leaf litter compost and its suppressive effect on rice seedling rot diseases.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Viruses	6. 最初と最後の頁 Article 591
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v13040591	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sato, Y., and Suzuki, N.	4. 巻 vol 4
2. 論文標題 Megabirnaviruses (Megabirnaviridae).	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Encyclopedia of Virology 4th Edition (Ed. D. Bamford & M. Zuckerman).	6. 最初と最後の頁 594-600
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/B978-0-12-814515-9.20947-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sato, Y., Jamal, A., Kondo, H., and Suzuki, N.	4. 巻 11
2. 論文標題 Molecular characterization of a novel polmycovirus from Penicillium janthinellum with a focus on its genome-associated PASrp.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Frontiers in Microbiology	6. 最初と最後の頁 592789
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.592789	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sato, Y., Shamsi, W., Jamal, A., Bhatti, M. F., Kondo, H., and Suzuki, N.	4. 巻 11
2. 論文標題 Hadaka virus 1: A capsidless 11-segmented (+)RNA virus from a phytopathogenic fungus <i>Fusarium oxysporum</i> .	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 mBio	6. 最初と最後の頁 e0045-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.00450-20	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Seki F, Ohishi K, Maruyama T, Takeda M	4. 巻 64
2. 論文標題 Phocine distemper virus uses phocine and other animal SLAMs as a receptor but not human SLAM.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Microbiol Immunol	6. 最初と最後の頁 578-583
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1348-0421.12788	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Seki F, Yamamoto Y, Fukuhara H, Ohishi K, Maruyama T, Maenaka K, Tokiwa H, Takeda M	4. 巻 11
2. 論文標題 Measles Virus Hemagglutinin Protein Establishes a Specific Interaction With the Extreme N-Terminal Region of Human Signaling Lymphocytic Activation Molecule to Enhance Infection.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Front Microbiol	6. 最初と最後の頁 1830
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.01830. eCollection 2020	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sha TW, Weber M, Kasumba DM, Noda T, Nakano M, Kato H, Fujita T.	4. 巻 17
2. 論文標題 Influenza A virus NS1 optimises virus infectivity by enhancing genome packaging in a dsRNA-binding dependent manner.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Virology J	6. 最初と最後の頁 107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12985-020-01357-3.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Shahi, S., Chiba, S., Kondo, H., and Suzuki, N.	4. 巻 554
2. 論文標題 Cryphonectria nitschkei chrysovirus 1 with unique molecular features and a very narrow host range.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Virology	6. 最初と最後の頁 55-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virol.2020.11.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shehata AA, Bando H, Fukuda Y, Kabir MHB, Murakoshi F, Itoh M, Fujikura A, Okawa H, Endo T, Goto A, Kachi M, Nakayama T, Kano Y, Oishi S, Otomaru K, Kazama K, Essa MI, Kato K	4. 巻 68
2. 論文標題 Development of a highly sensitive method for the detection of Cryptosporidium parvum virus type 1 (CSpV1).	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Jap J Vet Res	6. 最初と最後の頁 159-170
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14943/jjvr.68.3.159	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shinoda H, Taguchi Y, Nakagawa R, Makino A, Okazaki S, Nakano M, Muramoto Y, Takahashi C, Takahashi I, Ando J, Noda T, Nureki O, Nishimasu H, Watanabe R.	4. 巻 4
2. 論文標題 Amplification-free RNA detection with CRISPR-Cas13.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Commun Biol	6. 最初と最後の頁 476
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-021-02001-8.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shoji M, Sugimoto M, Matsuno K, Fujita Y, Mii T, Ayaki S, Takeuchi M, Yamaji S, Tanaka N, Takahashi E, Noda T, Kido H, Tokuyama T, Tokuyama T, Tokuyama T, Kuzuhara T.	4. 巻 16
2. 論文標題 A novel aqueous extract from rice fermented with Aspergillus oryzae and Saccharomyces cerevisiae possesses an anti-influenza A virus activity.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0244885
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0244885.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Simulundu E, Ndashe K, Chambaro HM, Squarre D, Reilly PM, Chitanga S, Changula K, Mukubesa AN, Ndebe J, Tembo J, Kapata N, Bates M, Sinkala Y, Hang'ombe BM, Nalubamba KS, Kajihara M, Sasaki M, Orba Y, Takada A, Sawa H.	4. 巻 6(4)
2. 論文標題 West Nile Virus in Farmed Crocodiles, Zambia, 2019	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Emerg Infect Dis	6. 最初と最後の頁 811-814,
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3201/eid2604.190954.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sun, L., Kondo, H., Andika, I. B.	4. 巻 4
2. 論文標題 Cross-Kingdom Virus Infection.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Encyclopedia of Virology 4th Edition (Ed. D. Bamford & M. Zuckerman).	6. 最初と最後の頁 443-449
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1714916114	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki Y, Tanaka A, Maeda Y, Emi A, Fujioka Y, Sakaguchi S, SG Vasudevan, Kobayashi T, CK Lim, Takasaki T, H Wu, Nakano T	4. 巻 552
2. 論文標題 Construction and characterization of an infectious clone generated from Chikungunya virus SL11131 strain	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Virology	6. 最初と最後の頁 52-62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virol.2020.09.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Suzuki, N.	4. 巻 4
2. 論文標題 An introduction to fungal viruses.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Encyclopedia of Virology 4th Edition (Ed. D. Bamford & M. Zuckerman).	6. 最初と最後の頁 431-442
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/B978-0-12-814515-9.00045-X	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki, N., Aulia, A., Shahi, S., Hillman, B. I., Cornerjo, C., Rigling, D.	4. 巻 95
2. 論文標題 In-tree behavior of diverse viruses harbored in the chestnut blight fungus, <i>Cryphonectria parasitica</i> .	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Virology	6. 最初と最後の頁 e01962-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01962-20	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 T. Guo, Z. Qiu, K. Kitagawa, S. Iwami, L. Rong.	4. 巻 509
2. 論文標題 Modeling HIV multiple infection	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Theoretical Biology	6. 最初と最後の頁 110502
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2020.110502	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 T. Inagaki, Y. Sato, J. Ito, M. Takaki, Y. Okuno, M. Yaguchi, H.M.A.A. Masud, T. Watanabe, K. Sato, S. Iwami, T. Murata, H. Kimura.	4. 巻 11
2. 論文標題 Direct evidence of abortive lytic infection-mediated establishment of Epstein-Barr virus latency during B-cell infection,	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Microbiology, 11:575255 (2021).	6. 最初と最後の頁 575255
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.575255	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 T. Oda, K.S. Kim, Y. Fujita, Y. Ito, T. Miura, S. Iwami.	4. 巻 509
2. 論文標題 Quantifying antiviral effects against simian/human immunodeficiency virus induced by host immune response Quantifying antiviral effects against simian/human immunodeficiency virus induced by host immune response	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Theoretical Biology	6. 最初と最後の頁 110493
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2020.110493	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tabara M, Koiwa H, Suzuki N, Fukuhara T.	4. 巻 -
2. 論文標題 Biochemical characterization of the dicing activity of Dicer-like 2 in the model filamentous fungus <i>Neurospora crassa</i>	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Fungal Genet Biology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.fgb.2020.103488.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Tabara M, Nagashima Y, He K, Qian X, Crosby KM, Jifon J, Jayaprakasha G, Patil B, Koiwa H, Takahashi H, Fukuhara T	4. 巻 293
2. 論文標題 Frequent asymptomatic infection with tobacco ringspot virus on melon fruit.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Virus Research	6. 最初と最後の頁 198266
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2020.198266	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Tabara, M., Koiwa, H., Suzuki, N., and Fukuhara, T.	4. 巻 146
2. 論文標題 Biochemical characterization of the dicing activity of Dicer-like 2 in the model filamentous fungus <i>Neurospora crassa</i> .	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Fungal Genetics and Biology	6. 最初と最後の頁 103488
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.fgb.2020.103488	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tada A, Islam MA, Kober AH, Fukuyama K, Takagi M, Igata M, Albarracin L, Ikeda-Ohtsubo W, Miyazawa K, Yoda K, He F, Takahashi H, Villena J, Aso H, Kitazawa H	4. 巻 21
2. 論文標題 Transcriptome modifications in the porcine intramuscular adipocytes during differentiation and exogenous stimulation with TNF- and serotonin.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Molecular Sciences	6. 最初と最後の頁 Article 638
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms21020638	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Takahashi, M, Wada, K, Takano, Y, Matsuno, K, Masuda, Y, Arai, K, Murayama, M, Tomaru, Y, Nagasaki, K	4. 巻 770
2. 論文標題 Chronological distribution of dino_agellate-infecting RNA virus in marine sediment core.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Sci Total Env	6. 最初と最後の頁 20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.scitotenv.2021.145220	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takaki Y, Takami Y, Watanabe T, Nakaya T, Murakoshi F	4. 巻 Epub 2020
2. 論文標題 Molecular identification of Cryptosporidium isolates from ill exotic pet animals in Japan including a new subtype in Cryptosporidium fayeri.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Vet Parasitol Reg Stud Reports	6. 最初と最後の頁 Epub 2020
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.vprsr.2020.100430	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takamatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S.	4. 巻 94
2. 論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Virol	6. 最初と最後の頁 e02170-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02170-19.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y	4. 巻 -
2. 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses (in press)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/irv.12854.	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takeda M, Seki F, Yamamoto Y, Nao N, Tokiwa H	4. 巻 41
2. 論文標題 Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Curr Opin Virol	6. 最初と最後の頁 38-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.coviro.2020.03.005.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takeuchi Y, Narumi R, Akiyama R, Vitiello E, Shirai T, Tanimura N, Kuromiya K, Ishikawa S, Kajita M, Tada M, Haraoka Y, Akiyama Y, Ishitani T, Fujioka Y, Ohba Y, Yamada S, Hosokawa Y, Toyama Y, Matsui T, Fujita Y	4. 巻 30
2. 論文標題 Calcium Wave Promotes Cell Extrusion	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Current Biology	6. 最初と最後の頁 670-681.e6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cub.2019.11.089	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tamada, T., Uchino, H., Kusume, T., Iketani Saito, M., Chiba, S., Andika, I. B., Kondo, H.	4. 巻 70
2. 論文標題 Pathogenetic roles of beet necrotic yellow vein virus RNA5 in the exacerbation of symptoms and yield reduction, development of scab like symptoms, and Rz1 resistance breaking in sugar beet.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Plant Pathology	6. 最初と最後の頁 219-232
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ppa.13266	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Tatsuya Kurusu, Kwang Su Kim, Yoshiki Koizumi, Shinji Nakaoka, Keisuke Ejima, Naoko Misawa, Yoshio Koyanagi, Kei Sato, Shingo Iwami	4. 巻 498
2. 論文標題 Quantifying the antiviral effect of APOBEC3 on HIV-1 infection in humanized mouse model	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Theoretical Biology	6. 最初と最後の頁 110295
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2020.110295	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Telengech, P., Hisano, S., Micheni, C. M., Hyodo, K., Arjona-Lopez, J.M., Lopez-Herrera, C., Kanematsu, S., Kondo, H., and Suzuki, N.	4. 巻 11
2. 論文標題 Diverse partitiviruses from the phytopathogenic fungus, <i>Rosellinia necatrix</i> .	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Frontiers in Microbiology	6. 最初と最後の頁 1064
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.01064	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tokiko Watanabe, Yoshihiro Kawaoka	4. 巻 -
2. 論文標題 Villains or heroes? The raison d' tre of viruses	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Clinical and Translational Immunology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cti2.1114	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomaru Y, Kimura K	4. 巻 12
2. 論文標題 Novel Protocol for Estimating Viruses Specifically Infecting the Marine Planktonic Diatoms.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Diversity	6. 最初と最後の頁 225
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/d12060225	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tomaru Y, Toyoda K, Kimura K	4. 巻 68
2. 論文標題 Previously unknown ssDNA molecules co occurring with CdebDNAV infecting the marine planktonic diatom <i>Chaetoceros debilis</i>	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Phycological Research	6. 最初と最後の頁 269-276
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pre.12435	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tomaru Y, Yamaguchi H, Miki T	4. 巻 36
2. 論文標題 Growth Rate-dependent Cell Death of Diatoms due to Viral Infection and Their Subsequent Coexistence in a Semi-continuous Culture System.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Microbes and Environments	6. 最初と最後の頁 ME20116
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1264/jsme2.ME20116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tominaga K, Morimoto D, Nishimura Y, Ogata H, Yoshida T	4. 巻 11
2. 論文標題 In silico Prediction of Virus-Host Interactions for Marine Bacteroidetes With the Use of Metagenome-Assembled Genomes.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Front Microbiol	6. 最初と最後の頁 738
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.00738	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tonetti FR, Arce L, Salva S, Alvarez S, Takahashi H, Kitazawa H, Vizoso-Pinto MG, Villena J	4. 巻 11
2. 論文標題 Immunomodulatory properties of bacterium-like particles obtained from immunobiotic Lactobacilli: Prospects for their use as mucosal adjuvants.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Frontiers in Immunology	6. 最初と最後の頁 Article 15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2020.00015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tonetti FR, Islam MA, Vizoso-Pinto MG, Takahashi H, Kitazawa H, Villena J	4. 巻 78
2. 論文標題 Nasal priming with immunobiotic lactobacilli improves the adaptive immune response against influenza virus	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Immunopharmacology	6. 最初と最後の頁 Article 106115
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.intimp.2019.106115	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Torii S, Orba Y, Sasaki M, Tabata K, Wada Y, Carr M, Hobson-Peters J, Hall RA, Takada A, Fukuhara T, Matsuura Y, Hall WW, Sawa H	4. 巻 295(23)
2. 論文標題 Host ESCRT factors are recruited during chikungunya virus infection and are required for the intracellular viral replication cycle.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Biol Chem	6. 最初と最後の頁 7941-7957
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.RA119.012303.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tsukiyama T, Zou J, Kim J, Ogamino S, Shino Y, Masuda T, Merenda A, Matsumoto M, Fujioka Y, Hirose T, Terai S, Takahashi H, Ishitani T, Nakayama K, Ohba Y, Koo BK, Hatakeyama S	4. 巻 11
2. 論文標題 A phospho-switch controls RNF43-mediated degradation of Wnt receptors to suppress tumorigenesis	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 4586
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-020-18257-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ueda, M.T., Kryukov, K., Mitsuhash, S, Mitsuhash, H, Imanishi, T, Nakagawa, S.	4. 巻 11
2. 論文標題 Comprehensive genomic analysis reveals dynamic evolution of endogenous retroviruses that code for retroviral-like protein domains.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Mobile DNA	6. 最初と最後の頁 29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13100-020-00224-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Uehara-Ichiki T, Urayama S, Hirai M, Takaki Y, Nunoura T, Fujinaga M, Hanada K	4. 巻 166
2. 論文標題 Complete genome sequence of Sikte (Sitke) waterborne virus, a member of the genus Tombusvirus.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Arch Virol	6. 最初と最後の頁 991-994
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00705-020-04949-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ueki H, Furusawa Y, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Kabata H, Nishimura H, Kawaoka Y	4. 巻 5
2. 論文標題 Effectiveness of Face Masks in Preventing Airborne Transmission of SARS-CoV-2.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 mSphere	6. 最初と最後の頁 e00637-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mSphere.00637-20.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ueki H, Wang IH, Zhao D, Gunzer M, Kawaoka Y	4. 巻 15
2. 論文標題 Multicolor two-photon imaging of in vivo cellular pathophysiology upon influenza virus infection using the two-photon IMPRESS.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nat Protoc	6. 最初と最後の頁 1041-1065
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41596-019-0275-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Urayama S, Doi N, Kondo F, Chiba Y, Takaki Y, Hirai M, Minegishi Y, Hagiwara D, Nunoura T	4. 巻 11
2. 論文標題 Diverged and active partitiviruses in lichen.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Front Microbiol	6. 最初と最後の頁 561344
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.561344	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Uwamino Y, Nagata M, Aoki W, Fujimori Y, Nakagawa T, Yokota H, Sakai-Tagawa Y, Iwatsuki-Horimoto K, Shiraki T, Uchida S, Uno S, Kabata H, Ikemura S, Kamata H, Ishii M, Fukunaga K, Kawaoka Y, Hasegawa N, Murata M	4. 巻 74(1)
2. 論文標題 Accuracy and stability of saliva as a sample for reverse transcription PCR detection of SARS-CoV-2.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Clin Pathol	6. 最初と最後の頁 67-68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/jclinpath-2020-206972	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Wang M, Fukuyama S, Kawaoka Y, Shoemaker JE	4. 巻 7
2. 論文標題 Predicting Host Immune Cell Dynamics and Key Disease-Associated Genes Using Tissue Transcriptional Profiles.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Processes	6. 最初と最後の頁 301
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/pr7050301	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Wastika CE, Harima H, Sasaki M, Hang'ombe BM, Eshita Y, Qiu Y, Hall WW, Wolfinger MT, Sawa H, Orba Y.	4. 巻 12(9)
2. 論文標題 Discoveries of Exoribonuclease-Resistant Structures of Insect-Specific Flaviviruses Isolated in Zambia.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Viruses	6. 最初と最後の頁 1017
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v12091017.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Westmark CJ, Kiso M, Halfmann P, Westmark PR, Kawaoka Y	4. 巻 8
2. 論文標題 Repurposing Fragile X Drugs to Inhibit SARS-CoV-2 Viral Reproduction.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Front Cell Dev Biol	6. 最初と最後の頁 856
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fcell.2020.00856	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Y. Kakizoe, Y. Koizumi, Y. Ikoma, H. Ohashi, T. Wakita, S. Iwami †, K. Watashi.	4. 巻 18
2. 論文標題 Required concentration index quantifies effective drug combinations against hepatitis C virus infection	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Theoretical Biology and Medical Modelling, 18(1):4 (2021) (†, ‡Equal contribution).	6. 最初と最後の頁 4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.01.09.899807	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamaguchi I, Yoshimura SH, Kato H	4. 巻 295
2. 論文標題 High cell density increases glioblastoma cell viability under glucose deprivation via degradation of the cystine/glutamate transporter xCT (SLC7A11).	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J. Biol. Chem.	6. 最初と最後の頁 6936-6945
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.RA119.012213	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto M, Kiso M, Sakai-Tagawa Y, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Takeda M, Kinoshita N, Ohmagari N, Gohda J, Semba K, Matsuda Z, Kawaguchi Y, Kawaoka Y, Inoue JI	4. 巻 12(6)
2. 論文標題 The Anticoagulant Nafamostat Potently Inhibits SARS-CoV-2 S Protein-Mediated Fusion in a Cell Fusion Assay System and Viral Infection In Vitro in a Cell-Type-Dependent Manner.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Viruses	6. 最初と最後の頁 629
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v12060629.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto Y, Nakano S, Seki F, Shigeta Y, Ito S, Tokiwa H, Takeda M	4. 巻 26
2. 論文標題 Computational Analysis Reveals a Critical Point Mutation in the N-Terminal Region of the Signaling Lymphocytic Activation Molecule Responsible for the Cross-Species Infection with Canine Distemper Virus.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Molecules	6. 最初と最後の頁 1262
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/molecules26051262	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamayoshi S, Sakai-Tagawa Y, Koga M, Akasaka O, Nakachi I, Koh H, Maeda K, Adachi E, Saito M, Nagai H, Ikeuchi K, Ogura T, Baba R, Fujita K, Fukui T, Ito F, Hattori SI, Yamamoto K, Nakamoto T, Furusawa Y, Yasuhara A, Ujie M, Yamada S, Ito M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Kawaoka Y	4. 巻 12(12)
2. 論文標題 Comparison of Rapid Antigen Tests for COVID-19.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Viruses	6. 最初と最後の頁 1420
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v12121420.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamayoshi S, Yasuhara A, Ito M, Akasaka O, Nakamura M et al	4. 巻 32
2. 論文標題 Antibody titers against SARS-CoV-2 decline, but do not disappear for several months.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 EClinicalMedicine	6. 最初と最後の頁 100734
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.eclinm.2021.100734	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yanagi Y, Okuno Y, Narita Y, Masud MHAA, Watanabe T, Sato Y, Kanda T, Kimura H, Murata T	4. 巻 557
2. 論文標題 RNAseq analysis identifies involvement of EBNA2 in PD-L1 induction during Epstein-Barr virus infection of primary B cells	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Virology	6. 最初と最後の頁 44-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virol.2021.02.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Yoriyuki Konno, Izumi Kimura, Keiia Uriu, Masaya Fukushi, Takashi Irie, Yoshio Koyanagi, Daniel Sauter, Robert J. Gifford, USFQ-COVID19 consortium, So Nakagawa, Kei Sato	4. 巻 32
2. 論文標題 SARS-CoV-2 ORF3b is a potent interferon antagonist whose activity is further increased by a naturally occurring elongation variant	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cell Reports	6. 最初と最後の頁 108185
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2020.108185	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nakano Y, Yamamoto K, Takahashi M Ueda, A et al	4. 巻 16
2. 論文標題 A role for gorilla APOBEC3G in shaping lentivirus evolution including transmission to humans	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 PLOS Pathogens	6. 最初と最後の頁 e1008812
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.ppat.1008812	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Zhang W, Watanabe R, Konishi HA, Fujiwara T, Yoshimura SH, Kumeta M.	4. 巻 33
2. 論文標題 Redox-sensitive cysteines confer proximal control of the molecular crowding barrier in the nuclear pore.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cell Rep.	6. 最初と最後の頁 108484
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2020.108	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Zhong G, Fan S, Hatta M, Nakatsu S, Walters KB, Lopes TJS, Wang JI, Ozawa M, Karasin A, Li Y, Tong S, Donis RO, Neumann G, Kawaoka Y	4. 巻 94
2. 論文標題 Mutations in the NA-like protein of bat influenza H18N11 virus enhance virus replication in mammalian cells, mice, and ferrets.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Virol	6. 最初と最後の頁 e01416-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01416-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

[学会発表] 計901件 (うち招待講演 224件 / うち国際学会 268件)

1. 発表者名 河岡義裕
2. 発表標題 Challenges in Influenza
3. 学会等名 The 2nd Joint Meeting of Veterinary Science in East Asia (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 河岡義裕
2. 発表標題 Animal Models for the development of next-generation Influenza vaccines
3. 学会等名 ISIRV Influenza Vaccine Meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 河岡義裕
2. 発表標題 Pathogens and Transmission of Negative Strand RNA Viruses
3. 学会等名 Virus and Cells Research Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 河岡義裕
2. 発表標題 A humanized MDCK cell line for the efficient isolation and propagation of human influenza viruses
3. 学会等名 Centers of Excellence for Influenza Research and Surveillance (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 河岡義裕
2. 発表標題 Working with deadly viruses: battling Ebola and Influenza
3. 学会等名 Conference of Research Workers in Animal Diseases (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tokiko Watanabe
2. 発表標題 New approaches to the development of effective influenza vaccines
3. 学会等名 The 7th International Conference & Exhibition on Influenza Vaccines for The World. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Watanabe T and Kawaoka Y
2. 発表標題 deltaVP30 vaccine for control of Ebola virus disease
3. 学会等名 BARDA Industry Day (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 河岡義裕
2. 発表標題 新興感染症-インフルエンザならびにエボラ出血熱-
3. 学会等名 第66回日本実験動物学会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 河岡義裕
2. 発表標題 新興感染症-インフルエンザならびにエボラ出血熱-
3. 学会等名 第40回阿蘇シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 河岡義裕
2. 発表標題 新興感染症-インフルエンザならびにエボラ出血熱-
3. 学会等名 第7回アフリカ開発会議 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 河岡義裕
2. 発表標題 Neo-Virology: The raison detre of viruses
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 河岡義裕
2. 発表標題 新興感染症-インフルエンザならびにエボラ出血熱-
3. 学会等名 第125回日本小児科学会甲信地方会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 植木紘史, 河岡義裕
2. 発表標題 インフルエンザウイルス感染個体における生体イメージング
3. 学会等名 第162回日本獣医学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sari Kato, Yuko Sakai-Tagawa, Yoshihiro Kawaoka, Masaki Imai.
2. 発表標題 Genetic and antigenic analyses of influenza B viruses isolated in Japan during the 201-2018 and 2018-2019 influenza seasons.
3. 学会等名 Options X for the Control of Influenza (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Iwatsuki-Horimoto K, Nakajima N, Kiso M, Takahashi K, Ito M, Inoue T, Horiuchi M, Okahara N, Sasaki E, Hasegawa H, Kawaoka Y.
2. 発表標題 The marmoset as an animal model of influenza.
3. 学会等名 Options X for the Control of Influenza. (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Iwatsuki-Horimoto K, Nakajima N, Kiso M, Takahashi K, Ito M, Inoue T, Horiuchi M, Okahara N, Sasaki E, Hasegawa H, Kawaoka Y
2. 発表標題 The marmoset as an animal model of influenza.
3. 学会等名 Asian-African Research Forum on Emerging and Reemerging Infections 2019. (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Moe Okuda, Seiya Yamayoshi, Ryuta Uraki, Mutsumi Ito, Taiki Hamabata, and Yoshihiro Kawaoka
2. 発表標題 Subclade 2.2.1-specific human monoclonal antibodies that recognize an epitope in antigenic site A of influenza A (H5) virus HA detected between 2015 and 2018
3. 学会等名 Options X for the control of Influenza (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroshi Ueki, I-Hsuan Wang, Satoshi Fukuyama, Hiroaki Katsura, Tiago Jose da Silva Lopes, Gabriele Neumann, and Yoshihiro Kawaoka
2. 発表標題 In vivo imaging of the pathophysiological changes and dynamics of immune cells in influenza virus-infected mouse lung
3. 学会等名 Focus on Microscopy 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1 . 発表者名 Hiroshi Ueki, I-Hsuan Wang, Satoshi Fukuyama, Hiroaki Katsura, Tiago Jose da Silva Lopes, Gabriele Neumann, and Yoshihiro Kawaoka
2 . 発表標題 Two-photon imaging of the in vivo dynamics of immune cells and cellular pathophysiology in influenza virus-infected lung
3 . 学会等名 17th International Congress of Immunology ( 国際学会 )
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Ujie M, Imai, M, Nakamura K, Watanabe S, Kawaoka Y
2 . 発表標題 Long-Term Cultured Human Lung Adenocarcinoma A549 Cells Show Enhanced Susceptibility to Human Influenza A Viruses
3 . 学会等名 OPTIONS X for the Control of Influenza ( 国際学会 )
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 K. Takada, C. Kawakami, S. Fan, S. Chiba, G. Zhong, C. Gu, K. Shimizu, S. Takasaki, Y. Sakai-Tagawa, T. J. S. Lopes, J. Dutta, H. van Bakel, Z. Khan, D. Kriti, S. Yamada, T. Watanabe, M. Imai, Y. Kawaoka.
2 . 発表標題 A humanized MDCK cell line for the efficient isolation and propagation of human influenza viruses.
3 . 学会等名 Options X for the control of Influenza ( 国際学会 )
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Atsuhiko Yasuhara, Seiya Yamayoshi, Maki Kiso, Yuko Sakai-Tagawa, Michiko Koga, Eisuke Adachi, Tadashi Kikuchi, I-Hsuan Wang, Shinya Yamada, and Yoshihiro Kawaoka
2 . 発表標題 Antigenic drift originating from changes to the lateral surface of the neuraminidase head of influenza A virus
3 . 学会等名 Options X for the control of Influenza ( 国際学会 )
4 . 発表年 2019年

1. 発表者名 Ito M, Yamayoshi S, Murakami K, Saito K, Motojima A, Nakaishi K, and Kawaoka Y
2. 発表標題 The antigenic change in the hemagglutinin of A(H7N9) influenza virus
3. 学会等名 Options X for the control of Influenza (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yuri Furusawa, Shinya Yamada, Tiago Jose da Silva Lopes, Jayeeta Dutta, Zenab Khan, Divya Kriti, Harm van Bakel, Yoshihiro Kawaoka
2. 発表標題 Mechanisms of deletion and stabilization of foreign gene inserted into influenza virus genome.
3. 学会等名 Options X for the Control of Influenza (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 渡辺登喜子
2. 発表標題 エボラ出血熱の制圧に向けたワクチン開発研究.
3. 学会等名 9th Negative Strand Virus-Japan
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山田晋弥、千葉志穂、安原敦洋、高田光輔、柳本周、Ryan McBride、Charli Worth、Andrew J. Thompson、Tiago J.S. Lopes、山吉誠也、James C. Paulson、河岡義裕
2. 発表標題 鶏卵での増殖過程でHAの抗原性変化を伴わないH3N2インフルエンザウイルスの作出
3. 学会等名 9th Negative Strand Virus-Japan
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 植木紘史, 河岡義裕.
2. 発表標題 インフルエンザウイルス感染肺における免疫細胞応答の生体イメージング解析
3. 学会等名 9th Negative Strand Virus-Japan
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 木曾真紀、山吉誠也、河岡義裕
2. 発表標題 ヌードマウスにおけるインフルエンザ感染と抗インフルエンザ薬及び抗体の併用効果
3. 学会等名 9th Negative Strand Virus-Japan
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yamayoshi S, Yasuhara A, Kiso M, Kawaoka Y
2. 発表標題 Human monoclonal antibodies that recognize the HA of both influenza B lineages
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Sari Kato, Yuko Sakai-Tagawa, Masaki Imai and Yoshihiro Kawaoka
2. 発表標題 Antigenic variants of influenza B viruses isolated in Japan during the 2017-2018 and 2018-2019 influenza seasons
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中川草、上田真保子
2. 発表標題 哺乳類ゲノムに存在するレトロウイルス様タンパク質をコードする配列の比較ゲノム進化解析
3. 学会等名 第42回 日本分子生物学会年会 (MBSJ2019)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松沢歩、李知英、中川草、石野（金児）知子、石野史敏
2. 発表標題 ヒトゲノムで機能を獲得したHERV由来配列の探索
3. 学会等名 第42回 日本分子生物学会年会 (MBSJ2019)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 北尾晃一、水野拓也、中川草、宮沢孝幸
2. 発表標題 イヌメラノーマで高発現する内在性レトロウイルス由来遺伝子の探索
3. 学会等名 第42回 日本分子生物学会年会 (MBSJ2019)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 今西規、中川草、木村亮介、瀧靖之、竹内光、安藤寿康
2. 発表標題 個人ゲノム情報に基づくヒト顔形状の予測
3. 学会等名 第42回 日本分子生物学会年会 (MBSJ2019)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 So Nakagawa
2. 発表標題 Massive nucleotide sequence data analysis reveals the nature of viruses
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小嶋将平、吉川剛平、伊藤潤平、中川草、堀江真行、川野秀一、朝長啓造
2. 発表標題 機械学習を用いた内在性ウイルス様配列の新規検索手法の開発
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中川草
2. 発表標題 大規模DNAシーケンス時代のウイルス進化研究
3. 学会等名 日本進化学会第21回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 上田真保子、Kirill Kryukov、三橋里美、三橋弘明、今西規、中川草
2. 発表標題 哺乳類ゲノムに存在するウイルス様タンパク質ドメインをコードする配列のダイナミックな進化
3. 学会等名 日本進化学会第21回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kryukov Kirill, Mahoko Takahashi Ueda, Tadashi Imanishi, So Nakagawa
2. 発表標題 A systematic survey of non-retroviral elements in eukaryote genomes
3. 学会等名 The Society for Molecular Biology & Evolution 2019 (SMBE2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中川草
2. 発表標題 RNAウイルスを中心とした遺伝子伝播による生物進化
3. 学会等名 RNAフロンティアミーティング2019 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 So Nakagawa
2. 発表標題 Genome-wide comparative analysis of mammalian transposable elements that code for viral-like proteins
3. 学会等名 The 3rd Korea-Japan International Symposium for Transposable Elements (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takayuki Murata, Yusuke Okuno, Yoshitaka Sato, Takahiro Watanabe, Hiroshi Kimura
2. 発表標題 Genome analysis of chronic active Epstein-Barr virus infection
3. 学会等名 The 18th Awaji International Forum on Infection and Immunity (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤好隆
2. 発表標題 Dynamic changes in the cellular environment during Epstein-Barr virus productive replication
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤好隆、村田貴之、五島典、渡辺崇広、木村宏
2. 発表標題 Exosomal transfer of viral proteins enhances Epstein-Barr virus infection
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 稲垣知希、佐藤好隆、村田貴之、渡辺崇広、五島典、木村宏
2. 発表標題 Dissecting the molecular pathogenicity of EBV-associated NK-cell lymphoma by reprogramming/differentiation approach
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高木舜晟、佐藤好隆、佐藤佳、木村宏、岩見真吾
2. 発表標題 Stress conditions promote cell-free infection of Epstein-Barr virus
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 村田貴之、肘岡史也、渡辺崇広、奥野友介、H. M. Abdullah Al Masud、柳裕介、佐藤好隆、五島典、木村宏
2. 発表標題 Role of Epstein-Barr virus C promoter deletion in B cell transformation
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 原優矢、渡辺崇広、村田貴之、H. M. Abdullah Al Masud、柳裕介、佐藤好隆、五島典、木村宏
2. 発表標題 The Epstein-Barr virus BLRF2 gene product is involved in viral progeny production
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 柳裕介、村田貴之、渡辺崇広、H. M. Abdullah Al Masud、佐藤好隆、五島典、木村宏
2. 発表標題 EBV tegument protein BSRF1 contributes to progeny virus production
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鈴木健史、佐藤好隆、奥野友介、五島典、村田貴之、渡辺崇広、木村宏
2. 発表標題 Identifying host factors for HSV ionfection by genome-wide CRISPR screen
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 五島典、江崎伸一、高野学、渡辺崇広、佐藤好隆、村田貴之、西山幸廣、木村宏
2. 発表標題 Induction of antitumor immunity of oncolytic HSV-1 HF10 for metastatic breast cancer
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高野学、江崎伸一、五島典、渡辺崇広、佐藤好隆、村田貴之、西山幸廣、木村宏
2. 発表標題 The efficacy of oncolytic HSV-1 HF10 for head and neck carcinoma mouse model
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 梅田実希、佐藤好隆、木村宏、大黒徹
2. 発表標題 CDK inhibitors that control late gene transcription of Epstein-Barr virus also suppress the transcription of HCMV
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 矢口正宏、佐藤好隆、村田貴之、渡辺崇広、五島典、木村宏
2. 発表標題 ウイルス感染細胞から放出される内因性微粒子によるウイルス感染の促進
3. 学会等名 第16回EBウイルス研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鈴木健史、佐藤好隆、奥野友介、渡辺崇広、五島典、木村宏
2. 発表標題 CRISPR screenを用いたHSV-1感染に必要な宿主因子の網羅的解析
3. 学会等名 第33回ヘルペスウイルス研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 稲垣知希、佐藤好隆、村田貴之、五島典、渡辺崇広、堀田秋津、木村宏
2. 発表標題 iPS細胞を用いたEBV関連NK細胞性腫瘍の病態解明
3. 学会等名 第33回ヘルペスウイルス研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤好隆、稲垣知希、奥野友介、鈴木健史、村田貴之、H. M. Abdullah Al Masud、渡辺崇広、五島典、木村宏
2. 発表標題 Epstein-Barrウイルスの再活性化に関わる分子基盤に迫るCRISPRスクリーニング
3. 学会等名 第33回ヘルペスウイルス研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤好隆、渡辺崇広、木村宏
2. 発表標題 ウイルス遺伝子発現制御機構に基づいた抗Epstein-Barrウイルス薬の探索
3. 学会等名 第60回臨床ウイルス学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kei Sato
2. 発表標題 Human-specific adaptations in Vpu conferring anti-tetherin activity are critical for efficient early HIV-1 replication in vivo
3. 学会等名 Highlights in Basic and Clinical Research in HIV/AIDS, Madrid (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hirofumi Aso, Jumpei Ito, Yoshio Koyanagi, Kei Sato
2. 発表標題 Transcriptomic meta-analysis of interferon-stimulated genes in multiple cell lineages targeted by HIV-1 infection
3. 学会等名 17th International Student Seminar in Kyoto University
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ryuichi Kumata, Yusuke Kakizoe, Naoko Misawa, Shingo Iwami, Kei Sato, Yoshio Koyanagi
2. 発表標題 Characterization of the effect of IFN- $\beta$ on two modes of HIV-1 infection by virological-experimental investigation
3. 学会等名 17th International Student Seminar in Kyoto University
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ryuichi Kumata, Yusuke Kakizoe, Naoko Misawa, Shingo Iwami, Yoshio Koyanagi, Kei Sato
2. 発表標題 The conflicting effects of IFN- $\alpha$ on two modes of HIV-1 infection
3. 学会等名 第18回東京大学生命科学シンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Jumpei Ito, Robert J Gifford, Kei Sato
2. 発表標題 Evolutionary conflict of endogenous retroviruses and APOBEC3 family genes in mammals
3. 学会等名 Cold Spring Harbor Laboratory Meeting on Retroviruses (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 熊田隆一, 柿添友輔, 三沢尚子, 岩見真吾, 小柳義夫, 佐藤佳
2. 発表標題 HIV-1の2つの感染様式に作用するIFN- $\lambda$ の相反的効果
3. 学会等名 第16回ウイルス学キャンプ
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 柴崎美里, 加藤哲久, 伊東潤平, 菅波麻衣, 竹島功高, 丸鶴雄平, 小柳直人, 有井潤, 佐藤佳, 川口寧
2. 発表標題 UL7リン酸化制御機構の獲得とヘルペスウイルス亜科の進化
3. 学会等名 第33回ヘルペスウイルス研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 長岡峻平, 麻生啓文, 伊東潤平, 三沢尚子, Saiful Islam, 城口克之, 川上英良, 小柳義夫, 佐藤佳
2. 発表標題 生体内HIV-1感染細胞のマルチオミクス解析
3. 学会等名 SRC
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤佳、伊東潤平.
2. 発表標題 レトロウイルスとほ乳類の共進化："restriction factor"はどのようにして生まれたか？
3. 学会等名 SRC
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤佳，伊東潤平
2. 発表標題 エイズウイルスの誕生と流行の秘密
3. 学会等名 熱研サマースクール（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤佳，伊東潤平
2. 発表標題 内在性レトロウイルスとほ乳類の共進化原理
3. 学会等名 日本進化学会第21回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 七條敬文，安永純一朗，大西知帆，志村和也，高起良，竹之内徳博，佐藤佳，小柳義夫，明里宏文，野坂生郷，松岡雅雄
2. 発表標題 HTLV-1及びSTLV-1プロウイルス配列の網羅的解析
3. 学会等名 第6回日本HTLV-1学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Misato Shibasaki, Akihisa Kato, Jumpei Ito, Mai Suganami, Kosuke Takeshima, Yuhei Maruzuru, Naoto Koyanagi, Jun Arii, Kei Sato, Yasushi Kawaguchi.
2. 発表標題 Evolutionary analysis of UL7 phosphorylation events encoded by alpha-herpesviruses.
3. 学会等名 The 18th Awaji International Forum on Infection and Immunity
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kei Sato, Yusuke Nakano, Keisuke Yamamoto, Mahoko Takahashi Ueda, Andrew Soper, Ryuichi Kumata, Hirofumi Aso, Naoko Misawa, Yoriyuki Konno, Izumi Kimura, Shumpei Nagaoka, Guillermo Juarez-Fernandez, Jumpei Ito, So Nakagawa, Yoshio Koyanagi
2. 発表標題 Gorilla APOBEC3G restricts SIVcpz and influences lentiviral evolution in great ape cross-species transmissions.
3. 学会等名 The 18th Awaji International Forum on Infection and Immunity
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 伊東潤平, Robert J Gifford, 佐藤佳
2. 発表標題 哺乳類における内在性レトロウイルスとAPOBEC3遺伝子ファミリーの進化的軍拡競争
3. 学会等名 2019年度日本数理生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 熊田隆一, 柿添友輔, 三沢尚子, 小柳義夫, 岩見真吾, 佐藤佳
2. 発表標題 HIV複製におけるインターフェロンの効果の定量化
3. 学会等名 2019年度日本数理生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高田徹, 佐藤佳, 岩見真吾.
2. 発表標題 多様な免疫背景を持つヒト集団におけるHIV-1適応進化動態.
3. 学会等名 2019年度日本数理生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Jumpei Ito, Robert J Gifford, Kei Sato
2. 発表標題 Ancient retroviruses drove the rapid evolution of mammalian APOBEC3 family genes
3. 学会等名 Annual Meeting of American Society of Human Genetics (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Jumpei Ito, Robert J Gifford, Kei Sato
2. 発表標題 Genomic invasion by retroviruses was a driving force of evolution of APOBEC3 family genes in mammals
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ryuichi Kumata, Jumpei Ito, Kei Sato
2. 発表標題 Comprehensive Investigation of tissue-specific human virome through transcriptomic analysis
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yoriyuki Konno, Keiya Uriu, Eiji Morita, Yoshio Koyanagi, Kei Sato
2. 発表標題 Investigation of the difference on the molecular mechanism of HIV-1 budding between viral subtypes
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shumpei Nagaoka, Jumpei Ito, Naoko Misawa, Saiful Islam, Hirofumi Aso, Yorifumi Satou, Yoshio Koyanagi, Kei Sato
2. 発表標題 Investigation of proviral features of HIV-1-infected cells in vivo
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hirofumi Aso, Shumpei Nagaoka, Jumpei Ito, Naoko Misawa, Katsuyuki Shiroguchi, Yutaka Suzuki, Eiryō Kawakami, Yoshio Koyanagi, Kei Sato
2. 発表標題 Characterization of the heterogeneity of HIV-1-infected cells in vivo
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yusuke Nakano, Keisuke Yamamoto, Andrew Soper, Kei Sato, Yoshio Koyanagi.
2. 発表標題 HIV-1 group O Vif exhibits a unique mode of counteracting APOBEC3F.
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Mitsuaki Takaki, Yoshitaka Sato, Kei Sato, Hiroshi Kimura, Shingo Iwami
2. 発表標題 Stress conditions promote cell-free infection of Epstein-Barr virus
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Misato Shibazaki, Akihisa Kato, Jumpei Ito, Mai Suganami, Kosuke Takeshima, Yuhei Maruzuru, Naoto Koyanagi, Jun Arii, Kei Sato, Yasushi Kawaguchi.
2. 発表標題 The role of Us3 mediated UL7 phosphorylation during the evolution of alpha-herpesviruses
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kei Sato, Hirofumi Aso, Shumpei Nagaoka, Naoko Misawa, Jumpei Ito, Saiful Islam, Yutaka Suzuki, Katsuyuki Shiroguchi, Eiryō Kawakami, Yorifumi Satou, Yoshio Koyanagi
2. 発表標題 Multi-omics investigation of HIV-1-infected cells in humanized mouse model
3. 学会等名 第33回日本エイズ学会学術集会・総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤佳, 伊東潤平
2. 発表標題 内在性レトロウイルスが駆動するほ乳類の宿主防御遺伝子の進化
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Xiaoxi Liu, Shunichi Kosugi, Yoshiki Kawamura, Motomichi Matsuzaki, Jumpei Ito, Hiroki Miura, Nana Matoba, Yukihide Momozawa, Koichi Matsuda, Yoshinori Murakami, Michiaki Kubo, Kei Sato, Gen Tamiya, Jun Ohashi, Chikashi Terao, Tetsushi Yoshikawa, Yoichiro Kamatani, Nicholas F
2. 発表標題 Endogenization and excision of human herpesvirus revealed by genome analysis of Japanese subjects
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 熊田隆一, 伊東潤平, 佐藤佳
2. 発表標題 バイオインフォマティクスによるヒト組織特異的パイローム(ウイルス叢)の包括的解析
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takashi Irie
2. 発表標題 センダイウイルスの持続感染獲得メカニズムの解明
3. 学会等名 9th Negative Strand Virus-Japan Symposium
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kenta Nishigaki
2. 発表標題 モノネガウイルス遺伝子間配列の遺伝子発現制御機能
3. 学会等名 9th Negative Strand Virus-Japan Symposium
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Takashi Irie
2. 発表標題 Characterization of a Sendai virus isolate producing copyback-type defective viral RNA and its potential as an effective vaccine adjuvant
3. 学会等名 第67回 日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takashi Irie
2. 発表標題 特異なセンダイウイルスクローンの単離とワクチンアジュバントとしての利用
3. 学会等名 第34回 中国四国ウイルス研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takashi Irie
2. 発表標題 「特異なセンダイウイルスクローンの単離とワクチンアジュバントとしての利用
3. 学会等名 第33回 インフルエンザ研究者交流の会シンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 兵頭究
2. 発表標題 A virus infection modulates plant immunity against bacterial and fungal pathogens
3. 学会等名 The 18th Awaji International Forum on Infection and Immunity (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ビン カビル モハメド ハジャズ、韓 永梅、玄 学南、加藤健太郎
2. 発表標題 Molecular detection and identification of Cryptosporidium species in birds at Dhaka, Bangladesh
3. 学会等名 第88回日本寄生虫学会大会（長崎大学、長崎）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Mohammad Hazzaz Bin Kabir, Yongmei Han, Frances Recuenco, Fumi Murakoshi, Xuenan Xuan, Kentaro Kato.
2. 発表標題 Molecular investigation of Cryptosporidium species in poultry in Bangladesh
3. 学会等名 第162回日本獣医学会学術集会（つくば国際会議場、つくば）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yuki Furuse
2. 発表標題 Identification of genetic mutations associated with selective sweep evolution of influenza virus.
3. 学会等名 U.S.-Japan Cooperative Medical Sciences Program's 22nd International Conference on Emerging Infectious Diseases in The Pacific Rim（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yuki Furuse
2. 発表標題 A novel approach to identifying potentially beneficial mutations in viral genome associated with selective sweep evolution
3. 学会等名 第16回 生物数学の理論とその応用（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Shige H. Yoshimura
2. 発表標題 In vivo dynamics of the cortical actin network revealed by fast-scanning atomic force microscopy
3. 学会等名 第75回日本顕微鏡学会学術講演会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shige H. Yoshimura
2. 発表標題 Protein-induced morphological changes of the plasma membrane during clathrin-mediated endocytosis and its dependency on the membrane tension revealed by live-cell fast-scanning atomic force microscopy.
3. 学会等名 EMBO workshop, Physics and Chemistry of Endocytosis (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shige H. Yoshimura
2. 発表標題 Promiscuous interactions between non-structured domains of nucleoporins coordinate the ordered assembly of the nuclear pore complex in mitosis.
3. 学会等名 第92回日本生化学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shige H. Yoshimura
2. 発表標題 Promiscuous interactions between non-structured domains of nucleoporins coordinate the ordered assembly of the nuclear pore complex in mitosis.
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shige H. Yoshimura
2. 発表標題 How Clathrin-mediated Endocytosis Proceeds under Membrane Tension
3. 学会等名 International Symposium on AMED Mechanobiology Project (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 吉村成弘
2. 発表標題 核膜孔複合体の構造構築および機能発現における非構造蛋白質領域の役割
3. 学会等名 大阪大学蛋白質研究所セミナー (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉村成弘
2. 発表標題 液相分離による核・染色体の構造構築とリン酸化による制御
3. 学会等名 よこはまNMR研究会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 堀江真行
2. 発表標題 非モデル動物における内在性ポリオウイルス様配列の生物学的意義の解明を目指して
3. 学会等名 第3回進化学セミナー
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 堀江真行
2. 発表標題 現代と古代のRNAウイルスの多様性
3. 学会等名 日本進化学会第21回大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 堀江真行
2. 発表標題 「データの再利用」によるウイルス様配列の網羅的探索
3. 学会等名 第162回日本獣医学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masayuki Horie, Junna Kawasaki, Shohei Kojima, Keizo Tomonaga
2. 発表標題 Comprehensive identification of RNA virus-like sequences in publicly available transcriptome data from aves
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 堀江真行
2. 発表標題 現代と古代のRNAウイルスの多様性の解明へ向けて
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 堀江真行、佐々悠木子、川崎純菜、小嶋将平、朝長啓造
2. 発表標題 公共データベースを用いたマイナス鎖RNAウイルスの網羅的な探索
3. 学会等名 9th Negative Strand Virus-Japan Symposium
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Bea Clarise B. Garcia, Masayuki Horie, Shohei Kojima, Keizo Tomonaga
2. 発表標題 Ribosomal methyltransferase BUD23-TRMT112 is involved in the host chromosomal attachment of Borna disease virus 1
3. 学会等名 67th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Bea Clarise B. Garcia, Masayuki Horie, Shohei Kojima, Keizo Tomonaga
2. 発表標題 Ribosomal methyltransferase BUD23-TRMT112 is involved in the host chromosomal tethering of Borna disease virus
3. 学会等名 9th Negative Strand Virus-Japan Symposium
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Bea Clarise B. Garcia, Masayuki Horie, Shohei Kojima, Keizo Tomonaga
2. 発表標題 Ribosomal methyltransferase BUD23-TRMT112 is involved in the host chromosomal tethering of Borna disease virus
3. 学会等名 4th International Symposium of the Kyoto Biomolecular Mass Spectrometry Society (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Junna Kawasaki, Shohei Kojima, Yahiro Mukai, Dong-Yun Kim, Keizo Tomonaga, Masayuki Horie
2. 発表標題 Comprehensive identification of endogenous bornavirus-like elements reshaped the long-term evolutionary history of bornaviruses
3. 学会等名 The 3rd Korea-Japan International Symposium for Transposable Elements (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川崎純菜、小嶋将平、向井八尋、朝長啓造、堀江真行
2. 発表標題 内在性ボルナウイルス様配列の網羅的同定:真核生物とボルナウイルスの共進化過程の追跡
3. 学会等名 第3回進化学セミナー
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Junna Kawasaki, Shohei Kojima, Yahiro Mukai, Keizo Tomonaga, Masayuki Horie
2. 発表標題 Systematic analysis of endogenous bornavirus-like elements to track the long-term evolutionary history of bornaviruses
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川崎純菜、小嶋将平、向井八尋、朝長啓造、堀江真行
2. 発表標題 内在性ボルナウイルス様配列の網羅的同定:真核生物とボルナウイルスの共進化過程の追跡
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 神田雄大、堀江真行、小松弓子、朝長啓造
2. 発表標題 ボルナ病ウイルスのゲノム末端配列がウイルスRNAの複製に与える影響
3. 学会等名 第16回ウイルス学キャンプ
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takehiro Kanda, Masayuki Horie, Yumiko Komatsu, Madoka Sakai, Keizo Tomonaga
2. 発表標題 Effect of Borina disease virus genome terminal sequences on viral replication and transcription
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 神田雄大、堀江真行、小松弓子、朝長啓造
2. 発表標題 Back-primingによるボルナ病ウイルスのゲノム3'末端配列の多様化とゲノム複製効率への影響
3. 学会等名 9th Negative Strand Virus-Japan Symposium
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hsien-Hen Lin, Yahiro Mukai, Junna Kawasaki, Keizo Tomonaga, Masayuki Horie
2. 発表標題 Transcriptional Profiling of Cell Lines and Tissues from Bats of Genus Eptesicus
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 向井八尋, 堀江真行, 小林由紀, 小嶋将平, 前田健, 朝長啓造
2. 発表標題 ユビナガコウモリゲノムに内在するボルナウイルス由来遺伝子は多機能RNA結合タンパク質をコードする
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 向井八尋, 堀江真行, 小林由紀, 小嶋将平, 前田健, 朝長啓造
2. 発表標題 Endogenous bornavirus-like N element in miniopterid bat genome encodes a potentially multifunctional RNA-binding protein
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takeshi Kobayashi
2. 発表標題 The Application of Reverse Genetics Systems in Studies of dsRNA Virus Replication and Pathogenesis
3. 学会等名 Gordon Research Conference Viruses and Cells (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Jeffery A. Nurdin, Takahiro Kawagishi, Misa Onishi, Yuta Kanai, Takeshi Tajima, Hiroshi Ushijima, Takeshi Kobayashi
2. 発表標題 Reverse Genetic System for Human Rotavirus A Odelia strain
3. 学会等名 The 18th Awaji International Forum on Infection and Immunity
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 浜島りな
2. 発表標題 核多角体病ウイルスとカイコ細胞が繰り広げる攻防の分子機構
3. 学会等名 第 77 回昆虫病理研究会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 納田遼太郎, 金井祐太, 川岸崇裕, Pannacha Pimfhun, 小林剛
2. 発表標題 口タウイルス NSP3タンパク質のeIF4G結合領域変異がウイルス複製に及ぼす影響
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Jeffery Ali Nurdin, Takahiro Kawagishi, Misa Onishi, Yuta Kanai, Takeshi Tajima, Hiroshi Ushijima, Takeshi Kobayashi
2. 発表標題 Reverse Genetic System for Human Rotavirus A Odelia strain
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 金井祐太, 川岸崇裕, Pannacha Pimfhun, 納田遼太郎, 大西未沙, Nurdin Jeffery, 野村圭一郎, Tina Luciany, 山崎萌子, 小林剛
2. 発表標題 口タウイルスベクターの開発
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yuta Kanai
2. 発表標題 Development of rotavirus vector as vaccine platform for intestinal pathogens
3. 学会等名 U.S.-Japan Cooperative Medical Sciences Program's 22nd International Conference on Emerging Infectious Diseases in the Pacific Rim (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Takahiro Kawagishi, Jeffery A. Nurdin, Misa Onishi, Ryotaro Nouda, Yuta Kanai, Takeshi Tajima, Hiroshi Ushijima, Takeshi Kobayashi
2. 発表標題 Reverse Genetics System for a Human Group A Rotavirus
3. 学会等名 U.S.-Japan Cooperative Medical Sciences Program's 22nd International Conference on Emerging Infectious Diseases in the Pacific Rim (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Shingo Iwami
2. 発表標題 How IFN- $\alpha$ changes cccDNA decay rate in HBV infection
3. 学会等名 The 4th Workshop on Virus Dynamics in Paris (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shingo Iwami
2. 発表標題 Mathematical modeling and quantifying virus dynamics in cell culture
3. 学会等名 ICIAM 2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岩見真吾
2. 発表標題 1造血幹細胞移植実験の数理モデル型定量的データ解析アプローチ
3. 学会等名 日本生化学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 有井潤，川口寧
2. 発表標題 単純ヘルペスウイルスによる核膜の再構築
3. 学会等名 第92回日本生化学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kosuke Takeshima, Jun Arii, Yuhei Maruzuru, Naoto Koyanagi, Akihisa Kato, Yasushi Kawaguchi
2. 発表標題 Identification of the Capsid Binding Site in the Herpes Simplex Virus 1 Nuclear Egress Complex and Its Role in Viral Primary Envelopment and Replication
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Akihisa Kato, Nami Kimura, Naoto Koyanagi, Yuhei Maruzuru, Jun Arii, Manabu Igarashi, Yasushi Kawaguchi
2. 発表標題 Regulatory mechanism of the substrate specificity of Us3 protein kinase encoded by herpes simplex virus-1
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Jun Arii, Ayano Fukui, Yuhei Maruzuru, Naoto Koyanagi, Akihisa Kato, Yasushi Kawaguchi
2. 発表標題 The roles of glycerophospholipids in HSV-1 replication
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Misato Shibazaki, Akihisa Kato, Jumpei Ito, Mai Suganami, Kosuke Takeshima, Yuhei Maruzuru, Naoto Koyanagi, Jun Arii, Kei Sato, Yasushi Kawaguchi
2. 発表標題 The role of Us3 mediated UL7 phosphorylation during the evolution of herpesviruses
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川口 寧
2. 発表標題 単純ヘルペスウイルスの増殖・病態発現機構
3. 学会等名 第33回ヘルペスウイルス研究会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川口 寧
2. 発表標題 ワクチン開発を目指した単純ヘルペスウイルスの宿主免疫回避機構の解明
3. 学会等名 第49回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yasushi Kawaguchi
2. 発表標題 Novel Evasion Mechanisms against Innate and Adaptive Immune Responses by Herpes Simplex Virus
3. 学会等名 第48回日本免疫学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Misato Shibazaki, Akihisa Kato, Jumpei Ito, Mai Suganami, Kosuke Takeshima, Yuhei Maruzuru, Naoto Koyanagi, Jun Arii, Kei Sato, and Yasushi Kawaguchi
2. 発表標題 Evolutionary analysis of UL7 phosphorylation events encoded by herpesviruses
3. 学会等名 第18回あわじ感染と免疫国際フォーラム (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yasushi Kawaguchi
2. 発表標題 Molecular Mechanisms of Herpes Simplex Virus Replication and Pathogenicity
3. 学会等名 International Joint Forum on Infectious Disease Research 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yasushi Kawaguchi
2. 発表標題 Molecular Mechanisms of Herpes Simplex Virus Replication and Pathogenesis
3. 学会等名 第18回あわじ感染と免疫国際フォーラム (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 望月 智弘
2. 発表標題 本日の温泉のウイルス模様は、レモン、ときどき月着陸船、ところによって一時ブルゴーニュワインでしょう
3. 学会等名 微生物ウィーク2019 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tomohiro Mochizuki
2. 発表標題 Yet Unsaturating Limit of Archaeal Viruses -Similarities and Dissimilarities with Bacteria
3. 学会等名 15th International Congress on Thermophiles (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 望月 智弘
2. 発表標題 古細菌ウイルス vs 細菌ウイルス
3. 学会等名 第20回極限生物学年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 望月 智弘
2. 発表標題 本日の温泉のウイルス模様は、レモン、ときどき月着陸船、所によって一時ブルゴーニュワインでしょう
3. 学会等名 第49回神戸大学インターゲノミクスセミナー (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tomohiro Mochizuki, Yukiko Kawabata, Juliarni, Mart Krupovic, Miho Hirai, Shigeru Shimamura, Takuro Nunoura
2. 発表標題 Comparison between Viruses of Archaea and Bacteria
3. 学会等名 GRC Origin of Life (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Tomohiro Mochizuki
2. 発表標題 Crenarchaeal viruses from Japan
3. 学会等名 Diversity and Evolution of Microbes and Their Viruses (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Keizo Tomonaga
2. 発表標題 Evolutionarily Acquired Functions of Endogenous RNA Viral Elements in Mammals.
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Junna Kawasaki, Shohei Kojima, Yahiro Mukai, Dong-Yun Kim, Keizo Tomonaga, Masayuki Horie
2. 発表標題 Comprehensive identification of endogenous bornavirus-like elements reshaped the long-term evolutionary history of bornaviruses.
3. 学会等名 The 3rd Korea-Japan International Symposium for Transposable Elements (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masayuki Horie, Junna Kawasaki, Shohei Kojima, Keizo Tomonaga.
2. 発表標題 Comprehensive identification of RNA virus-like sequences in publicly available transcriptome data from aves.
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Junna Kawasaki, Shohei Kojima, Yahiro Mukai, Keizo Tomonaga, Masayuki Horie.
2. 発表標題 Systematic analysis of endogenous bornavirus-like elements to track the long-term evolutionary history of bornaviruses.
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hsien-Hen Lin, Yahiro Mukai, Junna Kawasaki, Keizo Tomonaga, Masayuki Horie.
2. 発表標題 Transcriptional Profiling of Cell Lines and Tissues from Bats of Genus Eptesicus.
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 向井八尋, 堀江真行, 小林由紀, 小嶋将平, 前田健, 朝長啓造.
2. 発表標題 Endogenous bornavirus-like N element in miniopterid bat genome encodes a potentially multifunctional RNA-binding protein.
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小嶋将平, 吉川剛平, 伊東潤平, 中川草, 堀江真行, 川野秀一, 朝長啓造.
2. 発表標題 機械学習を用いた内在性ウイルス様配列の新規検索手法の開発
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川崎純菜, 小嶋将平, 向井八尋, 朝長啓造, 堀江真行
2. 発表標題 内在性ボルナウイルス様配列の網羅的同定: 真核生物とボルナウイルスの共進化過程の追跡.
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会,
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 向井八尋, 堀江真行, 小林由紀, 小嶋将平, 前田健, 朝長啓造.
2. 発表標題 ユビナガコウモリゲノムに内在するボルナウイルス由来遺伝子は多機能RNA結合タンパク質をコードする
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉川剛平, 川野秀一
2. 発表標題 多様体最適化による多変量低ランク回帰モデルのスパース推定
3. 学会等名 応用統計学会2019年年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉川剛平, 川野秀一
2. 発表標題 リーマン多様体上における多変量回帰モデルの低ランク推定
3. 学会等名 2019年度統計関連学会連合大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 本田 信治
2. 発表標題 山火事の熱と煙で目覚めるアカパンカビ子嚢胞子のシグナル伝達経路網
3. 学会等名 第45回 岡山植物病理セミナー（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 本田 信治
2. 発表標題 山火事の熱と煙で目覚めるアカパンカビ子嚢胞子のシグナル伝達経路網
3. 学会等名 日本遺伝学会第91回大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 本田 信治
2. 発表標題 モデル生物アカパンカビを利用したウイルス・宿主の相利共生とそのエピジェネティクス制御
3. 学会等名 第6回 北陸エピジェネティクス研究会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 千原 あかね, ソン チホン, 岡本 健太, 武村 政春, 村田 和義
2. 発表標題 トーキョーウィルスカプシドの構造解析
3. 学会等名 生理研研究会「クライオ電子顕微鏡によるタンパク質の高分解能単粒子構造解析」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 渡邊 凌人, ソン チホン, 香山 容子, 武村 政春, 村田 和義
2. 発表標題 新規巨大ウイルス、メドゥーサウイルスの構造と成熟に関する研究
3. 学会等名 生理研研究会「クライオ電子顕微鏡によるタンパク質の高分解能単粒子構造解析」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Akane Chihara, Chiohing Song, Kenta Okamoto, Masaharu Takemura, Kazuyoshi Murata
2. 発表標題 Single particle cryo-EM of Tokyovirus
3. 学会等名 ABiS Symposium "Forefront and Future of Electron Microscopic Imaging"
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Ryoto Watanabe, Chihong Song, Yoko Kayama, Masaharu Takemura, Kazuyoshi Murata
2. 発表標題 Study of particle structure and its formation process of a new giant virus, Medusa virus
3. 学会等名 ABiS Symposium "Forefront and Future of Electron Microscopic Imaging"
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 村越 ふみ
2. 発表標題 リーシュマニア原虫共生ウイルスの除去による遺伝子発現への影響
3. 学会等名 第75回日本寄生虫学会 西日本支部大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田中 悠太郎
2. 発表標題 アイメリア原虫共生ウイルスの網羅的検出
3. 学会等名 第75回日本寄生虫学会 西日本支部大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Fumi Murakoshi
2. 発表標題 Transcriptome comparison of Leishmania major with and without their endogenous dsRNA virus
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Fumi Murakoshi
2. 発表標題 Detection and epidemiological analysis of symbiotic viruses from protozoa using the FLDS (A Comprehensive dsRNA Sequencing Method)
3. 学会等名 東北大学複合生態フィールド教育研究センター 第17回国際シンポジウム(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 泉琢磨
2. 発表標題 Characterization of Human Pegivirus Infection in Liver Transplantation Recipients
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小野慎子
2. 発表標題 Characterization of mutation in the 5UTR of HCV in miR-122-dependent propagation
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 阿部隆之
2. 発表標題 Characterizations of Pro-viral Effects of NS5A-ISGylation among Different HCV Genotypes
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 平野順紀
2. 発表標題 ER stress sensor protein PERK participates in the degradation of immature HCV core protein
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 福原崇介
2. 発表標題 Flavivirus NS1 has essential role in the formation of infectious particles
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yuzy Fauzyah
2. 発表標題 Ponesimod suppresses HBV infection through inhibition of endosome maturation
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山本拓弥
2. 発表標題 Reactivation of HBV by the treatment with DAA in cells co-infected with HBV and HCV
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 前田裕輔
2. 発表標題 Roles of G3BP and stress granules on the replication of chikungunya virus
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 福原崇介
2. 発表標題 Flavivirus NS1 protein plays a crucial role in the infectious particle formation
3. 学会等名 The 18th Awaji International Forum on Infection and Immunity (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小野慎子
2. 発表標題 Involvement of various miRNAs for an efficient replication of HCV
3. 学会等名 The 18th Awaji International Forum on Infection and Immunity (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小野慎子
2. 発表標題 Involvement of various miRNAs for an efficient replication of HCV
3. 学会等名 24th International Symposium on Hepatitis C Virus and Related Viruses (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鈴木達也
2. 発表標題 TLR ligands stimulate in vivo pathogenicity of Japanese encephalitis virus
3. 学会等名 The 38th American Society of Virology 2018 Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小野慎子
2. 発表標題 Involvement of various miRNAs for an efficient replication of HCV
3. 学会等名 The 38th American Society of Virology 2018 Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松浦善治
2. 発表標題 C型肝炎対策の残された課題
3. 学会等名 第23回日本ワクチン学会学術集会(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yohei Watanabe
2. 発表標題 Accumulation of PA mutations in Egyptian H5N1 viruses during viral evolution conferred the increased replication ability
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 板倉 友香里、松野 啓太、岡松 正敏、迫田 義博
2. 発表標題 豚コレラウイルスワクチン株の感染により細胞変性効果を示したブタ無血清培養細胞における細胞死メカニズム
3. 学会等名 第16回ウイルス学キャンプ
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鳥居志保、大場靖子、佐々木道仁、和田雄治、Jody Hobson-Peters、Roy A. Hall、澤洋文
2. 発表標題 チクングニアウイルスの増殖を制御する宿主因子の同定と機能解析
3. 学会等名 第16回ウイルス学キャンプ
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shiho Torii, Yasuko Orba, Michihito Sasaki, Yuji Wada, Michael Carr, Jody Hobson-Peters, Roy A. Hall, William W. Hall and Hirofumi Sawa
2. 発表標題 Chikungunya virus recruits the ESCRT trafficking machinery at multiple steps during the intracellular life cycle
3. 学会等名 The Third International Meeting on Arboviruses and their Vectors (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 澤 洋文、佐々木 道仁、江下 優樹、大場 靖子
2. 発表標題 ザンビアの野生動物、節足動物からの病原体の検出と単離
3. 学会等名 第2回SFTS研究会・学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Michihito Sasaki, Naoto Ito, Makoto Sugiyama, Gonzalez Gabriel, Kimihito Ito, Yasuko Orba, Hirofumi Sawa
2. 発表標題 A host YB-1 protein binds to rabies virus mRNAs and promotes viral gene expression
3. 学会等名 The 7th Sapporo Summer Seminar for One Health (SaSSOH) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yukari Itakura, Keita Matsuno, Asako Ito, Markus Gerber, Matthias Liniger, Yuri Fujimoto, Tomokazu Tamura, Ken-ichiro Kameyama, Masatoshi Okamoto, Nicolas Ruggli, Hiroshi Kida, Hirofumi Sawa, Yoshihiro Sakoda
2. 発表標題 Cell death and cytopathic effect induced by a classical swine fever virus vaccine strain
3. 学会等名 The 7th Sapporo Summer Seminar for One Health (SaSSOH) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Koshiro TABATA, Tadaki SUZUKI, Kaori SANNO, Shinji SAITO, Akira AINAI, Yasuko ORBA, Hideki HASEGAWA, Hirofumi SAWA
2. 発表標題 Molecular mechanism of tetrameric secretory IgA antibody formation mediated by secretory component
3. 学会等名 The 7th Sapporo Summer Seminar for One Health (SaSSOH) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yasuko Orba
2. 発表標題 Research activities of Hokkaido Univ. CZC in Zambia and human resource development of young researchers
3. 学会等名 Tsukuba Conference 2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hirofumi Sawa, Michihito Sasaki, Yongjin Qiu, Yuki Eshita, Hang'ombe BM, Mweene AS, Yasuko Orba
2. 発表標題 Developmental Strategy of the International Collaboration Research for Zoonosis Control - Identification of pathogens from arthropods and wildlife in Zambia
3. 学会等名 Tsukuba Conference 2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 板倉友香里, 松野啓太, 伊藤麻子, 藤本悠理, 田村友和, 亀山健一郎, 岡松正敏, Ruggli Nicolas, 喜田宏, 澤洋文, 迫田義博
2. 発表標題 I型インターフェロン産生抑制機能を欠く豚コレラウイルスが豚腎臓由来無血清培養細胞に誘導する細胞変性効果のメカニズム
3. 学会等名 第26回トガ・フラビ・ベスチウイルス研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Michihito Sasaki, Naoto Ito, Makoto Sugiyama, Gonzalez Gabriel, Kimihito Ito, Yasuko Orba, Hirofumi Sawa
2. 発表標題 A host YB-1 protein binds to rabies virus mRNAs and promotes viral gene expression
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yukari Itakura, Keita Matsuno, Asako Ito, Yuri Fujimoto, Tomokazu Tamura, Ken-ichiro Kameyama, Masatoshi Okamatsu, Nicolas Ruggli, Hiroshi Kida, Hirofumi Sawa, Yoshihiro Sakoda
2. 発表標題 Cell death and cytopathic effect induced by classical swine fever virus vaccine strain
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Christida Wastika, Michihito Sasaki, Yasuko Orba, Hirofumi Sawa
2. 発表標題 Molecular characterization of Barkedji and Barkeji-like virus isolated from mosquitoes in Zambia
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Herman Chambaro, Michihito Sasaki, Yasuko Orba, Hirofumi Sawa
2. 発表標題 Molecular and serological surveillance for Bluetongue virus in Zambia
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yasuko Orba, Bernard M. Hangombe, Aaron S. Mweene, Michihito Sasaki, Yuki Eshita, Hirofumi Sawa
2. 発表標題 多種の蚊に内在するフラピウイルスエレメント
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Chambaro Herman, Michihito Sasaki, Gonzalez Gabriel, Yonjin Qiu, Yasuko Orba, Hirofumi Sawa
2. 発表標題 Evolutionary history of genotype I african swine fever viruses detected in Ornithodoros moubata soft ticks from Zambia: Implications for disease control
3. 学会等名 第5回北海道大学部局横断シンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐々木 道仁, 伊藤 直人, 杉山 誠, 大場 靖子, 澤 洋文
2. 発表標題 ロタウイルス感染を促進させる宿主プロテアーゼの同定
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 板倉 友香里, 佐々木 道仁, 大場 靖子, 澤 洋文
2. 発表標題 インターフェロン受容体欠損マウスにおける狂犬病ウイルス病原性発現機構
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Christida Wastika, Michihito Sasaki, Yasuko Orba, Hirofumi Sawa
2. 発表標題 Isolation and identification of dual-host affiliated insect-specific flaviviruses from Culex mosquitoes in Zambia
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shintaro Kobayashi, Kentaro Yoshii, Wallaya Phongpaew, Memi Muto, Minato Hirano, Yasuko Orba, Hirofumi Sawa, Hiroaki Kariwa
2. 発表標題 West Nile virus capsid protein promotes AMP-activated protein kinase degradation and inhibits autophagy in neurological disease development.
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shiho Torii, Yasuko Orba, Michihito Sasaki, Yuji Wada, Jody Hobson-Peters, Roy A. Hall, Hirofumi Sawa
2. 発表標題 Chikungunya virus interacts with HGS and recruits the ESCRT trafficking machinery at multiple steps during the intracellular replication cycle.
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yasuko Orba, Bernard M. Hangombe, Aaron S. Mweene, Michihito Sasaki, Yuki Eshita, Hirofumi Sawa
2. 発表標題 Diverse endogenous flavivirus elements in field mosquitoes
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田畑耕史郎、鈴木忠樹、佐野芳、齊藤慎二、相内章、大場靖子、長谷川秀樹、澤洋文
2. 発表標題 In vitroにおける四量体分泌型IgA抗体形成機構の解明
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Christida E. Wastika, Yasuko Orba, Michihito Sasaki, Yuki Eshita, Bernard M. Hangombe, Michael T. Wolfinger, William W. Hall, Hirofumi Sawa
2. 発表標題 Discoveries of dual-host affiliated insect-specific flaviviruses in Zambia.
3. 学会等名 U.S.-Japan Cooperative Medical Sciences Program's 22nd International Conference on Emerging Infectious Diseases in the Pacific Rim (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 水間奎太, 松野啓太, 岡松正敏, 高田礼人, 迫田義博
2. 発表標題 重症熱性血小板減少症候群ウイルスの核タンパク質と宿主RNA間の相互作用がウイルス増殖に与える新たな機能の解明
3. 学会等名 第16回 ウイルス学キャンプ in 湯河原
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Keita Mizuma, Keita Matsuno, Masatoshi Okamoto, Ayato Takada, Yoshihiro Sakoda
2. 発表標題 Profiling RNAs binding with the nucleoprotein of severe fever with thrombocytopenia syndrome virus (SFTSV) revealed orchestrated replication of a segmented RNA virus
3. 学会等名 International meeting on arboviruses and their vectors (IMAV 2019)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松野 啓太、中尾 亮、草木迫 浩大、大場 靖子、澤 洋文
2. 発表標題 マダニ中の多様なフレボウイルスは何者か？
3. 学会等名 第162回 日本獣医学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 水間奎太, 松野啓太, 岡松正敏, 高田礼人, 迫田義博
2. 発表標題 重症熱性血小板減少症候群ウイルスの核タンパク質Nと結合する宿主RNAの機能解明
3. 学会等名 第162回 日本獣医学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松野啓太、中尾亮、梶原将大、下田宙、海老原秀喜、高田礼人、前田健、岡松正敏、迫田義博
2. 発表標題 マダニ中のフレボウイルスの遺伝子系統解析に基づく性状推定
3. 学会等名 第162回 日本獣医学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 水間 奎太、松野 啓太、岡松 正敏、高田 礼人、迫田 義博
2. 発表標題 重症熱性血小板減少症候群ウイルスの核タンパク質Nと結合する宿主RNAの機能解明
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yukiko Nomura, Moeko Hotta, Mayuko Akimoto, Mitsuru Yanai, Akira Suzuki, Yuhei Imasato, Ryo Nakao
2. 発表標題 Sparganosis in a Japanese patient manifesting fifty years after infection
3. 学会等名 24th World Congress of Dermatology Milan 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 林直樹、中尾亮、孝口裕一、八木欣平、野中成晃
2. 発表標題 多包糸虫Echinococcus multilocularisの中間宿主体内における初期動態の解析およびそれを利用した宿主抵抗性解析へのアプローチ
3. 学会等名 第13回蠕虫研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Elisha Chatanga, Ryo Nakao, Kyoko Hayashida, Bashir Salim, Chihiro Sugimoto, Ken Katakura, Nariaki Nonaka
2. 発表標題 Sequences of two genes encoding Theileria parva CD8+ antigens reveal the presence of Muguga vaccine strain in non-vaccinated cattle in Malawi
3. 学会等名 第162回日本獣医学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高橋侑嗣、小林進太郎、石塚万里子、中尾亮、苅和宏明、好井健太郎
2. 発表標題 2017、2018年に北海道道央地域のヤマトマダニから分離されたダニ媒介性脳炎ウイルスの性状解析
3. 学会等名 第162回日本獣医学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小方昌平、中尾亮、片倉賢、野中成晃
2. 発表標題 マダニが保有するスピロプラズマ属細菌の多様性
3. 学会等名 第162回日本獣医学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 草木迫 浩大、中尾 亮、田仲 哲也、野中 成晃
2. 発表標題 フタトゲチマダニ由来カタラーゼ遺伝子の同定ならびに組換え体を用いた抗酸化活性の検証
3. 学会等名 第65回日本寄生虫学会・日本衛生動物学会北日本支部合同大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高橋侑嗣、小林進太郎、石塚万里子、中尾亮、苅和宏明、好井健太郎
2. 発表標題 Characterization of tick-borne encephalitis virus isolated from Ixodes ovatus in Central area of Hokkaido in 2017, 2018
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yongjin Qiu, Ryo Nakao, Bernard Mudenda Hangombe, Kozue Sato, Masahiro Kajihara, Sharon Kanchela, Katendi Changula, Ayato Takada, Hirohumi Sawa, Chihiro Sugimoto, Hiroki Kawabata
2. 発表標題 Human borreliosis caused by a novel New World relapsing fever borrelia in the Afrotropic ecozone
3. 学会等名 第60回日本熱帯医学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ryo Nakao
2. 発表標題 Phylogeny and diversity of tick symbionts in Japan
3. 学会等名 Entomology 2019, the 67th Annual Meeting of the Entomological Society of America (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 矢原耕史, Philippe Lehours, Filipa F. Vale, 平林亜希, 鈴木仁人, 鈴木穰
2. 発表標題 ファージと宿主菌のビッグデータ解析 - Earth's viromeデータの拡張とPromethIONの活用
3. 学会等名 第14回ゲノム微生物学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ohishi K, Maruyama T, Seki F, Takeda M.
2. 発表標題 Insight of host specificity of marine morbilliviruses from Signaling Lymphocyte Activation Molecules, a receptor.
3. 学会等名 The 12th Meeting of Asian Society of Conservation Medicine Jointly with WDA-AP (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Seki F, Fukuhara H, Yamamoto Y, Arulmozhiraja S, Ohishi K, Maruyama T, Tokiwa H, Maenaka K, Takeda M
2. 発表標題 Importance of the extreme N-terminal region of human SLAM to function as a measles virus receptor
3. 学会等名 第67回日本ウイルス学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 竹田誠
2. 発表標題 哺乳動物とモルビリウイルスの進化：受容体との相互作用を中心に
3. 学会等名 第15回霊長類医科学フォーラム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤岡容一朗
2. 発表標題 インフルエンザウイルス粒子の細胞取り込み機構の解析
3. 学会等名 日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takeshi Noda
2. 発表標題 Intracellular replication of influenza A viruses.
3. 学会等名 Frontiers in Cellular, Viral and Molecular Microscopy with Cryo-specimen preparation techniques. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takeshi Noda
2. 発表標題 Intracellular replication of influenza A viruses.
3. 学会等名 第26回東アジアシンポジウム(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sho Miyamoto, Yukiko Muramoto, Keiko Shindo, Yoko Fujita, Ryoma Tamura, Jamie L Gilmore, Masahiro Nakano, Takeshi Noda.
2. 発表標題 vRNA-vRNA interactions in influenza A virus HA vRNA packaging.
3. 学会等名 OPTIONS X for the control of INFLUENZA (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yutaro Yamagata, Yukiko Muramoto, Sho Miyamoto, Keiko Shindo, Masahiro Nakano, Takeshi Noda.
2. 発表標題 Generation of a purely clonal DI virus.
3. 学会等名 OPTIONS X for the control of INFLUENZA (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yoko Fujita, Yukihiko Sugita, Masahiro Nakano, Yukiko Muramoto, Takeshi Noda.
2. 発表標題 Structural analysis of Marburg virus nucleoprotein-RNA complex core.
3. 学会等名 Frontiers in Cellular, Viral and Molecular Microscopy with Cryo-specimen preparation techniques (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 野田岳志
2. 発表標題 インフルエンザウイルスのRNP複合体形成機構
3. 学会等名 第33回インフルエンザ研究者交流の会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 野田岳志
2. 発表標題 インフルエンザウイルスのゲノムパッケージ機構
3. 学会等名 日本バスターツール財団セミナー「ウイルスの構造と機能」（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yukihiko Sugita, Hideyuki Matsunami, Yoshihiro Kawaoka, Takeshi Noda, Matthias Wolf.
2. 発表標題 Cryo-EM structure of the Ebola virus nucleocapsid core.
3. 学会等名 日本顕微鏡学会第75回学術講演会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yukihiko Sugita, Hideyuki Matsunami, Yoshihiro Kawaoka, Takeshi Noda, Matthias Wolf.
2. 発表標題 Cryo-EM structure of the Ebola virus nucleocapsid core.
3. 学会等名 第19回日本蛋白質科学会年会・第71回日本細胞生物学会大会 合同年次大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 野田岳志
2. 発表標題 インフルエンザウイルス増殖機構のイメージング
3. 学会等名 第162回日本獣医学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 杉田征彦、松波秀行、河岡義裕、野田岳志、Matthias Wolf
2. 発表標題 クライオ電子顕微鏡法を用いたエボラウイルス・核タンパク質 - RNA複合体の構造解析
3. 学会等名 第92回日本生化学会大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yukihiko Sugita, Hideyuki Matsunami, Yoshihiro Kawaoka, Takeshi Noda, Matthias Wolf.
2. 発表標題 Structure of the Ebola virus core by single-particle cryo-EM.
3. 学会等名 International Symposium on Diffraction Structural Biology（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 野田岳志
2. 発表標題 インフルエンザウイルスの核内複製機構
3. 学会等名 The 42nd Annual Meeting of the Molecular Biology Society of Japan（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 宮本翔
2. 発表標題 インフルエンザウイルスのRNP形成機構の解析
3. 学会等名 第16回ウイルス学キャンプ in 湯河原
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 梶川純一、平林愛、宮本翔、高松由基、胡上帆、祝部和也、浦田秀造、安田二郎、Thomas Strecker、中野 雅博、村本 裕紀子、野田岳志
2. 発表標題 アレナウイルス感染における宿主細胞膜再構成の意義
3. 学会等名 第16回ウイルス学キャンプ in 湯河原
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤田陽子
2. 発表標題 7分節インフルエンザウイルスにおけるゲノムパッケージング機構の解析
3. 学会等名 第16回ウイルス学キャンプ in 湯河原
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 祝部和也
2. 発表標題 エボラウイルスNP-RNA複合体形成に関わるアミノ酸残基の同定
3. 学会等名 第16回ウイルス学キャンプ in 湯河原
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山形優太郎、藤田陽子、宮本翔、中野雅博、村本裕紀子、野田岳志
2. 発表標題 PB2発現細胞を用いたDIインフルエンザウイルスのクローン培養
3. 学会等名 第33回インフルエンザ研究者交流の会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 平林愛、梶川純一、胡上帆、中野雅博、村本裕紀子、野田岳志
2. 発表標題 アレナウイルスの細胞内増殖機構の解析
3. 学会等名 日本顕微鏡学会第75回学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤田陽子、青山一弘、平林愛、光岡薫、野田岳志
2. 発表標題 クライオ電子線トモグラフィー法によるインフルエンザウイルス粒子形成機構の解明
3. 学会等名 日本顕微鏡学会第75回学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masahiro Nakano, Sho Miyamoto, Junichi Kajikawa, Yukiko Muramoto, Takeshi Noda.
2. 発表標題 Identification of amino acid residues of influenza virus NS1 important for masking of double-stranded viral RNAs.
3. 学会等名 The 67th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4. 発表年 2019年

1 . 発表者名 Sho Miyamoto, Masahiro Nakano, Takeshi Morikawa, Ryoma Tamura, Yoko Fujita, Ai Hirabayashi, Yukiko Muramoto, Takeshi Noda.
2 . 発表標題 Nucleolar localization of influenza virus nucleoprotein is essential for ribonucleoprotein complex formation.
3 . 学会等名 The 67th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Yuki Takamatsu, Ai Hirabayashi, Stephan Becker, Takeshi Noda.
2 . 発表標題 Functional region of Nucleoprotein in assembly and transport of Ebola virus nucleocapsid-like structure.
3 . 学会等名 The 67th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Junichi Kajikawa, Ai Hirabayashi, Sho Miyamoto, Yuki Takamatsu, Shangfan Hu, Kazuya Houri, Shuzo Urata, Jiro Yasuda, Thomas Strecker, Masahiro Nakano, Yukiko Muramoto, Takeshi Noda.
2 . 発表標題 Relevance of degradative organelles in Mammarenavirus-infected cells to persistent infection.
3 . 学会等名 The 67th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Kazuya Houri, Yoko Fujita, Yukihiro Sugita, Yukiko Muramoto, Shangfan Hu, Sho Miyamoto, Masahiro Nakano, Matthias Wolf, Takeshi Noda.
2 . 発表標題 Amino acid residues of Ebola virus nucleoprotein important for formation of nucleoprotein-RNA complex and functional nucleocapsid.
3 . 学会等名 The 67th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4 . 発表年 2019年

1. 発表者名 Shangfan Hu, Junichi Kajikawa, Shuzo Urata, Jiro Yasuda, Masahiro Nakano, Yukiko Muramoto, Takeshi Noda.
2. 発表標題 Analysis of Lymphocytic choriomeningitis virus replication in MDCK cells.
3. 学会等名 The 67th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masahiro Nakano, Sho Miyamoto, Junichi Kajikawa, Yukiko Muramoto, Takeshi Noda.
2. 発表標題 Influenza A virus NS1 masks double-stranded RNA produced by viral ribonucleoprotein complex.
3. 学会等名 The 42nd Annual Meeting of the Molecular Biology Society of Japan
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sho Miyamoto, Masahiro Nakano, Takeshi Morikawa, Ryoma Tamura, Yoko Fujita, Ai Hirabayashi, Yukiko Muramoto, Takeshi Noda.
2. 発表標題 Nucleolar localization of influenza virus nucleoprotein is essential for viral ribonucleoprotein complex formation.
3. 学会等名 The 42nd Annual Meeting of the Molecular Biology Society of Japan
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中野雅博、宮本翔、梶川純一、村本裕紀子、野田岳志
2. 発表標題 NS1欠損インフルエンザウイルス感染により誘導される二本鎖RNAの合成とその細胞内局在
3. 学会等名 9th Negative Strand Virus-Japan Symposium
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 武長徹、梶川純一、平林愛、高松由基、村本裕紀子、野田岳志
2. 発表標題 機能既知化合物ライブラリーを用いたラッサウイルス侵入阻害薬の探索
3. 学会等名 9th Negative Strand Virus-Japan Symposium
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山形優太郎、村本裕紀子、宮本翔、藤田陽子、中野雅博、野田岳志
2. 発表標題 クローン培養された欠損干渉インフルエンザウイルスの性状解析
3. 学会等名 9th Negative Strand Virus-Japan Symposium
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 祝部和也
2. 発表標題 エボラウイルスNP-RNA複合体の形成に必要なアミノ酸残基の同定
3. 学会等名 9th Negative Strand Virus-Japan Symposium
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 藤田陽子
2. 発表標題 クライオ電子顕微鏡法によるマールブルグウイルスNP-RNA複合体の構造解析
3. 学会等名 9th Negative Strand Virus-Japan Symposium
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yukihiko Sugita
2. 発表標題 Cryo-EM at Institute for Protein Science, Osaka University.
3. 学会等名 Cryo-EM course at OIST, Okinawa (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 野田岳志
2. 発表標題 ラッサウイルスの侵入阻害薬の探索
3. 学会等名 第93回日本細菌学会総会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kondo, H.
2. 発表標題 Two novel negative-strand RNA mycoviruses related to mymonaviruses and phenuiviruses in the Shiitake mushroom.
3. 学会等名 Asian Mycological Congress 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 近藤秀樹
2. 発表標題 ウイルス
3. 学会等名 第15回植物病害診断教育プログラム (招待講演)
4. 発表年 2019年

1 . 発表者名 Suzuki, N.
2 . 発表標題 Mycoviruses in <i>C. parasitica</i> and their biological control potential.
3 . 学会等名 International Symposium on Cryphonectria and Mycoviruses. (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Aulia, A.
2 . 発表標題 Reporter system for antiviral RNA silencing in a model filamentous fungus host
3 . 学会等名 Asian Mycological Congress 2019 (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Das, S
2 . 発表標題 2A-like protease activity is essential for replication and viability of yado-kari virus 1 hosted by yado-nushi virus 1
3 . 学会等名 Asian Mycological Congress 2019 (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Aulia, A
2 . 発表標題 A symptomless hypovirus, CHV4, facilitates stable infection of the chestnut blight fungus by a coinfecting reovirus likely through suppression of antiviral RNA silencing
3 . 学会等名 Asian Mycological Congress 2019 (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Suzuki, N.
2 . 発表標題 Dual functionality of fungal Dicer in multilayer antiviral defense
3 . 学会等名 International Symposium on Virus Diseases of Important Crops (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Shahi, S
2 . 発表標題 Investigation of host range of and host defense against a mitochondrially replicating mitovirus
3 . 学会等名 The Annual Meeting of the American Society for Virology 2019 (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Sato, Y
2 . 発表標題 Characterization of a novel fungal polymycovirus with a potential neo-virus lifestyle
3 . 学会等名 The Annual Meeting of the American Society for Virology 2019 (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Suzuki, N
2 . 発表標題 Dicer-mediated transcriptional and post-transcriptional antiviral defense
3 . 学会等名 The Annual Meeting of the American Society for Virology 2019 (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1. 発表者名 Suzuki, N.
2. 発表標題 Dicer functions transcriptionally and post-transcriptionally in a multilayer antiviral defense
3. 学会等名 European Congress of Virology 2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Eusebio-Cope, A
2. 発表標題 Detection of mycoviruses in phytopathogenic fungi causing disease of rice
3. 学会等名 PMCP 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤有希代
2. 発表標題 キャブシドレス11分節RNAウイルスは宿主Fusarium oxysporum株間を伝搬する際に全てのゲノム分節を維持するか?
3. 学会等名 令和2年度日本植物病理学会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Telengech, P.K.
2. 発表標題 Diverse partitiviruses from the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix.
3. 学会等名 The Annual Meeting of the Japanese Phytopathological Society
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 近藤秀樹
2. 発表標題 栽培シイタケより見出された新規フェニユイ様ウイルスについて
3. 学会等名 令和2年度日本植物病理学会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 村田佳乃子
2. 発表標題 糸状菌ウイルスゲノム中の新規IRESの探索とゲノム比較
3. 学会等名 令和2年度日本植物病理学会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Syunichi Urayama
2. 発表標題 RNA virus diversity in sea water and hot springs
3. 学会等名 ウイルス情報解析ワークショップ
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 浦山俊一
2. 発表標題 糸状菌を用いたRNAウイルス多様性の再検証
3. 学会等名 微生物生態学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yuto Chiba
2. 発表標題 RNA virus diversity in <i>Aspergillus fumigatus</i> and its related species revealed by deep-sequencing method
3. 学会等名 The 8th Global Network Forum on Infection and Immunity
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 浦山俊一
2. 発表標題 生態系構成要素としてのウイルスを考えるー糸状菌に潜むマイコウイルスを例にー
3. 学会等名 筑波大学 糸状菌相互応答学シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Syunichi Urayama
2. 発表標題 Application of highly efficient non-retro RNA virus surveillance method (FLDS) to a human organ
3. 学会等名 日本ウイルス学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高木善弘
2. 発表標題 FLDS法の改変によるトランスクリプトーム解析手法の開発
3. 学会等名 日本ゲノム微生物学会年会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Ogata H., Blanc-Mathieu R., Kaneko H., Endo H.
2. 発表標題 Global genetic data reveal lineages of giant viruses and other eukaryotic viruses associated with the carbon export efficiency
3. 学会等名 4th Ringberg Symposium on Giant Virus Biology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 宮崎うらら, Delmont T., 遠藤 寿., Blanc-Mathieu R., 緒方博之
2. 発表標題 海洋巨大ウイルスにおける新規補助代謝遺伝子の探索
3. 学会等名 環境ウイルス研究集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Meng L., Endo H., Blanc-Mathieu R., Ogata H.
2. 発表標題 NCLDV host prediction with marker gene co-occurrence analysis in marine metagenomes
3. 学会等名 環境ウイルス研究集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉田巨騎, 武村政春, 遠藤 寿., Blanc-Mathieu R., 緒方博之
2. 発表標題 京都府南部水系からの新規マルセイユウイルス株の分離と今後の比較ゲノム解析
3. 学会等名 環境ウイルス研究集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Proding F., Endo H., Takano Y., Li Y., Tominaga K., Isozaki T., Blanc-Mathieu R., Gotoh Y., Nagasaki Keizo., Yoshida T., Ogata H.
2. 発表標題 Exploring community changes of bloom forming eukaryotic phytoplankton and Megaviridae in Uranouchi Inlet, Japan
3. 学会等名 環境ウイルス研究集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 富永賢人, 山本圭吾, 緒方博之, 左子芳彦, 吉田天士.
2. 発表標題 大阪湾での経時的動態観測で探る海洋微生物-ウイルス群集相互作用
3. 学会等名 環境ウイルス研究集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 金子博人, Blanc-Mathieu R., 遠藤寿, 緒方博之
2. 発表標題 真核生物プランクトンに感染するウイルスと沈降粒子による炭素輸送の効率との地球規模での関連
3. 学会等名 環境ウイルス研究集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Endo H., Li Y., Blanc-Mathieu R., Ogata H.
2. 発表標題 Global biogeography of giant viruses highlights their interplay with eukaryotic community.
3. 学会等名 日本海洋学会2019年秋季大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kaneko H., Blanc-Mathieu R., Endo H., Ogata H.
2. 発表標題 The abundance profile of eukaryotic plankton viruses could predict global ocean carbon export efficiency
3. 学会等名 第8回 生命医薬情報連合大会(IIBMP)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岡崎友輔, 西村陽介, 吉田天士, 緒方博之, 中野伸一
2. 発表標題 メタゲノム解析でひも解く淡水湖のファージの多様性と生態
3. 学会等名 日本微生物生態学会 第33回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Blanc-Mathieu R., Dahle H., Ogata H., Sandaa R.-H.
2. 発表標題 A persistent algal virus with an unprecedented amount of metabolic genes.
3. 学会等名 日本微生物生態学会 第33回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 富永賢人, 緒方博之, 吉田天士
2. 発表標題 未分離の海洋性Bacteroidetes門細菌感染ウイルスの生物情報学的探索
3. 学会等名 日本微生物生態学会 第33回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 磯崎達大, 富永賢人, 山本圭吾, 左子芳彦, 緒方博之, 吉田天士
2. 発表標題 シアノウイルス - 宿主相互作用解明に向けた海洋シアノバクテリアの高純度分手法の確立
3. 学会等名 日本微生物生態学会 第33回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Prodinger F., Endo H., Li Y., Tominaga K., Isozaki T., Gotoh Y., Yoshida T., Ogata H.
2. 発表標題 Linking seasonal dynamics of Megaviridae and bloom forming eukaryotic phytoplankton in Uranouchi inlet, Japan
3. 学会等名 日本微生物生態学会 第33回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ogata H.
2. 発表標題 Eukaryotic giant viruses: update on their evolution, diversity and ecology.
3. 学会等名 ELSI Thermophiles seminar-Microbes from the Hadean Hel (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ogata H.
2. 発表標題 Prediction of viruses enhancing the biological carbon pump.
3. 学会等名 Neo-Virology Informatics Workshop (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kaneko H., Blanc-Mathieu R., Endo H., Ogata H.
2. 発表標題 Analysis of Tara Oceans omics data reveals eukaryotic plankton viruses related to carbon export flux and efficiency
3. 学会等名 19th Annual International Workshop on Bioinformatics and Systems Biology (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Prodinger F., Endo H., Li Y., Tominaga K., Tatsuhiro I., Gotoh Y., Yoshida T., Ogata H.
2. 発表標題 Seasonal dynamics of a proposed group of giant viruses and bloom forming eukaryotic phytoplankton
3. 学会等名 19th Annual International Workshop on Bioinformatics and Systems Biology (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ogata H.
2. 発表標題 Do viruses enhance the carbon export down to the deep ocean?
3. 学会等名 Gordon Research Conference Applied and Environmental Microbiology: Shaping the Earth Microverse (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Miyazaki U., Delmont T., Endo H., Blanc-Mathieu R., Ogata H.
2. 発表標題 Preliminary Metagenomic Study towards Discovering Novel Auxiliary Metabolic Genes in Marine Large Viruses.
3. 学会等名 19th Annual International Workshop on Bioinformatics and Systems Biology (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 外丸裕司
2. 発表標題 珪藻感染性DNAウイルスゲノムに存在する 機能不明遺伝子の発現
3. 学会等名 日本微生物生態学会第33回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 外丸裕司
2. 発表標題 海産珪藻Chaetoceros属に感染する多様なウイルス検出の試み
3. 学会等名 2019 年日本ベントス学会・日本プランクトン学会合同大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yuji Tomaru
2. 発表標題 Challenges for detecting diverse viruses infecting marine planktonic diatoms from coastal sediments
3. 学会等名 11th EastHAB symposium ( 国際学会 )
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 木村圭
2. 発表標題 珪藻とウイルスの対話～珪藻はウイルスと共存しているのか？
3. 学会等名 第10回日本光合成学会シンポジウム ( 招待講演 )
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nagasaki K.
2. 発表標題 How a Small Society for Giant Viruses started a quarter of a century ago?
3. 学会等名 4th Ringberg Symposium on Giant Virus Biology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nagasaki K, Takano Y, Tanaka K, Murayama M, Arai K, Takahashi M, Masuda Y, Tomaru Y, Wada K.
2. 発表標題 Retrospective approach for analyzing past dynamics of a bloom-forming alga and its infectious virus.
3. 学会等名 International Symposium on Aquatic Metagenomics (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 池田彩乃, 高野義人, 遠藤寿, 緒方博之, 櫻井哲也, 加藤伸一郎, 大西浩平, 森澤啓子, 樋口琢磨, 外丸裕司, 高橋迪子, 長崎慶三
2. 発表標題 渦鞭毛藻ウイルスのDNAポリメラーゼ活性中心は生物界の例外的存在か?
3. 学会等名 第44回日本藻類学会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 福原敏行、田原緑、高橋英樹
2. 発表標題 野生植物ハクサンハタザオのウイルス抵抗性と環境ストレス耐性
3. 学会等名 第8回植物RNA研究者ネットワークシンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 栗山和典、田原緑、森山裕充、高橋英樹、福原敏行
2. 発表標題 星咲き品種ベチュニアにおける内在性ウイルスの活性化とRNA干渉機構の崩壊との関係
3. 学会等名 第61回日本植物生理学会年会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 田原緑、浦口晋平、高橋英樹、福原敏行
2. 発表標題 ハクサンハタザオにおけるキュウリモザイクウイルス不顕性感染と環境ストレス耐性の関係
3. 学会等名 第61回日本植物生理学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 栗山和典、田原緑、高橋英樹、福原敏行
2. 発表標題 星咲き品種ベチュニアにおける内在性ウイルスの活性化とそのRNA干渉への影響の解析
3. 学会等名 第8回植物RNA研究者ネットワークシンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hideki Takahashi
2. 発表標題 Virus latency and the impact on plants
3. 学会等名 The 18th Awaji International Forum on Infection and Immunity (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hideki Takahashi
2. 発表標題 Introduction of International Education and Research Center for Food and Agricultural Immunology
3. 学会等名 International Symposium on New Insights on Animal Nutrition, Breeding and Reproduction (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shuhei Miyashita
2. 発表標題 A simple evolution model of MOI unveils the distinct biological principles behind different classes of viruses
3. 学会等名 International Neovirology Mini-symposium Series IV (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 宮下脩平・Michael F Seidl・Jasper RL Depotter・安藤杉尋・高橋英樹・Bart PHJ Thomma
2. 発表標題 植物病原性Verticillium属菌から検出された複数のRNAウイルスのゲノム全塩基配列決定
3. 学会等名 第72回北日本病害虫研究発表会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 安藤杉尋・小関彩恵子・宮下脩平・高橋英樹
2. 発表標題 BTH処理によるRNAサイレンシング関連因子AGO2のプライミングを制御する転写因子の探索
3. 学会等名 平成31年度日本植物病理学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 井尾美由記・村山友理・宮下脩平・安藤杉尋・Sara E. Hanbal ・高橋英樹
2. 発表標題 キュウリモザイクウイルス(CMV)に対するエジプト産ササゲ品種EGの応答とCMVに対する高度抵抗性の性状解析
3. 学会等名 平成31年度日本植物病理学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 村山友理・井尾美由記・安藤杉尋・宮下脩平・Sara E. Hanbal ・高橋英樹
2. 発表標題 エジプト産ササゲ品種EGのキュウリモザイクウイルス高度抵抗性を決定するウイルス因子の解析
3. 学会等名 平成31年度日本植物病理学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ainan Tian, Shuhei Miyashita, Sugihiro Ando, Hideki Takahashi
2. 発表標題 Analysis of genomic region in cucumber mosaic virus RNA1 which determines the induction of the non-HR cell death in reassorted CMV-inoculated leaves of Arabidopsis thaliana
3. 学会等名 平成31年度日本植物病理学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高橋英樹・田原 緑・宮下脩平・安藤杉尋・福原敏行
2. 発表標題 キュウリモザイクウイルスに不顕性感染したシロイヌナズナにおける2bタンパク質の役割
3. 学会等名 平成31年度日本植物病理学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 宮下脩平・安藤杉尋・高橋英樹
2. 発表標題 植物ウイルス - 植物個体群相互作用における空間構造の効果のシミュレーションによる検討
3. 学会等名 平成31年度日本植物病理学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 村山友理・井尾美由記・安藤杉尋・宮下脩平・高橋英樹
2. 発表標題 ササゲのキュウリモザイクウイルス抵抗性を決定する新奇ウイルス因子の解析
3. 学会等名 令和元年度日本植物病理学会東北部会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 本多宗一郎・安藤杉尋・高橋英樹・夏秋啓子・宮下脩平
2. 発表標題 キュウリモザイクウイルスB2系統のRNA1およびRNA2全長塩基配列の決定と感染性cDNAクローンの作製
3. 学会等名 令和元年度日本植物病理学会東北部会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 三富直人・宮下脩平・高橋英樹・安藤杉尋
2. 発表標題 有機栽培育苗土から作出したイネもみ枯細菌病抑制効果を持つ細菌集団の施用によるイネ内生菌叢への影響
3. 学会等名 令和元年度日本植物病理学会東北部会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐々木稜太・三富直人・宮下脩平・安藤杉尋・高橋英樹
2. 発表標題 有機栽培育苗土からのイネもみ枯細菌病菌に感染するファージの探索と特性解析
3. 学会等名 令和元年度日本植物病理学会東北部会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 安藤杉尋・清水浩晶・A. Shahir A. Nor・高島圭介・宮下脩平・金子俊郎・高橋英樹
2. 発表標題 大気圧プラズマの照射条件の違いによる植物免疫誘導の変化
3. 学会等名 令和元年度日本植物病理学会東北部会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sara E. Hanbal, Keisuke Takashima, Shuhei Miyashita, Sugihiro Ando, Kumiko Ito, Mohsen M. Elsharkawy, Toshiro Kaneko, Hideki Takahashi
2. 発表標題 Atmospheric-pressure plasma irradiation can disrupt tobacco mosaic virus particles and RNAs to inactivate their infectivity
3. 学会等名 令和元年度日本植物病理学会東北部会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tokiko Watanabe
2. 発表標題 Control of Ebola virus disease: vaccine development and our project in Sierra Leone
3. 学会等名 The 17th Awaji International Forum on Infection and Immunity (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tokiko Watanabe
2. 発表標題 Research of zoonotic diseases: Control of Ebola virus disease.
3. 学会等名 Workshop on Environmental Viruses (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yoshihiro Kawaoka
2. 発表標題 A highly pathogenic avian H7N9 influenza virus isolated from a human is lethal in some ferrets infected via respiratory droplets.
3. 学会等名 10th International Symposium on Avian Influenza (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yoshihiro Kawaoka
2. 発表標題 Flu-Vision: Imaging systems for analyzing influenza virus infection
3. 学会等名 Philipps University Marburg Current Topics in Influenza and Filovirus Research (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yoshihiro Kawaoka
2. 発表標題 Centenary of the 1918 Spanish Influenza, the Worst Pandemic in the Recent History of the World
3. 学会等名 Influenza Virus Virulence factors, International Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yoshihiro Kawaoka
2. 発表標題 Flu-vision, total imaging systems for analyzing influenza virus infection.
3. 学会等名 Nature Conference on Viral Infection and Immune Response (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yoshihiro Kawaoka
2. 発表標題 Human Ebola Virus Disease Pathogenesis Revealed by Multi`Platform Omics Analysis,
3. 学会等名 Keystone Symposia in Hong Kong (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yamayoshi S, Oishi K, Kawaoka Y.
2. 発表標題 The role of N-terminal acetylation by NatB in the shutoff activity of PA-X.
3. 学会等名 The 7th China_Japan Bilateral Symposium on All Influenza virus (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yamayoshi S, Kawaoka Y
2. 発表標題 Human monoclonal antibodies against influenza virus
3. 学会等名 MEDLAB Asia Pacific & Asia Health Exhibition & Congress 2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Iwatsuki-Horimoto K.
2. 発表標題 Animal Models for Influenza Research.
3. 学会等名 Symposium 'Zoonosis Research' in Veterinary Science at University of Tokyo (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 河岡義裕
2. 発表標題 スペイン風邪から100年
3. 学会等名 インフルエンザ研究者交流の会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 河岡義裕
2. 発表標題 新興感染症-インフルエンザウイルスならびにエボラ出血熱-
3. 学会等名 横浜市医師会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 河岡義裕
2. 発表標題 新興感染症-インフルエンザウイルスならびにエボラ出血熱-
3. 学会等名 小児感染症専門医育成フォーラム (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 河岡義裕
2. 発表標題 インフルエンザ並びにエボラ出血熱
3. 学会等名 第161回日本獣医学会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 河岡義裕
2. 発表標題 インフルエンザ並びにエボラ出血熱
3. 学会等名 小児感染症学会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 渡辺登喜子
2. 発表標題 エボラ出血熱の制圧に向けて～ワクチン開発とシエラレオネでの研究活動
3. 学会等名 北海道大学獣医学研究談話会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 渡辺登喜子
2. 発表標題 エボラウイルスに挑む！
3. 学会等名 AMED感染症研究事業 市民向けシンポジウム「みるみる興味が湧いてくる！感染症研究の世界」（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 渡辺登喜子
2. 発表標題 インフルエンザウイルスの宿主への適応戦略
3. 学会等名 日本大学動物医科学研究センターセミナー（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 渡辺登喜子
2. 発表標題 エボラ出血熱の制圧に向けて、ワクチン開発とシエラレオネでの研究活動
3. 学会等名 プラチナ勉強会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yamayoshi S, Kiso M, Yasuhara A, Ito M, Kawaoka Y.
2. 発表標題 Identification of amino acids that enhance virus replication in mammalian hosts in the PB2 and PA proteins of a highly pathogenic H7N9 influenza virus isolated from a human
3. 学会等名 8th Orthomyxovirus research conference（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kohei Oishi, Seiya Yamayoshi, Hiroko Kozuka-Hata, Masaaki Oyama and Yoshihiro Kawaoka
2. 発表標題 N-terminal acetylation by NatB is required for the shutoff activity of influenza A virus PA-X
3. 学会等名 The 17th Awaji International Forum on Infection and Immunity（国際学会）
4. 発表年 2018年

1 . 発表者名 H. Ueki, IH. Wang, S. Fukuyama, H. Katsura, T. Lopes, M. Gunzer, G. Neumann, and Y. Kawaoka
2 . 発表標題 In vivo imaging captures the pathophysiological changes and dynamics of immune cells in influenza virus-infected mouse lung.
3 . 学会等名 The 2018 Negative Strand RNA Virus ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Atsuhiko Yasuhara, Seiya Yamayoshi, Maki Kiso, Shinya Yamada, Yoshihiro Kawaoka
2 . 発表標題 The potential of human monoclonal antibodies that recognize the influenza A(H1N1)pdm09 virus hemagglutinin receptor-binding site as anti-influenza agents.
3 . 学会等名 The 2018 Negative Strand RNA Virus ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Kosuke Takada, Chiharu Kawakami, Shufang Fan, Shiho Chiba, Gongxun Zhong, Chunyang Gu, Kohei Shimizu, Sara Takasaki, Yuko Sakai-Tagawa, Tiago J. S. Lopes, Jayeeta Dutta, Harm van Bakel, Zenab Khan, Divya Kriti, Shinya Yamada, Tokiko Watanabe, Masaki Imai, Yoshihiro Kawaoka.
2 . 発表標題 A humanized MDCK cell line for the efficient isolation and propagation of human influenza viruses.
3 . 学会等名 Influenza and Other Infections Symposium ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Yamayoshi S, Kiso M, Yasuhara A, Ito M, Shu Y, Kawaoka Y.
2 . 発表標題 Identification of amino acids that enhance virus replication in mammalian hosts in the PB2 and PA proteins of a highly pathogenic H7N9 influenza virus isolated from a human
3 . 学会等名 17th Negative Strand Virus Meeting ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名 Takeaki Imamura, Shinya Yamada, Kiyoko Iwatsuki-Horimoto, Reviany V. Nidom, Setyarina Indrasari, Kuncoro P. Santoso, Chairul.A Nidom, Yoshihiro Kawaoka
2. 発表標題 Amino acid substitutions in the PB2 protein of an H5N1 avian influenza virus enhance its replication efficiency and pathogenicity in mammalian hosts.
3. 学会等名 XVII International Meeting on Negative Strand Viruses (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yuri Furusawa, Shinya Yamada, Yoshihiro Kawaoka.
2. 発表標題 Host Factor Nucleoporin 93 Is Involved in The Nuclear Export of Influenza Virus RNA.
3. 学会等名 The 17th Awaji International Forum on Infection and Immunity, (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 渡辺登喜子、Huapeng Feng, 山下誠、河岡義裕
2. 発表標題 マウスモデルにてアジュバント効果を示す食品添加物の探索
3. 学会等名 第161回日本獣医学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 S. Yamayoshi, A. Yasuhara, M. Ito, R. Uraki, Y. Kawaoka
2. 発表標題 Differences in the ease with which mutant viruses escape from human monoclonal antibodies against the HA stem of influenza A virus
3. 学会等名 第66回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岩附研子、中島典子、木曾真紀、高橋健太、伊藤睦美、井上貴史、堀内真千子、岡原則夫、佐々木えりか、長谷川秀樹、河岡義裕
2. 発表標題 マームセットのインフルエンザ感染霊長類モデル動物としての検証
3. 学会等名 第161回日本獣医学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 I-Hsuan Wang, Jiro Usukura, and Yoshihiro Kawaoka
2. 発表標題 Understanding influenza A virus budding by direct visualization of viral ribonucleoproteins at the plasma membrane.
3. 学会等名 The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 植木紘史, J. IH. Wang, 福山聡, 桂廣亮, Lopes TJS, Gabriele Neumann, 河岡義裕
2. 発表標題 2光子励起顕微鏡を用いたインフルエンザウイルス感染マウスにおける肺の生体イメージングの試み
3. 学会等名 第161回日本獣医学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 植木紘史, I-Hsuan Wang, 福山聡, 桂廣亮, Lopes TJS, Gabriele Neumann, 河岡義裕
2. 発表標題 2光子励起顕微鏡法を用いたインフルエンザウイルス感染肺の病態生理学的変化の観察
3. 学会等名 第26回日本血管生物医学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiroshi Ueki, Satoshi Fukuyama, Gabriele Neumann, and Yoshihiro Kawaoka
2. 発表標題 In vivo imaging of the pathophysiological changes and dynamics of immune cells in influenza virus-infected mouse lung.
3. 学会等名 第47回日本免疫学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Huapeng Feng, Makoto Yamashita, Tiago Jose da Silva Lopesa, Tokiko Watanabe, Yoshihiro Kawaoka
2. 発表標題 Injectable excipients as novel influenza vaccine adjuvants.
3. 学会等名 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 So Nakagawa, Mahoko Ueda
2. 発表標題 gVE database provides possibly protein-coding sequences that are similar to viruses in 20 mammalian genomes
3. 学会等名 3rd Annual Meeting of the EVBC (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中川草
2. 発表標題 種々のバイオインフォマティクス解析で迫るウイルスと宿主の共進化
3. 学会等名 第41回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上田真保子、クリュコフ キリル、三橋里美、三橋弘明、今西規、中川草
2. 発表標題 哺乳類のタンパク質をコードするトランスポソンの比較ゲノム解析
3. 学会等名 第41回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小嶋将平、川野秀一、伊東潤平、中川草、堀江真行、朝長啓造
2. 発表標題 内在性RNAウイルス様配列の新規検索手法の開発と新たなウイルス様配列の同定
3. 学会等名 第41回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 So Nakagawa
2. 発表標題 Genome-wide expression analysis for endogenous viral elements in mammalian genomes
3. 学会等名 The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yoriyuki Konno, Shumpei Nagaoka, Izumi Kimura, Keisuke Yamamoto, Yumiko Kagawa, Ryuichi Kumata, Hirofumi Aso, Mahoko Takahashi Ueda, So Nakagawa, Tomoko Kobayashi, Yoshio Koyanagi and Kei Sato
2. 発表標題 New World feline APOBEC3 potently controls inter-genus lentiviral transmission
3. 学会等名 The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 So Nakagawa, Mahoko Ueda
2. 発表標題 gEVE: a database for viral 'fossils' in mammalian genomes
3. 学会等名 環境ウイルス研究集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中川草、上田真保子、Kirill Kryukov、三橋里美、三橋弘明、今西規
2. 発表標題 真核生物ゲノムに内在化したウイルス様配列データベースgEVEを活用したトランスクリプトーム解析
3. 学会等名 生命医薬情報学連合大会 (IIBMP2018)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上田真保子、三橋里美、三橋弘明、中川草
2. 発表標題 哺乳類のトランスポゾンに由来するタンパク質コード配列の比較ゲノム解析
3. 学会等名 日本遺伝学会第90回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中川草、上田真保子、中野雄介、安田二郎、小柳義夫、佐藤佳、黒崎陽平
2. 発表標題 公共データベースを活用したエボラウイルスGP遺伝子の感染効率に関与する塩基突然変異の同定
3. 学会等名 第161回日本獣医学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中川草、上田真保子、今川和彦、宮沢孝幸
2. 発表標題 転移因子に由来する遺伝子の進化
3. 学会等名 日本進化学会第20回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Mahoko Ueda, Satomi Mitsuhashi, Hiroaki Mitsuhashi, Tadashi Imanishi, So Nakagawa
2. 発表標題 Transcriptome analysis to identify genes derived from endogenous retrovirus that mediate cell-cell fusion during differentiation of mouse myoblasts
3. 学会等名 The Society for Molecular Biology & Evolution 2018 (SMBE2018) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kirill Kryukov, Mahoko Takahashi Ueda, Tadashi Imanishi, So Nakagawa
2. 発表標題 Non-retroviral virus-like elements in eukaryotic genomes.
3. 学会等名 The Society for Molecular Biology & Evolution 2018 (SMBE2018) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 So Nakagawa, Mahoko Takahashi Ueda, Yohei Kurosaki, Yusuke Nakano, Taisuke Izumi, Olamide K. Oloniniyi, Jiro Yasuda, Yoshio Koyanagi, and Kei Sato
2. 発表標題 Molecular evolutionary analysis of Ebola virus glycoprotein identified two amino acid mutations that affect viral infectivity
3. 学会等名 The Society for Molecular Biology & Evolution 2018 (SMBE2018) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yusuke Nakano, Keisuke Yamamoto, Andrew Soper, Terumasa Ikeda, Reuben S. Harris, Kei Sato, Yoshio Koyanagi
2. 発表標題 Evolutionary journey of primate lentivirus transmission from chimpanzee to gorilla focusing on relationship between Vif and APOBEC3
3. 学会等名 Cold Spring Harbor Laboratory Meeting on Retroviruses (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Daichi Yamasoba, Kei Sato, Dominik Hotter, Elisabeth Reith, Lennart Koepke, Regina Linsenmeyer, Daron M. Standley, Daniel Sauter, Yoshio Koyanagi, Osamu Takeuchi
2. 発表標題 Identification of a host RNA binding protein as a novel HIV-1 restriction factor
3. 学会等名 Cold Spring Harbor Laboratory Meeting on Retroviruses (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Andrew J. Soper, Yoriyuki Konno, Shumpei Nagaoka, Keisuke Yamamoto, Hirofumi Aso, Izumi Kimura, Guillermo Juarez-Fernandez, Naoko Misawa, Yusuke Nakano, Kei Sato, Yoshio Koyanagi
2. 発表標題 Investigation of HIV-1 heterogeneity and compartmentalization in humanized mouse model
3. 学会等名 Cold Spring Harbor Laboratory Meeting on Retroviruses (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yohei Kurosaki, Mahoko Takahashi Ueda, Yusuke Nakano, Jiro Yasuda, Yoshio Koyanagi, Kei Sato, So Nakagawa
2. 発表標題 Different effects of two mutations on the infectivity of Ebola virus glycoprotein in nine mammalian species
3. 学会等名 NSV (Negative strand virus) 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山嵜大智, 佐藤佳, 小柳義夫, 竹内理
2. 発表標題 新規RNA分解酵素によるHIV-1感染制御機構の解明
3. 学会等名 第29回日本生体防御学会学術総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐藤佳, 今野順介, 長岡峻平, 木村出海, 麻生啓文, 熊田隆一, 伊東潤平, 小柳義夫
2. 発表標題 システムウイルス学的アプローチからを紐解くウイルスと宿主の進化的軍拡競争のダイナミズム
3. 学会等名 日本進化学会第20回大会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kei Sato
2. 発表標題 Evolutionary episode of primate lentiviruses: conflict of Vif and APOBEC3
3. 学会等名 The 17th Awaji International Forum on Infection and Immunity (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yoshio Koyanagi, Kei Sato
2. 発表標題 HIV-1 pathogenesis study using humanized mice
3. 学会等名 30th International Workshop on Retroviral Pathogenesis (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kei Sato, Yoshio Koyanagi
2. 発表標題 Functional (or dysfunctional) conflict of Vif and APOBEC3 in humanized mice infected with HIV-1
3. 学会等名 30th International Workshop on Retroviral Pathogenesis (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shumpei Nagaoka, Eiryo Kawakami, Jumpei Ito, Naoko Misawa, Hirofumi Aso, Shinji Nakaoka, Yorifumi Satou, Katsuyuki Shiroguchi, Yoshio Koyanagi, Kei Sato
2. 発表標題 Characterization of HIV-1 infected cells in vivo by multi-omics analysis
3. 学会等名 The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takafumi Shichijo, Jun-ichiro Yasunaga, Kazuya Shimura, Kei Sato, Yoshio Koyanagi, Patrick Green, Edward Murphy, Masao Matsuoka
2. 発表標題 Comprehensive analysis of proviral sequences in HTLV-1 and HTLV-2 carriers
3. 学会等名 The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hirofumi Aso, Jumpei Ito, Yoshio Koyanagi, Kei Sato
2. 発表標題 Systematic investigation of transcriptional regulations of interferon-stimulated genes
3. 学会等名 The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4. 発表年 2018年

1 . 発表者名 Daichi Yamasoba, Kei Sato, Yoshio Koyanagi, Osamu Takeuchi
2 . 発表標題 MALT1-mediated cleavage of N4BP1, an antiviral RNase, contributes to the viral reactivation in latently HIV-1 infected cells
3 . 学会等名 The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Andrew J. Soper, Yoriyuki Konno, Naoko Misawa, Yusuke Nakano, Kei Sato, Yoshio Koyanagi
2 . 発表標題 Artificial Nef mutations used to investigate source of HIV in humanized mouse model
3 . 学会等名 The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Ryuichi Kumata, Yusuke Kakizoe, Naoko Misawa, Shingo Iwami, Kei Sato, Yoshio Koyanagi
2 . 発表標題 Quantification of antiviral effects of IFN-alpha on HIV cell-free and cell-to-cell infection based on experimental-mathematical investigation
3 . 学会等名 The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Hirofumi Fukuda, Anamaria Daniela Sarca, Kazuo Yamashita, Songling Li, Hirotaka Ebina, Kotaro Shirakawa, Kei Sato, Daron Standley, Yoshio Koyanagi, Taisuke Izumi, Akifumi Takaori-Kondo
2 . 発表標題 Structural and RNA binding model of APOBEC3G N-terminal domain for new drug designs
3 . 学会等名 The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Jumpei Ito, Izumi Kimura, Andrew J. Soper, Yoshio Koyanagi, Kei Sato
2 . 発表標題 Pan-cancer profiling of expressions of human endogenous retroviruses
3 . 学会等名 The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Yusuke Nakano, Keisuke Yamamoto, Andrew J. Soper, Kei Sato, Yoshio Koyanagi
2 . 発表標題 Tracing the evolution of great ape lentiviruses focusing on the functional relationship between Vif and APOBEC3G
3 . 学会等名 The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Keisuke Yamamoto, Yusuke Nakano, Kei Sato, Yoshio Koyanagi
2 . 発表標題 HIV-1 group O Vif proteins counteract human A3D, A3F and A3H independently of DRMR and FH motifs
3 . 学会等名 The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Izumi Kimura, Takamasa Ueno, Kei Sato, Yoshio Koyanagi
2 . 発表標題 Impact of host HLA allele influencing HIV-1 pathogenesis
3 . 学会等名 The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名 Yoriyuki Konno, Shumpei Nagaoka, Izumi Kimura, Keisuke Yamamoto, Yumiko Kagawa, Ryuichi Kumata, Hirofumi Aso, Mahoko Takahashi Ueda, So Nakagawa, Tomoko Kobayashi, Yoshio Koyanagi, Kei Sato
2. 発表標題 New World feline APOBEC3 potently controls inter-genus lentiviral transmission
3. 学会等名 The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kei Sato
2. 発表標題 Shedding light on the dynamics of HIV-1 infection through virological and multi-omics approaches
3. 学会等名 CAIDS/ACC/ARC Joint Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐藤佳
2. 発表標題 システムウイルス学：ウイルスと宿主の進化的攻防を実験室内で再現・検証するアプローチ
3. 学会等名 第41回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐藤佳, 三沢尚子, 長岡俊平, 麻生啓文, 川上英良, 中岡慎治, 城口克之, 佐藤賢文, 小柳義夫
2. 発表標題 HIV治癒へのオミクス解析
3. 学会等名 第32回日本エイズ学会学術集会・総会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中野雄介, 山本啓輔, ソパー アンドリュー, 佐藤佳, 小柳義夫
2. 発表標題 HIV-1及びその祖先ウイルスのVifと抗ウイルスタンパク質APOBEC3の相互性解析
3. 学会等名 第32回日本エイズ学会学術集会・総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山岨大智, 佐藤佳, 小柳義夫, 竹内理
2. 発表標題 MALT1によるN4BP1の分解は潜伏感染HIV-1の再活性化を促進する
3. 学会等名 第32回日本エイズ学会学術集会・総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kei Sato
2. 発表標題 Human-specific adaptations in Vpu conferring anti-tetherin activity are critical for efficient early HIV-1 replication in vivo
3. 学会等名 Highlights in Basic and Clinical Research in HIV/AIDS (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 兵頭究・鈴木信弘
2. 発表標題 植物ウイルス感染の抗糸状菌免疫への影響
3. 学会等名 日本植物病理学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kiwamu Hyodo
2. 発表標題 A role of reactive oxygen species during the replication of a plant virus
3. 学会等名 International Neovirology Mini-Symposium series IV (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 新屋友規・藤原由佳・兵頭究・吉見圭永・原克弥・円谷陽一・小竹敬久・Galís Ivan
2. 発表標題 イネの植食性昆虫認識に関わる細胞壁由来エリシターの解析
3. 学会等名 日本植物生理学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 兵頭 究・鈴木 信弘・奥野 哲郎
2. 発表標題 宿主足場タンパク質RACK1のハイジャックによる植物ウイルス増殖戦略
3. 学会等名 日本植物病理学会関西支部会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 兵頭究
2. 発表標題 植物ウイルス感染がパターン誘導性免疫に及ぼす影響
3. 学会等名 第53回植物感染生理談話会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shuichi Kawano, Hironori Fujisawa, Toyoyuki Takada, Toshihiko Shiroishi
2. 発表標題 A one-stage estimation of principal component regression for generalized linear models
3. 学会等名 The 2nd International Conference on Econometrics and Statistics (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shuichi Kawano
2. 発表標題 Sparse principal component regression via singular value decomposition
3. 学会等名 The 11th International Conference of the ERCIM WG on Computational and Methodological Statistics (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Keizo Tomonaga
2. 発表標題 Roles of RNA transcripts from endogenous bornavirus-like elements in host evolution
3. 学会等名 Evolution (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Keizo Tomonaga
2. 発表標題 Roles of non-coding RNAs from endogenous bornavirus-like elements in Borna disease virus infection
3. 学会等名 2nd International Symposium on RNA virus persistence (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Keizo Tomonaga
2. 発表標題 Intranuclear persistent infection of bornavirus as an evolutionary strategy determining the survival and fitness
3. 学会等名 Virus Dynamics Workshop in Japan (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Masayuki Horie, Shohei Kojima, Bea Clarise B.Garcia, Dong-Yun Kim, Yahiro Mukai, Nicholas F. Parrish, Keizo Tomonaga.
2. 発表標題 Systematic investigation of novel lineages of endogenous bornavirus-like elements in vertebrate genomes.
3. 学会等名 17th Negative Strand RNA Virus (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shohei Kojima, Ryo Sato, Mako Yanai, Yumiko Komatsu, Manabu Igarashi, Masayuki Horie, Keizo Tomonaga.
2. 発表標題 Alternative splicing unmask an endoplasmic reticulum targeting signal of Borna disease virus nucleoprotein
3. 学会等名 17th Negative Strand RNA Virus (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akiko Makino, Yutaro Yamamoto, Yuya Hirai, Keizo Tomonaga.
2. 発表標題 Translational regulation of Borna disease virus.
3. 学会等名 17th Negative Strand RNA Virus (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yahiro Mukai, Masayuki Horie, Yuki Kobayashi, Shohei Kojima, Ken Maeda, Keizo Tomonaga
2. 発表標題 Investigation of the biological role of an endogenous bornavirus-like element in miniopterid bat genomes.
3. 学会等名 17th Negative Strand RNA Virus (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小嶋 将平, 本田 知之, 朝長 啓造.
2. 発表標題 内在性ボルナウイルス様エレメント由来非コードRNAはボルナウイルスの感染を抑制する.
3. 学会等名 第20回日本RNA学会年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Masayuki Horie, Junna Kawasaki, Dong-Yun Kim, Yahiro Mukai, Shohei Kojima, Bea Clarise B. Garcia, Nicholas F. Parrish, Keizo Tomonaga
2. 発表標題 Systematic investigation of novel lineages of endogenous bornavirus-like elements in the human genome.
3. 学会等名 The 17th Awaji International Forum on Infection and Immunity
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yahiro Mukai, Masayuki Horie, Yuki Kobayashi, Shohei Kojima, Ken Maeda, Keizo Tomonaga
2. 発表標題 Examination of the biological property of a protein encoded by an endogenous bornavirus-like element in miniopterid bat genomes.
3. 学会等名 The 17th Awaji International Forum on Infection and Immunity
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 向井八尋, 堀江真行, 小林由紀, 小嶋将平, 前田健, 朝長啓造
2. 発表標題 Determination of interacting host factors of an endogenous bornavirus-like element-derived protein in miniopterid bat cells.
3. 学会等名 The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akiko Makino, Kan Fujino, Keizo Tomonaga
2. 発表標題 Generation of chimeric mammalian orthobornavirus.
3. 学会等名 The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Dong-Yun Kim, Yahiro Mukai, Shohei Kojima, Yumiko Komatsu, Masayuki Horie, Keizo Tomonaga
2. 発表標題 Characterization of newly discovered endogenous bornavirus-like elements in the human genome.
3. 学会等名 The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小嶋将平, 川野秀一, 伊藤潤平, 中川草, 堀江真行, 朝長啓造.
2. 発表標題 内在性RNAウイルス様配列の新規 検索手法の開発と新たなウイルス様配列の同定.
3. 学会等名 第41回日本分子生物学会年会.
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 向井八尋, 堀江真行, 小林由紀, 小嶋将平, 前田健, 朝長啓造
2. 発表標題 A bornavirus-derived gene in miniopterid bats encodes a potentially functional RNA-binding protein.
3. 学会等名 第41回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 堀江真行
2. 発表標題 哺乳動物とボルナウイルスの共進化：ドライ・ウェット・フィールドワークを組み合わせたアプローチ
3. 学会等名 第41回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 堀江真行
2. 発表標題 現代と古代のRNAウイルスの多様性を探る
3. 学会等名 第66回日本生態学会大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tomohiko Sadaoka, Werner J .D. Ouwendijk, Daniel P. Depledge, Judith Breuer, Georges M. G. M. Verjans, Yasuko Mori
2. 発表標題 Transcriptional complexity of the varicella-zoster virus latency-associated transcript
3. 学会等名 43rd Annual International Herpesvirus Workshop (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小椋 俊彦、岡田 知子
2. 発表標題 走査電子誘電率顕微鏡の開発と液中試料観察のシンギュラリティ
3. 学会等名 日本顕微鏡学会 第74回学術講演会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小椋 俊彦、岡田 知子
2. 発表標題 走査電子誘電率顕微鏡による水溶液中の生物試料の高分解能観察
3. 学会等名 第27回日本バイオイメーキング学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小椋 俊彦、岡田 知子
2. 発表標題 走査電子誘電率顕微鏡による有機材料や生物試料の液中観察と分析
3. 学会等名 日本分析化学会 第67年会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小椋 俊彦、岡田 知子
2. 発表標題 溶液中の生物試料や有機材料をそのまま観察する走査電子誘電率顕微鏡の開発
3. 学会等名 第69回コロイドおよび界面化学討論会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小椋 俊彦、岡田 知子
2. 発表標題 走査電子誘電率顕微鏡による液中生物試料の高コントラスト観察
3. 学会等名 2018年度日本顕微鏡学会 SEMの物理学分科会研究会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nami Kimura, Akihisa Kato, Yuhei Maruzuru, Naoto Koyanagi, Jun Arii, Yasushi Kawaguchi
2. 発表標題 Negative regulation of HSV-1 Us3 kinase by tyrosine phosphorylation and its role in viral replication and pathogenesis
3. 学会等名 The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yasushi Kawaguchi
2. 発表標題 Novel Evasion Mechanisms against Innate and Adaptive Immune Responses by Herpes Simplex Virus 1
3. 学会等名 43rd Annual International Herpesvirus Workshop（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tomohiro Mochizuki
2. 発表標題 New hyperthermophilic crenarchaeal virus with unusual genotype
3. 学会等名 EVOLUTION - Genetic Novelty/Genomic Variations by RNA Networks and Viruses（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tomohiro Mochizuki
2. 発表標題 Isolation of 5 new hyperthermophilic archaeal viruses, all f possibly different viral families
3. 学会等名 Viruses of Microbes (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tomohiro Mochizuki
2. 発表標題 Isolation of 4 new hyperthermophilic archaeal Pyrobaculum viruses, including a rare ssDNA virus
3. 学会等名 Extremophiles (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tomohiro Mochizuki
2. 発表標題 Isolation of novel hyperthermophilic archaeal ssDNA virus, with new perspectives on the archaeal virosphere
3. 学会等名 環境ウイルス研究集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉川元貴、Romain Blanc-Mathieu、望月智弘、Chihong Song、村田和義、緒方博之、武村政春
2. 発表標題 アカントアメーバに感染する新規ウイルスMedusavirusのゲノム解析
3. 学会等名 環境ウイルス研究集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiroyuki Ogata, Genki Yoshikawa, Romain Blanc-Mathieu, Chihong Song, Yoko Kayama, Tomohiro Mochizuki, Kazuyoshi Murata, Masaharu Takemurata
2. 発表標題 A Giant Virus From a Freshwater Environment With a Full Set of Histone Genes
3. 学会等名 Aquatic Virus Workshop 9 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Masaharu Takemura, Genki Yoshikawa, Keita Aoki, Tomohiro Mochizuki, Romain Blanc-Mathieu, Chihong Song, Kazuyoshi Murata, Hiroyuki Ogata
2. 発表標題 Molecular phylogenetic analysis of Acanthamoeba castellanii medusavirus Acanthamoeba castellanii medusavirus
3. 学会等名 日本微生物生態学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 香山 容子, ソン チホン, 武村 政春, 村田 和義
2. 発表標題 クライオ電子顕微鏡による新規巨大ウイルスMedusavirusの単粒子構造解析
3. 学会等名 日本顕微鏡学会第74回学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Eiko Matsuo, Hiroko Omori, Keiichi Saeki, Junichi Kawano
2. 発表標題 Visualization of Epizootic hemorrhagic Disease Virus Entry and Protein Synthesis
3. 学会等名 The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Eiko Matsuo, Marina Hamaji, Hiroko Omori, Hideyuki Tsuji, Akari Saito, Polly Roy, Keiichi Saeki, Takeshi Kobayashi, Junichi Kawano
2. 発表標題 Further analysis of Ibaraki virus VP6 to produce fluorescence-labeled orbiviruses
3. 学会等名 13th International dsRNA Virus Symposium (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Meier-Kolthoff JP, Uchiyama J, Yahara H, Paez-Espino D, Yahara K
2. 発表標題 Investigation of recombination-intense viral groups and their genes in oral microbiome
3. 学会等名 96th General Session of the IADR (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 矢原耕史
2. 発表標題 ウイルスの系統とゲノム組換え - Earth's viromeデータの解析から -
3. 学会等名 日本進化学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Meier-Kolthoff JP, Uchiyama J, Yahara H, Paez-Espino D, Yahara K
2. 発表標題 Investigation of recombination-intense viral groups and their genes in the Earth's virome
3. 学会等名 日本ゲノム微生物学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takashi Irie
2. 発表標題 Characterization of a Sendai virus isolate producing copyback-type defective viral RNA and its potential as an effective vaccine adjuvant
3. 学会等名 Influenza and Other Infections (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hideki Takahashi
2. 発表標題 Latent plant-virus interactions and their impact on plant stress tolerance.
3. 学会等名 WUR-TU Plant Science Workshop 2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shuhei Miyashita
2. 発表標題 Social aspects in viral ways of life, analyzed by wet experiments and dry simulations.
3. 学会等名 WUR-TU Plant Science Workshop 2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shuhei Miyashita
2. 発表標題 Evolution of strategies in space: the never-ending quests for higher fitness by viruses and the hosts driven by differences and changes in spatial structures.
3. 学会等名 The 17th Awaji International Forum on Infection and Immunity (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shuhei Miyashita
2. 発表標題 Majority decisions by four or five members: social rules that can be formed and maintained in viral populations to exclude free riders.
3. 学会等名 Seminaire BGPI CIRAD (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ainan Tian, Shuhei Miyashita, Sugihiro Ando, Hieki Takahashi
2. 発表標題 Comparative analysis of two-type of cell death developed in cucumber mosaic virus-inoculated leaves of Arabidopsis thaliana
3. 学会等名 平成30年度日本植物病理学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西條悠希, 安藤杉尋, 高橋英樹, 宮下脩平
2. 発表標題 R遺伝子による認識を免れる変異型CMV CPのアラニンスクヤニングによる探索
3. 学会等名 平成30年度日本植物病理学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鈴木万智, Sietske van Bentum, 安藤杉尋, 高橋英樹, 宮下脩平
2. 発表標題 細胞間移行におけるCMVのMOIはR遺伝子による抵抗性誘導時に低下する
3. 学会等名 平成30年度日本植物病理学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉澤 峻, 宮下脩平, 安藤杉尋, 福原敏行, 高橋英樹
2. 発表標題 シロイヌナズナへの無病感染に関わるキュウリモザイクウイルスのゲノムRNAと宿主因子の解析
3. 学会等名 平成30年度日本植物病理学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高橋英樹, 田原 緑, 平山裕也, 宮下脩平, 安藤杉尋, 川野修一, 福原敏行
2. 発表標題 キュウリモザイクウイルスに無病感染したシロイヌナズナにおけるRNA-seq解析
3. 学会等名 平成30年度日本植物病理学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 八木橋素良・宮下脩平・安藤杉尋・高橋英樹
2. 発表標題 キュウリモザイクウイルスに不顕性感染したシロイヌナズナにおけるダイコンモザイクウイルスとTurnip crinkle virusの増殖抑制
3. 学会等名 平成30年度日本植物病理学会東北部会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ainan Tian, Shuhei Miyashita, Sugihiro Ando, Hideki Takahashi
2. 発表標題 Analysis of genomic region in cucumber mosaic virus RNA1 which determines ectopic induction of cell death in reassorted CMV-inoculated leaves of Arabidopsis thaliana
3. 学会等名 平成30年度日本植物病理学会東北部会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 宮下脩平, Michael F Seidl, Jasper RL Depotter, 安藤杉尋, 高橋英樹, Bart PHJ Thomma
2. 発表標題 植物病原性Verticillium属菌から検出された複数のRNAウイルスのゲノム全塩基配列決定
3. 学会等名 平成30年度日本植物病理学会東北部会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kazunori Kuriyama, Midori Tabara, Hideki Takahashi, Hiromitsu Moriyama and Toshiyuki Fukuhara
2. 発表標題 An endogenous pararetrovirus, petunia vein clearing virus, affects RNA interference in petunia
3. 学会等名 12th International Plant Molecular Biology Congress (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tabara M, Suzuki N, Moriyama H, Fukuhara T.
2. 発表標題 In-vitro biochemical characterization of a Dicer of Neurospora crassa, DCL2, in comparison with plant Dicers, DCL3 and DCL4 of Arabidopsis thaliana
3. 学会等名 第41回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kazunori Kuriyama, Midori Tabara, Hideki Takahashi, Hiromitsu Moriyama and Toshiyuki Fukuhara
2. 発表標題 An endogenous Petunia vein clearing virus affects RNA interference in the star-type petunia
3. 学会等名 The Molecular Biology Society of Japan (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 樋口玲爾、關文緒、中野祥吾、伊藤創平、丸山正、大石和恵、竹田誠、常盤広明
2. 発表標題 第四次革新的手法を用いたモルビリウイルスと感染哺乳動物との共進化に関する理論的研究
3. 学会等名 第62回日本薬学会関東支部大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小林由紀
2. 発表標題 分子進化解析から見えてくるインフルエンザウイルスの感染戦略
3. 学会等名 第41回日本分子生物学会年会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小林由紀、鈴木善幸
2. 発表標題 A型インフルエンザウイルスのヘマグルチニン電荷の進化
3. 学会等名 日本遺伝学会 第90回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小林由紀
2. 発表標題 アフリカ獣上目動物におけるボルナウイルス由来エレメントの蛋白質機能
3. 学会等名 日本進化学会 第20回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 青柳皓大, 瀬川太雄, 鈴木美和, 岩田秀一, 澤 修作, 加来雅人, 駒場昌幸, 小林由紀, 伊藤琢也
2. 発表標題 バンドウイルカから分離された腸内定着性に優れた乳酸菌の探索
3. 学会等名 第24回日本野生動物医学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鈴木信弘
2. 発表標題 今だから聞けるウイルス学講座「菌類ウイルスに魅せられて」
3. 学会等名 湯河原ウイルスキャンプ(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Telengech, P. K., Micheni, C. M. , Hisano, S., Kondo, Arjona-Lopez, J. M., Lopez-Herrera, C., Kanematsu, S., and Suzuki, N.
2. 発表標題 Novel diverse partitiviruses from the phytopathogenic fungus, <i>Rosellinia necatrix</i> .
3. 学会等名 33rd Annual Meeting of the Chugoku/Shikoku Regional Virology Society
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Aulia, A., Andika, I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.
2. 発表標題 <i>Cryphonectria hypovirus 4 strain C18 exerts synergistic effects in the host fungus <i>Cryphonectria parasitica</i></i>
3. 学会等名 33rd Annual Meeting of the Chugoku/Shikoku Regional Virology Society
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shahi, S., Eusebio-Cope, A., I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.
2. 発表標題 Host range expansion of and avoidance of antiviral RNA silencing by a mitochondrially replicating virus, Cryphonectria mitovirus 1.
3. 学会等名 33rd Annual Meeting of the Chugoku/Shikoku Regional Virology Society
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鈴木信弘
2. 発表標題 ネオウイルス学：ウイルスいろいろ
3. 学会等名 室内環境学会微生物分科会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鈴木信弘
2. 発表標題 白紋羽病菌で繰り広げられるRNAウイルスのネオ・ライフスタイル
3. 学会等名 第 53 回植物感染生理談話会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鈴木信弘
2. 発表標題 (菌類) ウイルスに魅せられて～多賀正節先生との交流～
3. 学会等名 第 4 4 回岡山病理セミナー（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Aulia, A., Andika, I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.
2. 発表標題 Synergism in the chestnut blight fungus <i>Cryphonectria parasitica</i> between two RNA viruses, <i>Cryphonectria hypoviruses 1 and 4</i>
3. 学会等名 The 17th Awaji International Forum on Infection and Immunity (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hisano, H., Zhang, R., Faruk, M. I., Kondo, H., and Suzuki, N.
2. 発表標題 A neo-virus lifestyle exhibited by a (+)ssRNA virus hosted in an unrelated dsRNA virus: taxonomic and evolutionary considerations
3. 学会等名 American Society for Virology 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Arjona-Lopez, J.M., Suzuki N., Lopez-Herrera, C.J.
2. 発表標題 Detection and identification of new mycoviruses in <i>Rosellinia necatrix</i> isolates from avocado crops
3. 学会等名 National Congress of the Spanish Society of Phytopathology
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Suzuki, N.
2. 発表標題 Virocontrol and RNA silencing
3. 学会等名 KSPP 2018 Satellite Meeting on Fungal Genetics (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Suzuki, N.
2. 発表標題 A neo-virus-lifestyle exhibited by a (+)RNA virus hosted by an unrelated dsRNA virus in a phytopathogenic fungus.
3. 学会等名 The Spring Meeting of the Korean Society of Plant Pathology (KSPP 2018) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Suzuki, N.
2. 発表標題 Another nude virus: a capsidless ssRNA virus hosted by an unrelated dsRNA virus
3. 学会等名 Post ICBC Satellite Meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Suzuki, N., and Kanematsu, S.
2. 発表標題 Viruses as biological control (virocontrol) agents of plant fungal pathogens
3. 学会等名 The First International Congress of Biological Control. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Suzuki, N.
2. 発表標題 Another nude virus: a capsidless ssRNA virus hosted by an unrelated dsRNA virus.
3. 学会等名 13th International dsRNA Virus Symposium. Houffalize, Belgium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1 . 発表者名 Caston, J. R., Mata, C. P., Luque, D., Suzuki, N., and Ghabrial, S. A.
2 . 発表標題 Structures of replicative cores of dsRNA viruses
3 . 学会等名 13th International dsRNA Virus Symposium. Houffalize, Belgium (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Shahi, S., and Suzuki, N
2 . 発表標題 Protoplast fusion as a means for horizontal transfer of a mitochondrially replicating positive-sense RNA virus from a filamentous ascomycete, <i>Cryphonectria parasitica</i> .
3 . 学会等名 Africa Day Symposium 2018 (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Aulia, A., and Suzuki, N
2 . 発表標題 <i>Cryphonectria hypoviruses 4 (CHV4)</i> suppresses antiviral RNAi induced by a mutant of another hypovirus CHV1 in the chestnut blight fungus.
3 . 学会等名 Africa Day Symposium 2019 (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Telengech, P.K., Micheni, C. M., Hisano, S., Kondo, H., Arjona-Lopez, J.M., Lopez-Herrera, C., Kanematsu, S., and Suzuki, N.
2 . 発表標題 Novel diverse Partitiviruses from the phytopathogenic fungus, <i>Rosellinia necatrix</i> .
3 . 学会等名 Africa Day Symposium 2020 (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名 Shahi, S., Eusebio-Cope, A., I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.
2. 発表標題 Investigation of host range of and host defense against a mitochondrially replicating mitovirus
3. 学会等名 International Neovirology Mini-symposium Series III (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Telengech, P. K., and Suzuki, N.
2. 発表標題 Diversity of partitiviruses isolated from the white root rot fungus, <i>Rosellinia necatrix</i> , pathogenic to many perennial crops.
3. 学会等名 International Workshop on Towards the Sustainable Development of Agriculture and Food Production in Africa (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 近藤秀樹・林 諭昕・藤田美貴・鈴木信弘
2. 発表標題 栽培シイタケから見いだされた新規菌類マイナス鎖RNAウイルスの塩基配列解析
3. 学会等名 平成31年度日本植物病理学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤有希代・Wajeaha Shamsi・Atif Jamal・Muhammad Faraz Bhatti・近藤秀樹・鈴木信弘
2. 発表標題 ネオライフスタイル (裸性) を持つ可能性がある菌類ポリマイコウイルスの新規種の同定
3. 学会等名 平成31年度日本植物病理学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 村田佳乃子, Atif Jamal, 久保弘法, 鈴木信弘, 千葉壮太郎
2. 発表標題 メガビルナウイルスRnMBV1のIRES領域の同定
3. 学会等名 平成31年度日本植物病理学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 水谷行善, Adane Abraham, 上坂一馬, 近藤秀樹, 須賀晴久, 鈴木信弘, 千葉壮太郎
2. 発表標題 Fusarium boothii 病原性衰退株BL13に感染する新規Tymovirales目ウイルスの性状解析
3. 学会等名 平成31年度日本植物病理学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 李唯衣・大北修平・池田健一・鈴木信弘・中屋敷均
2. 発表標題 コムギいもち病菌に感染しているourmia-like virusesの2種のサテライトRNA様因子
3. 学会等名 平成31年度日本植物病理学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Andika, I. B., Kondo, H., and Suzuki, N.
2. 発表標題 Dicer functions transcriptionally and post-transcriptionally in a multilayer antiviral defense.
3. 学会等名 The Annual Meeting of the Japanese Phytopathological Society. March 18-20, 2019.
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kobayashi T.
2. 発表標題 Nelson Bay orthoreovirus p17 protein regulates viral replication in a host-specific manner
3. 学会等名 第12回日中国際ウイルス学会 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kobayashi T.
2. 発表標題 Reverse genetics systems for orthoreoviruses and rotaviruses
3. 学会等名 13th International dsRNA Symposium 2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kanai Y, Kawagishi T, Onishi M, Pannacha P, Nouda R, Nurdin J, Nomura K, Ushijima H, Kobayashi T.
2. 発表標題 Antigenicity of simian and human reassortant rotaviruses generated by reverse genetics
3. 学会等名 13th International dsRNA Symposium 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kawagishi T, Kanai Y, Yusuke Sakai, Nouda R, Tani H, Shimojima M, Saijo M, Matsuura Y, Kobayashi T.
2. 発表標題 Nelson Bay Orthoreovirus cell attachment protein sigma-C determines strain-specific differences in viral replication and pathogenesis
3. 学会等名 13th International dsRNA Symposium 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 金井 祐太、川岸 崇裕、Pimfhun Pannacha、納田 遼太郎、Nurdin Jeffery、野村 圭一郎、牛島 廣治、小林 剛
2. 発表標題 次世代組換えロタウイルスワクチン作製の試み
3. 学会等名 第161回日本獣医学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kawagishi T, Kanai Y, Sakai Y, Nouda R, Tani H, Shimojima M, Saijo M, Matsuura Y, Kobayashi T.
2. 発表標題 Nelson Bay reovirus sigmaC body domain is associated with strain-specific differences in viral replication
3. 学会等名 The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nouda R, Kawagishi T, Kanai Y, Shimojima M, Saijo M, Matsuura Y, Kobayashi T.
2. 発表標題 Fusogenic bat-borne orthoreovirus p17 protein regulates viral replication in a host-specific manner
3. 学会等名 The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Pannacha P, Kanai Y, Onishi M, Kawagishi T, Nouda R, Nurdin J, Matsuura Y, Kobayashi T.
2. 発表標題 Development of stable reporter rotaviruses
3. 学会等名 The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kanai Y, Kawagishi T, Onishi M, Pannacha P, Nouda R, Nurdin J, Nomura K, Ushijima H, Kobayashi T.
2. 発表標題 Platform for rotavirus vaccine development using plasmid-based reverse genetics
3. 学会等名 The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kobayashi T.
2. 発表標題 ロタウイルス人工合成法の開発と新規ワクチン
3. 学会等名 第22回日本ワクチン学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Chikako Ono, Takasuke Fukuhara, Daisuke Okuzaki, Tomokazu Tamura, Hiroyuki Mori, Asuka Sato, Takuma Izumi, Yuzy Fauzyah, Toru Okamoto, Yoshiharu Matsuura
2. 発表標題 Identification of comparable miRNAs with miR-122 on the propagation of hepatitis C virus
3. 学会等名 The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tomokazu Tamura, Takasuke Fukuhara, Manabu Igarashi, Takuro Uchida, Bazarragchaa Enkhbold, Chikako Ono, Hiroyuki Mori, Asuka Sato, Yuzy Fauzyah, Toru Okamoto, Yoshihiro Sakoda, Kazuaki Chayama, Yoshiharu Matsuura
2. 発表標題 In vivo propagation of recombinant Flaviviridae viruses possessing NanoLuc subunit
3. 学会等名 The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Chikako Ono, Takasuke Fukuhara, Daisuke Okuzaki, Tomokazu Tamura, Hiroyuki Mori, Asuka Sato, Yuzy Fauzyah, Toru Okamoto, Kazuhiko Koike, Yoshiharu Matsuura
2. 発表標題 miRNAs comparable with miR-122 on the propagation of hepatitis C virus
3. 学会等名 5th International Symposium on Hepatitis C Virus and Related Viruses (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tomokazu Tamura, Takasuke Fukuhara, Manabu Igarashi, Takuro Uchida, Bazarragchaa Enkhbold, Chikako Ono, Hiroyuki Mori, Asuka Sato, Yuzy Fauzyah, Toru Okamoto, Yoshihiro Sakoda, Kazuaki Chayama, Yoshiharu Matsuura
2. 発表標題 In vivo propagation of recombinant Flaviviridae viruses possessing NanoLuc subunit
3. 学会等名 The 37th American Society of Virology 2018 Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中尾 亮
2. 発表標題 マダニとその共生微生物のハンティング
3. 学会等名 第70回日本衛生動物学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hirofumi Sawa, Shintaro Kobayashi, Hiroki Yamaguchi, Wallaya Phongphaew, Michihito Sasaki, Yasuko Orba
2. 発表標題 Examination of neuronal injury by West Nile virus infection
3. 学会等名 East Asian Neurology Forum 関連プログラム、第59回日本神経学会学術大会 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中尾 亮
2. 発表標題 ミトゲノムによる国内マダニ種の分子系統解析
3. 学会等名 第26回ダニと疾患のインターフェイスに関するセミナー (SADI)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ryo Nakao, Gohta Kinoshita, Ayumi Saito, Yongjin Qiu, Keita Matsuno, Chihiro Sugimoto, Ken Katakura
2. 発表標題 Complete mitochondrial genome analysis of ticks
3. 学会等名 14th International Congress of Parasitology (ICOPA 2018) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鳥居志保、和田雄治、佐々木道仁、 Jody Hobson-Peters、 Roy A. Hall、大場靖子、澤洋文
2. 発表標題 チクングニアウイルスの増殖を制御する宿主因子の解析
3. 学会等名 第161回日本獣医学学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中尾 亮
2. 発表標題 マダニの共生微生物から探る病原体進化
3. 学会等名 第161回日本獣医学学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 May June Thu, Yongjin Qiu, Chihiro Sugimoto, Ken Katakura, Norikazu Isoda, Ryo Nanao
2. 発表標題 Isolation of endosymbionts of ticks in Japan
3. 学会等名 第161回日本獣医学学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shiho Torii_Yuji Wada_Michihito Sasaki_Jody Hobson-Peters_Roy A. Hall_Yasuko Orba_Hirofumi Sawa
2. 発表標題 Identification and functional analysis of the host factors that regulate Chikungunya virus infection
3. 学会等名 The 6th Sapporo Summer Seminar for One Health (SaSSOH) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Christida E. Wastika, Michihito Sasaki, Kentaro Yoshii, Shintaro Kobayashi, Bernard M. Hangombe, Aaron S. Mweene, Yasuko Orba, Hirofumi Sawa
2. 発表標題 Serosurveillance of Zika and Yellow fever viruses in wildlife in Zambia.
3. 学会等名 The 6th Sapporo Summer Seminar for One Health (SaSSOH) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shiho Torii_Yuji Wada_Michihito Sasaki_Jody Hobson-Peters_Roy A. Hall_Yasuko Orba_Hirofumi Sawa
2. 発表標題 Identification and functional analysis of the host factors that regulate Chikungunya virus infection
3. 学会等名 第25回トガフラビルス研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shiho Torii_Yuji Wada_Michihito Sasaki_Jody Hobson-Peters_Roy A. Hall_Yasuko Orba_Hirofumi Sawa
2. 発表標題 Identification and functional analysis of the host factors that regulate Chikungunya virus infection
3. 学会等名 The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Michihito Sasaki, Paulina D. Anindita, Naoto Ito, Makoto Sugiyama, Michael Carr, Ayato Takada, Yasuko Orba, Hirofumi Sawa
2. 発表標題 Characterization of rabies virus mutants showing different abilities to bind to heparan sulfate
3. 学会等名 The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yasuko Orba_Wallaya Phongphaew_Shintaro Kobayashi_Herman M Chambaro_Hang'ombe M Bernard_Aaron S Mweene_Michihito Sasaki_Yuki Eshita_Hirofumi Sawa
2. 発表標題 Evidence of West Nile virus circulation in Zambia.
3. 学会等名 The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Christida Estu Wastika_Michihito Sasaki_Kentaro Yoshii_Shintaro Kobayashi_Hiroaki Kariwa_Bernard M. Hang'ombe_Aaron S. Mweene_Michael Carr_Yasuko Orba_Hirofumi Sawa
2. 発表標題 Serological evidence of Zika virus infection in Zambian non-human primates.
3. 学会等名 The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Michihito Sasaki, Gabriel Gonzalez, Naoto Ito, Makoto Sugiyama, Kimihito Ito, Yasuko Orba, Hirofumi Sawa
2. 発表標題 Identification and characterization of a host factor involved in the gene expression of rabies virus
3. 学会等名 第41回分子生物学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shiho Torii_Yuji Wada_Michihito Sasaki_Jody Hobson-Peters_Roy A. Hall_Yasuko Orba_Hirofumi Sawa
2. 発表標題 Identification and functional analysis of the host factors that regulate Chikungunya virus infection
3. 学会等名 The Molecular Biology Society of Japan
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hirofumi Sawa, Paulina D. Anindita, Kazuma Okada, Naoto Ito, Makoto Sugiyama, Noriko Saito-Tarashima, Noriaki Minakawa, Satoshi Shuto, Satoko Otsuguro, Satoshi Ichikawa, Akira Matsuda, Katsumi Maenaka, Yasuko Orba, Michihito Sasaki
2. 発表標題 Ribavirin-related compounds exert in vitro inhibitory effects toward rabies virus
3. 学会等名 The Molecular Biology Society of Japan
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yasuko Orba_Wallaya Phongphaew_Shintaro Kobayashi_Herman M Chambaro_Hang'ombe M Bernard_Aaron S Mweene_Michihito Sasaki_Yuki Eshita_Hirofumi Sawa
2. 発表標題 First evidence of West Nile virus circulation in Zambia.
3. 学会等名 The Molecular Biology Society of Japan
4. 発表年 2018年

1. 発表者名	Herman Moses Chambaro, Michihito Sasaki, Edgar Simulundu, Isaac Kombe, Yona Sinkala, Alikhadio Maseko, Chimwele Choopa, Paul Fandamu, David Squarre, Musso Munyeme, Harima Hayato, Martin Simuunza, Aaron Mweene, Yuki Eshita, Bernard Mudenda Hangombe, Yasuko Orba, Hirofumi Sawa
2. 発表標題	Molecular and serological surveillance for Bluetongue virus in Zambia
3. 学会等名	第41回分子生物学会
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	Christida E. Wastika, Michihito Sasaki, Kentaro Yoshii, Shintaro Kobayashi, Hiroaki Kariwa, Bernard M. Hangombe, Aaron S. Mweene, Michael Carr, Yasuko Orba, Hirofumi Sawa
2. 発表標題	Neutralizing antibodies to Zika virus in African non-human primates
3. 学会等名	the Molecular Biology Society of Japan
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	中尾 亮
2. 発表標題	高速シーケンス技術のベクター媒介性人獣共通感染症研究への応用
3. 学会等名	平成30年度動物医科学研究センターセミナー（招待講演）
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	Shingo Iwami
2. 発表標題	Quantifying antiviral activity optimizes drug combinations against hepatitis C virus infection
3. 学会等名	ECMTB2018（国際学会）
4. 発表年	2018年

1. 発表者名 Shingo Iwami
2. 発表標題 PKPDVD modeling for multi-drug treatment on HCV infection
3. 学会等名 KSIAM2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shingo Iwami
2. 発表標題 Characterizing SHIV infection in vitro and in vivo
3. 学会等名 SMB&JSMB2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nunoura T, Urayama S, Fukuda S, Takaki Y.
2. 発表標題 Human fecal RNA viromes revealed by FLDS
3. 学会等名 The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nagasaki K, Takano Y, Tomaru Y.
2. 発表標題 Recent approaches on dinoflagellate virus science
3. 学会等名 Aquatic Virus Workshop 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nagasaki K, Takano Y, Tomaru Y, Urayama S, Nunoura T.
2. 発表標題 Enthusiastic algal-virus-hunting days and afterwards - What is the raison detre of viruses?
3. 学会等名 EMBO Workshop, Viruses of Microbes 2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 長崎慶三
2. 発表標題 水圏ウイルス研究の歴史：ここからはじける
3. 学会等名 第20回日本進化学会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 長崎慶三, 高野義人, 布浦拓郎, 浦山俊一.
2. 発表標題 Karenia mikimotoi赤潮試水から検出されたRNAウイルス
3. 学会等名 平成30年度日本水産学会秋季大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takano Y, Tomaru Y, Nagasaki K.
2. 発表標題 Viral infection process in dinoflagellate cells.
3. 学会等名 18th International Conference on Harmful Algae (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nagasaki K, Takano Y, Tomaru Y.
2. 発表標題 Infection of a dinoflagellate-infecting giant virus
3. 学会等名 The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nagasaki K.
2. 発表標題 Algal viruses in natural water environments
3. 学会等名 The 17th Awaji International Forum on Infection and Immunity (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高野義人, 轟聡子, 兒玉優, 富岡尚敏, 外丸裕司, 長崎慶三.
2. 発表標題 有害渦鞭毛藻へのDNAウイルス感染過程の観察 FIB-SEMを用いた細胞内構造観察の試み
3. 学会等名 第43回日本藻類学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 長崎慶三, 遠藤寿, 高野義人, 外丸裕司, 櫻井哲也, 池田彩乃, 緒方博之.
2. 発表標題 渦鞭毛藻感染性大型ウイルスHcDNAVゲノムに関する研究 - 予報
3. 学会等名 第43回日本藻類学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 長崎慶三, 遠藤寿, 高野義人, 外丸裕司, 櫻井哲也, 池田彩乃, 緒方博之.
2. 発表標題 渦鞭毛藻に感染する巨大dsDNAウイルスの遺伝子解析
3. 学会等名 平成31年度日本水産学会春季大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 外丸裕司.
2. 発表標題 珪藻ウイルスに関する現状
3. 学会等名 2019年度日本プランクトン学会春季シンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 緒方博之.
2. 発表標題 地球規模海洋オミクスデータに基づく巨大ウイルスと生物炭素ポンプの関係の解明.
3. 学会等名 第2回 感染症診断と治療におけるゲノム解析
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 遠藤寿.
2. 発表標題 大規模観測とメタゲノム解析による海洋微生物の多様性研究.
3. 学会等名 メタオミクスワークショップ in 京都
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Endo H, Li Y, Blanc-Mathieu R, Ogata H.
2. 発表標題 Global distribution of nucleocytoplasmic large DNA viruses in the Ocean.
3. 学会等名 ASLO 2019 Aquatic Sciences Meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 黒西愛, Blanc-Mathieu R, 遠藤寿, 五斗進, 緒方博之.
2. 発表標題 配列類似性に基づいたウイルスゲノム自動分類法.
3. 学会等名 環境ウイルス研究集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kaneko H, Blanc-Mathieu R, Endo H, Ogata H.
2. 発表標題 Regression analysis using global ocean metagenomes revealed the contribution of eukaryotic viruses to carbon export.
3. 学会等名 Workshop on Environmental Viruses (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Blanc-Mathieu R, Dahle H., Brandt D, Ogata H, Sandaa R.-A.
2. 発表標題 Prymnesium kappa Virus RF01: A deep branching Mimiviridae encoding a large number of metabolic genes.
3. 学会等名 Workshop on Environmental Viruses (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉川元貴, Blanc-Mathieu R, 望月智弘, Song C, 村田和義, 緒方博之, 武村政春.
2. 発表標題 アcantアメーバに感染する新規ウイルスMedusavirus のゲノム解析.
3. 学会等名 環境ウイルス研究集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M.
2. 発表標題 Genomic characterization of Medusavirus, a new giant virus infecting Acanthamoeba.
3. 学会等名 International Workshop on Bioinformatics and Systems Biology (IBSB) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kuronishi M, Blanc-Mathieu R, Endo H, Goto S, Ogata H.
2. 発表標題 Development of viral genome classification method based on sequence similarity.
3. 学会等名 International Workshop on Bioinformatics and Systems Biology 2018
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Sandaa RA, Lawrence J, Blanc-Mathieu R, Dahle H, Steen IH, Ogata H.
2. 発表標題 Diversity of marine prymnesioviruses and their strategies for stable co-existence with their phytoplankton hosts.
3. 学会等名 EMBO Workshop Viruses of Microbes 2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1 . 発表者名 Ogata H, Yoshikawa G, Chihong S, Blanc-Mathieu R, Mochizuki T, Murata K, Takemura M.
2 . 発表標題 A giant virus from a freshwater environment with a full set of histone genes.
3 . 学会等名 9th Aquatic Virus Workshop (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Sandaa RA, Lawrence J, Blanc-Mathieu R, Dahle H, Steen IH, Ogata H.
2 . 発表標題 Reluctant affaires-algal virus-haptophyte relationship in the ocean.
3 . 学会等名 9th Aquatic Virus Workshop (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Blanc-Mathieu R, Kaneko H, Velazquez RH, Endo H, Ogata H.
2 . 発表標題 Viruses of the eukaryotic plankton: insight into their diversity, host range and role in carbon export.
3 . 学会等名 2018 JSME annual meeting & 10th ASME (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Blanc-Mathieu R, Kaneko H, Velzquez RH, Endo H, Ogata H.
2 . 発表標題 Eukaryotic viruses in Tara Oceans samples: Insight into their diversity and role in carbon export.
3 . 学会等名 Rinkai Hackathon 2018 (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名 青木啓太, 吉川元気, Blanc-Mathieu R, 緒方博之, 武村政春.
2. 発表標題 真核生物と同じ5種類のヒストン遺伝子を持つ新規巨大ウイルスAcanthamoeba castellanii medusavirusの解析.
3. 学会等名 第41回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Prodinger F, Yanze L, Morimoto D, Omae K, Tominaga K, Gotoh Y, Takano Y, Nagasaki K, Hingamp P, Endo H, Yoshida T, Ogata H.
2. 発表標題 Optimization of a metabarcoding method for a major group of giant viruses in the environment.
3. 学会等名 Workshop on Environmental Viruses (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Okazaki Y, Nishimura Y, Ogata H, Yoshida T, Nakano S.
2. 発表標題 Comprehensive viromics uncovered the diverse viral community in a deep freshwater lake.
3. 学会等名 ISME17 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kawaoka Y
2. 発表標題 Flu-vision:total imaging systems for analyzing influenza virus infection.
3. 学会等名 CAS-IMSUT Workshop on Infectious Diseases (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kawaoka Y.
2. 発表標題 Understanding Antiviral Targets
3. 学会等名 5th isirv-AVG Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kawaoka Y
2. 発表標題 Flu-vision:total imaging systems for analyzing influenza virus infection
3. 学会等名 Transmission of respiratory viruses (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kawaoka Y
2. 発表標題 Flu-vision:total imaging systems for analyzing influenza virus infection
3. 学会等名 IMS-JSI2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kawaoka Y
2. 発表標題 Animal Models in influenza Research
3. 学会等名 NIAID-Sponsored Workshop on Pathway to a Universal Influenza Vaccine. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kawaoka Y
2. 発表標題 Flu-vision:total imaging systems for analyzing influenza virus infection.
3. 学会等名 The 6th ESWI Influenza Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 河岡義裕
2. 発表標題 Working with deadly viruses:Battling Ebola and Influenza
3. 学会等名 第29回世界病理臨床検査医学会 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kawaoka Y
2. 発表標題 A highly pathogenic avian H7N9 influenza virus isolated from a human is lethal in some ferrets infected via respiratory droplets.
3. 学会等名 Hanoi GARAD 2018 Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yamayoshi S
2. 発表標題 A broadly reactive anti-HA stem monoclonal antibody that inhibits influenza A virus particle release
3. 学会等名 CAS-IMSUT Workshop on Infectious Diseases (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Masaki Imai
2. 発表標題 Characterization of a highly pathogenic avian H7N9 influenza virus
3. 学会等名 20th International Conference on Emerging Infectious Diseases in the Pacific Rim (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kiyoko Iwatsuki-Horimoto
2. 発表標題 Animal Models for Influenza Research
3. 学会等名 A New Paradigm for Laboratory Influenza Research (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shinya Yamada
2. 発表標題 Influenza Basics and Applications of Reverse Genetics
3. 学会等名 A New Paradigm for Laboratory Influenza Research (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 河岡義裕
2. 発表標題 インフルエンザ研究の最前線
3. 学会等名 第120回日本小児科学会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 河岡義裕
2. 発表標題 インフルエンザ研究の最前線
3. 学会等名 第16回みちのくウイルス塾（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 福山聡，植木紘史，仲尾朋美，三竹博道， Dongming Zhao，桂廣亮，今井正樹，野田岳志，河岡義裕.
2. 発表標題 インフルエンザウイルス感染マウスの生体イメージング研究
3. 学会等名 第 32 回中国四国ウイルス研究会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 福山聡，
2. 発表標題 体の中のインフルエンザを見る
3. 学会等名 免疫ふしぎ未来2017（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 渡辺登喜子
2. 発表標題 インフルエンザウイルスの宿主への適応戦略 Host adaptation of influenza A viruses.
3. 学会等名 東海医学会講演会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 渡辺登喜子
2. 発表標題 海外でアウトブレイク発生！我々にどのような対応ができるか
3. 学会等名 ピース・ウィンズ・ジャパン（NPO団体）勉強会。（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 渡辺登喜子
2. 発表標題 インフルエンザ制圧を目指したウイルスと宿主とのインタラクティブ解析
3. 学会等名 第49回日本小児感染症学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 渡辺登喜子
2. 発表標題 潜んでいた悪者が世に現れるとき
3. 学会等名 第7回微生物学連盟フォーラム（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Atsuhiko Yasuhara, Seiya Yamayoshi, Priyanka Soni, Toru Takenaga,
2. 発表標題 Diversity of antigenic mutants of influenza A(H1N1)pdm09 virus escaped from human monoclonal antibodies
3. 学会等名 2017 INTERNATIONAL CONFERENCE FOR GRADUATE STUDENTS (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Oishi K, Yamayoshi S, Kozuka-Hata H, Oyama M, Kawaoka Y
2. 発表標題 N-terminal acetylation by NatB is required for the shutoff activity of influenza A virus PA-X
3. 学会等名 International Academic Conference for graduate students (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山吉誠也、安原敦洋、大石康平、木曾真紀、河岡義裕
2. 発表標題 H7N9亜型のインフルエンザウイルスのヒト分離株がポリメラーゼ蛋白質に持つ哺乳類適応アミノ酸変異の解析
3. 学会等名 第160回 日本獣医学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 安原敦洋、山吉誠也、山田晋弥、河岡義裕の解析
2. 発表標題 A型インフルエンザウイルスのノイラミニダーゼ活性を阻害しない抗NAヒトモノクローナル抗体による感染防御機構
3. 学会等名 7th Negative Strand Virus-Japan
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 三竹博道、福山聡、渡辺登喜子、河岡義裕
2. 発表標題 RCN1ノックアウトマウスのインフルエンザ抵抗性
3. 学会等名 第160回日本獣医学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Fukuyama S, Iwatsuki-Horimoto K, Shoemaker JE, Nakajima N, Kiso M, Tomita Y, Katsura H, Maemura T, Watanabe T, Sato Y, Suzuki T, Hasegawa H and Kawaoka Y.
2. 発表標題 Impact of aging on the pathogenesis of avian influenza A(H7N9) virus infection in non-human primates
3. 学会等名 第65回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Fukuyama S, Shoemaker JE, Kawaoka Y
2. 発表標題 Effect of aging on the host response to avian influenza A(H7N9) virus infection in non-human primates
3. 学会等名 第46回日本免疫学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 I-Hsuan Wang, Hiroshi Ueki, Satoshi Fukuyama, and Yoshihiro Kawaoka
2. 発表標題 Quantitative in vivo two-photon microscopy reveals the dynamics of the immune responses to influenza virus infection in the lung
3. 学会等名 第65回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高田光輔、今井正樹、河岡義裕
2. 発表標題 異なる株由来のHAとNAを持つH3N2インフルエンザウイルスはヒト気管上皮細胞に効率よく感染できない
3. 学会等名 第160回日本獣医学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 仲尾朋美、I-Hsuan Wang, 今井正樹、河岡義裕
2. 発表標題 インフルエンザウイルス性肺炎病巣における好中球の役割.
3. 学会等名 第160回日本獣医学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tomomi Nakao, I-Hsuan Wang, Masaki Imai, Yoshihiro Kawaoka
2. 発表標題 Analysis of the role of neutrophils in influenza virus-induced pneumonia
3. 学会等名 第65回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岩附研子、市古有里絵、野田岳志、河岡義裕
2. 発表標題 ハムスターにおけるインフルエンザウイルスの飛沫伝播解析
3. 学会等名 第160回日本獣医学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岩附研子、市古有里絵、野田岳志、河岡義裕
2. 発表標題 ハムスターにおけるインフルエンザウイルスの飛沫伝播解析
3. 学会等名 7th Negative Strand Virus-Japan Symposium
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 植木紘史、Jessica I-Hsuan Wang、福山聡、河岡義裕
2. 発表標題 2光子励起顕微鏡を用いたインフルエンザウイルス感染マウスにおける肺の生体イメージングの試み
3. 学会等名 第160回日本獣医学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hiroshi Ueki, Satoshi Fukuyama, and Yoshihiro Kawaoka
2. 発表標題 Visualization of immune responses to influenza virus in mouse lung by using two-photon microscopy
3. 学会等名 第46回日本免疫学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 植木紘史
2. 発表標題 2光子励起顕微鏡を用いたインフルエンザウイルス感染マウスにおける肺の生体イメージングの試み
3. 学会等名 7th Negative Strand Virus-Japan Symposium
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 川口 寧
2. 発表標題 単純ヘルペスウイルスの小胞媒介性核外輸送機構
3. 学会等名 「感染、免疫、がん、炎症」研究集会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 尾田真也, 加藤哲久, 丸鶴雄平, 小柳直人, 有井潤, 川口寧
2. 発表標題 HSV-1 UL51 リン酸化制御機構と細胞種依存的な新規機能の解明
3. 学会等名 第31回ヘルペスウイルス研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小柳直人, 加藤哲久, 丸鶴雄平, 有井潤, 川口寧
2. 発表標題 HSV-2のウイルス増殖および病原性はUL13プロテインキナーゼのリン酸化によって制御される
3. 学会等名 第31回ヘルペスウイルス研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 有井潤, 渡邊瑞季, 前田史雄, 加藤哲久, 川口寧
2. 発表標題 ESCRT-IIIは小胞媒介性核外輸送における膜切断を仲介し、核内膜の恒常性維持に寄与する
3. 学会等名 第31回ヘルペスウイルス研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yuhei Maruzuru, Takeshi Ichinohe, Naoto Koyanagi, Jun Arie, Akihisa Kato and Yasushi Kawaguchi
2. 発表標題 Inhibition of AIM2 inflammasome activation by an HSV-1 virion component enables efficient viral replication in vivo
3. 学会等名 第31回ヘルペスウイルス研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 前田史雄, 廣畑吉崇, 有井潤, 加藤哲久, 川口寧
2. 発表標題 単純ヘルペスウイルス1型UL34は小胞体の形態制御を行い、ヌクレオカプシドの核出芽輸送制御因子の核膜への集積に関与する
3. 学会等名 第31回ヘルペスウイルス研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 渡邊瑞季, 有井潤, 下島昌幸, 加藤哲久, 川口寧
2. 発表標題 単純ヘルペスウイルス(HSV)の細胞間感染を促進する宿主タンパク質の同定
3. 学会等名 第31回ヘルペスウイルス研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Jun Arii, Mizuki Watanabe, Fumio Maeda, Yuhei Maruzuru, Naoto Koyanagi, Akihisa Kato, Yasushi Kawaguchi
2. 発表標題 ESCRT-III mediates vesicle-mediated nuclear export to regulate nuclear egress of HSV-1 capsids and integrity of the inner nuclear membrane
3. 学会等名 第65回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shinya Oda, Akihisa Kato, Yuhei Maruzuru, Naoto Koyanagi, Jun Arii, Yasushi Kawaguchi
2. 発表標題 Cell type-specific regulation of the nuclear egress of herpes simplex virus type1 by phosphorylation of UL51 Ser-184
3. 学会等名 第65回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yuhei Maruzuru, Takeshi Ichinohe, Naoto Koyanagi, Zhuoming Liu, Tomoko Ando, Jun Arii, Akihisa Kato, Yasushi Kawaguchi
2. 発表標題 Evasion of AIM2-Dependent Inflammasome Activation by Herpes Simplex Virus 1 Virion Protein Enables Efficient Viral Replication In Vivo
3. 学会等名 第65回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tadahiro Suenaga, Akihito Sakoguchi, Yasushi Kawaguchi, Hisashi Arase
2. 発表標題 Analysis of glycan chains of herpes simplex virus during entry of the host cells
3. 学会等名 第65回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yuka Sato, Yoshikazu Tanaka, Yasushi Kawaguchi
2. 発表標題 Analysis of the magnitude of the effect of HSV-1-interacting cellular chromatin remodeling proteins on viral gene expression and replication
3. 学会等名 第65回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Mizuki Watanabe, Jun Arii, Masayuki Shimojima, Akihisa Kato, Yasushi Kawaguchi
2. 発表標題 A host cell membrane protein interacts with HSV-1 gE and promotes viral cell-to-cell spread
3. 学会等名 第65回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Naoto Koyanagi, Akihisa Kato, Yuhei Maruzuru, Jun Arii, Yasushi Kawaguchi
2. 発表標題 Function of the herpes simplex virus 2 protein kinase UL13 in vitro and in vivo is regulated by phosphorylation
3. 学会等名 第65回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Dehua Liu, Hongyun Wang, Jiping Song, Rui Zhang, Qingling Du, Yasushi Kawaguchi, Jun-ichiro Inoue, Zene Matsuda
2. 発表標題 The role of the C-terminal heptad repeat (CHR) of HIV-1 gp41 in membrane fusion
3. 学会等名 第65回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Mizuki Yamamoto, Rui Zhang, Jiping Song, Aya Watanabe, Yasushi Kawaguchi, Zene Matsuda, Jun-ichiro Inoue
2. 発表標題 Cell-based membrane fusion assay for flavivirus envelope proteins
3. 学会等名 第65回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 川口 寧
2. 発表標題 単純ヘルペスウイルスの宿主免疫回避機構
3. 学会等名 日本生化学会北陸支部第35回大会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 有井 潤
2. 発表標題 単純ヘルペスウイルスと宿主細胞膜との相互作用
3. 学会等名 第14回ウイルス学キャンプ in 湯河原 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 川口 寧
2. 発表標題 新しい抗ヘルペスウイルス戦略の構築を目指した戦略的基礎研究
3. 学会等名 第160回日本獣医学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 川口 寧
2. 発表標題 ヘルペスウイルスは如何に宿主細胞機構をハイジャックするか? —最新の知見
3. 学会等名 『Toward challenges for virus-host interactions』 新学術領域研究班「ウイルス感染現象における宿主細胞コンピテンシーの分子基盤」ワークショップ (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 川口 寧
2. 発表標題 単純ヘルペスウイルスの病態発現機構
3. 学会等名 一般財団法人日本生物科学研究所第二研究会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 川口 寧
2. 発表標題 単純ヘルペスウイルスの新しい宿主免疫回避機構
3. 学会等名 「感染、免疫、がん、炎症」研究集会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yuhei Maruzuru, Takeshi Ichinohe, Naoto Koyanagi, Jun Arie, Akihisa Kato and Yasushi Kawaguchi
2. 発表標題 Inhibition of AIM2 inflammasome activation by an HSV-1 virion component enables efficient viral replication in vivo
3. 学会等名 42nd Annual International Herpesvirus Workshop
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Mizuki Watanabe, Jun Arie, Masayuki Shimojima, Naoto Koyanagi, Yuhei Maruzuru, Akihisa Kato and Yasushi Kawaguchi
2. 発表標題 Identification of a host cell membrane protein that interacts with HSV-1 gE and promotes viral cell-to-cell spread
3. 学会等名 42nd Annual International Herpesvirus Workshop (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shinya Oda, Akihisa Kato, Naoto Koyanagi, Yuhei Maruzuru, Jun Arie and Yasushi Kawaguchi
2. 発表標題 Herpes simplex virus type 1 UL51 Protein Regulates Virion Morphogenesis in the Nucleus in a Cell type and Phosphorylation-Dependent Manner
3. 学会等名 42nd Annual International Herpesvirus Workshop (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Jun Arii, Mizuki Watanabe, Fumio Maeda, Yuhei Maruzuru, Naoto Koyanagi, Akihisa Kato and Yasushi Kawaguchi
2. 発表標題 ESCRT-III mediates vesicle-mediated nuclear export and regulates the integrity of the inner nuclear membrane
3. 学会等名 42nd Annual International Herpesvirus Workshop (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Naoto Koyanagi, Akihisa Kato, Yuhei Maruzuru, Jun Arii and Yasushi Kawaguchi
2. 発表標題 Regulation of herpes simplex virus-2 UL13 protein kinase by phosphorylation is important for viral replication, pathogenic manifestations, and virulence in vivo
3. 学会等名 42nd Annual International Herpesvirus Workshop (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Fumio Maeda, Jun Arii, Yuhei Maruzuru, Naoto Koyanagi, Akihisa Kato and Yasushi Kawaguchi
2. 発表標題 Herpes simplex 1 UL34 Protein Regulates the Global Architecture of the Endoplasmic Reticulum in Infected Cells
3. 学会等名 42nd Annual International Herpesvirus Workshop (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yasushi Kawaguchi
2. 発表標題 Virus-encoded kinases
3. 学会等名 9th Inhibitors of Protein Kinases Conference (IPK2017) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Akter Shirin, Ryo Nakao, Alam Mohammad Zahangir, Yasin Md. Golam, Ken Katakura
2. 発表標題 Detection of Leishmania infection in stray dogs from a visceral leishmaniasis-endemic area of Bangladesh
3. 学会等名 6th World Congress on Leishmaniasis (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Haruaki Nobori, Shinsuke Toba, Ryu Yoshida, Yasuko Orba, Hirofumi Sawa, Akihiko Sato
2. 発表標題 Identification of the target regions responsible for resistance to Compound A, a novel antiviral agent against Dengue virus
3. 学会等名 30th ICAR (International Conference on Antiviral Research) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 今里 裕平、中尾 亮、入江 隆夫、考口 裕一、松本 淳、八木 欣平、片倉 賢
2. 発表標題 Echinococcus multilocularis根室株の虫卵感染マウスにおけるマイクロRNA解析
3. 学会等名 第86回日本寄生虫学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松野 啓太
2. 発表標題 ブニヤウイルスの遺伝的多様性から紐解く病原性
3. 学会等名 ウイルス研究の潮流シリーズセミナー (招待講演)
4. 発表年 2017年

1 . 発表者名 Ryo Nakao, Ayumi Saito, May June Thu, Yongjin Qiu, Keita Matsuno, Chihiro Sugimoto, Ken Katakura
2 . 発表標題 Coxiella-like endosymbiont as an evolutionary marker of ticks
3 . 学会等名 9th Tick and Tick-borne Pathogen Conference ( 国際学会 )
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 May June Thu, Yongjin Qiu, Chihiro Sugimoto, Norikazu Isoda, Ryo Nakao
2 . 発表標題 Genetic diversity of Rickettsia spp. in ticks collected from Japan
3 . 学会等名 9th Tick and Tick-borne Pathogen Conference ( 国際学会 )
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Yongjin Qiu, Chiho Kaneko, Masahiro Kajihara, Martin Simuunza, Ngonda Saasa, Hayato Furumoto,
2 . 発表標題 Investigation of tick-borne bacterial and protozoan pathogens in domestic dogs, cattle, and ticks in Zambia
3 . 学会等名 9th Tick and Tick-borne Pathogen Conference ( 国際学会 )
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Shirin Akter, Ryo Nakao, Ken Katakura
2 . 発表標題 Potential of cell-free DNA as a novel diagnostic biomarker for parasite infections in dog
3 . 学会等名 26th World Association for the Advancement of Veterinary Parasitology (WAAVP) ( 国際学会 )
4 . 発表年 2017年

1. 発表者名 Keita Matsuno, Masahiro Kajihara, Nodoka Kasajima, Ryo Nakao, Shiho Torii, Hiroshi Shimoda, Ken Maeda, Ayato Takada, Hideki Ebihara, Hirofumi Sawa
2. 発表標題 Genetic diversity among phleboviruses identified in ticks; implication of distinct evolutionary pathways of phleboviruses
3. 学会等名 第16回あわじしま感染症・免疫フォーラム（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shiho Torii, Keita Matsuno, Masahiro Kajihara, Ryo Nakao, Naganori Nao,
2. 発表標題 Discovery and characterization of novel tick-borne phleboviruses in ticks collected in Hokkaido
3. 学会等名 第16回あわじしま感染症・免疫フォーラム（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takao Sanaki, Haruaki Nobori, Shinsuke Toba, Masato Wakabayashi, Takeshi Yoshioka, Akihiko Sato, Ryu Yoshida, Hirofumi Sawa
2. 発表標題 Inhibition of dengue virus infection by 1-stearoyl-2-arachidonoyl-phosphatidylinositol
3. 学会等名 58th International Conference on the Bioscience of Lipids（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中尾 亮、木下 豪太、齋藤 歩、邱 永晋、松野 啓太、杉本 千尋、片倉 賢
2. 発表標題 ミトゲノム解析によるマダニ系統分類法の開発
3. 学会等名 第160回日本獣医学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 柿阪圭太、中尾 亮、May June Thu、邱 永晋、杉本 千尋、片倉 賢
2. 発表標題 マダニから分離されたスピロプラズマ属細菌の全ゲノム解析
3. 学会等名 第160回日本獣医学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 伊達 衆、中尾 亮、Islarm Md、孝口 裕一、入江 隆夫、森松 正美、安居院 高志、八木 欣平、片倉 賢
2. 発表標題 RNA-Seq解析による多包条虫の 原頭節発育に關与する 宿主側遺伝子の検索
3. 学会等名 第160回日本獣医学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shiho TORII, Yuji WADA, Michihito SASAKI, Jody Hobson-Peters, Roy A. Hall, Yasuko ORBA, Hirofumi SAWA
2. 発表標題 Investigation of the host factors required for Chikungunya virus replication
3. 学会等名 The 5th Sapporo Summer Seminar for One Health
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松野啓太
2. 発表標題 2つの現場から：ダニ媒介性ウイルスの網羅的探索と鳥インフルエンザの診断
3. 学会等名 第6回生命医薬情報学連合大会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松野 啓太, 笠島 和, 野々上 範之, 野田 亜矢子, 南 心司, 宇根 有美, 前田 健
2. 発表標題 動物園におけるダニ媒介性ウイルス感染症によるチーターの死亡例
3. 学会等名 第63回日本寄生虫学会・日本衛生動物学会北日本支部合同大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小林進太郎, 好井健太郎, Wallaya Phongphaew, 武藤芽未, 平野港, 大場靖子, 澤洋文, 苅和宏明
2. 発表標題 ウエストナイルウイルスのカプシドタンパク質によるオートファジーの抑制と変性タンパク質の蓄積および神経病態形成機構についての解析
3. 学会等名 第24回トガ・フラビ・ベスチウイルス研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 鳥羽 晋輔, 登 治謙, 高木 陽平, 松井 耕平, 吉田 裕, 吉田 立, 黒須 剛, 大場 靖子, 澤 洋文, 佐藤 彰彦
2. 発表標題 新規環状ペプチドの抗フラビウイルス活性と 作用部位の解析
3. 学会等名 第24回トガ・フラビ・ベスチウイルス研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Keita Matsuno, Masahiro Kajihara, Syun-ichi Urayama, Ryo Nakao, Miho Hirai,
2. 発表標題 Discoveries of novel viruses in ticks and fruit bats by using FLDS method and MinION sequencer
3. 学会等名 第65回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yasuko Orba, Bernard M. HangLombe, Aaron S. Mweene, Paulina D.Anindita, Phongphaew Wallaya, Yuji Wada, Michihito Sasaki, Yuki Eshita, Hirofumi Sawa
2. 発表標題 Discovery of diverse mosquito-borne bunyaviruses in field-collected mosquitoes
3. 学会等名 第65回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shintaro Kobayashi, Kentaro Yoshii, Wallaya Phongphaew, Memi Muto, Minato Hirano, Yasuko Orba, Hirofumi Sawa, Hiroaki Kariwa
2. 発表標題 Inhibition of autophagy by capsid protein of West Nile virus is involved in accumulation of denatured proteins leading to neurologic disease
3. 学会等名 第65回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kasajima N, Matsuno K, Torii S, Hiono T, Okamatsu M, Ebihara H, Sakoda Y
2. 発表標題 Suppression of PKR signaling pathway by nonstructural protein of severe fever with thrombocytopenia syndrome virus.
3. 学会等名 第65回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shinsuke Toba, Haruaki Nobori, Youhei Takagi, Kouhei Matsui, Yutaka Yoshida, Ryu Yoshida, Takeshi Kurosu, Yasuko Orba, Hirofumi Sawa, Akihiko Sato
2. 発表標題 Investigation of anti-flavivirus activity and target region of novel cyclic peptides
3. 学会等名 第65回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hirofumi Sawa, Keita Matsuno, Ryo Nakao, Michihito Sasaki, Yasuko Orba
2. 発表標題 Discovery of diverse arthropod bunyaviruses in field-collected mosquitoes and ticks and their evolution
3. 学会等名 第65回日本ウイルス学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yasuko Orba, Keita Matsuno, Michihito Sasaki, Hirofumi Sawa
2. 発表標題 An RNA virus enrichment approach for viral metagenomics using Ribonuclease R
3. 学会等名 ConBio2017
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takashi Abe, Ryo Nakao, Chihiro Sugimoto
2. 発表標題 Development of a method for detecting horizontal gene transfer on the basis of Batch Learning Self-Organizing Map
3. 学会等名 ConBio2017
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 佐々木 道仁, Paulina D. Anindita, Wallaya Phongphaew, Michael Carr, 小林 進太郎, 大場 靖子, 澤 洋文
2. 発表標題 発光タグHiBiTを使用したフラビウウイルスの細胞内侵入および出芽機構の解析
3. 学会等名 ConBio2017
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shintaro Kobayashi, Kentaro Yoshii, Wallaya Phongphaew, Memi Muto, Minato Hirano, Yasuko Orba, Hirofumi Sawa, Hiroaki Kariwa
2. 発表標題 Capsid protein of West Nile virus is responsible for accumulation of ubiquitinated denatured proteins and neurological disease
3. 学会等名 International Union of Microbiological Societies 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小林進太郎, 好井健太郎, Wallaya Phongphaew, 武藤芽未, 平野港, 大場靖子, 澤洋文, 苅和宏明
2. 発表標題 Inhibition of autophagy by the capsid protein of West Nile virus is involved in accumulation of denatured proteins and neuropathogenicity
3. 学会等名 ConBio2017
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Haruaki Nobori, Shinsuke Toba, Ryu Yoshida, Yasuko Orba, Hirofumi Sawa, Akihiko Sato
2. 発表標題 デングウイルス2型レプリコン安定発現細胞株の樹立
3. 学会等名 ConBio2017
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takao Sanaki, Haruaki Nobori, Shinsuke Toba, Masato Wakabayashi, Takeshi Yoshioka, Hirofumi Sawa, Akihiko Sato, Ryu Yoshida
2. 発表標題 Inhibition of dengue virus infection by 1-stearoyl-2-arachidonoyl-phosphatidylinositol
3. 学会等名 ConBio2017
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中川草
2. 発表標題 ウイルスが形作る生物進化
3. 学会等名 日本進化学会第19回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中川草
2. 発表標題 Functional mutations in spike glycoprotein of Zaire ebolavirus associated with an increase in infection efficiency
3. 学会等名 SMBE 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中川草
2. 発表標題 Transcriptome analysis to identify expressed sequences derived from endogenous viral elements
3. 学会等名 IUMS Congresses 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中川草
2. 発表標題 Genome-wide analysis of endogenous viral elements in eukaryotic genomes
3. 学会等名 第65回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中川草
2. 発表標題 エボラウイルスの感染効率に關与するアミノ酸置換の発見とその生物学的意義の考察
3. 学会等名 第6回生命医薬情報学連合大会 ( IIBMP 2017 )
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 村田 和義, 宮崎 直幸, ソン チホン, 岡本 健太
2. 発表標題 ピソウイルスのクライオ電子顕微鏡による構造解析
3. 学会等名 2017年度生命科学系学会合同年次大会 ( 招待講演 )
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 武村 政春, 吉川 元貴, Chihong Song, 望月 智弘, Romain Blanc-Mathieu, 村田 和義, 緒方 博之
2. 発表標題 温泉の底質泥から分離した新規巨大ウイルスA canthamoeba castellanii medusavirusの形態学的・ゲノム科学的研究
3. 学会等名 2017年度生命科学系学会合同年次大会 ( 招待講演 )
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 武村政春, Chihong Song, 望月智弘, 吉川元貴, Romain Blanc-Mathieu, 緒方博之, 村田和義
2. 発表標題 温泉の底質泥から分離した新規巨大ウイルスについて
3. 学会等名 環境微生物系学会合同大会2017 ( 招待講演 )
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 吉川元貴, Romain Blanc-Mathieu, 望月智弘, Chihong Song, 村田和義, 緒方博之, 武村政春
2. 発表標題 巨大ウイルス群NCLDVに属する新規ウイルスOVのゲノム解析
3. 学会等名 環境微生物系学会合同大会2017 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 兵頭究
2. 発表標題 植物RNAウイルスの複製機構
3. 学会等名 第13回植物ウイルス病研究会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 兵頭究、鈴木信弘、奥野哲郎
2. 発表標題 宿主足場タンパク質RACK1は植物RNAウイルスの増殖を正に制御する
3. 学会等名 平成30年度日本植物病理学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 兵頭究
2. 発表標題 宿主ROS産生機構のハイジャックによる植物ウイルス増殖戦略
3. 学会等名 岡山大学農学部植物研研究交流会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hyodo K, Suzuki N., Okuno T.
2. 発表標題 A role of reactive oxygen species during the replication of a plant RNA virus.
3. 学会等名 17th International Congress of Virology (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tomohiko Sadaoka, Daniel P. Depledge, Werner J. D. Ouwendijk,
2. 発表標題 Novel varicella-zoster virus latency transcript inhibits viral replication
3. 学会等名 The 65th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Daniel P. Depledge, Werner J. D. Ouwendijk, Tomohiko Sadaoka, Shirley
2. 発表標題 Identification of a novel varicella-zoster virus latency transcript that represses expression of the viral ORF61 regulatory gene
3. 学会等名 The 42nd Annual International Herpesvirus Workshop
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小林由紀
2. 発表標題 アフリカ獣上目ゲノムに内在化した非レトロウイルス由来エレメントの進化と機能
3. 学会等名 日本進化学会 第19回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 嶋津月花
2. 発表標題 ゾウゲノムに内在化したパルボウイルスNS1遺伝子の発現解析
3. 学会等名 第160回日本獣医学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小林由紀
2. 発表標題 狂犬病ウイルスN遺伝子に同定された高度保存領域の機能解析
3. 学会等名 第160回日本獣医学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小林由紀
2. 発表標題 Conserved secondary structures predicted within the 5' packaging signal region of influenza A virus PB2 segment
3. 学会等名 第65回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Mochizuki T, Nunoura T, Berliner A, Kasama K, Nakagawa M, Hongo Y, Yoshida-Takashima Y, Takaki T, Takai K.
2. 発表標題 Two novel hyperthermophilic viruses, PLV1 and PSV2, infecting aerobic crenarchaeon Pyrobaculum aerophilum YKB31
3. 学会等名 Gordon Research Conference: Archaea (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 望月智弘
2. 発表標題 温泉ウイルスハンティングから探る生命進化史.
3. 学会等名 進化学会(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 武村政春、村田和義、Song Chihong、望月智弘、吉川元貴、Romain Blanc-Mathieu、緒方博之.
2. 発表標題 武村政春、村田和義、Song Chihong、望月智弘、吉川元貴、Romain Blanc-Mathieu、緒方博之.
3. 学会等名 環境微生物系学会合同大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 武村政春、吉川元貴、Chihong Song、望月智弘、Romain Blanc-Mathieu、村田和義、緒方博之.
2. 発表標題 温泉の底質泥から分離した新規巨大ウイルスは新たなNCLDVファミリーを形成する.
3. 学会等名 第65回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 武村政春、吉川元貴、Chihong Song、望月智弘、Romain Blanc-Mathieu、村田和義、緒方博之
2. 発表標題 温泉の底質泥から分離した新規巨大ウイルスAcanthamoeba castellanii medusavirusの形態学的・ゲノム科学的研究
3. 学会等名 生命科学系学会合同年次大会ConBio2017
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kawano, S., Fujisawa, H., Takada, T., Shiroishi, T.
2. 発表標題 Principal component regression for generalized linear models via L1-type regularization
3. 学会等名 The 10th International Conference of the ERCIM WG on Computational and Methodological Statistics
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 朝長啓造
2. 発表標題 ウイルス化石が語る生命の進化 .
3. 学会等名 第12回 京都大学附置研究所・センター シンポジウム . 京都からの挑戦 地球社会の調和ある共存に向けて . (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yanai M, Makino A, and Tomonaga K.
2. 発表標題 ADAR2 is involved in the maintenance of the persistent infection of Borna disease virus.
3. 学会等名 Viral Immunity: Mechanisms and Consequences, Keystone Symposia on Molecular and Cellular Biology. (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Garcia BC, Sassa Y, Makino A and Tomonaga K.
2. 発表標題 A double mutation in polymerase L gene enables adaptation of parrot bornavirus-4 to mammalian cell line.
3. 学会等名 36th Annual Meeting of the American Society for Virology (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 向井八尋, 堀江真行, 小林由紀, 小嶋将平, 前田 健, 朝長 啓造.
2. 発表標題 ユピナガコウモリ属コウモリの ゲノムに内在化しているボルナウイルス由来配列の生物学的意義の探索.
3. 学会等名 日本進化学会第19回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Honda T, Liu X, Garcia BC, Parrish NF, Tomonaga K
2. 発表標題 Loading of small RNAs derived from an endogenous bornaviruses element on the MIWI protein in GC2 Cells.
3. 学会等名 The 16th Awaji International Forum on Infection and Immunity. Hyogo (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tomonaga K.
2. 発表標題 Bornavirus infection: a new model of evolution and coexistence of RNA viruses.
3. 学会等名 The National Symposium on Zoonoses Research 2017. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 向井八尋, 堀江真行, 小嶋将平, 長田奈緒, 前田 健, 朝長啓造.
2. 発表標題 ユピナガコウモリゲノムに内在する内在性ボルナウイルス様エレメントの基本的な性状解析と内在化年代の推定.
3. 学会等名 第160回日本獣医学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Honda T, Liu X, Garcia BC, Parrish NF, Tomonaga K
2. 発表標題 内在性ボルナウイルスエレメント由来piRNAによるボルナウイルス制御.
3. 学会等名 第65回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Makino A and Tomonaga K.
2. 発表標題 Borna disease virus utilizes host mRNA binding proteins, IGF2BPs, for translational regulation.
3. 学会等名 第65回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Mukai Y, Horie M, Kobayashi K, Kojima S, Nagata N, Maeda K and Tomonaga K.
2. 発表標題 Molecular biological and evolutionary analysis of an endogenous bornavirus-like nucleoprotein element in miniopterid bat genomes.
3. 学会等名 第65回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Komorizono R, Makino A and Tomonaga K.
2. 発表標題 Genomic analysis of bornaviruses implies the clade 2 avian bornaviruses possess mammalian-adapted gene composition.
3. 学会等名 第65回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hirai Y, Makino A, Okamura H and Tomonaga K.
2. 発表標題 Analysis of possible influences of nuclear actin in forming the viral factories of Borna disease virus and its crosstalk with Cajal bodies.
3. 学会等名 第65回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kojima S, Hirai Y and Tomonaga K.
2. 発表標題 Identification of host proteins in intranuclear viral factories assembled by Borna disease virus.
3. 学会等名 4th ASM Conference on Viral Manipulation of Nuclear Processes (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 朝長啓造
2. 発表標題 私たちの染色体に潜むウイルス
3. 学会等名 微生物：変わり者たちの素顔．日本微生物学連盟フォーラムシンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tomonaga K
2. 発表標題 Bornavirus: a new model of coevolution between RNA virus and host
3. 学会等名 The 91st Annual Meeting of Japanese Society for Bacteriology (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松尾栄子
2. 発表標題 イバラキウイルスとオートファジー
3. 学会等名 第160回 日本獣医学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Eiko Matsuo, Keiichi Saeki, Junichi Kawano & Polly Roy
2. 発表標題 Biological roles of a loop region of orbivirus VP6 in virus replication
3. 学会等名 第65回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 濱治 麻理奈、佐伯 圭一、河野 潤一、松尾 栄子
2. 発表標題 マウス肝細胞におけるイバラキウイルス（IBAV）増殖抑制に関する研究
3. 学会等名 第65回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松尾栄子
2. 発表標題 Molecular Mechanisms of Orbivirus Replication
3. 学会等名 第6回 関西ウイルスクラブ（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松尾 栄子、佐伯 圭一、河野 潤一、Roy Polly
2. 発表標題 オルビウイルス構造タンパク質VP6の細胞内局在とgenome packaging機能に関する研究
3. 学会等名 第70回細菌学会関西支部総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 福原 崇介
2. 発表標題 フラビウイルスの粒子産生機構の解析
3. 学会等名 平成28年度北海道大学遺伝子病制御研究所「感染、免疫、がん、炎症」研究集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 福原 崇介
2. 発表標題 フラビウイルス科ウイルスの粒子形成におけるウイルスまたは宿主因子の関与
3. 学会等名 第14回ウイルス学キャンプin湯河原
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田村 友和
2. 発表標題 新規レポーター遺伝子を搭載したフラビウイルス科ウイルスの作出とその応用
3. 学会等名 第14回ウイルス学キャンプin湯河原
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 福原 崇介
2. 発表標題 Viral secretory proteins Erns and NS1 play comparable roles with apolipoproteins in the infectious particle formation of Flaviviridae
3. 学会等名 The American Society for Virology (ASV) the 36th Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田村 友和
2. 発表標題 Characterization of Flaviviridae viruses possessing a reporter gene
3. 学会等名 The American Society for Virology (ASV) the 36th Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田村 友和
2. 発表標題 Engineering of small reporter-tagged Flaviviridae viruses applicable to antiviral screening and in vivo dynamics
3. 学会等名 第65回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田村 友和
2. 発表標題 Engineering of Small Reporter-Tagged Flaviviridae Viruses Applicable to Antiviral Screening and in vivo Dynamics
3. 学会等名 24th International Symposium on Hepatitis C Virus and Related Viruses (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 福原 崇介
2. 発表標題 Viral secretory glycoproteins of Pestivirus and Flavivirus have similar roles with exchangeable apolipoproteins on the formation of infectious HCV particles
3. 学会等名 24th International Symposium on Hepatitis C Virus and Related Viruses (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田村 友和
2. 発表標題 Characterization of recombinant Flaviviridae viruses possessing a small reporter-tag
3. 学会等名 第16回あわじしま感染症・免疫フォーラム (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 福原 崇介
2. 発表標題 Viral secretory glycoproteins Erns and NS1 play comparable roles with apolipoproteins in infectious particle formation of Flaviviridae
3. 学会等名 第65回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Marie Kubota, Takao Hashiguchi, Yusuke Yanagi
2. 発表標題 Binding of mumps virus to glycan receptors, ムンプスウイルスと糖鎖受容体との結合特異性
3. 学会等名 第65回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 外丸裕司, 木村圭, 山口晴生
2. 発表標題 珪藻のウイルスによる死滅は細胞の分裂速度に依存する?
3. 学会等名 環境微生物系学会合同大会2017
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kimura K, Tomaru Y.
2. 発表標題 Dynamics of planktonic diatom <i>Chaetoceros tenuissimus</i> and its infectious viruses for five years in Hiroshima Bay, Japan
3. 学会等名 15th International Congress of Protistology (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tomaru Y, Kimura K.
2. 発表標題 Effects of temperature and salinity on virus-mediated diatom cell death.
3. 学会等名 15th International Congress of Protistology. (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 外丸裕司, 木村圭, 山口晴生, 三木健
2. 発表標題 珪藻は速く増殖するほどウイルス感染を回避する.
3. 学会等名 第4回分子珪藻研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kei Kimura, Yuji Tomaru
2. 発表標題 Dynamics of Chaetoceros tenuissimus and its infectious viruses for five years in Hiroshima Bay
3. 学会等名 Molecular Life of Diatoms (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 長崎慶三, 高野義人, 布浦拓郎, 浦山俊一
2. 発表標題 ところでウイルス君, 君の宿主は誰なのかな? - 淡水生態系内の共存性ウイルス探索 -
3. 学会等名 日本藻類学会第41回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高野義人, 外丸裕司, 長崎慶三
2. 発表標題 渦鞭毛藻細胞内におけるDNAウイルス共存の可能性
3. 学会等名 日本藻類学会第41回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 長崎慶三, 高野義人, 浦山俊一, 布浦拓郎
2. 発表標題 渦鞭毛藻ブルーム中のdsRNAウイルス探索
3. 学会等名 平成29年度日本水産学会春季大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高野義人, 長崎慶三, 外丸裕司
2. 発表標題 ヘテロカプサ赤潮の消長モニタリングツールの開発
3. 学会等名 平成29年度日本水産学会春季大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 長崎慶三, 高野義人, 布浦拓郎, 浦山俊一
2. 発表標題 様々な水圏微生物試料からのRNAウイルス探索
3. 学会等名 第32回中国四国ウイルス研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nagasaki K, Takano Y, Tomaru Y, Urayama S, Nunoura T.
2. 発表標題 Bloom-forming microalgae are exposed to viral impact
3. 学会等名 第11回黒潮圏科学国際シンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 長崎慶三
2. 発表標題 「待ちの狩り」から「一網打尽」の時代へ：海洋ウイルス研究の潮流から見えてくるもの
3. 学会等名 第60回海中海底工学フォーラム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 長崎慶三
2. 発表標題 ウイルスと宿主はお互いを許し合う
3. 学会等名 第11回細菌学若手コロッセアムINつくば(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 緒方博之
2. 発表標題 海洋ウイルス：どこから来て、何をしているのか？
3. 学会等名 第33回国際生物学賞記念シンポジウム(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Blanc-Mathieu R., Kaneko H., Yoshikawa G., Ogata H.
2. 発表標題 Diversity and ecological role of giant viruses in the sunlit ocean
3. 学会等名 ConBio2017(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Blanc-Mathieu R., Li Y., Kaneko H., Endo H., Ogata H.
2. 発表標題 Diversity and biogeography of marine giruses and their association with the biological carbon pump
3. 学会等名 The 3rd Ringberg Symposium on Giant Virus Biology(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ogata H.
2. 発表標題 Multi-omics approach to assess viral impact on marine plankton
3. 学会等名 KAUST Global Ocean Genome Workshop (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 緒方博之
2. 発表標題 何故に今頃ネオウイルス学?
3. 学会等名 環境微生物系学会合同大会2017 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 武村政春, Song C., 望月智弘, 吉川元貴, Blanc-Mathieu R., 緒方博之, 村田和義
2. 発表標題 温泉の底質泥から分離した新規巨大ウイルスについて
3. 学会等名 環境微生物系学会合同大会2017
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 吉川元貴, Blanc-Mathieu R., 望月智弘, Song C., 村田和義, 緒方博之, 武村 政春
2. 発表標題 巨大ウイルス群NCLDVに属する新規ウイルスOVのゲノム解析
3. 学会等名 環境微生物系学会合同大会2017
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 吉川 元貴, Blanc-Mathieu R., 緒方博之, 山田隆
2. 発表標題 カンキツかいよう病菌に感染するファージXacN1 のゲノム解析
3. 学会等名 2017年度日本微生物生態学会環境ウイルス研究部会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 黒西愛, Blanc-Mathieu R., 五斗進, 緒方博之
2. 発表標題 ウイルス分類体系のゲノム類似性指標による評価
3. 学会等名 2017年度日本微生物生態学会環境ウイルス研究部会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Li Y., Hingamp P., Watai H., Blanc-Mathieu R., Yoshida T., Ogata H.
2. 発表標題 Characterizing the diversity of Megaviridae
3. 学会等名 2017年度日本微生物生態学会環境ウイルス研究部会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 緒方博之, Blanc-Mathieu R., Hingamp P., 西村陽介, 李岩沢, 吉田天士
2. 発表標題 マルチオミクス解析が明らかにする海洋ウイルスの多様性と存在意義
3. 学会等名 日本進化学会第19回大会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Li Y., Hingamp P., Watai H., Blanc-Mathieu R., Yoshida T., Ogata H.
2. 発表標題 Comparison of giant virus diversity across ecosystem
3. 学会等名 17th International Workshop on Bioinformatics and Systems Biology (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ogata H., Blanc-Mathieu R., Hingamp P., Nishimura Y., Li Y., Yoshida T.
2. 発表標題 Towards unveiling pivotal roles of viruses in marine ecosystems
3. 学会等名 The 73rd Fujihara Seminar, International Conference: Molecular Life of Diatoms (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ogata H.
2. 発表標題 Biodiversity of marine plankton revealed by Tara Oceans eco-systems approach.
3. 学会等名 Tara Coral Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 千葉優斗, 外丸裕司, 木村圭, 鳥袋寛盛, 高木善弘, 平井美穂, 浦山俊一, 布浦拓郎
2. 発表標題 大型藻類を対象としたRNAウイルスの網羅的検出
3. 学会等名 ゲノム微生物学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 金子博人, Blanc-Mathieu R., 遠藤寿, 緒方博之
2. 発表標題 Network analysis reveals the relationship between eukaryotic viruses and the biological carbon pump
3. 学会等名 第12回日本ゲノム微生物学会年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Blanc-Mathieu R., 金子博人, Velaquez R.H., 遠藤寿, 緒方博之
2. 発表標題 Actors of the biological pump: are viruses involved in the process?
3. 学会等名 第12回日本ゲノム微生物学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 木村圭・外丸裕司
2. 発表標題 既知の珪藻感染DNAウイルスとは全く異なる新奇環状一本鎖DNAウイルスの系統解析
3. 学会等名 日本藻類学会第42回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 長崎慶三, 高野義人, 山本圭吾, 布浦拓郎, 浦山俊一
2. 発表標題 有毒渦鞭毛藻 <i>Alexandrium tamarense</i> ブルームから検出されたdsRNAウイルス
3. 学会等名 第42回藻類学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高野義人, 外丸裕司, 長崎慶三
2. 発表標題 有害渦鞭毛藻 <i>Heterocapsa circularisquama</i> へのDNAウイルス感染過程の観察
3. 学会等名 第42回藻類学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 長崎慶三, 高野義人, 布浦拓郎, 浦山俊一
2. 発表標題 現場赤潮試料に対するRNAウイルス探索技術 (FLDS法) 適用の実際と問題点
3. 学会等名 平成30年度日本水産学会春季大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高野義人, 外丸裕司, 長崎慶三
2. 発表標題 渦鞭毛藻 <i>Heterocapsa circularisquama</i> へのDNAウイルス感染プロセスのイメージング
3. 学会等名 平成30年度日本水産学会春季大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 外丸裕司, 木村圭, 山口晴生
2. 発表標題 感染性ウイルス存在下における珪藻の増殖に関する研究
3. 学会等名 平成30年度日本水産学会春季大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小椋 俊彦
2. 発表標題 Nanoscale observation of intact biological specimens in water with high-contrast imaging by scanning electron assisted dielectric-impedance microscopy
3. 学会等名 Microscopy & Microanalysis (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小椋 俊彦
2. 発表標題 Nanoscale imaging of living cells bound by nanobeads-connected anti-CD44 antibody in medium using newly developed dielectric microscopy
3. 学会等名 生物物理学会年会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小椋 俊彦
2. 発表標題 新規誘電率顕微鏡による溶液中の生物試料やミルク内粒子の直接観察
3. 学会等名 材料技術研究協会討論会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小椋 俊彦
2. 発表標題 Nanoscale imaging of unstained biological specimens in aqueous condition using scanning electron assisted dielectric microscopy
3. 学会等名 The Asian Conference on Oleo Science 2017 (ACOS2017) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hiroshi Nishiura
2. 発表標題 Predicting the global spread of emerging infectious diseases
3. 学会等名 The 21st International Epidemiological Association World Congress of Epidemiology (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西浦博
2. 発表標題 感染リスクのデータ分析
3. 学会等名 第76回日本公衆衛生学会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Akira Endo
2. 発表標題 Impact of migration on dynamics of avian influenza: A multi-site, multi-species transmission model along East Asian-Australian Flyway
3. 学会等名 Sixth International Conference on Infectious Disease Dynamics (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kondo, H
2. 発表標題 Cross-kingdom viral infection between plants and insects: An evolutionary insight into rhabdoviruses
3. 学会等名 Africa Day 2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 近藤秀樹・広田恵介・鈴木信弘
2. 発表標題 分節型ラブドウイルスに見いだされたゲノムリアソートメント
3. 学会等名 平成30年度日本植物病理学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shahi, S., Eusebio-Cope, A., Chiba, S., Hillman, B. I., and Suzuki, N.
2. 発表標題 Host expansion of Cryphonectria mitovirus 1 revealed its avoidance of antiviral RNA silencing.
3. 学会等名 The Annual Meeting of the Japanese Phytopathological Society
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kasahara, S., Mochizuki, S., and Suzuki, N.
2. 発表標題 Depletion of the stealth-1,3-glucan caused by mycovirus infection.
3. 学会等名 4th International Mycovirus Symposium (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Mizutani, Y., Abraham, A. M., Suga, H., Suzuki, N., and Chiba, S.
2. 発表標題 Characterization of mitoviruses found in Ethiopian isolates of Fusarium spp.
3. 学会等名 4th International Mycovirus Symposium (国際学会)
4. 発表年 2017年

1 . 発表者名 Hisano, S., Zhang, R., Faruk, I. M., Kondo, H., and Suzuki , N.
2 . 発表標題 A neo-virus-lifestyle exhibited by a (+)RNA virus hosted by an unrelated dsRNA virus in a phytopathogenic fungus.
3 . 学会等名 4th International Mycovirus Symposium ( 国際学会 )
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Aulia, A., Andika, I. B. , Hillman, B. I., and Suzuki, N.
2 . 発表標題 Comparison of the behaviors of two mycoreoviruses showed the natural variation in antiviral RNA silencing in the chestnut blight fungus.
3 . 学会等名 4th International Mycovirus Symposium ( 国際学会 )
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Chiba, S., Aulia, A., Hisano, S., Lin, Y-H., Kondo, H., Kanematsu, S., Yaegashi, H., and Suzuki, N.
2 . 発表標題 Host-specific RNA silencing (Dicer)-mediated virus interference revealed by characterizing a new fungal partitivirus.
3 . 学会等名 4th International Mycovirus Symposium ( 国際学会 )
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Shahi, S., Eusebio-Cope, A., Chiba, S., Hillman, B. I., Nobuhiro Suzuki, N.
2 . 発表標題 Avoidance of antiviral RNA silencing by Cryphonectria mitovirus 1 revealed by the expansion of its hosts.
3 . 学会等名 4th International Mycovirus Symposium ( 国際学会 )
4 . 発表年 2017年

1. 発表者名 N. Suzuki.
2. 発表標題 A neo-virus-lifestyle exhibited by a (+)RNA virus hosted in an unrelated dsRNA virus
3. 学会等名 The 16th Awaji International Forum on Infection and Immunity. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Suzuki, N.
2. 発表標題 A neo-virus lifestyle exhibited by a (+)ssRNA virus hosted in an unrelated dsRNA virus: taxonomic and evolutionary considerations.
3. 学会等名 Virtual Event 2017 Microbiology & Immunology Virtual Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 近藤秀樹・鈴木信弘
2. 発表標題 植物ラブドウイルスの分節化と進化
3. 学会等名 シンポジウム：多様なウイルスと進化の世界2017. 日本進化学会第17回大会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Andika, I. B., Jamal, A., Kondo, H., and Suzuki, N.
2. 発表標題 The SAGA complex mediates the transcriptional up-regulation of antiviral RNA silencing in the chestnut blight fungus.
3. 学会等名 The 29th Fungal Genetics Conference. (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Suzuki, N.
2. 発表標題 Mutualist Interactions between a Capsidless (+) ssRNA Virus and a dsRNA Virus Occurring in a Phytopathogenic Fungus.
3. 学会等名 ASM2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Aulia, A., Andika, I. B. , Hillman, B. I., and Suzuki, N.
2. 発表標題 Natural variation in antiviral RNA silencing in the chestnut blight fungus.
3. 学会等名 American Society for Virology 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Suzuki, N.
2. 発表標題 A neo-virus-lifestyle: a positive strand RNA virus hosted in an unrelated double-stranded RNA virus.
3. 学会等名 65th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 鈴木信弘
2. 発表標題 ウイルスもまた宿を借りる: 驚くべき菌類ウイルスの奸智
3. 学会等名 環境微生物系学会合同大会2017 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shahi, S., Hyodo, K., Chiba, S., Hillman, B. I., and Suzuki, N.
2. 発表標題 Properties of a mitochondrially replicating positive-sense RNA virus isolated from a filamentous ascomycete, <i>Cryphonectria parasitica</i> .
3. 学会等名 32nd Annual Meeting of the Chugoku/Shikoku Regional Virology Society.
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Aulia, A., Andika, I. B. , Hillman, B. I., and Suzuki, N.
2. 発表標題 Comparison of two related mycoreoviruses reveals natural variation of antiviral RNA silencing in the chestnut blight fungus
3. 学会等名 The Annual Meeting of the Japanese Phytopathological Society.
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Aulia, A., Hillman, B. I., and Suzuki, N.
2. 発表標題 Comparison of the behaviors of mycoreovirus 1 and 2 in the fungal host, <i>Cryphonectria parasitica</i> , reveals natural variation in antiviral RNAi.
3. 学会等名 32nd Annual Meeting of the Chugoku/Shikoku Regional Virology Society.
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 水谷 行善・須賀 晴久・鈴木 信弘・千葉 壮太郎
2. 発表標題 <i>Fusarium boothii</i> BL13分離株に存在する3種のdsRNA成分の生物学的性状
3. 学会等名 H29年度日本植物病理学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 近藤秀樹・久野 昌・千葉壮太郎・鈴木信弘
2. 発表標題 アカクロパーうどんこ病菌より見いだされた新規トティウイルス
3. 学会等名 H29年度日本植物病理学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 佐藤有希代・宮下脩平・安藤杉尋・高橋英樹
2. 発表標題 EMS変異誘発シロイヌナズナ系統におけるNB-LRRクラス抵抗性遺伝子RCY1プロモーター領域シトシンメチル化とCMV抵抗性レベル低下の相関
3. 学会等名 平成29年度日本植物病理学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小関彩恵子・宮下脩平・高橋英樹・安藤杉尋
2. 発表標題 ヒストン脱メチル化酵素変異体Idlにおけるキュウリモザイクウイルス抵抗性の解析
3. 学会等名 平成29年度日本植物病理学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 安藤杉尋・大谷峻・宮下脩平・高橋英樹
2. 発表標題 RNAサイレンシング関連因子AGO2遺伝子のプライミングにおけるmiRNAの役割
3. 学会等名 平成29年度日本植物病理学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 本多宗一郎・安藤杉尋・高橋英樹・宮下脩平
2. 発表標題 キュウリモザイクウイルスの欠失変異パターンの解析
3. 学会等名 平成29年度日本植物病理学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宮下脩平・安藤杉尋・高橋英樹
2. 発表標題 植物ウイルスの多数決型意思決定システム
3. 学会等名 平成29年度日本植物病理学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宮下脩平
2. 発表標題 植物ウイルスのもつ社会システムを、実験と数理モデリングで覗き見る
3. 学会等名 植物ウイルスのもつ社会システムを、実験と数理モデリングで覗き見る（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shuhei Miyashita
2. 発表標題 Social systems of plant viruses revealed by molecular biology experiments and mathematical modeling
3. 学会等名 Tohoku Forum for Creativity Fusion Research Seminar（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宮下脩平
2. 発表標題 ウイルス社会学 ウイルスの社会システムを攪乱せよ！
3. 学会等名 第16回みちのくウイルス塾
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宮下脩平・本多宗一郎・安藤杉尋・高橋英樹
2. 発表標題 RNAウイルス欠失変異の網羅的検出系の確立
3. 学会等名 平成29年度植物感染生理談話会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高橋英樹
2. 発表標題 植物に潜在感染しているウイルスの役割：ウイルスは植物の生存戦略に寄与できるか？
3. 学会等名 環境微生物系学会合同大会2017（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 斎藤恭大、吉名晃一、森山裕充、福原敏行
2. 発表標題 栄養ストレス条件下の植物におけるRNA干渉およびウイルス抵抗性の解析
3. 学会等名 日本植物学会第81回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 日本植物学会第81回大会
2. 発表標題 シロイヌナズナに無病徴感染するキュウリモザイクウイルスのゲノムRNAの機能解析
3. 学会等名 平成29年度日本植物病理学会東北部会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 佐藤有希代・宮下脩平・安藤杉尋・高橋英樹
2. 発表標題 シロイヌナズナcp13変異体におけるNB-LRR型抵抗性タンパク質RCY1を介したキュウリモザイクウイルス抵抗性の亢進
3. 学会等名 平成29年度日本植物病理学会東北部会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Toshiyuki Fukuhara, Atsushi Seta, Yasuhiro Saito, Midori Tabara and Hiromitsu Moriyama
2. 発表標題 Nutrient deficiency affects Dicer activities, post-transcriptional gene silencing and virus propagation in plants
3. 学会等名 Taiwan-Japan Plant Biology 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 澤野光、井木太一郎、竹田篤史、森山裕充、福原敏行
2. 発表標題 植物ウイルスのRNAサイレンシングサプレッサーがベンサミアナタバコのダイサーDCL3およびDCL4に与える影響
3. 学会等名 2017年度生命科学系学会合同年次大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田原緑、鈴木信弘、森山裕充、福原敏行
2. 発表標題 植物と菌類のsiRNA生成酵素ダイサーの酵素活性比較
3. 学会等名 第7回植物RNA研究ネットワークシンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shuhei Miyashita
2. 発表標題 Virus sociology: Target the social rules of viruses!
3. 学会等名 新学術領域・ネオウイルス学協賛 特別セミナー（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宮下脩平
2. 発表標題 植物ウイルスの社会システムを標的とする防除技術の開発
3. 学会等名 第2回えこえびワークショップ（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 安藤杉尋・高橋英樹
2. 発表標題 Analysis of disease-suppression effect of microorganisms included in nursery soils for organic farming of rice
3. 学会等名 15th International Symposium on Integrated Field Science（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西條悠希・安藤杉尋・高橋英樹・宮下脩平
2. 発表標題 R遺伝子による認識を免れる変異型CMV CPのアラニンスキャニングによる探索
3. 学会等名 平成30年度日本植物病理学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鈴木万智・Sietske van Bentum・安藤杉尋・高橋英樹・宮下脩平
2. 発表標題 細胞間移行におけるCMVのMOIはR遺伝子による抵抗性誘導時に低下する
3. 学会等名 平成30年度日本植物病理学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ainan Tian, Shuhei Miyashita, Sugihiro Ando, and Hideki Takahashi
2. 発表標題 Comparative analysis of two-type of cell death developed in cucumber mosaic virus-inoculated leaves of Arabidopsis thaliana
3. 学会等名 平成30年度日本植物病理学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉澤峻・宮下脩平・安藤杉尋・福原敏行・高橋英樹
2. 発表標題 シロイヌナズナへの無病徴感染に関わるキュウリモザイクウイルスのゲノムRNAと宿主因子の解析
3. 学会等名 平成30年度日本植物病理学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 平成30年度日本植物病理学会大会
2. 発表標題 キュウリモザイクウイルスに無病徴感染したシロイヌナズナにおけるRNA-seq解析
3. 学会等名 平成30年度日本植物病理学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 平成30年度日本植物病理学会大会
2. 発表標題 植物RNAウイルスの複製と進化機構に関する研究
3. 学会等名 平成30年度日本植物病理学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 栗山和典、田原緑、高橋英樹、森山裕充、福原敏行
2. 発表標題 ペチュニアの星咲き品種における内在性パラレトロウイルスの制御とRNA干渉機構との関係
3. 学会等名 第59回日本植物生理学会年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 原龍哉、原優太、渡邉泉、浦口晋平、森山裕充、高橋英樹、福原敏行
2. 発表標題 野生植物ハクサンハタザオの重金属耐性とウイルス抵抗性
3. 学会等名 第59回日本植物生理学会年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 安藤杉尋・高橋英樹
2. 発表標題 有機栽培培土の微生物コミュニティを利用したイネもみ枯細菌病の生物的防除
3. 学会等名 "第15回 バイオコントロール研究会 "(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 長崎慶三
2. 発表標題 海洋ウイルスの存在意義に迫る： ウイルスの感染と平和共存
3. 学会等名 平成28年度高知大学医農連携交流会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 長崎慶三
2. 発表標題 水圏ウイルスハンティング今昔：細胞死が狩りの合図だった時代
3. 学会等名 日本微生物生態学会第31回大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 長崎慶三
2. 発表標題 ウイルスと宿主は一蓮托生： 科学者人生をどう楽しむか？
3. 学会等名 第17回北大若手研究者交流会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 長崎慶三・高野義人・布浦拓郎・浦山俊一
2. 発表標題 ところでウイルス君、君の宿主は誰なのかな？ - 淡水生態系内の共存性ウイルス探索 - .
3. 学会等名 日本藻類学会第41回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高野義人・外丸裕司・長崎慶三
2. 発表標題 渦鞭毛藻細胞内におけるDNAウイルス共存の可能性 .
3. 学会等名 日本藻類学会第41回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 長崎慶三・高野義人・浦山俊一・布浦拓郎
2. 発表標題 渦鞭毛藻ブルーム中のdsRNAウイルス探索 .
3. 学会等名 平成29年度日本水産学会春季大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高野義人・長崎慶三・外丸裕司
2. 発表標題 ヘテロカプサ赤潮の消長モニタリングツールの開発 .
3. 学会等名 平成29年度日本水産学会春季大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 木村圭, 外丸裕司
2. 発表標題 広島湾における長期高頻度調査に基づいた珪藻とウイルスの生態学的研究
3. 学会等名 2016年日本ベントス学会・日本プランクトン学会合同大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 木村圭, 外丸裕司
2. 発表標題 長期調査による珪藻とそれに感染するウイルスの生態学的関係の解明
3. 学会等名 日本微生物生態学会第31回大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 外丸裕司, 木村圭, 豊田健介
2. 発表標題 海産珪藻 <i>Chaetoceros tenuissimus</i> はウイルスとともに西日本沿岸域に広く分布する,
3. 学会等名 日本藻類学会第41回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 外丸裕司, 木村圭, 豊田健介
2. 発表標題 本邦沿岸域における海産浮遊性珪藻 <i>Chaetoceros tenuissimus</i> と本種感染性ウイルスの分布,
3. 学会等名 平成28年度日本水産学会春季大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 外丸裕司, 木村圭
2. 発表標題 水温・塩分が海産浮遊性珪藻Chaetoceros tenuissimusと 本種感染性ウイルスの関係におよぼす影響
3. 学会等名 平成28年度日本水産学会春季大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 吉田天士
2. 発表標題 ウイルスから海洋微生物構造を知る
3. 学会等名 水圏微生物研究フォーラム2016 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 吉田天士
2. 発表標題 ウイルスと微生物の競合的共進化
3. 学会等名 日本微生物生態学会第31回大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 西村陽介, 吉田天士, 緒方博之, 五斗進
2. 発表標題 環境ウイルスゲノムの自動分類法
3. 学会等名 ファージ・環境ウイルス研究会合同シンポジウム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 綿井博康、西村陽介、五斗進、緒方博之、左子芳彦、吉田天士
2. 発表標題 Diversity of the Bacteroidetes viruses through analysis of 48 new genera
3. 学会等名 ファージ・環境ウイルス研究会合同シンポジウム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 浦山俊一
2. 発表標題 宿主を殺さず共存するウイルスを網羅する時代へ
3. 学会等名 日本微生物生態学会第31回大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 吉田光宏、望月智弘、浦山俊一、吉田(高島)ゆかり、西真郎、高木善弘、布浦拓郎、高井研
2. 発表標題 一本鎖DNAウイルス群を標的とする定量的メタゲノミクス
3. 学会等名 日本微生物生態学会第31回大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Jun Arii, Fumio Maeda, Akihisa Kato, Yasushi Kawaguch
2. 発表標題 ESCRT-III mediates HSV-1 Nuclear Egress
3. 学会等名 41st Annual International Herpesvirus Workshop (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ryosuke Kobayashi, Akihisa Kato, Jun Arie, Yasushi Kawaguchi
2. 発表標題 HSV-1 VP26 is a Regulator of Nucleocapsid Maturation
3. 学会等名 41st Annual International Herpesvirus Workshop (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Akihisa Kato and Yasushi Kawaguchi
2. 発表標題 Global monitoring of newly synthesized proteins induced by herpesvirus infection, using BONCAT coupled with mass spectrometry based proteomics technology, unveils novel viral coding DNA sequences
3. 学会等名 Nascent Chain Biology Meeting 2016 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hayato Harima, Akihisa Kato, Mizuki Watanabe, Jun Arie, Yasushi Kawaguchi
2. 発表標題 HSV UNG phosphorylation at a specific site regulates its enzymatic activity and viral pathogenesis
3. 学会等名 第5回感染症若手フォーラム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ryosuke Kobayashi, Akihisa Kato, Jun Arie, Yasushi Kawaguchi
2. 発表標題 Herpes simplex virus 1 VP26 is a regulator of nucleocapsid maturation
3. 学会等名 The 15th Awaji International Forum on Infection and Immunity (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ryosuke Kobayashi, Akihisa Kato, Jun Arii, Yasushi Kawaguchi
2. 発表標題 HSV-1 nucleocapsid maturation is regulated by small capsid protein VP26
3. 学会等名 第64回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Fumio Maeda, Yoshitaka Hirohata, Jun Arii, Akihisa Kato, Yasushi Kawaguchi
2. 発表標題 HSV-1 UL34 is required for proper targeting of viral and cellular regulators for viral de-envelopment at the nuclear membrane
3. 学会等名 第64回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hayato Harima, Akihisa Kato, Mizuki Watanabe, Jun Arii, Yasushi Kawaguchi
2. 発表標題 Enzymatic activity of HSV-1 UNG and viral pathogenesis are regulated by its phosphorylation at a specific site
3. 学会等名 第64回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yasushi Kawaguchi
2. 発表標題 Cell factors involved in a unique nuclear-pore-independent nuclear export system for macromolecular complexes in the nucleus: Potential targets for novel anti-herpetic drugs
3. 学会等名 the 8th International Global Virus Network Meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yasushi Kawaguchi
2. 発表標題 Strategies of herpesviruses to hijack host cell machinery
3. 学会等名 感染症研究グローバルネットワークフォーラム2016 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Takasuke Fukuhara, Tomokazu Tamura, Mai Shiokawa, Chikako Ono, Satomi Yamamoto, Hiroyuki Mori, Takeshi Kurihara, Kentaro Uemura, Toru Okamoto, Hiroshi Aoki, Yoshihiro Sakoda, Yoshiharu Matsuura
2. 発表標題 Viral secretory glycoproteins of Flaviviridae virus have similar roles with apolipoproteins on the formation of infectious HCV particles
3. 学会等名 第64回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Takeya Tsusumi, Akari Kado, Kazuya Okushin, Kenichiro Enooku, Hidetaka Fujiinaga, Kyoji Moriya, Hiroshi Yotsuyanagi, Yumi Kanegae, Izumu Sauto, Yoshiharu Mtsuura, Kazuhiko Koike
2. 発表標題 Hepatitis C virus core protein interacts with Bnip3 and soppresses its dimerizatin and binding with LC3
3. 学会等名 23rd International Symposium on Hepatitis C Virus and Related Viruses (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Takuma Zaitzu, Haruyo Aoyagi, Mami Matsuda, Noriyuki Watanabe, Akira Fujimoto, Koichi Watashi, Ryosuke Suzuki, Takasuke Fukuhara, Yoshiharu Matsuura, Kenjiro Wake, Tetsuro Suzuki, Tomokazu, Matsuura, Koji Tamura, Takaji Wakita, Hideki Aizaki
2. 発表標題 Human hepatic stellate cells are permissive for hepatitis C virus infection/replication and play important role in fibrosis
3. 学会等名 23rd International Symposium on Hepatitis C Virus and Related Viruses (国際学会)
4. 発表年 2016年

1 . 発表者名 Tkakayuki Abe,Ikuo Shoji,Yoshiharu Matsuura
2 . 発表標題 Annexins participate in thte HCV RNA replication
3 . 学会等名 23rd International Symposium on Hepatitis C Virus and Related Viruses ( 国際学会 )
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 Sachiyo Yoshio,Masaya Sugiyama,Takasuke Fukuhara,Yoshiharu Matsuura,Masashi Mizokami ,Tatsuta Kanto.
2 . 発表標題 Human BDCA3+DCs utilize- for inducing intrahepatic anti-viral ISGs and stimulating bystander Immune cells in HCV Infection
3 . 学会等名 23rd International Symposium on Hepatitis C Virus and Related Viruses ( 国際学会 )
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 Toru Okamoto,Tatsuya Suzuki, ,Shinji Kusakabe,Junki Hirano,Makoto Tokunaga, Takasuke Fukuhara and Yoshiharu Matsuura
2 . 発表標題 Regulation of Bcl-2 family proteins in cells infected with Flaviviruses
3 . 学会等名 23rd International Symposium on Hepatitis C Virus and Related Viruses ( 国際学会 )
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 Chikako Ono, Takasuke Fukuhara, Daisuke Motooka, Shota Nakamura, Satomi Yamamoto, Hiroyuki Mori, Kentaro Uemura, Toru Okamoto, Su Su Hmwe, Kazuaki Chayama, Takaji Wakita, Kazuhiko Koike, and Yoshiharu Matsuura
2 . 発表標題 G28A mutation facilitates an efficient propagation of HCV in miR-122-independent manner
3 . 学会等名 第64回日本ウイルス学会学術集会
4 . 発表年 2016年

1. 発表者名 Tomokazu Tamura, Takasuke Fukuhara, Mai Shiokawa, Chikako Ono, Satomi Yamamoto, Hiroyuki Mori, Takeshi Kurihara, Toru Okamoto, Hiroshi Aoki, Yoshihiro Sakoda and Yoshiharu Matsuura
2. 発表標題 The roles of secretory glycoproteins in viral particle formation in family Flaviviridae
3. 学会等名 第64回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Tatsuya Suzuki, Toru Okamoto, Takasuke Fukuhara, Yoshiharu Matsuura
2. 発表標題 Regulation of Bcl-2 family proteins in cells infected with Flaviviruses
3. 学会等名 第64回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hiroyuki Mori, Takasuke Fukuhara, Chikako Ono, Tomokazu Tamura, Satomi Yamamoto, Kentaro Uemura, Toru Okamoto <sup>1</sup> , Masami Wada, Takeshi Noda, Tamotsu Yoshimori, Yoshiharu Matsuura
2. 発表標題 Non-canonical LC3 lipidation induced by HCV inhibits autophagic flux
3. 学会等名 第64回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 牧野晶子, 小森園 亮, Bea Clarise Garcia, 朝長啓造.
2. 発表標題 カワリリスボルナウイルスの特性評価.
3. 学会等名 第64回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 山本祐介, 藤野 寛, 本田知之, 朝長啓造.
2. 発表標題 ボルナ病ウイルスマトリックスタンパク質の機能解析.
3. 学会等名 第64回日本ウイルス学会学術集会.
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 小嶋将平, 本田知之, 朝長啓造.
2. 発表標題 ウイルス感染を抑制する内在性ボルナウイルス由来RNAエレメントの進化.
3. 学会等名 第64回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 柳井真瑚, 牧野晶子, 朝長啓造.
2. 発表標題 ボルナ病ウイルスの核外輸送シグナルはウイルスの転写活性に関与する.
3. 学会等名 第64回日本ウイルス学会学術集会.
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 小森園 亮, 牧野晶子, 佐々悠起子, 堀江真行, 朝長啓造.
2. 発表標題 細胞侵入段階は鳥ボルナウイルスにおける主な宿主域規定要因ではない.
3. 学会等名 第64回日本ウイルス学会学術集会.
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 平井悠哉, 牧野晶子, 朝長啓造.
2. 発表標題 ボルナ病ウイルスと核内アクチンの関連の解析.
3. 学会等名 第64回日本ウイルス学会学術集会.
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 藤野 寛, 鈴木朋弥, 田原口智士, 朝長啓造.
2. 発表標題 ジュウサンセンジリス由来内在性ボルナウイルスのボルナ病ウイルス感染阻害機構の解明.
3. 学会等名 第39回分子生物学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 朝長啓造.
2. 発表標題 哺乳動物ゲノムに内在化しているボルナウイルス由来因子の機能解析.
3. 学会等名 第39回分子生物学会 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Keizo Tomonaga.
2. 発表標題 Transcription profile and prospective function of non-retroviral RNA virus-derived elements in mammalian genomes
3. 学会等名 International Conference of the Genetics Society of Korea 2016. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Mako Yanai, Akiko Makino and Keizo Tomonaga
2. 発表標題 ADAR2 is involved in the maintenance of the persistent infection of Borna disease virus.
3. 学会等名 Keystone Symposium (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ryo Komorizono, Akiko Makino, Yukiko Sassa, Masayuki Horie and Keizo Tomonaga
2. 発表標題 Host range of bornaviruses implies an evolutionary arm race between persistently infected RNA virus and host.
3. 学会等名 Keystone Symposium (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 鈴木信弘
2. 発表標題 これでもウイルス？
3. 学会等名 第15回みちのくウイルス塾
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 鈴木信弘
2. 発表標題 類のウイルス防御機構としてのRNAサイレンシング～植物との違い～
3. 学会等名 第8回植物ストレス科学シンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小松あき子, 佐藤真之, 近藤秀樹, 鈴木信弘, 藤森文啓
2. 発表標題 マイタケに感染するマイコウイルスの機能解析研究
3. 学会等名 第39回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Shahi, S., Hyodo, K., Chiba. S., Hillman. B. I., and Suzuki, N.
2. 発表標題 Development of molecular and biologic tools for studying a mitovirus from;Cryphonectria parasitica.
3. 学会等名 H28年度日本植物病理学会関西支部会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Aulia, A., Hillman, B. I., and Suzuki, N.
2. 発表標題 Two related mycoreoviruses behave differently in the chestnut blight fungus Cryphonectria parasitica.
3. 学会等名 H28年度日本植物病理学会関西支部会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 大北修平・池田健一・鈴木信弘・中屋敷均
2. 発表標題 コムギいもち病菌における3種の新規ourmiavirus様マイコウイルスの同定
3. 学会等名 H28年度日本植物病理学会関西支部会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Annisa Aulia, Bradley I. Hillman, Nobuhiro Suzuki
2. 発表標題 Different behaviors of mycoreovirus 1 and 2 in the fungal host <i>Cryphonectria parasitica</i> .
3. 学会等名 第31回中国四国ウイルス研究会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Zhang, R., Hisano, S., Tani, A., Kondo, H., Kanematsu, S., and Suzuki, N.
2. 発表標題 A mutualistic interaction between two novel viruses in a phytopathogenic fungus <i>Rosellinia necatrix</i> .
3. 学会等名 第31回中国四国ウイルス研究会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 吉澤峻・宮下脩平・安藤杉尋・高橋英樹
2. 発表標題 ハクサンハタザオに潜在感染しているCucumber mosaic virusの単離と全塩基配列の決定および病徴の解析
3. 学会等名 平成28年度日本植物病理学会東北部会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Matsuno K, Orba Y, Maede-White K, Scott D, Feldmann F, Sawa H, Ebihara H
2. 発表標題 The animal models for the emerging tick-borne phleboviruses: identification of target cells in a lethal model of SFTSV infection.
3. 学会等名 第64回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Orba Y, Sawa H
2. 発表標題 Identification of a Mosquito-Borne Orbivirus in Zambia.
3. 学会等名 第64回日本ウイルス学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 澤 洋文、佐々木 道仁、佐々木 聡子、ガブリエル ゴンザレス、石井 秋宏、伊藤 公人、大場 靖子
2. 発表標題 ウイルスメタゲノム解析による食虫コウモリが保有するA型ロタウイルスの検出
3. 学会等名 第39回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 澤 洋文、大場 靖子、Anindita D. Paulina、石井 秋宏、伊藤 公人、佐々木 道仁
2. 発表標題 野生動物由来新規パルボウイルスの検出と系統解析。
3. 学会等名 第2回北大・部局横断シンポジウム『免疫・癌・感染』
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大場 靖子、和田 雄治、Paulina Duhita Anindita、Phongphaew Wallaya、澤 洋文
2. 発表標題 ザンビアに生息する蚊が保有するレオウイルス
3. 学会等名 第2回北大・部局横断シンポジウム『免疫・癌・感染』
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 緒方博之
2. 発表標題 遺伝子科学の昨今、生物学からのアプローチ.
3. 学会等名 2016年度日仏会館科学シンポジウム「遺伝子の科学」
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ogata H.
2. 発表標題 Tara Oceans expedition and giant viruses in marine ecosystems.
3. 学会等名 Biodiversity and Chemical Biology of Marine and Terrestrial Life in the Philippine Region (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 緒方博之
2. 発表標題 ウイルスは生命か? - 巨大ウイルスを中心に - .
3. 学会等名 第56回生物物理若手の会夏の学校
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 緒方博之
2. 発表標題 海洋巨大ウイルスの多様性と宿主予測.
3. 学会等名 水圏微生物研究フォーラム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ogata H.
2. 発表標題 Extreme diversity, high abundance and activities of giant viruses in the sea
3. 学会等名 第39回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 緒方博之
2. 発表標題 アメーバウイルス研究がもたらしたインパクト
3. 学会等名 日本微生物生態学会年会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 西村陽介, 吉田天士, 緒方博之, 五斗進
2. 発表標題 あなたのウイルスゲノムを分類します
3. 学会等名 日本微生物生態学会年会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 吉川元貴, Blanc-Mathieu R., 緒方博之, 山田隆
2. 発表標題 カンキツかいよう病菌に感染する大型ファージXacN1のゲノム解析による特徴づけ.
3. 学会等名 日本微生物生態学会年会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 綿井博康, 西村陽介, 山本圭吾, 五斗進, 緒方博之, 左子芳彦, 吉田天士
2. 発表標題 genomic-OTUを用いたメタゲノム解析による海洋ウイルスの季節変動.
3. 学会等名 日本微生物生態学会年会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Blanc-Mathieu R., Yoshikawa G., Ogata H.
2. 発表標題 Pan-ocean meta-transcriptomic analysis of nucleo-cytoplasmic large DNA viruses.
3. 学会等名 ファージ・環境ウイルス研究会合同シンポジウム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 吉川元貴, Blanc-Mathieu R., 緒方博之, 山田隆
2. 発表標題 多数のtRNAをコードする大型ファージXacN1のゲノム解析.
3. 学会等名 ファージ・環境ウイルス研究会合同シンポジウム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yoshikawa G., Blanc-Mathieu R., Ogata H., Yamada T.
2. 発表標題 A preliminary characterization of the genome of XacN1, a giant phage infecting the citrus canker agent Xanthomonas citri.
3. 学会等名 Informatics in Biology, Medicine and Pharmacology 2016
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Blanc-Mathieu R., Ogata H.
2. 発表標題 Ancient DNA repair genes from the virus world.
3. 学会等名 Extremophiles 2016
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 西村陽介, 綿井博康, 本田貴史, 三原知子, 大前公保, Blanc-Mathieu R., 山本圭吾, 左子芳彦, 五斗進, 緒方博之, 吉田天士
2. 発表標題 完全ゲノムから定量化した海洋ウイルスの多様性とその宿主予測.
3. 学会等名 水圏微生物研究フォーラム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 綿井博康, 西村陽介, 山本圭吾, 五斗進, 緒方博之, 左子芳彦, 吉田 天士
2. 発表標題 Seasonal dynamics of marine viral communities in Japanese coastal area revealed by genomic OTUs analysis.
3. 学会等名 水圏微生物研究フォーラム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 渡辺登喜子, 岩附研子, 木曾真紀, 伊藤睦美, 河岡義裕
2. 発表標題 サルモデルにおけるインフルエンザウイルスのエアロゾル感染系の確立
3. 学会等名 第159回日本獣医学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 渡辺登喜子
2. 発表標題 インフルエンザウイルスの宿主への適応戦略
3. 学会等名 農研機構動物衛生研究部門 水曜会 (第700回特別記念講演) (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岩附研子、中島典子、長谷川秀樹、河岡義裕
2. 発表標題 近年のヒト分離H3N2インフルエンザウイルスに対するハムスターの感受性
3. 学会等名 第159回日本獣医学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Iwatsuki-Horimoto K.
2. 発表標題 Development of a novel influenza rapid diagnostic kit specific for the H7 subtype.
3. 学会等名 The Sixth China-Japan Bilateral Symposium on All Influenza Viruses. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計11件

1. 著者名 Michael J. Carr, Gabriel Gonzalez, Emma C. Teeling, Hirofumi Sawa	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Caister Academic Press	5. 総ページ数 246
3. 書名 Bat Polyomaviruses: A Challenge to the Strict Host-Restriction Paradigm within the Mammalian Polyomaviridae in "Bats and Viruses: Current Research and Future Trends "	

1. 著者名 鈴木信弘・大木理・上田一郎	4. 発行年 2020年
2. 出版社 文永堂	5. 総ページ数 360
3. 書名 植物病理学第2版	

1. 著者名 Masuta C and Takahashi H	4. 発行年 2019年
2. 出版社 The American Phytopathological Society (APS) Press, MN, USA	5. 総ページ数 380
3. 書名 Host Responses: Resistance in Chapter 5, Pages: 59-70, In Cucumber Mosaic Virus, Edited by Peter Palukaitis and Fernando Garcia-Arenal	

1. 著者名 Chikara Masuta and Hideki Takahashi	4. 発行年 2018年
2. 出版社 APS Press	5. 総ページ数 380
3. 書名 Cucumber Mosaic Virus (Eds. Peter Palukaitis and Fernando Garcia-Arenal)	

1. 著者名 Yukiyo Sato and Hideki Takahashi	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 278
3. 書名 Antiviral Resistance in Plants: Methods and Protocols, In Methods in Molecular Biology (Eds. Kappei Kobayashi and Masamichi Nishiguchi)	

1. 著者名 小林 剛	4. 発行年 2018年
2. 出版社 東京医学社	5. 総ページ数 3
3. 書名 腎と透析	

1. 著者名 川岸 崇裕	4. 発行年 2018年
2. 出版社 文永堂出版	5. 総ページ数 7
3. 書名 獣医畜産新報	

1. 著者名 澤 洋文、江下 優樹、大場 靖子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本医事新報社	5. 総ページ数 296
3. 書名 リフトバレー熱 フレボウイルス感染症 「グローバル時代のウイルス感染症」	

1. 著者名 河岡 義裕、今井 正樹	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 144
3. 書名 猛威をふるう「ウイルス・感染症」にどう立ち向かうのか	

1. 著者名 (Editor) Keizo Tomonaga, Nobuhiro Suzuki, Ben Berkhout	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Elsevier	5. 総ページ数 -
3. 書名 Virus Research Special Issue "Integration of viral sequences into eukaryotic host genomes: legacy of ancient infections"	

1. 著者名 Hiroshi Nishiura, (edited by Rao AS)	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Elsevier	5. 総ページ数 500
3. 書名 " Disease Modelling and Public Health, Part A, Volume 36 1st Edition "	

〔出願〕 計4件

産業財産権の名称 防除用製剤、並びに土壌処理方法	発明者 加藤健太郎,大川和久、升水紀郎	権利者 同左
産業財産権の種類、番号 特許、2019-85952	出願年 2019年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 動物試料からのウイルス検出方法	発明者 福原崇介	権利者 同左
産業財産権の種類、番号 特許、2020-65903	出願年 2020年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 アジュバントおよび該アジュバントを含むワクチン	発明者 河岡義裕・渡辺登喜子・山下誠・ホアパンフェン	権利者 同左
産業財産権の種類、番号 特許、特願2018-59532	出願年 2018年	国内・外国の別 国内

産業財産権の名称 植物病害防除剤及び植物病害の防除方法	発明者 安藤杉尋・高橋英樹	権利者 同左
産業財産権の種類、番号 特許、特願2018-056255	出願年 2018年	国内・外国の別 国内

〔取得〕 計0件

〔その他〕

新学術領域「ネオウイルス学」  
<http://neo-virology.org/>  
 北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター 分子病態・診断部門  
<http://www.czc.hokudai.ac.jp/pathobiol/>  
 京都大学ウイルス・再生化学研究所 朝長研究室  
<https://t.rnavirus.virus.kyoto-u.ac.jp>  
 大阪大学微生物研究所 分子ウイルス分野  
<http://www-yoshi.biken.osaka-u.ac.jp>  
 岡山大学資源植物科学研究所 植物・微生物相互作用グループ  
<http://www.rib.okayama-u.ac.jp/pmi/index-j.html>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	朝長 啓造  (Tomonaga Keizo)  (10301920)	京都大学・ウイルス・再生医科学研究所・教授    (14301)	
研究分担者	澤 洋文  (Sawa Hirofumi)  (30292006)	北海道大学・人獣共通感染症リサーチセンター・教授    (10101)	
研究分担者	松浦 善治  (Matsuura Yoshiharu)  (50157252)	大阪大学・微生物病研究所・教授    (14401)	
研究分担者	川口 寧  (Kawaguchi Yasushi)  (60292984)	東京大学・医科学研究所・教授    (12601)	
研究分担者	渡辺 登喜子  (Watanabe Tokiko)  (60557479)	大阪大学・微生物病研究所・教授    (14401)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	鈴木 信弘  (Suzuki Nobuhiro)  (70206514)	岡山大学・資源植物科学研究所・教授   (15301)	
研究分担者	高橋 英樹  (Takahashi Hideki)  (20197164)	東北大学・農学研究科・教授   (11301)	
研究分担者	長崎 慶三  (Nagasaki Keizo)  (00222175)	高知大学・教育研究部自然科学系理工学部門・教授   (16401)	
研究分担者	川野 秀一  (Kawano Shuuichi)  (50611448)	電気通信大学・大学院情報理工学研究所・准教授   (12612)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計2件

国際研究集会 第8回グローバルウイルスネットワーク会議	開催年 2016年～2016年
国際研究集会 The Sixth China-Japan Bilateral Symposium on All Influenza Viruses	開催年 2017年～2017年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
米国	ウイスコンシン大学	ハーバード大学	ミネソタ大学	他17機関
フランス	パスツール研究所	INSERM	ボルドー大	他1機関
英国	Cambridge大学	グラスゴー大学	Oxford University	他2機関
ドイツ	ウルム大学	マックスプランク研究所	ヨーロッパ分子生物研究所	他3機関
中国	武漢大学	中国科学院微生物研究所	Northwest A&F University	他1機関

共同研究相手国	相手方研究機関			
オランダ	ワーゲニンゲン大学	ユトレヒト大学	エラスマス医療センター	
パキスタン	国立科技大学 (NUST)	National Agricultural Research Centre	National Agricultural Research Centre	
シエラレオネ	シエラレオネ大学			
ミャンマー	ミャンマー獣医科学大学			
フィジー	サウスパシフィック大学			
ザンビア	ザンビア大学			